

CyberLink PowerDirector 21

ユーザーガイド

【Director Suite 365 / PowerDirector 365 / Ultimate Suite / Ultimate / Ultra / Standard 共通】

アイコンについて

紙面では各エディションを右のアイコンで表記しています。タイトルにこれらのアイコンがある場合は、そのアイコンのエディションのみの機能です。

Ultimate Suite : Ultimate Suite

365 : 365

DS365 : Director Suite 365

注意

本マニュアルはDirector Suite 365、PowerDirector 365、Ultimate Suite、Ultimate、Ultra、Standard共通となっています。そのため、お客様のご購入いただいたエディションによって、本マニュアルに記載の機能がサポートされていない場合があります。各エディションの機能の違いについては、10ページの「PowerDirectorのエディション」の項をご参照いただき、ご確認ください。

著作権

All rights reserved.

法律の認める範囲において、PowerDirectorは情報、サービス、またはPowerDirectorに関連して提供される製品についていかなる保証も行わないこと、商品性、特定目的への適合性、プライバシー保護の見込み、非侵害性についていかなる暗示的保証も行わないことを含め、明示または暗示の有無に関わらず、いかなる保証も行わず現状のままで提供されます。

このソフトウェアをご使用になると、お客様はCyberLinkがこのソフトウェアまたはこのパッケージに含まれる素材を使用した結果生じる直接的、間接的、結果的損失について一切責任を負わないことに同意したものとみなされます。

ここに記載する条件は、台湾の法律により管理および解釈されるものとします。

PowerDirectorは本書に記載されるその他の会社名および製品名と同じく登録商標であり、識別を目的としてのみ記載されており、その所有権は各社が所有しています。

For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 5.1 Producer is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

本社

所在地CyberLink Corporation

15F., No. 100, Minquan Rd., Xindian Dist.

New Taipei City 231, Taiwan (R.O.C.)

Web サイト <https://www.cyberlink.com>

TEL 886-2-8667-1298

FAX 886-2-8667-1385

Copyright © 2022 CyberLink Corporation. All rights reserved.

注意

PowerDirectorをパソコンにインストールするときに、[ライセンス契約] 画面が表示されます。この画面に表示される [使用許諾契約書] をよくお読みになってから [同意する] ボタンをクリックして、PowerDirectorをインストールしてください。

注意

本マニュアルに掲載しているPowerDirector21の画面は開発中のものであり、実際の製品と異なる場合があります。また、製品は予告なく変更される場合があります、掲載している画面と実際の製品が異なる場合は、実際の製品が優先されます。

注意

本マニュアルはDirector Suite 365、PowerDirector 365、Ultimate Suite、Ultimate、Ultra、Standard 共通となっています。そのため、お客様のご購入いただいたエディションによっては、本マニュアルに記載されている機能がサポートされていない場合があります。各エディションの機能の違いについては、10ページの「PowerDirectorのエディション」の項をご参照いただき、ご確認ください。

Contents

アイコンについて

紙面では各エディションを右のアイコンで表記しています。
タイトルにこれらのアイコンがある場合はそのアイコンの

エディションのみの機能です。

Ultimate Suite : Ultimate Suite

365 : 365

DS365 : Director Suite 365

Chapter 1 基本操作.....9

PowerDirectorワールドへようこそ！	10
PowerDirectorのエディション.....	10
動作環境	10
インストール	11
起動と登録、終了、アップデート	13
PowerDirectorで一番初めにすること	16
「タイムラインビデオエディター」でビデオ編集	18
「タイムラインビデオエディター」で編集をはじめよう	20
「タイムラインビデオエディター」の概要	20
画面を使いやすくカスタマイズ	21
プレビューウィンドウで出来栄を確認しよう	23

Chapter 2 かんたんで素早くテンプレート編集.....25

オープニング動画デザイナー	26
マジックムービーウィザード	30
スライドショークリエーター	35

Chapter 3 新規作成と取り込み.....41

新規プロジェクトの作成と保存	42
プロジェクトパックの作成	44
動画や画像、ミュージックファイルの取り込み	45
DVカメラから映像を取り込む	46
DVテープの一部の映像を取り込む	46
DVテープのすべての映像を取り込む	47
AVCHDカメラから映像を取り込む	48
DVDディスクやAVCHDからの映像の取り込み	50
Webカメラからの映像の取り込み	51
360度ビデオを編集しよう	52
360度ビデオの作成	52

360度ビデオの取り込み.....	53
360度ビデオの編集.....	54
360度ビデオの出力.....	55
360度ビデオの2D変換	56

Chapter 4 プラグインでビデオ編集..... 57

ビデオコラージュ	58
素材を並べる	58
ビデオクリップを調整する	59
詳細を設定する.....	61
アクションカメラセンター	62
[アクションカメラセンター] を開く	62
映像の自動補正.....	62
映像の手動補正	64
手ぶれ補正.....	64
ホワイトバランスの補正	65
カラープリセット.....	65
リピート再生.....	66
ビデオの再生速度を調整する	68
フリーズフレーム.....	70
アクションカメラセンターで再編集.....	71
空を置き換える	72
スクリーンレコーダー	74
マルチカムデザイナー	76
映像の取り込み.....	76
映像の同期.....	77
マルチカムで録画	78
マルチカムデザイナーで録画したビデオを再編集する.....	80

Chapter 5 編集..... 81

ビデオの基本編集	82
タイムライン.....	82
クリップをフォルダーで整理する	82
メディアの表示.....	83
作成するビデオに必要なクリップをまとめる	83
メディアクリップの配置	84
プレカット	85

ライブラリープレビュー	86
ビデオクリップの不透明度	86
ネスト編集（プロジェクトの再利用）	87
タイムラインの調整	88
移動	89
削除	89
分割	90
トラックサイズの調整	90
トラックの追加	91
タイムラインのトラックの表示変更	92
ビデオクリップの音声確認	92
マウスホイールの動作をカスタマイズ	92
画像クリップの配置	93
コンテンツ解析ツール	94
ストーリーボード	96
トリミング	98
マルチトリミング	100
クリップの長さの調整	102
映像の補正／強調	103
カラーマッチ	104
明暗別色補正	105
HDRエフェクト	105
キーフレーム	106
キーフレームの基礎	106
キーフレームの設定	108
タイムラインマーカー	110
動画の切り抜きと動画速度・逆再生	111
モーショントラック	112
オブジェクトの設定	112
タイトルを追加する	112
モーショントラッキングを適用する	113
ブレンドモード	115
音声のミュート	116
ビデオスタビライザー	117
マジックカット	118
クリップの追加	119

カラーボードの追加	120
-----------------	-----

Chapter 6 エフェクト 121

エフェクトの追加	122
エフェクトの修正	123
エフェクト効果の応用	124
オブジェクトの自動切り抜き	124
AIオブジェクト	125
色調整（カラープリセット）	126
パン&ズーム	126
PiPエフェクト	128
シェイプデザイナー	130
PiPデザイナー	132
PiP（ピクチャーインピクチャー）	132
PiPデザイナー	133
PiPオブジェクトの開始・終了アニメーション	135
PiPアニメーションのスピード設定	136
PiPデザイナーの終了時の設定	136
クロマキー合成	137
PiPモーション	138
パス	138
モーションブラー	139
回転	139
マスクデザイナー	140
マスク合成	140
文字で切り抜くマスクの作成	142
マスクデザイナーのキーフレーム編集	143
パーティクルエフェクト	144
パーティクルテンプレート	144
パーティクルのカスタマイズ	145
パーティクルの作成	146

Chapter 7 タイトル 149

タイトル	150
タイトルの設定	150
モーショングラフィックタイトル	151

タイトルデザイナー	151
プリセット文字	153
境界線	153
タイトルのグラデーション	154
テキスト背景	156
シャドウ	157
反射効果	157
タイトルのレイアウト	158
タイトルのアニメーション	159
タイトルのエフェクト効果	159
タイトルの特殊エフェクト	160
タイトルの表示範囲の設定	161
タイトルデザイナーでパーティクルの移動	161
タイトルのモーション効果	162

Chapter 8 トランジション 163

トランジション	164
トランジションの設定	164
トランジションのカスタマイズ	165
トランジションをすべてのビデオクリップ間に適用	168

Chapter 9 オーディオ 169

音楽CDから曲を取り込む	170
ミュージックファイルを取り込む	172
クロスフェード	173
ナレーション	174
オーディオ エディター	175
オーディオダッキング	176
スマートフィット	178
スピーチ強調	179
ミュージックビート	180

Chapter 10 便利な機能 181

字幕	182
----------	-----

チャプター	185
-------------	-----

Chapter 11 出力とディスクの作成 187

編集したビデオの保存	188
出力	188
ビデオファイルとして保存	189
3Dビデオファイルとして保存	190
DVテープやiPhone、スマートフォンに録画	191
YouTubeにアップロード	192
ディスクの作成	194
[ディスク作成] 画面	194
書き込むビデオの準備	194
メニューの作成	195
テキストの編集	196
メニューのシミュレーション	197
メニューの設定	197
メニューの編集	198
ディスクに書き込む	200
書き込みの設定	200
最終出力の設定	202

Chapter 12 サポートと特典 203

基本設定	204
ショートカットキー	204
DirectorZone	206
サイバーリンククラウド	207
AudioDirector	208
ColorDirector	209
トランジション一覧	210
エフェクト一覧	213

Chapter 1

基本操作

注意

本マニュアルに掲載しているPowerDirector 21の画面は開発中のものであり、実際の製品と異なる場合があります。また、製品は予告なく変更される場合があります、掲載している画面と実際の製品が異なっている場合は、実際の製品が優先されます。

注意

本マニュアルはDirector Suite 365、PowerDirector 365、Ultimate Suite、Ultimate、Ultra、Standard共通となっています。そのため、お客様のご購入いただいたエディションによって、本マニュアルに記載の機能がサポートされていない場合があります。各エディションの機能の違いについては、10ページの「PowerDirectorのエディション」の項をご参照いただき、ご確認ください。

PowerDirectorワールドへようこそ！

ここではPowerDirectorの種類（エディション）や動作環境について解説します。PowerDirectorをインストールしてお使いになる前に一度目を通しておいください。

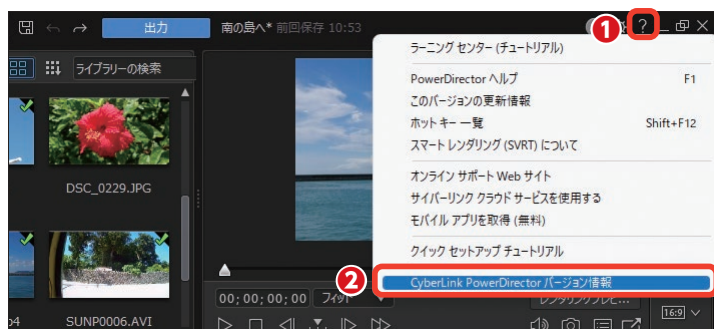
PowerDirectorのエディション

PowerDirectorには [Director Suite 365]、[PowerDirector 365] [Ultimate Suite] [Ultimate] [Ultra] [Standard] の種類（エディション）があります。各エディションによってPowerDirectorの機能が異なる場合があります。

購入されたPowerDirectorがどのエディションかを調べるには、① [?]（ヘルプ）をクリックして、② 表示されるメニューから [CyberLink PowerDirectorバージョン情報] をクリックします。

注意

本マニュアルは、各エディションの共通マニュアルです。各エディションの機能の違いは、下記のサイバーリンクのサイトにある [Power Directorの製品比較] をご覧ください。



表示される [CyberLink PowerDirectorバージョン情報] ダイアログボックスの [バージョンタイプ] に、お使いのエディションが記載されています。左の画面ではエディションは [Ultimate] になります。



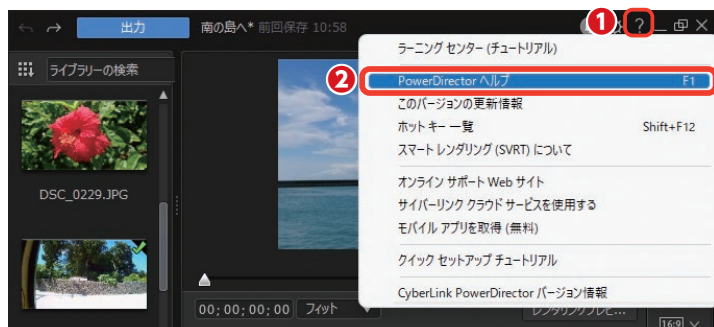
https://jp.cyberlink.com/products/powerdirector-video-editing-software/comparison_ja_JP.html

動作環境

PowerDirectorを使用するにあたってのパソコンやモニタ、OSなどの必要最小限の条件は、オンラインヘルプをお読みください。オンラインヘルプを表示するには、① [?]（ヘルプ）をクリックして、② 表示されるメニューから [PowerDirectorヘルプ] をクリックします。

また、最新情報はサイバーリンクのWebサイトに掲載されています。合わせてご利用ください。

<https://jp.cyberlink.com/>



インストール

購入したPowerDirectorをパソコンにインストールします。パソコンにDVDドライブが付属しない場合やサイバーリンクストアから購入された方は、下記の「メモ」をお読みいただいてインストールしてください。ここではUltimate Suite版で説明します。

PowerDirectorのDVDディスク1をDVDドライブにセットします。

メモ

パソコンにDVDドライブが付属しない場合には、外付けDVDドライブを用意するか、添付されている別紙の「製品プログラムのダウンロードサービスについて」をご参照になり、製品プログラムをダウンロードの上、インストールしてください。

① ランチャーが起動するので、[CyberLink PowerDirector 21] の [インストール] をクリックします。

注意

自動で起動しない場合は、[エクスプローラー] でディスクドライブをダブルクリックし、[Launch.exe] ファイルをダブルクリックします。

注意

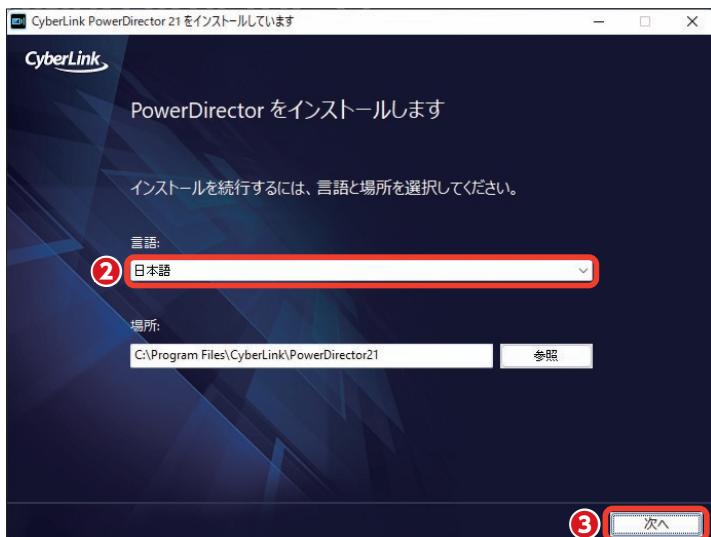
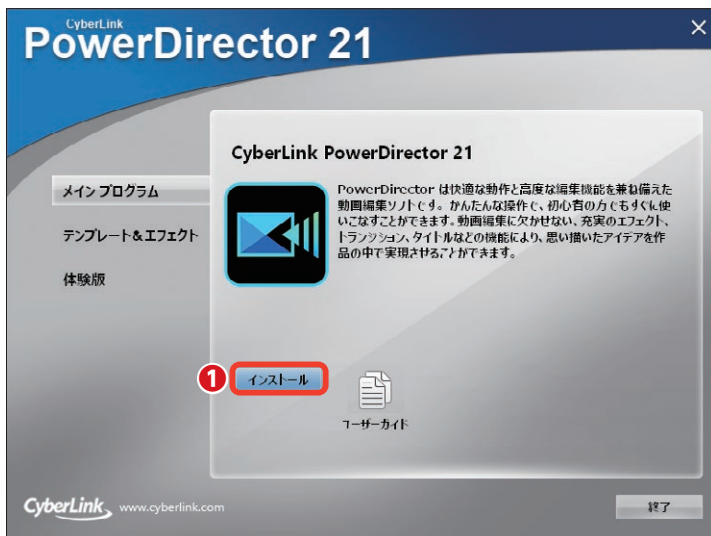
365ユーザーの方はボックスに入っている「PowerDirector 365 ご利用の手順」をお読みください。

② [インストール] 画面が表示されます。[言語] が [日本語] になっていることを確認します。

③ [次へ] をクリックします。

メモ

サイバーリンクストアからダウンロード版を購入された方は、購入時に届いている Eメール [件名: CyberLink オンラインストア - ご注文確認書 (購入確認メール) # (注文番号)] をお読みいただいてインストールしてください。



4 [ライセンス契約] 画面が表示されたら、ライセンス契約内容を読み、[同意する] をクリックします。

5 [プロダクトキーの入力] 画面が表示されたら、プロダクトキーを入力して、[次へ] をクリックします。

[ソフトウェアの選択] 画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

インストールが開始されます。しばらく待ちます。

メモ

インストールの途中で、付属機能のインストール画面が表示された場合は、画面の指示に従ってインストールします。

[インストールが完了しました] 画面が表示されます。

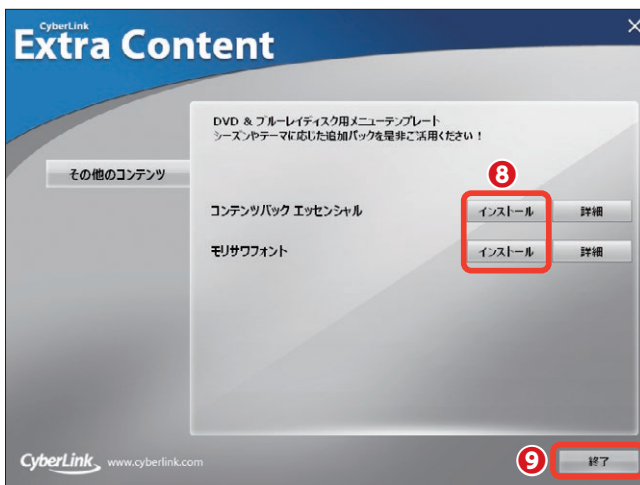
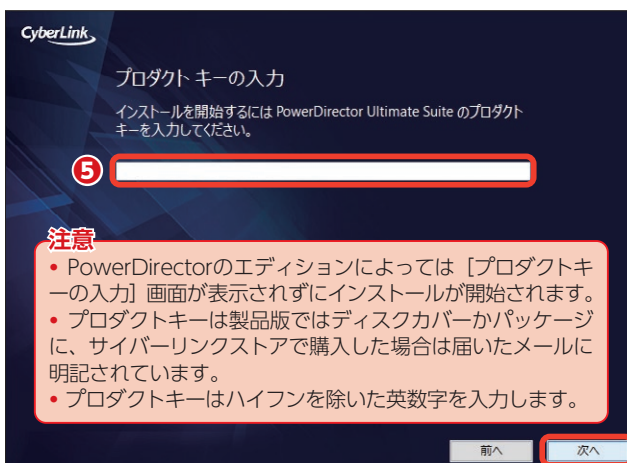
6 [完了] をクリックします。

※PowerDirectorのエディションによっては[PowerDirectorの起動]ボタンが表示される場合があります。このボタンをクリックすると、PowerDirectorが起動します。

7 手順**1**のインストール画面に戻るので、[終了] をクリックします。

8 DVDディスク2をDVDドライブにセットします。起動したインストール画面で各項目の「インストール」をクリックします。

9 [終了] をクリックします。



起動と登録、終了、アップデート

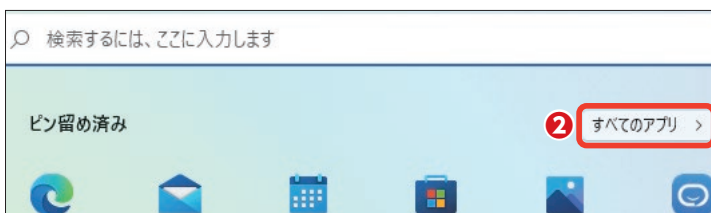
PowerDirectorの起動方法と終了方法を説明します。また、はじめてPowerDirectorをお使いになるときにアクティブ化する方法について説明します。ここではWindows 11での操作をご紹介します。

起動

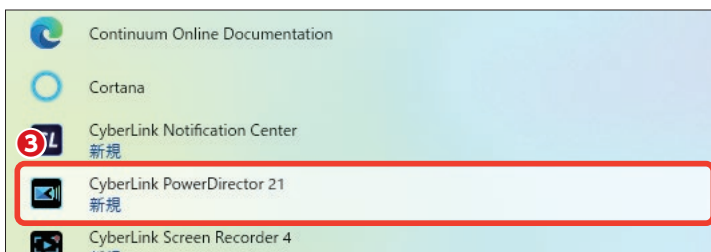
- ① PowerDirectorを起動するには、
[スタート] ボタンをクリックします。



- ② スタート画面から [すべてのアプリ
] をクリックします。



- ③ アプリの一覧から [CyberLink
PowerDirector 21] をクリックすると、
PowerDirectorが起動します。



メモ

PowerDirectorをインストールした後に、デスクトップに作成された [CyberLink PowerDirector 21] アイコンをダブルクリックしても起動します。



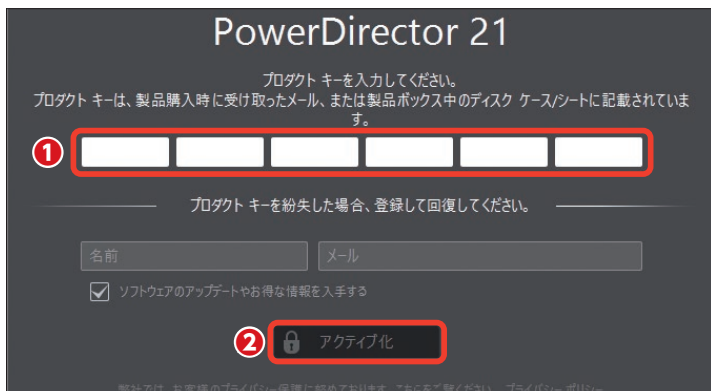
登録

① PowerDirectorを起動して[タイムラインビデオエディター]や[スライドショークリエーター]をクリックすると、プロダクトキーの入力画面が表示されます。ここにプロダクトキーを入力します。

② [アクティブ化]をクリックします。

メモ

プロダクトキーは製品版ではディスクカバーかパッケージに、サイバークラウドストアで購入した場合は届いたメールに明記されています。



※ [サイバークラウドサービス (無料)] を取得する] 画面が表示されたら、[後で実行する] をクリックします。「サイバークラウドサービス」については207ページをお読みください。

注意

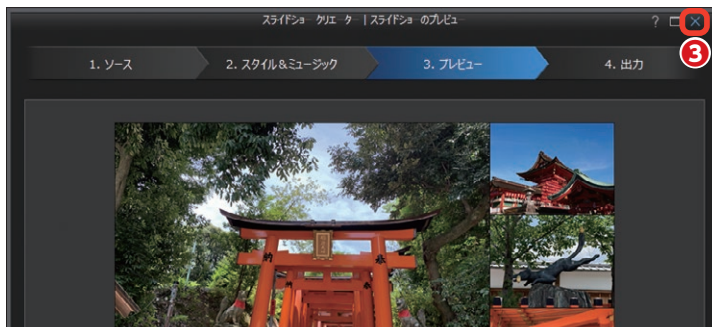
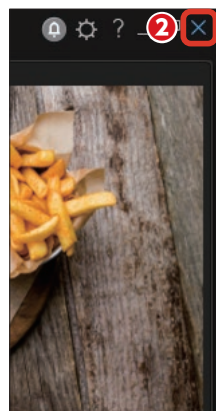
PowerDirectorのエディションによっては、プロダクトキーの入力画面は表示されません。

終了

① PowerDirectorの[タイムラインビデオエディター]などを終了するには、[ファイル]メニューをクリックして、表示されるメニューから[終了]をクリックします。

② または、画面の右上にある[×]をクリックします。

③ [スライドショークリエーター]を終了するには、画面の右上にある[×]をクリックします。



アップデート

PowerDirectorでは、アップデートがあれば自動で確認メッセージが表示されるので、指示に従ってアップデートすれば、いつでも最新のアプリを使用できます。手動でアップデートするには以下のように操作します。

① 手動でアップデートを確認するには、[?] (ヘルプ) をクリックします。

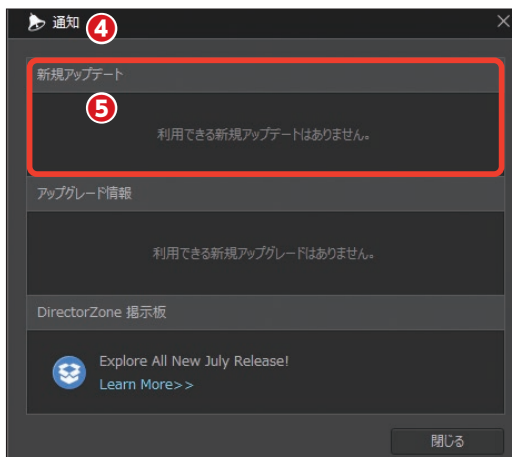
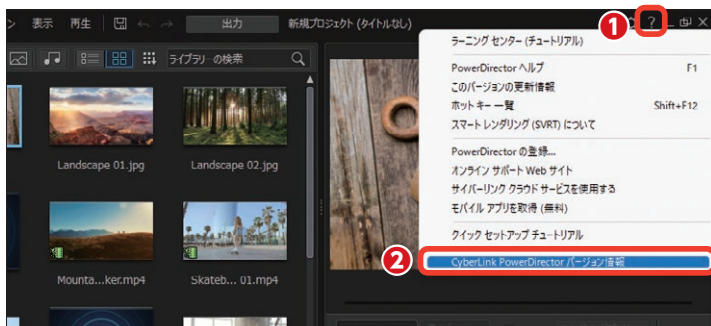
② [CyberLink PowerDirector バージョン情報] をクリックします。

③ [CyberLink PowerDirector バージョン情報] ダイアログボックスで、[アップグレード] をクリックします。

④ [通知] 画面が表示されます。

⑤ [新規アップデート] 欄にアップデート項目が表示されている場合は、クリックします。

Webブラウザが起動して、アップデートのページが表示されます。



メモ

[アップグレード情報] 欄では、ご購入いただいたPowerDirectorの上位エディションにアップグレードすることができます。

1

基本操作

PowerDirectorで一番初めにすること

PowerDirectorは、ビデオ編集がはじめての方でもすぐにビデオ編集に取りかけられるように、本格ビデオ編集モードや写真画像だけで構成するスライドショー作成モードが用意されています。起動画面からどんな作品を作るかによって編集モードを選択します。

PowerDirectorの起動画面

PowerDirectorを起動すると、起動画面が表示されます。

① ビデオの縦横比を設定します。お手持ちの映像素材や作成するビデオを考慮して選択します。縦横比については下記をお読みください。

② 作成する編集モードを選択します。本格的ビデオ編集を行うには[タイムラインビデオエディター]を、写真を使ったスライドショーを作成するには[スライドショークリエイター]をクリックします。



※PowerDirectorをいつも[タイムラインビデオエディター]で使用する方は、画面左下にある[常にタイムラインビデオエディターを開く]にチェックを入れます。すると、PowerDirectorを起動したときに起動画面が表示されず、すぐに[タイムラインビデオエディター]画面が表示されます。また、[常にタイムラインビデオエディター]の設定から起動画面を再び表示するには、[編集]メニューから[基本設定]をクリックして、表示される[基本設定]ウィンドウの[確認]にある「[次回からのメッセージを表示しない]」をリセット」の[リセット]ボタンをクリックします。

動画の縦横比

● 16 : 9

16 : 9の画面は、デジタルビデオカメラで撮影した映像の縦横比です。現在のテレビ放送および、ハイビジョンテレビ（受像機）の画面比です。



● 4 : 3

かつてのテレビ放送の画面比で、アナログビデオカメラの標準的な撮影画面サイズです。アナログビデオカメラの映像は[4 : 3]で編集します。



● 9 : 16

9 : 16の画面は、スマートフォンやタブレットを縦に構えて撮影した映像の縦横比です。この縦横比で編集・保存できます。

※ [9:16]の縦横比で編集したビデオもYouTubeにアップロードできます。



● 1 : 1

動画投稿サイトやSNSで使われている縦横比が「1 : 1」の動画を作成するときに選択します。



● 4 : 5

動画投稿サイトやSNSで使われている縦横比が「4 : 5」の動画を作成するときに選択します。



● 21 : 9 映画館のスクリーンに近いサイズ。このサイズに対応したビデオカメラやスマホ映像の編集用です。

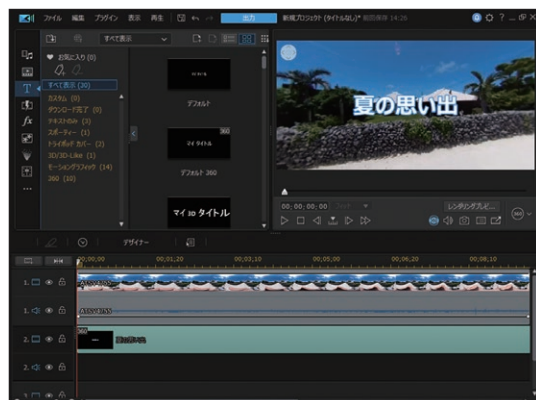


タイムラインビデオエディター P.20へ



【タイムラインビデオエディター】は、本格的ビデオ編集機能を備えたビデオ編集モードです。ビデオ素材の取り込みから、取り込んだビデオの配置、並び替え、トリミング、タイトル作成、ミュージックの配置、ビデオファイルとして保存、ディスクへの書き込みなど、プロ並みのビデオ作品が作成できる機能が満載されています。

360°ビデオプロジェクト P.52へ

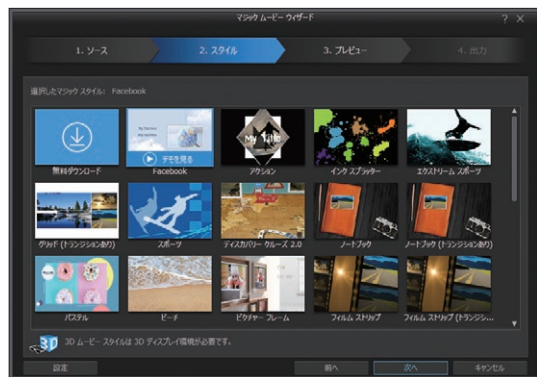


360°ビデオプロジェクトは、【タイムラインビデオエディター】で、全方向を撮影した360度ビデオの映像を編集します。360度ビデオファイルを読み込み、編集して360度ビデオとして保存でき、360度見渡せるビデオをYouTubeなどにアップロードできます。

1

基本操作

マジックムービーウィザード P.30へ



【マジックムービーウィザード】は、ビデオ編集がはじめての方でも画面の指示に従って進めるとビデオ作品ができあがる、初心者向けビデオ編集モードです。ビデオ編集の時間がない方にもおすすめです。

スライドショークリエイター P.35へ



【スライドショークリエイター】は、デジタルカメラやスマートフォンで撮影した写真を並べてスライドショーを作成するモードです。写真がズームしたり横にずれたり、次々に重なるように表示されたりと、写真を「見せる」効果が用意されています。BGMを付けると、スライドショー作品として完成します。

[タイムラインビデオエディター] でビデオ編集

[タイムラインビデオエディター] でのビデオ編集の流れを紹介します。ビデオ映像やデジタルカメラの写真をPowerDirectorに取り込み、タイムラインに配置して編集を行います。さらにビデオを飾る効果などを付け、タイトルやBGMを加えてビデオファイルやディスクに書き出します。

[映像の取り込み] まずは素材を用意しよう

作成するビデオで使用する素材を準備します。PowerDirectorでは、ビデオカメラの映像やビデオファイル、デジタルカメラの写真、スマートフォンで撮影した動画や写真などの素材をビデオ編集に利用できます。



[ビデオや画像の配置] ビデオを並べたりカットしよう

取り込んだビデオや写真を並べます。ビデオカメラの映像をすべて並べると長時間になってみんなが飽きてしまうビデオになってしまいます。ここがみなさんの腕の見せ所。本当に見せたい必要なシーンだけにカットすると、よい作品になります。



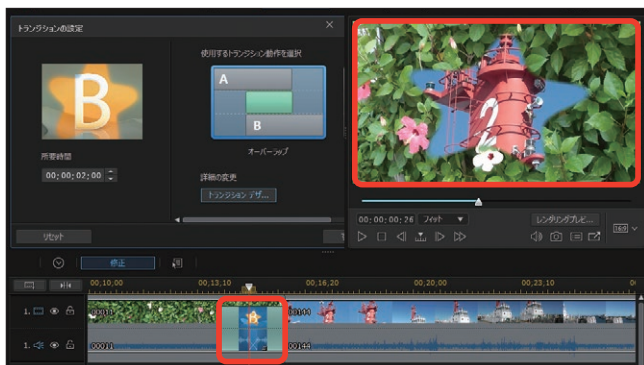
[タイトル] ビデオにタイトルや字幕を付けよう

文字は、ビデオ作品で映像をよりわかりやすくするなど、効果は抜群です。ビデオにタイトルを入れたり、字幕を入れたりできます。タイトルにはアニメーション効果を付けることもできます。



[エフェクト] ビデオに効果を付けよう

ビデオとビデオの間にビデオの切り替わるときの効果、たとえばページがめくれるように次の映像が再生されるなどの「トランジション」やビデオに効果を加える「エフェクト」などを使って、ビデオの編集を進めましょう。

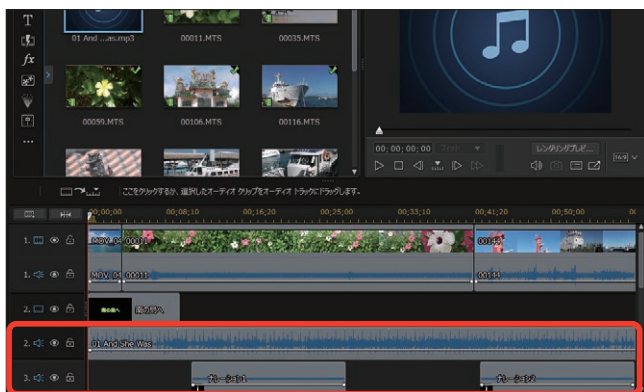


1

基本操作

[音楽] BGMやナレーションを付けよう

ビデオに音楽を付けましょう。お手持ちの音楽CDのお気に入りの曲を取り込んでBGMとして使用したり、ナレーションを吹き込んで配置することもできます。



[出力] ディスクに書き込んだりYouTubeなどに投稿しよう

作成したビデオを完成させましょう。ビデオファイルとして保存したり、DVDディスクに書き込んだりします。DVDディスクの作成では、ビデオを観るためのメニューも用意できます。また、YouTubeなどの動画投稿サイトにアップロードすることもできます。



[完成!] ビデオ作品のできあがりです

[タイムラインビデオエディター] で編集をはじめよう

タイムラインビデオエディターで本格ビデオ編集を行いましょう。PowerDirectorにはビデオ編集を行うためのたくさんの機能が搭載されています。それらの機能は、ビデオ編集が行いやすいように配置してあります。ここでは全体の構成について説明します。

[タイムラインビデオエディター] の概要

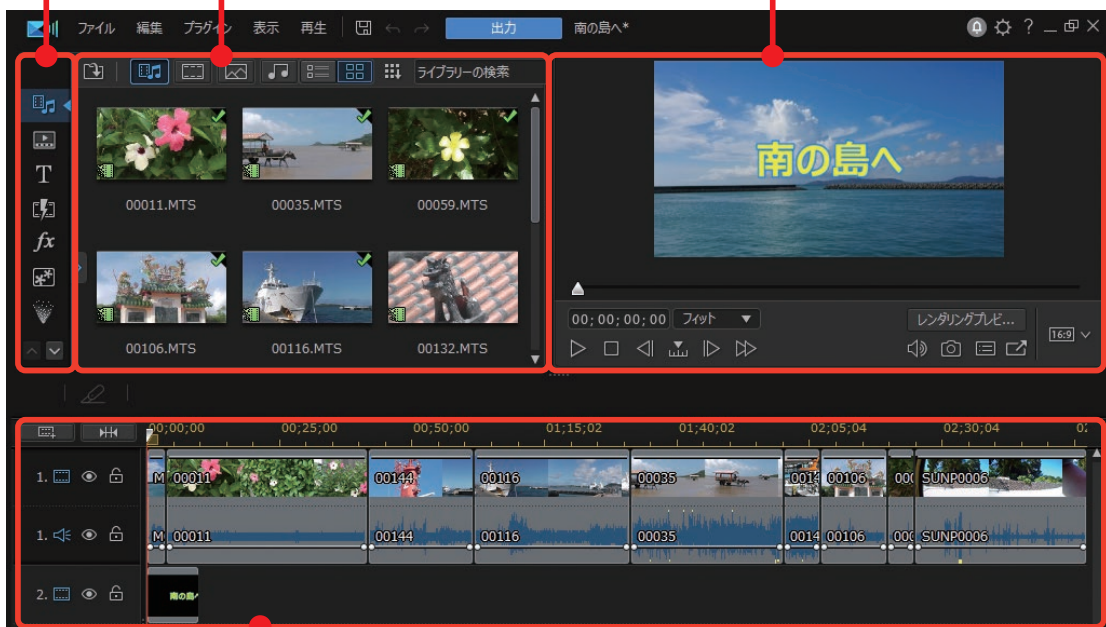
タイムラインビデオエディターは、[ルーム] と [ライブラリーウィンドウ]、[プレビューウィンドウ]、[タイムラインビュー (ストーリーボードビュー)] の構成になっています。それぞれがなにをする場所かを把握しておきましょう。

● ルームとライブラリーウィンドウ

左に各機能ごとの [ルーム] が並び、各 [ルーム] を選択すると、ビデオ編集で使用するその機能の素材やテンプレートが一覧表示されます。たとえば、[メディアルーム] には取り込んだビデオ素材やミュージック素材などが表示されます。

● プレビューウィンドウ

編集したビデオを再生して内容を確認します。また、ビデオにかけたエフェクトなどの効果のかかり具合やタイトルのサイズ、位置、BGMの音量などの編集を行ったときに確認します。

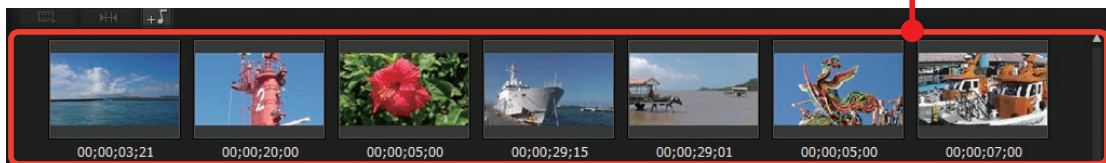


● タイムライン

ビデオトラックやミュージックトラック、エフェクトトラックなどが並び、素材を配置する場所です。取り込んだビデオや写真などのビデオクリップや画像クリップ、ミュージッククリップを並べてビデオ作品を作成します。

● ストーリーボード

ビデオや画像クリップを順番に表示する場所です。映像が再生される順番に並ぶので、作成するビデオ作品の構成がわかりやすくなります。タイムラインとストーリーボードはキーボードの [Tab] キーを押して切り替えます。



画面を使いやすいようにカスタマイズ

【ライブラリーウィンドウ】と【プレビューウィンドウ】、【タイムライン（ストーリーボード）】はサイズを変更できます。

① サイズを変更するには、【ライブラリーウィンドウ】と【プレビューウィンドウ】、【タイムライン（ストーリーボード）】の境にあるグレーの点線にマウスカーソルを移動すると、両矢印のアイコンに変わります。サイズを変更したい方向にドラッグします。

② この例では、【ライブラリーウィンドウ】の幅が狭まります。【プレビューウィンドウ】でプレビュー画面を大きくしたいときなどに便利です。

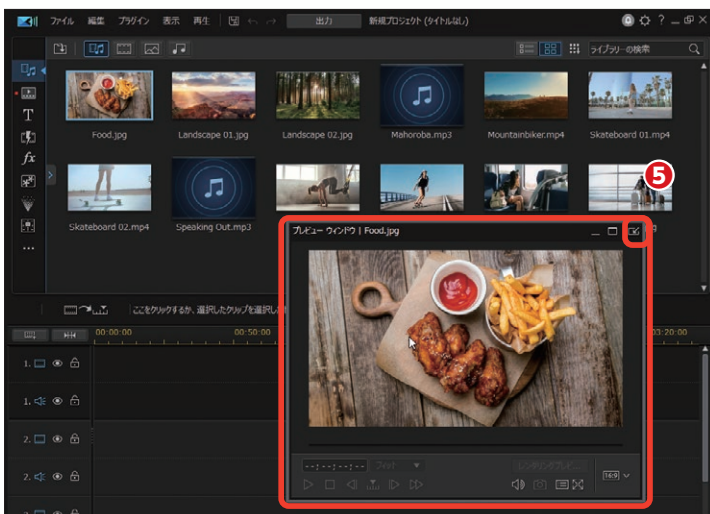
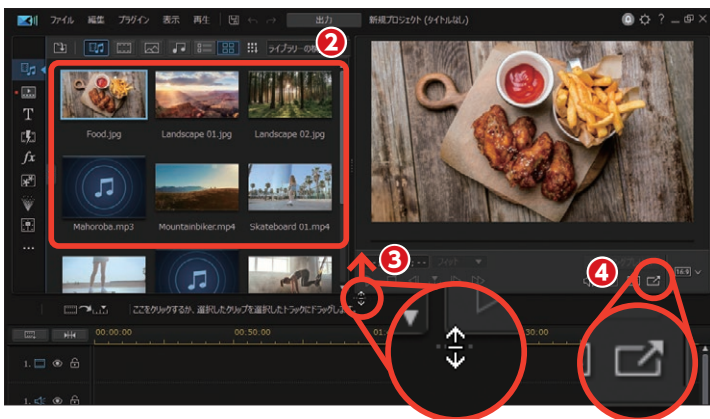
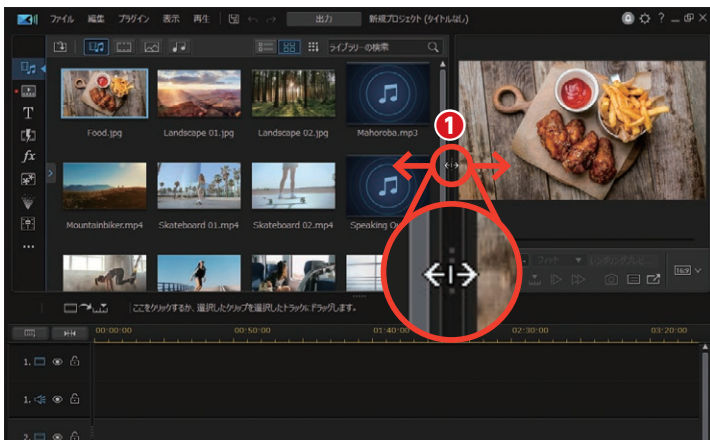
③ また、【タイムライン（ストーリーボード）】を上を広げると、タイムラインでの操作がしやすくなります。

④ 【プレビューウィンドウの固定解除】をクリックします。

⑤ 【プレビューウィンドウ】が独立して、画面は【ライブラリー】と【タイムライン（ストーリーボード）】の2つの構成になります。モニタが2つあれば【プレビューウィンドウ】を別のモニタに表示して、編集作業はメインのモニタ、プレビューは別のモニタと分けて、編集作業をしやすくなります（プレビューウィンドウの右上の【プレビューウィンドウの固定】をクリックで元に戻ります）。

メモ

お使いのモニタのサイズによって、表示される領域は異なります。



1

基本操作

⑥ [ライブラリーウィンドウ] を独立するには、ライブラリーウィンドウで右クリックして、表示されるメニューから [ライブラリーウィンドウの固定/固定解除] をクリックします。

⑦ 独立した [ライブラリーウィンドウ] や [プレビューウィンドウ] をサブモニタに表示すると、メインモニタには [タイムライン (ストーリーボード)] だけが表示されます。複数のトラックを使用してビデオ編集を行う場合などには表示スペースが広がって便利です。

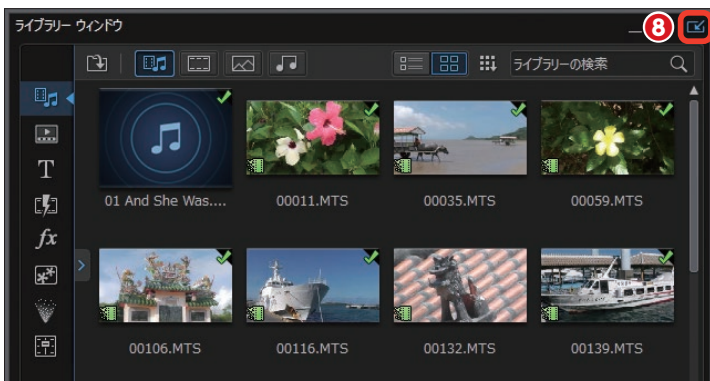
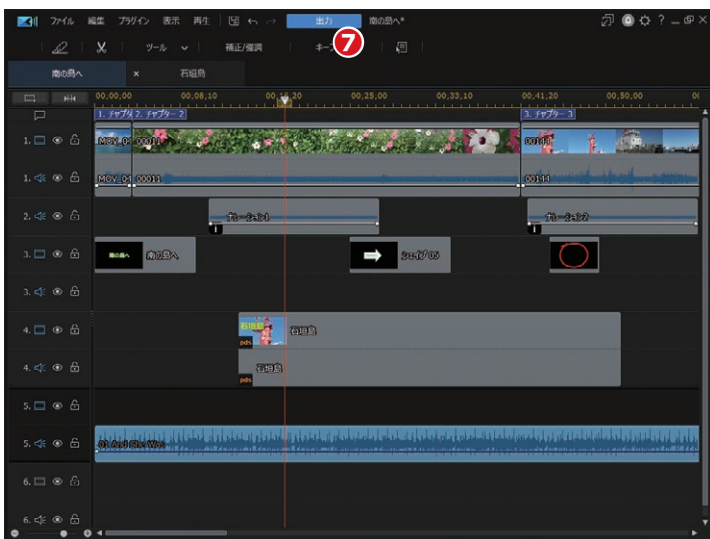
メモ 365 DS365 Ultimate Suite

365、DS365、Ultimate Suiteは、タイムラインを独立させることができます。

⑧ [ライブラリーウィンドウ] を標準の位置に戻すには、[ライブラリーウィンドウの固定] をクリックします。

メモ 365 DS365

PowerDirectorは、ユーザーが設定した表示設定を維持しています。PowerDirectorを終了しても、次回起動したときには、サブモニタに設定通りに配置されます。ただし、サブモニタがオフの場合は各ウィンドウは標準の位置に配置されます。



プレビューウィンドウで出来栄を確認しよう

【プレビューウィンドウ】は編集したビデオの確認や、効果を付けた時のチェックとしてなど、ビデオ編集時によく使います。【プレビューウィンドウ】の操作は、【プレイヤーコントロール】で行います。

①再生スライダー

プレビュー映像を手動で再生します。スライダーをドラッグして操作します。

②再生時間

現在の再生時間が【時：分：秒：コマ】で表示されます。

③プレビュー画面のサイズ

【▼】をクリックして、表示されるメニューからプレビュー画面のサイズを変更します。

④再生

ビデオを再生します。もう一度クリックすると、一時停止になります。

⑤停止

プレビューの再生を停止します。

⑥コマ戻し

1コマ前の映像に戻します。詳細にビデオを確認するときに使用します。

⑦検索方法

⑥と⑧のボタンの役割を変更します。標準では【フレーム】になっているので、⑥と⑧のボタンは【コマ戻し】と【コマ送り】になっています。【検索方法】ボタンをクリックして、表示されるメニューから単位を替えると、その機能が⑥と⑧のボタンに割り当てられます。たとえば【チャプター】に設定すると、⑥と⑧のボタンは【前のチャプター】と【次のチャプター】になります。

⑧コマ送り

1コマ次の映像に進みます。詳細にビデオを確認するときに使用します。

⑨早送り

プレビューを早送りします。標準では2倍速ですが、クリックするごとに4倍速、8倍速、16倍速になります。

⑩音量メーター

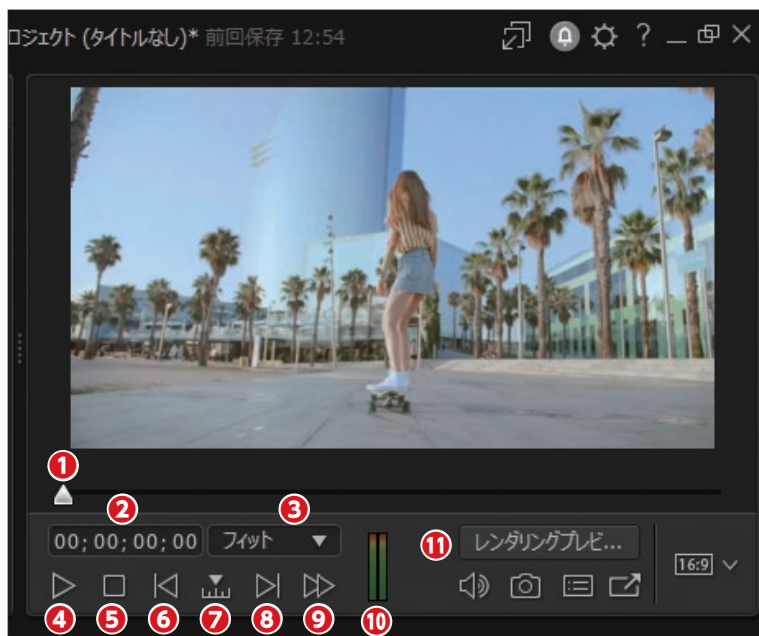
Ultimate Suite 365

プレビューしている映像の音量が表示されます。

※次ページの【⑭プレビュー画質／ディスプレイオプションの設定】をクリックして、表示されるメニューから【音量メーター】を選択します。

⑪レンダリングプレビュー

タイムラインスライダーのある位置からプロジェクトの最後までがレンダリングされて再生されます。レンダリングされているので、プロジェクトに各種効果を加えていても滑らかに再生されます。



12 音量調整

プレビュー時の音量を調整します。

13 静止画として保存

プレビュー画面に表示されている映像を画像ファイルとして保存します。クリックすると表示される [名前を付けて保存] ダイアログボックスで、ファイル名を入力して [保存] をクリックします。標準では [jpeg] ファイルとして保存されますが、[編集] メニューの [基本設定] をクリックして、表示される [基本設定] ウィンドウの [ファイル] にある [スナップショットファイル名] でファイル形式を変更できます。

14 プレビュー画質／ディスプレイオプションの設定

クリックして表示されるメニューから各種設定が行えます。

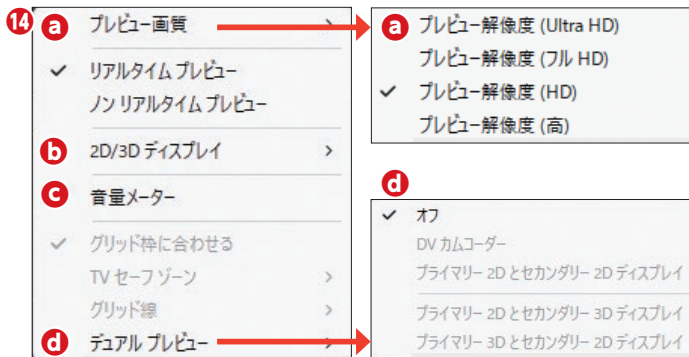
a [プレビュー画質]

プレビュー時の映像の画質を変更できます。解像度を低く設定すると映像は粗くなりますが、エフェクトなどをいくつも設定した映像ではそれらの処理が速くなり、すぐにプレビューすることができます。4K プロジェクト (Ultra HD) のプレビューも可能です。

b [2D/3D ディスプレイ]

3D 映像を作成するときに選択して設定します。3D 映像の作成の詳細は、オンラインマニュアルをご覧ください。

c [音量メーター] Ultimate Suite 365
プレビューウィンドウの10の位置に



音量メーターが表示されます。プロジェクトをプレビューすると、そのプロジェクトの音量が表示されます。

d [デュアルプレビュー]

サブモニタがある場合、[デュアルプレビュー] を選択すると、作業スペースを広げられます。メディアを選択するとサブモニタに表示されたり、プレビューウィンドウでプロジェクトをプレビューするとサブモニタで再生されたりします。

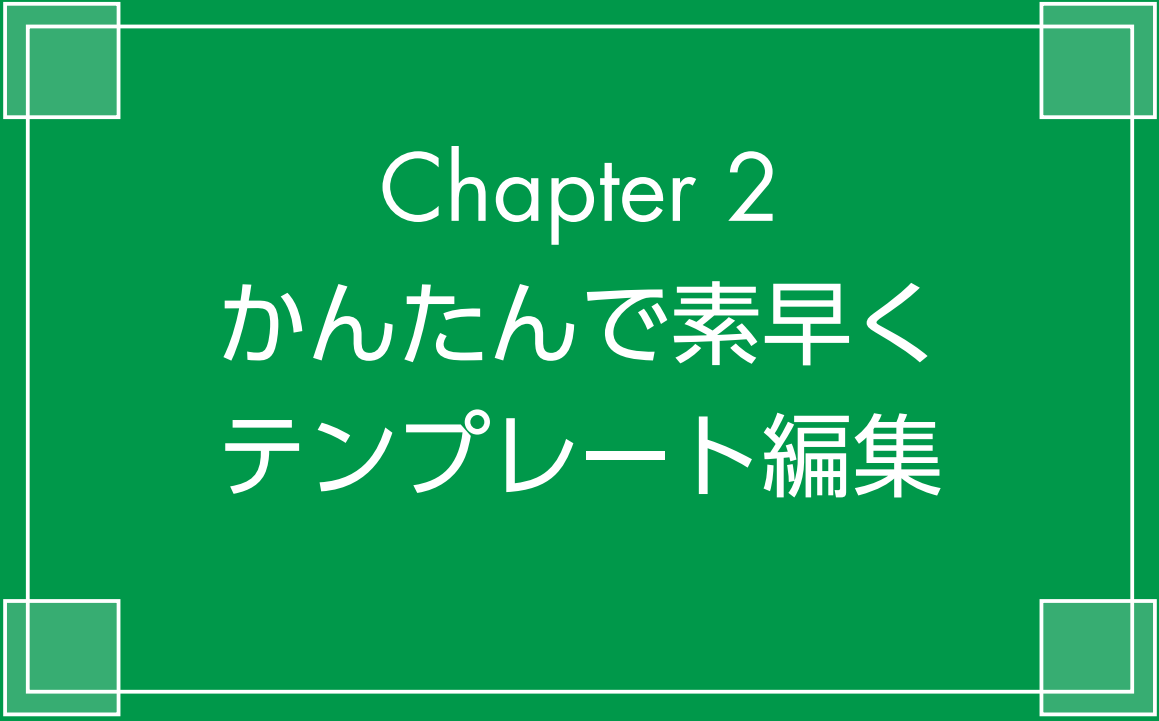
表示されるメニューからメインとサブにするモニタを設定します。

15 プレビューウィンドウの固定解除

プレビューウィンドウを独立したウィンドウにします。

16 プロジェクトの縦横比

[V] をクリックして、表示されるメニューからプロジェクト画面の縦横比を設定できます。



Chapter 2

かんたんで素早く テンプレート編集

オープニング動画デザイナー

【オープニング動画デザイナー】には、ビデオ作品やYouTube動画の最初に表示する映像のテンプレートが揃ってます。ビデオのタイトルや内容を示す映像、BGMによる演出がなされています。このテンプレートをカスタマイズすると効果的なオープニング動画が作成できます。

オープニング動画テンプレートの選択と映像の置き換え

① 【オープニング動画デザイナー】を使用するには、【オープニング動画ルーム】をクリックします。

② オープニング動画のジャンルをクリックします。

③ テンプレートの上にマウスカーソルを移動すると、プレビューが再生されます。テンプレートを選択します。

④ オープニング動画を詳細に確認するには、プレビューウィンドウで再生します。

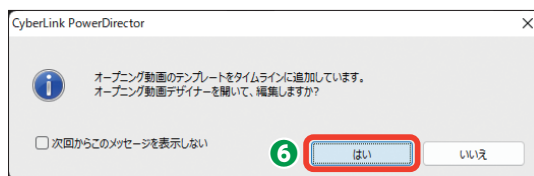
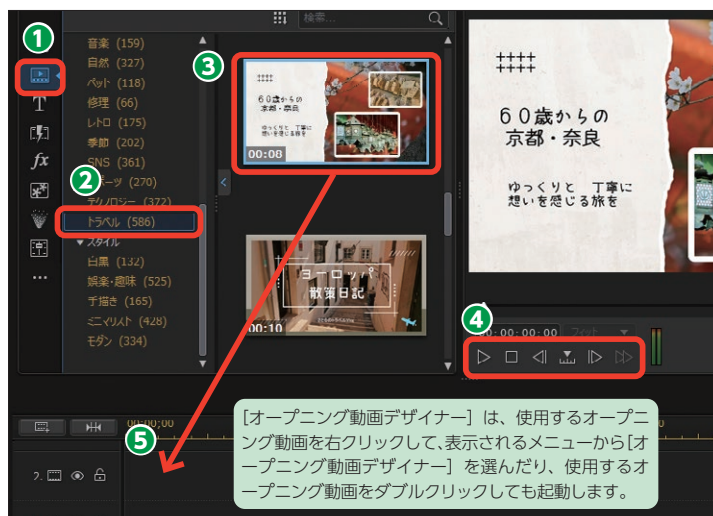
⑤ オープニング動画をタイムラインにドラッグします。

⑥ 【オープニング動画デザイナー】の起動を確認するダイアログボックスが表示されるので、[はい] をクリックします。

⑦ 【オープニング動画デザイナー】が起動します。[再生]ボタンをクリックすると、内容が確認できます。

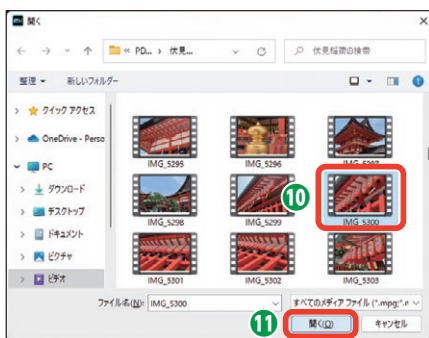
⑧ オープニング動画はカスタマイズすることができます。メインの動画を変更するには【背景メディアを置き換え】をクリックします。

⑨ 【メディアファイルの読み込み】をクリックします。



⑩ 変更するビデオクリップを選択します。

⑪ [開く] をクリックします。



⑫ [トリミング] ウィンドウが表示されます。黄色の枠がオープニング動画の再生時間です。黄色の枠をドラッグしてビデオから再生する部分を設定します。

⑬ 再生箇所を決定したら、[OK] をクリックします。



メモ

オープニング動画のテンプレートをカスタマイズするには以下の機能があります。各ボタンをクリックして設定してください。

① **【テンプレートの時間を変更】**：テンプレートタイトル動画の再生時間を変更できます。

② **【背景メディアを置き換え】**：テンプレートの映像を自分で撮影した映像やカラーボードなどに変更します。

③ **【トリミング】**：元の映像のどの部分を使用するかを調整します。

④ **【切り抜き】**：映像や画像の表示範囲を調整します。

⑤ **【映像にカラーフィルターを適用】**：映像にカラーフィルターを適用できます。

⑥ **【テキストの追加】**：テキストを追加できます。

⑦ **【画像の追加】**：写真などの画像を追加します。

⑧ **【ビデオオーバーレイ (PiPエフェクト) を追加】**：PiPオブジェクトを追加できます。

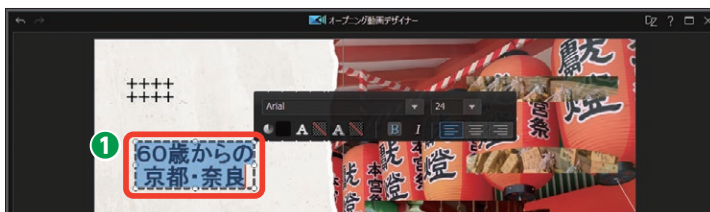
⑨ **【BGMを編集／置き換え】**：好きな曲をBGMにして、曲の調整をします。

⑩ **【音量】**：音量の調整をします。



テキストと画像や映像のカスタマイズ

① テンプレートのタイトルを変更します。再生スライダーなどでタイトルが表示されているシーンに移動します。文字にカーソルを合わせるとテキストボックスが表示されます。タイトルの文字をドラッグします。



② タイトルにする文字を入力します。

③ 文字に使用するフォントの種類やサイズ、色、縁取り、影、太さなどを設定できます。



④ 画面をクリックすると、設定が確定します。

⑤ テンプレートの画像や映像を変更するには、画像や映像をクリックします。

⑥ [背景メディアを置き換え] をクリックして、表示されるメニューから [メディアファイルの読み込み] をクリックします。

表示される [開く] ダイアログボックスで変更する画像や映像ファイルを選択して、[開く] をクリックします。



注意

モーショングラフィック効果が適用されているテキストの場合は、カスタマイズできる機能が限定されます。

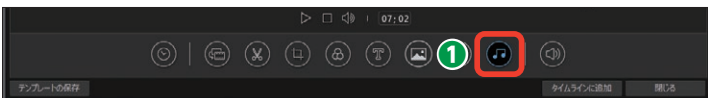
⑦ 画像や映像が置き換わります。

⑧ 画面をクリックすると、設定が確定します。同様にして他の画像や映像を変更します。



BGMのカスタマイズ

① BGMを変更するには、[BGMを編集／置き換え] をクリックします。



② [BGMの追加] ウィンドウが表示されます。テンプレートのBGMを削除するには、曲をクリックします。



③ [BGMの削除] をクリックします。

④ テンプレートの曲が削除されます。曲を追加するには、[BGM:]の[音楽ファイルを読み込み] をクリックします。



[開く] ダイアログボックスで使用する曲を選択して、[開く] をクリックします。

⑤ 黄色の枠がオープニング動画の再生時間です。黄色の枠をドラッグして曲から再生に使用する部分を設定します。



⑥ 再生箇所を決定したら、[OK] をクリックします。

⑦ [オープニング動画デザイナー] の画面に戻ります。[タイムラインに追加] をクリックします。

タイムラインにカスタマイズしたオープニング動画が配置されます。



マジックムービーウィザード

【マジックムービーウィザード】は、ビデオ編集がはじめての人でも動画と画像を用意して、画面の指示に従って進めていくとビデオ作品ができあがる簡単ビデオ編集モードです。【マジックムービーウィザード】を使ってビデオ編集の流れをつかみましょう。

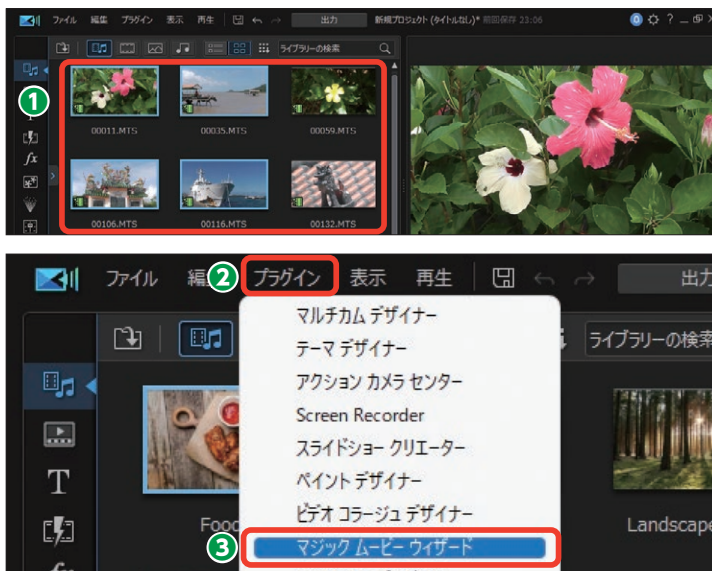
PowerDirectorを起動して【動画の縦横比】を選択し、【タイムラインビデオエディター】をクリックします。

※【マジックムービーウィザード】では、【動画の縦横比】で【9:16】と【360】は選択できません。

① 作成するビデオをメディアルームに取り込んでおきます。【Ctrl】キーを押しながら必要なビデオクリップを選択します。

② 【プラグイン】をクリックします。

③ 【マジックムービーウィザード】をクリックします。

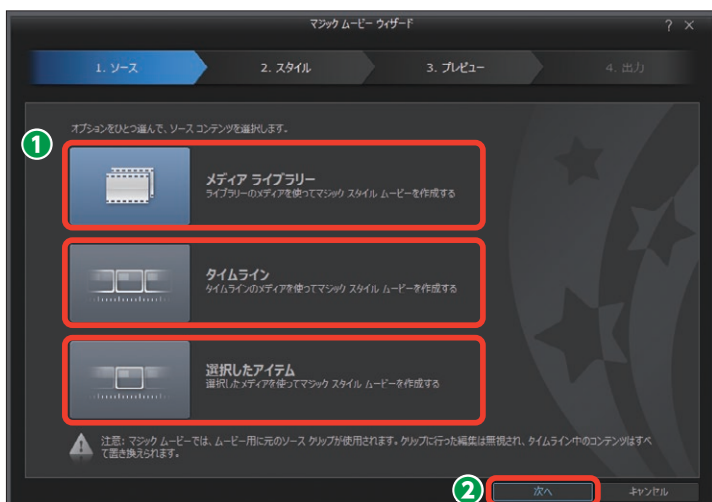


①ソース

【マジックムービーウィザード】画面が表示されます。【ソース】では、マジックムービーウィザードで使用する動画や画像クリップを読み込みます。

① 【1.ソース】では、クリップを選択します。メディアライブラリーのクリップを使用するには【メディアライブラリー】を選択します。タイムラインに配置したクリップを使用するには【タイムライン】を選択します。メディアライブラリーかタイムラインのクリップの一部を選択した場合は【選択したアイテム】をクリックします。

② 【次へ】をクリックします。



②スタイル

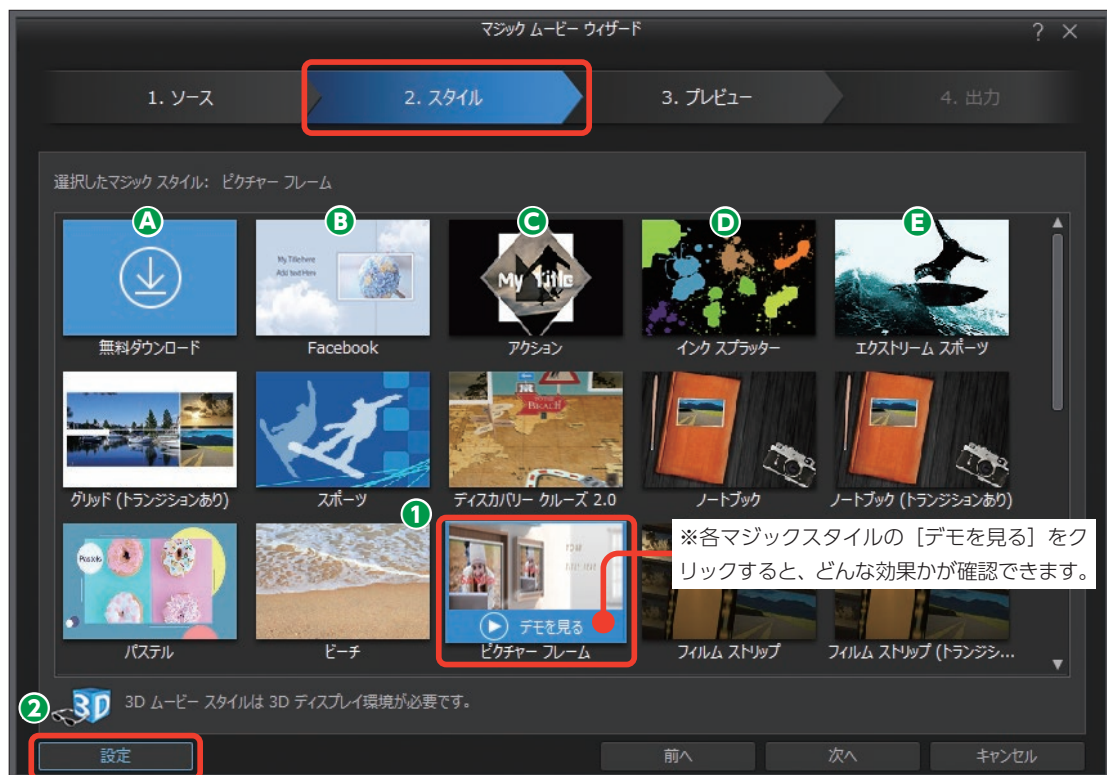
【スタイル】では、あらかじめ用意されたマジックスタイルを選択します。Facebookを見ているような構成の「Facebook」や旅行のビデオに使用できる「旅行」など、作成したいビデオの雰囲気にあったマジックスタイルを選択すると、自動でビデオ編集が行われます。

① 使用するマジックスタイルをクリックします。

メモ

【オリジナル】を選択すると、オープニングタイトルとエンドタイトルを付けた、シンプルにビデオをつないだビデオが作成できます。

② 「設定」をクリックします。



メモ

マジックスタイルには、以下のようなテンプレートがあります。

① **【無料ダウンロード】**：DirectorZoneのWebサイトからマジックスタイルのテンプレートを追加ダウンロードできます。

② **【Facebook】**：結婚式で上映される人物紹介などに適したテンプレートです。BGMが自動的に加えられます。

③ **【アクション】**：イベントなどの作品に適した動きのあるテンプレートです。BGMが自動的に加えられます。

④ **【インクスプラッター】**：映像の切り替わりにカラフルなインクが飛び散って塗り替えられるイメージのテンプレートです。BGMが自動的に加えられます。

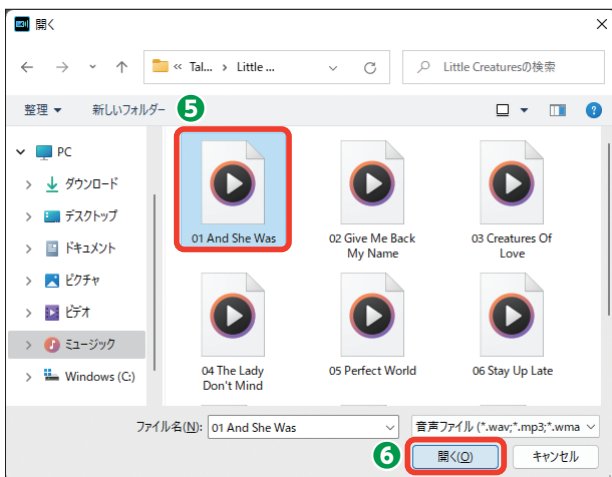
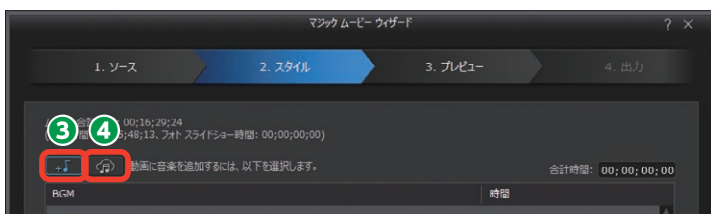
⑤ **【エクストリームスポーツ】**：アクティブなスポーツの記録をまとめるのに適したテンプレートです。

③ ビデオにBGMを付けるには、[音楽の追加] をクリックします。手順⑤に進みます。

④ PowerDirectorには、ビデオ作成で使用する多数の楽曲を用意しています。これらの楽曲はダウンロードして使用します。[音楽をダウンロード] をクリックします。ダウンロードの仕方については下記の[メモ] をお読みください。

⑤ [開く] ウィンドウが表示されます。パソコンに取り込んでいるミュージックファイルを選択します。

⑥ [開く] をクリックします。

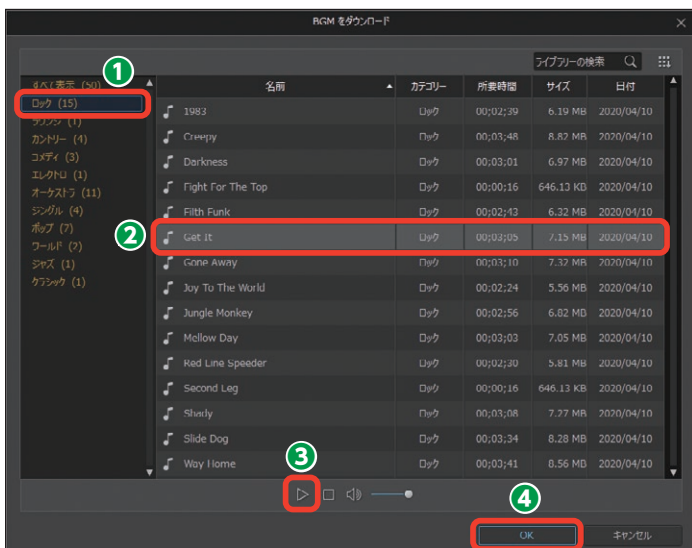


メモ

ビデオ編集において、BGMは効果的なアイテムです。音楽によってその映像を盛り上げたり、そのときの気分をよりわかりやすく伝えられます。とはいえ、楽曲には著作権があり、作成するビデオに無断で楽曲を使用できません。たとえ、作成したビデオを販売などしなくても、友だちに配布したりインターネットのビデオ投稿サイトにアップしたりすることはできません。そこでPowerDirectorではユーザーのみなさんが自由に使える著作権フリーの楽曲を多数用意しました。編集するビデオのイメージに合うように各ジャンルの楽曲を用意してあります。

① ジャンルの一覧からジャンルをクリックします。

② 楽曲を選択します。



③ 曲をプレビューするには [再生] をクリックします。

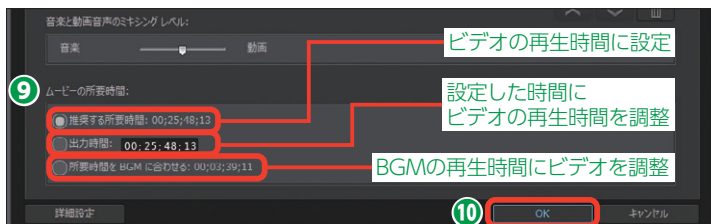
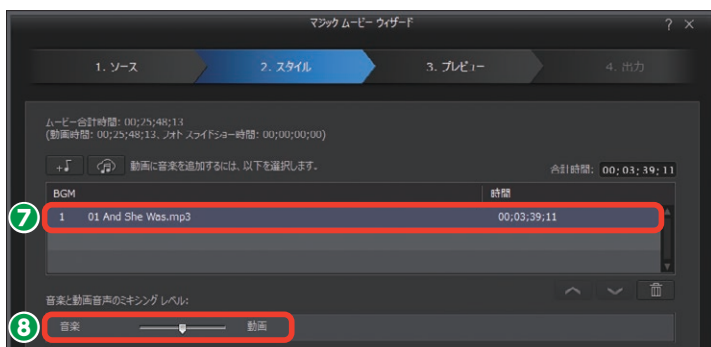
④ [OK] をクリックします。

7 ミュージックファイルが取り込まれます。

8 [音楽と動画音声のミキシングレベル] では、ビデオの音声とBGMの音量を調整します。[音楽] 側にドラッグするとBGMの音量が大きくなり、[動画] 側にドラッグするとビデオの音量が大きくなります。

9 [ムービーの所要時間] では、ビデオの再生時間を設定できます。たとえば[出力時間] を10分に設定した場合、10分以上の動画を取り込んでいると、自動でカット編集が行われ、ビデオの長さが10分に調整されます。

10 [OK] をクリックして、続いて[次へ] をクリックします。



メモ

[詳細設定] をクリックすると、マジックムービーで行っているビデオの調整を細かく設定できます。

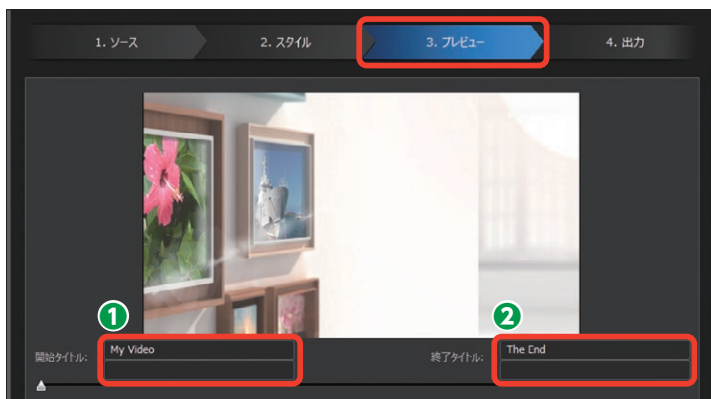
3 プレビュー

[プレビュー] では、マジックムービーで自動編集されたビデオを再生して確認します。また、選択したスタイルによってタイトルなどのテキストを入力できます。ここまでのビデオ作成で修正したい箇所があれば[前へ] をクリックして、各ステップに戻って調整します。

ここでは[ピクチャーフレーム] スタイルを選択した場合の設定で説明します。[ピクチャーフレーム] スタイルでは、ビデオの開始と終わりにタイトルを表示できます。

1 オープニングタイトルを設定するには、[開始タイトル] の「My Video」をドラッグしてタイトルを入力します。下段のテキストボックスにはサブタイトルを入力できます。

2 エンドタイトルを設定するには、[終了タイトル] の「The End」をドラッグしてタイトルを入力します。下段のテキストボックスにはサブタイトルを入力できます。



③ ビデオを確認するには、[再生] をクリックします。

④ ビデオが再生されます。

⑤ 内容を確認して、[次へ] をクリックします。

[メディアの並べ替え] をクリックすると、ビデオや画像クリップの再生順を変更できます。



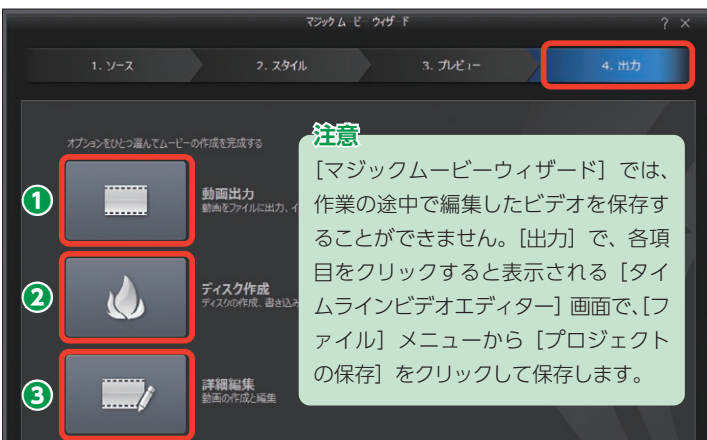
④出力

[出力] で、ビデオが完成します。保存する形式を選択してビデオ作品を作り上げましょう。保存形式にはビデオファイルやYouTubeなどのWebサイトにアップロード、DVDやBlu-rayディスクに書き込みなどがあります。

[出力] ステップが表示されます。ビデオを保存する形式を選択します。

注意

各項目をクリックすると、Power Directorの[タイムラインビデオエディター]画面に切り替わります。各項目を選択すると、ほかの項目に変更することはできません。どの方法でビデオを完成させるかを、きちんと決めてから選択しましょう。



① [動画出力] は、ビデオをファイルとして保存したりインターネットにアップロードする場合に選択します。[タイムラインビデオエディター]の[ファイルを出力]画面に切り替わります。このあとの操作については188ページをお読みください。

② [ディスク作成] では、DVDやBlu-rayディスクに書き込みます。クリックすると、[タイムラインビデオエディター]の[ディスク作成]画面に切り替わります。このあとの操作については194ページをお読みください。

③ [詳細編集] では、自動編集されたビデオをさらに編集することができます。クリックすると、[タイムラインビデオエディター]の[編集]画面に切り替わります。このあとの操作については82ページをお読みください。

スライドショークリエイター

【スライドショークリエイター】は、お手持ちの写真を使って、動きのあるスライドショーを作成できます。写真が拡大されたり、何枚もの写真が次々に重ねられたりする演出効果がセットされたテンプレートが用意されています。

【スライドショークリエイター】を使用するには、PowerDirectorを起動します。

① 作成するスライドショーのサイズを [16:9] か [21:9]、[1:1]、[4:5]、[9:16]、[4:3]、[360] から選択してクリックします。

② 【スライドショークリエイター】をクリックします。



2

かんたんで素早くテンプレート編集

①ソース

【スライドショークリエイター】の【ソース】では、スライドショーで使用する画像ファイルを読み込みます。デジタルカメラやスマートフォンなどで撮影した写真を、あらかじめパソコンのフォルダーに保存しておきましょう。

【スライドショークリエイター】が起動します。

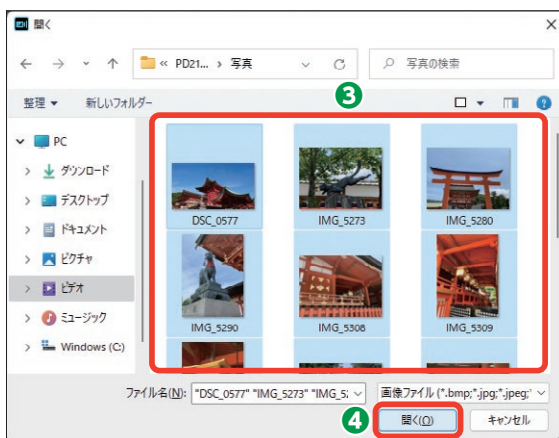
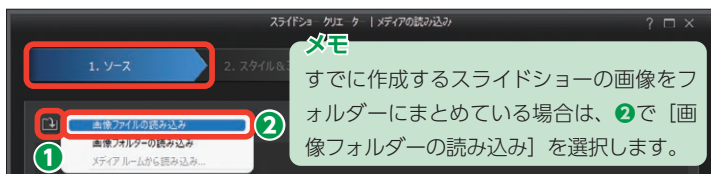
① 【画像の読み込み】をクリックします。

② 表示されるメニューから【画像ファイルの読み込み】をクリックします。

【開く】ウィンドウが表示されます。

③ 画像ファイルが入っているフォルダーを表示して、【Ctrl】キーを押しながら、必要な画像ファイルをクリックします。

④ 【開く】をクリックします。

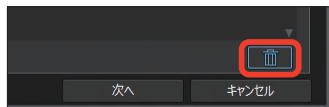


⑤ 画像ファイルが取り込まれます。

⑥ [次へ] をクリックします。

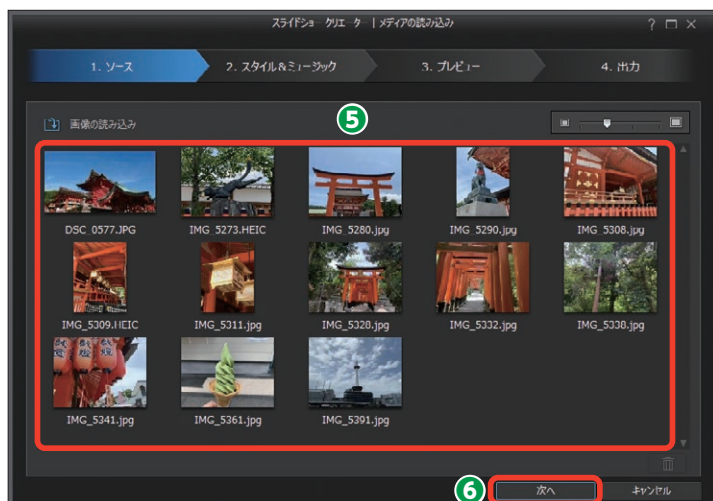
メモ

不要な画像ファイルを取り込んだ場合は、削除する画像をクリックして、「選択したメディアの削除」をクリックします。



メモ

写真は左上の写真から順に再生されます。写真をドラッグすると、写真の再生順を入れ替えられます。

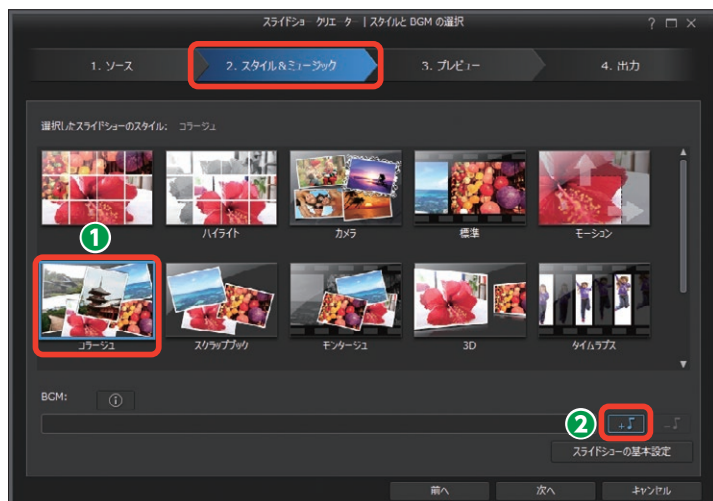


②スタイル&ミュージック

スタイル&ミュージックにはバラエティに富んだ写真を効果的に見せるテンプレートのスタイルが揃っています。また、スライドショーにBGMを流す設定を行います。

① 使用するスタイルをクリックします。

② スライドショーにBGMを付けるには、[BGMの選択] をクリックします。



[BGMの追加] ウィンドウが表示されます。

③ お手持ちのミュージックファイルを使用するには [BGMの選択] をクリックします。⑤に進みます。

④ PowerDirectorのフリー楽曲を使用するには [BGMをダウンロード] をクリックします。ダウンロードの方法については32ページの [メモ] をお読みください。

⑤ [開く] ウィンドウが表示されます。パソコンに保存しているミュージックファイルを選択します。

⑥ [開く] をクリックします。

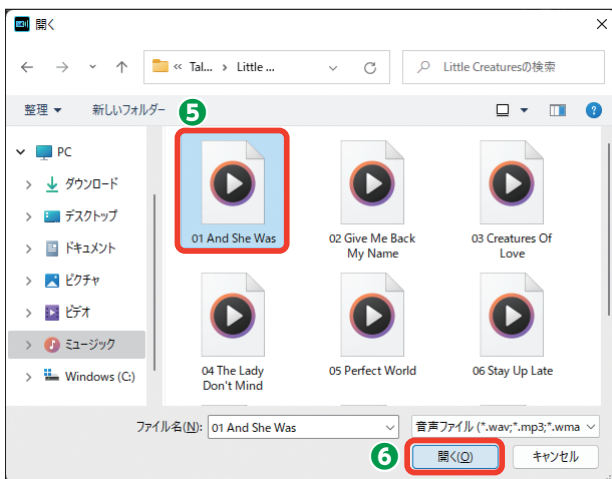
⑦ ミュージックファイルが取り込まれます。

⑧ ここでBGMの調整が行えます。[トリミング] の [開始位置] スライダーや [終了位置] スライダーをドラッグすると、BGMのトリミングができます。

⑨ [フェードイン] にチェックを入れると、音量が徐々に大きくなる設定になります。

⑩ [フェードアウト] にチェックを入れると、音量が徐々に小さくなる設定になります。

⑪ [OK] をクリックします。



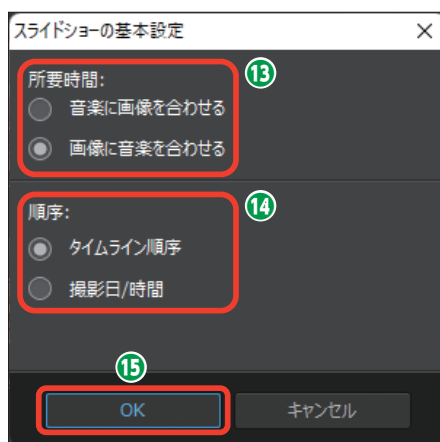
「スタイル&ミュージック」の画面に戻ります。

12 「スライドショーの基本設定」をクリックします。



「スライドショーの基本設定」ウィンドウが表示されます。

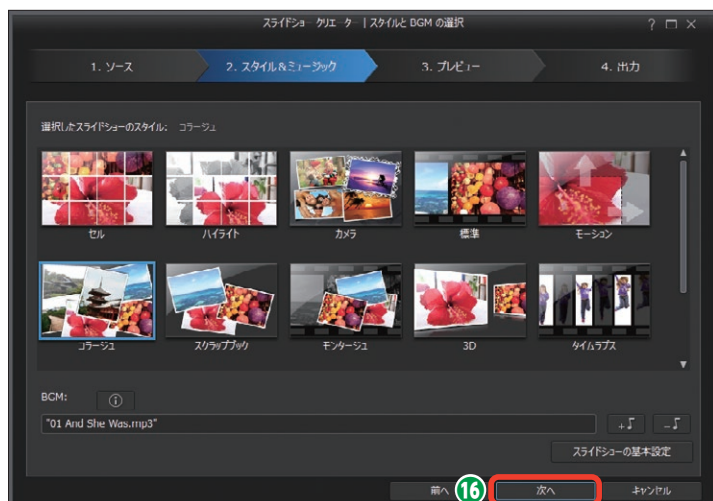
13 「所要時間」で、スライドショーの再生時間を設定します。「音楽に画像を合わせる」にチェックを入れると、BGMの再生時間がスライドショーの再生時間になります。「画像に音楽を合わせる」にチェックを入れると、スライドショーの再生時間に合わせてBGMが調整されます。



14 「順序」では画像の表示順を設定します。「タイムライン順序」にチェックを入れると、[1ソース] (35ページ) で取り込んだ写真の並び順に再生されます。「撮影日/時間」にチェックを入れると、撮影日時の古いものから順に再生されます。

15 「OK」をクリックします。

16 設定が終われば、「次へ」をクリックします。



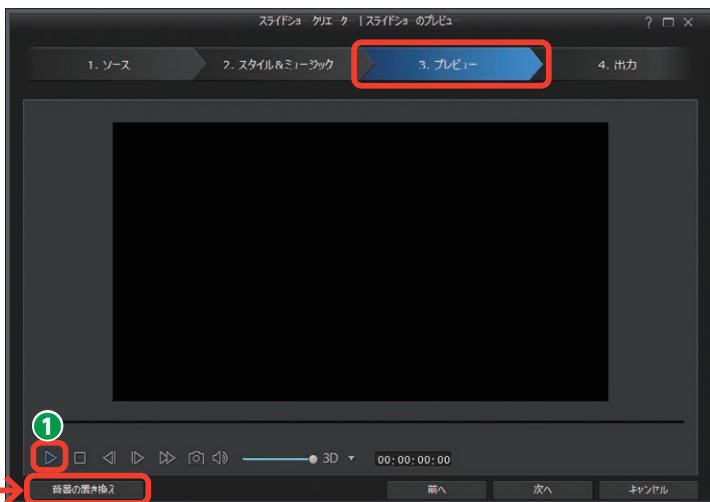
③プレビュー

「プレビュー」では、自動編集されたスライドショーを再生して確認します。また、スライドショーの背景を変更することもできます。ここまでのスライドショー作成で修正したい箇所があれば「前へ」をクリックして、各ステップに戻って調整します。

- ① スライドショーを確認するには、
「再生」をクリックします。

メモ

選択したスタイルによって画面左下に表示されるボタンが異なります。ここでは「背景の置き換え」ボタンが表示されていますが、「カスタマイズ」ボタンのときもあります。その場合は、「スライドショーデザイナー」で各写真の編集ができます。



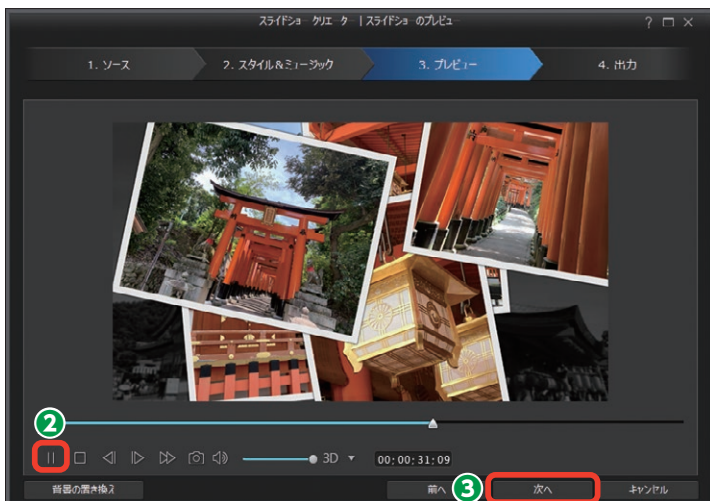
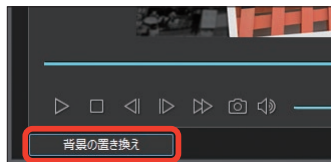
スライドショーが再生されます。

- ② 再生を一時停止するには「一時停止」をクリックします。

- ③ 内容を確認して「次へ」をクリックします。

メモ

「背景の置き換え」をクリックすると、スライドショーの背景に使用されている画像を変更することができます。



④出力

【出力】で、スライドショーが完成します。保存する形式を選択してスライドショーを作り上げましょう。保存形式にはビデオファイルやYouTubeなどのWebサイトにアップロード、DVDやBlu-rayディスクに書き込みなどがあります。

【出力】ステップが表示されます。スライドショーを保存する形式を選択します。

注意

各項目をクリックすると、Power Directorの【タイムラインビデオエディター】画面に切り替わります。なお、各項目を選択すると、ほかの項目に変更することはできません。どの方法でスライドショーを完成させるかきちんと決めてから選択しましょう。



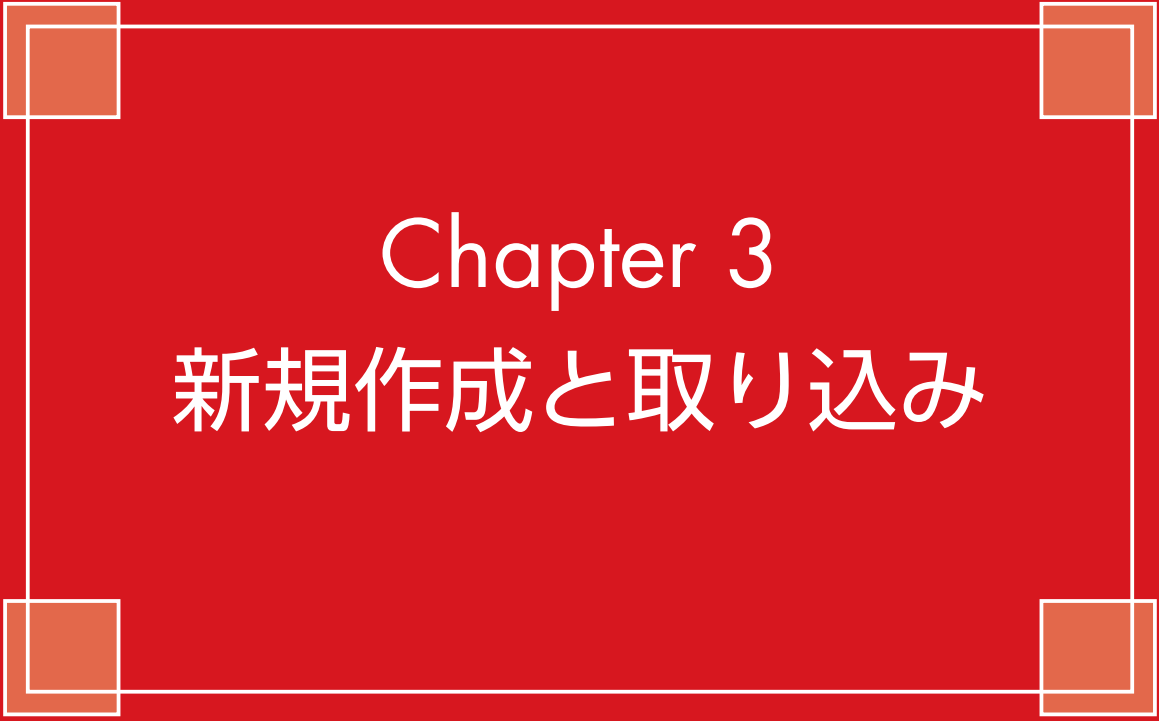
① [動画出力] は、スライドショーをビデオファイルやインターネットにアップロードする場合にクリックします。【タイムラインビデオエディター】の【ファイルを出力】画面に切り替わります。このあとの操作については188ページをお読みください。

② [ディスク作成] では、DVDやBlu-rayディスクに書き込みます。クリックすると、【タイムラインビデオエディター】の【ディスク作成】画面に切り替わります。このあとの操作については194ページをお読みください。

③ [詳細編集] では、自動編集されたスライドショーをさらに編集することができます。クリックすると、【タイムラインビデオエディター】の【編集】画面に切り替わります。このあとの操作については82ページをお読みください。

注意

【スライドショークリエイター】では、作業の途中で保存することができません。【出力】で、各項目をクリックすると表示される【タイムラインビデオエディター】の画面で、【ファイル】メニューから【プロジェクトの保存】をクリックして保存します。



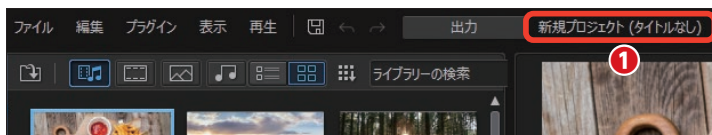
Chapter 3

新規作成と取り込み

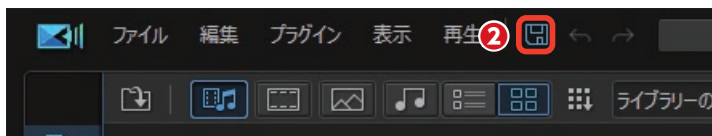
新規プロジェクトの作成と保存

PowerDirectorでは、一連のビデオ編集を「プロジェクト」と呼びます。起動画面で[タイムラインビデオエディター]を選択するとビデオ編集画面が表示されますが、自動で[新規プロジェクト]が作成されていて、すぐにビデオ編集に取りかかれます。

1 [タイムラインビデオエディター]画面のメニューバーに[新規プロジェクト (タイトルなし)]と表示されます。



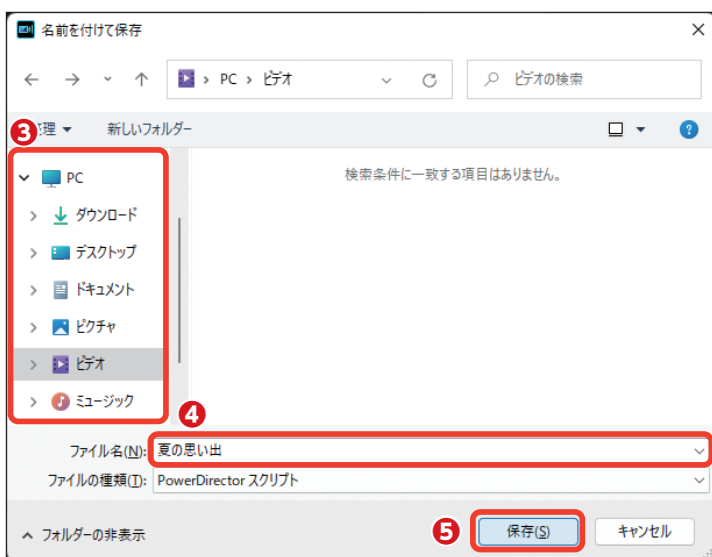
2 プロジェクトを保存するには、[プロジェクトの保存]をクリックします。



3 [名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。プロジェクトファイルを保存する場所を選択します。

4 [ファイル名] にプロジェクトの名前を入力します。保存するファイルは[pds]という拡張子が付きます。

5 [保存] をクリックします。

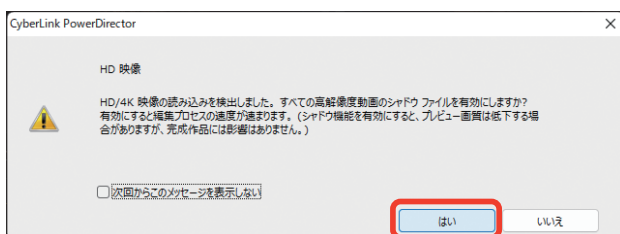


メモ

取り込んだビデオファイルなどをカット編集しても元のビデオファイルがカットされたりすることはありません。

メモ

はじめてHD映像ファイルを読み込んだときに、[HD映像]ダイアログボックスが表示されます。[はい] をクリックするとプレビューウィンドウで映像を確認するときに本来のHD映像の画質より劣りますが、プレビューを行うための映像処理が速くなります。



6 [タイムラインビデオエディター] 画面のメニューバーにプロジェクトファイル名が表示されます。

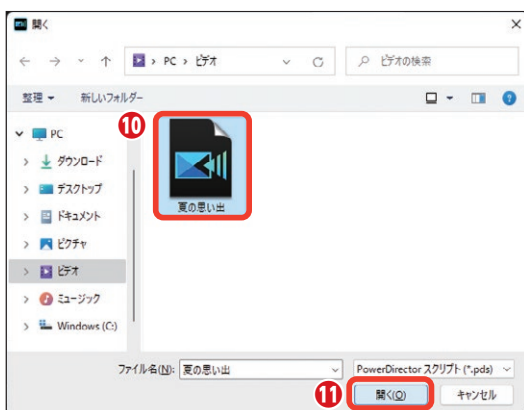
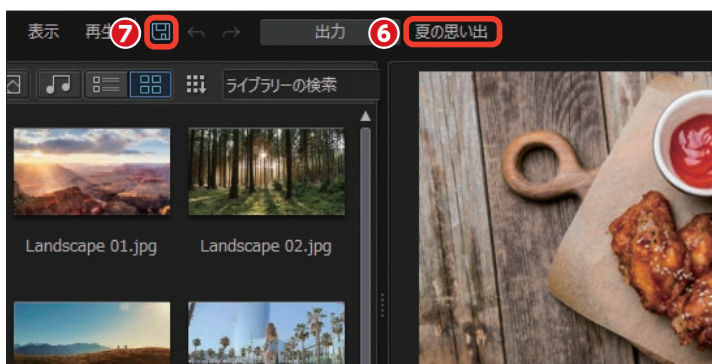
7 ビデオ編集でビデオクリップを配置したり、なにかの編集をしたときは、メニューバーの[プロジェクトの保存]をクリックして、そこまでの編集作業を保存しましょう。

8 保存したプロジェクトファイルを開くには、[タイムラインビデオエディター] 画面で[ファイル]をクリックします。

9 表示されるメニューから[プロジェクトを開く]をクリックします。

10 表示される[開く]ダイアログボックスで、プロジェクトファイルを選択します。

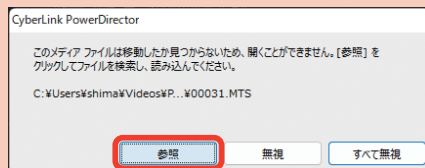
11 [開く]をクリックします。



注意

ビデオ編集で使用しているビデオファイルやミュージックファイルをパソコンの別の場所に移動したときなどは、プロジェクトファイルを開くときに確認のダイアログボックスが表示されます。これはプロジェクトファイルが記録していた場所に使用ファイルが見つからないためです。

[参照] をクリックして、表示される [開く] ダイアログボックスで移動したファイルを選択すると、PowerDirectorに読み込まれます。[無視] や [すべて無視] をクリックすると、それらのファイルはプロジェクトに取り込まれないままプロジェクトファイルが開きます。



プロジェクトパックの作成

プロジェクトファイルは、取り込んだビデオファイルやミュージックファイルをタイムラインに配置した位置やトリミングなどの編集を記録しています。ビデオ編集に使用しているビデオファイルなども一緒にのフォルダーに保管するには、[プロジェクトパック] を作成します。

プロジェクトファイルでは、編集で使用しているビデオファイルなどはパソコンの [ビデオ] フォルダーにある [a.mov] のように、ビデオファイルの保管場所を記録しているだけです。作成したビデオの素材も一緒に保管するにはプロジェクトパックを作成します。プロジェクトパックを作成すると、そのフォルダーを別のパソコンに移動しても、同じ環境でビデオ編集が行えます。

① まず、プロジェクトパックを保存するフォルダーを用意します。プロジェクトパックを保存する場所を Windows エクスプローラーで表示します。ここでは [ビデオ] フォルダーを選択しています。

② [新規作成] をクリックします。

③ [フォルダー] をクリックします。

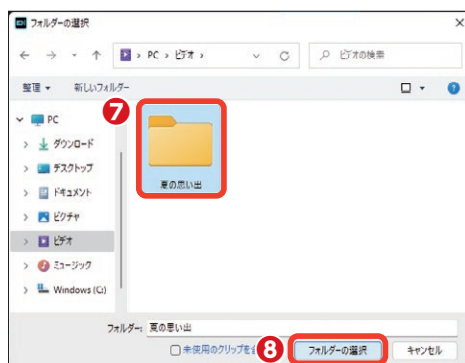
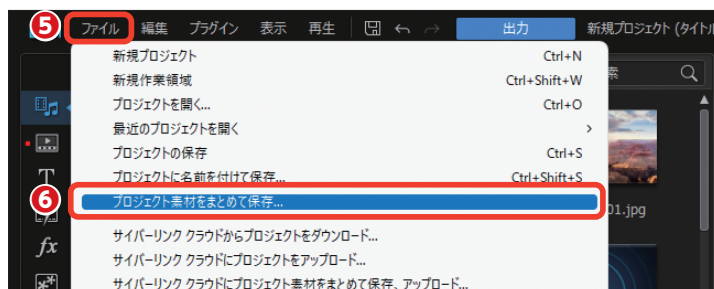
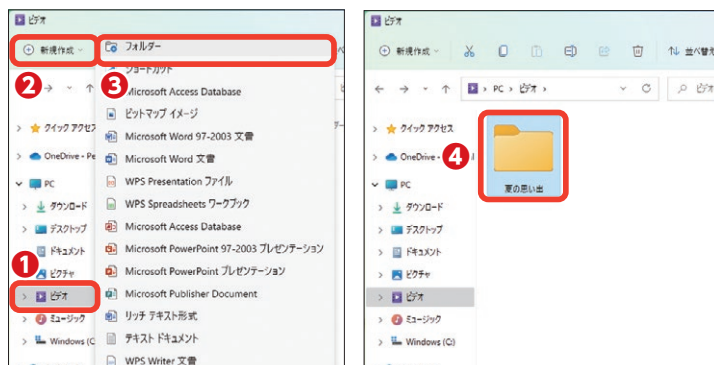
④ 新規に作成されたフォルダーに名前を付けます。ここでは [夏の思い出] にしています。

⑤ [タイムラインビデオエディター] 画面で [ファイル] をクリックします。

⑥ 表示されるメニューから [プロジェクト素材をまとめて保存] をクリックします。

⑦ [フォルダーの選択] ダイアログボックスでフォルダーを選択します。

⑧ [フォルダーの選択] をクリックします。プロジェクトファイルとビデオ編集で使用しているビデオファイルやミュージックファイルなどがフォルダーに保存されます。



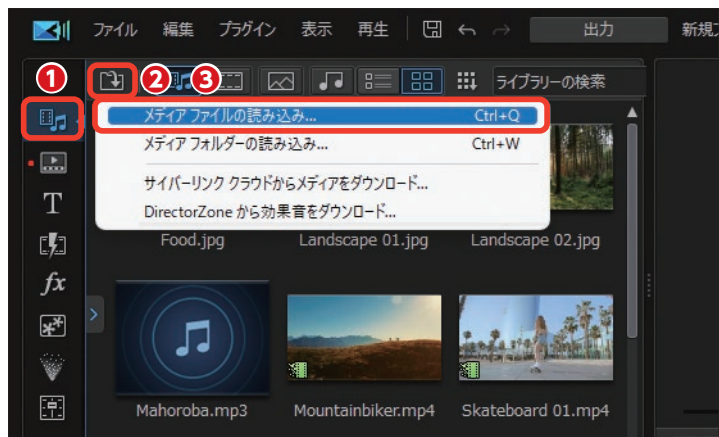
動画や画像、ミュージックファイルの取り込み

パソコンに保存してある動画や画像、ミュージックファイルをPowerDirectorに取り込みます。取り込んだファイルはメディアルームに「クリップ」として取り込まれます。取り込んだ「クリップ」をタイムラインに配置してビデオを編集します。

① ファイルを取り込むには「メディアルーム」をクリックします。

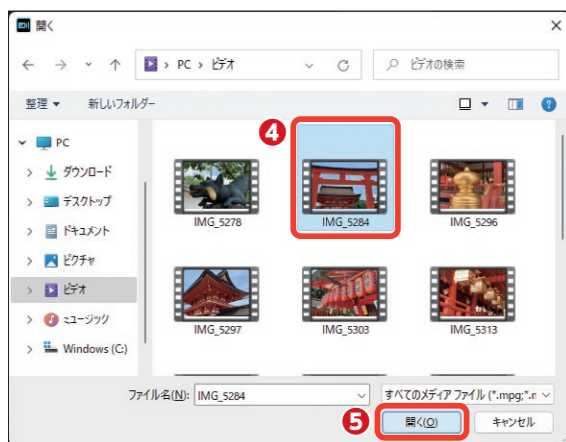
② 「メディアの読み込み」をクリックします。

③ 表示されるメニューから「メディアファイルの読み込み」をクリックします。



④ 「開く」ダイアログボックスが表示されます。ファイルが保存されている場所を選択して、取り込むファイルをクリックします。

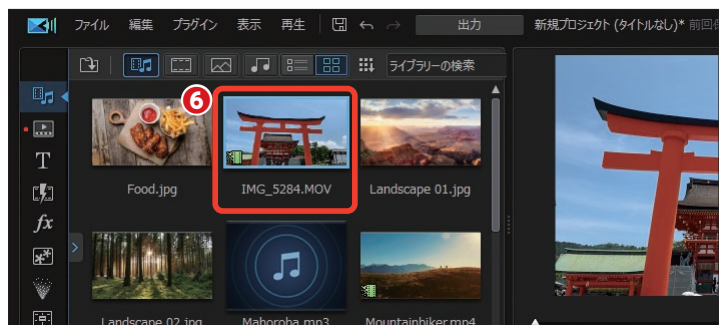
⑤ 「開く」をクリックします。



⑥ 取り込まれたファイルは「メディアルーム」のライブラリに「クリップ」として表示されます。

メモ

PowerDirectorで取り込める動画や画像、ミュージックファイルのファイル形式の詳細は、オンラインヘルプをお読みください。



3

新規作成と取り込み

DVカメラから映像を取り込む

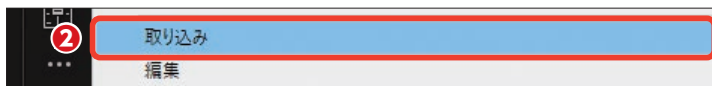
ビデオカメラで撮影した映像をPowerDirectorに取り込みましょう。DVカメラから映像を取り込むには、パソコンにDVカメラをIEEE1394（FireWire）ケーブルで接続します。ビデオテープの映像すべてや映像の一部分だけを取り込むことができます。

DVテープの一部の映像を取り込む

① DVカメラから映像を取り込むには、[ファイル] をクリックします。



② 表示されるメニューから [取り込み] をクリックします。



③ [取り込み] 画面が表示されます。[DVカムコーダーから取り込み] をクリックします。

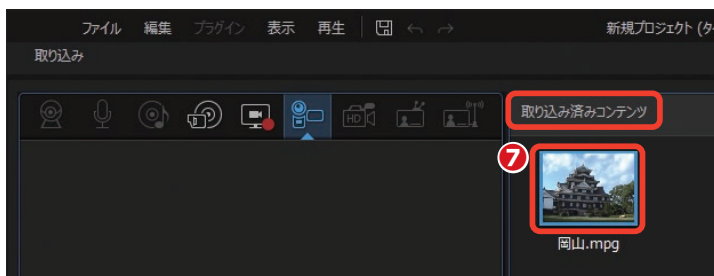


④ DVテープの一部の映像を取り込むには、キャプチャプレイヤーコントロールを使ってプレビューウィンドウに表示された映像で早送りしたり巻き戻したりして、取り込む映像の先頭を表示します。

⑤ [録画] をクリックします。

⑥ 映像のキャプチャが開始されます。必要なシーンの録画ができたら [停止] をクリックします。[取り込んだファイル名] ダイアログボックスが表示されるので、ファイル名を入力して [OK] をクリックします。

⑦ 映像がビデオクリップとして [取り込み済みコンテンツ] に表示されます。また、[メディアルーム] のライブラリにも自動でビデオクリップとして表示されます。

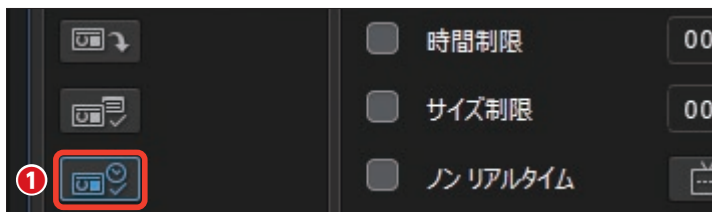


注意

DVカメラの映像をパソコンに取り込むには、パソコンにビデオキャプチャ機能が搭載されているか、別売りのビデオキャプチャボードやビデオキャプチャボックスを用意する必要があります。

DVテープのすべての映像を取り込む

1 DVテープのすべての映像を取り込むには、[取り込みの基本設定]にある[自動一括取り込みを実行]をクリックします。



2 [クイックスキャン] ウィンドウが表示されます。DVテープを巻き戻すには、[巻き戻し]をクリックします。



3 [開始] をクリックします。

メモ

PowerDirectorで取り込める動画や画像、ミュージックファイルのファイル形式の詳細は、オンラインヘルプをお読みください。

4 映像が切り替わるシーンごとに分割されたサムネイルが表示されます。

5 取り込みに不要なシーンはチェックマークをはずします。

6 [開始] をクリックすると、テープが自動で巻き戻り、チェックを入れているシーンの取り込みがはじまります。最後のシーンの取り込みが終わると[完了]画面が表示されるので、[完了] をクリックします。[取り込み済みコンテンツ] にシーンごとに分割されたビデオが取り込まれます。



3

新規作成と取り込み

AVCHDカメラから映像を取り込む

AVCHDカメラから映像を取り込むには、USBケーブルでパソコンと接続します。AVCHDカメラを外付けドライブと同じように操作して、映像を動画ファイルとして取り込みます。AVCHDカメラとパソコンの接続方法はビデオカメラの説明書をご覧ください。

① AVCHDカメラから映像を取り込むには、[メディアルーム] をクリックします。

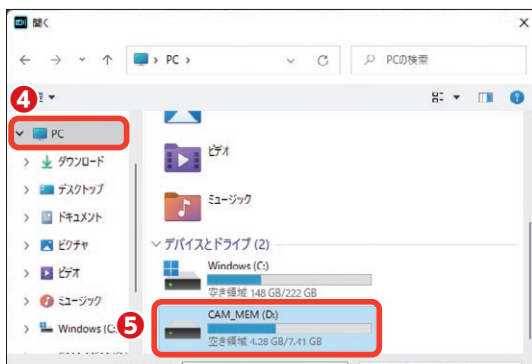
② [メディアの読み込み] をクリックします。

③ 表示されるメニューから [メディアファイルの読み込み] をクリックします。

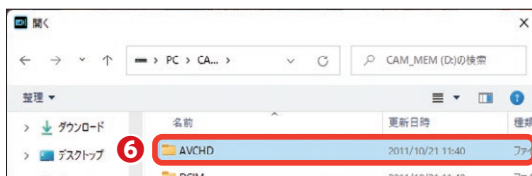


④ [開く] ダイアログボックスが表示されます。[PC] をクリックします。

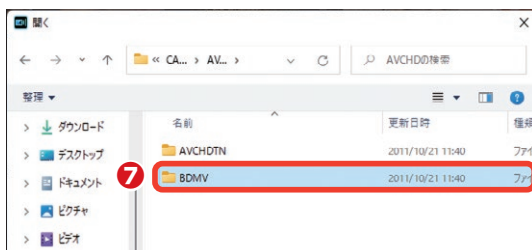
⑤ AVCHDカメラはパソコンにドライブとして認識されます。[デバイスとドライブ] に表示されるAVCHDカメラのアイコンをダブルクリックします。



⑥ AVCHDカメラのフォルダーが開きます。[AVCHD] をダブルクリックします。



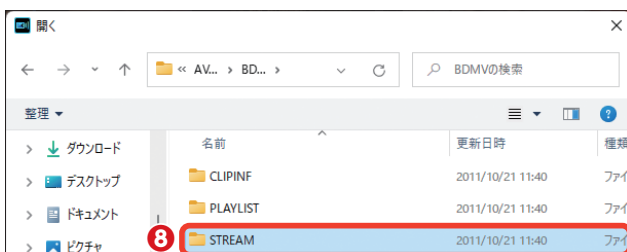
⑦ [AVCHD] フォルダーが開きます。[BDMV] をダブルクリックします。



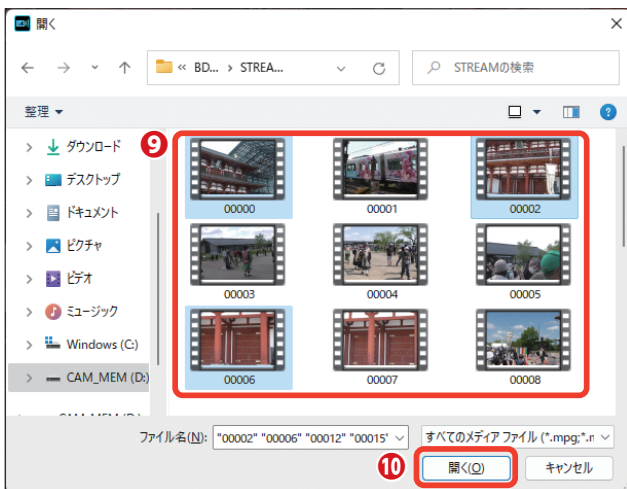
メモ

[取り込み] 画面から、AVCHDカメラのシーン（タイトル）ごとに映像を取り込む方法もあります。詳しくは、50ページの[メモ]をお読みください。

- ⑧ [BDMV] フォルダーが開きます。
[STREAM] をダブルクリックします。



- ⑨ AVCHDカメラで撮影した映像が
動画ファイルとして表示されます。
[Ctrl] + [A] キーを押すと、すべ
ての映像を選択できます。必要な
ファイルを選択するには、[Ctrl] キー
を押しながら各ファイルをクリック
します。



- ⑪ [メディアルーム] のライブラリ
にビデオクリップとして取り込まれ
ます。



DVDディスクやAVCHDからの映像の取り込み

DVDディスクの映像を取り込むには、DVDドライブにDVDディスクをセットします。なお、著作権保護機能が搭載された市販のDVDディスクなどからは映像を取り込むことはできません。また、取り込めてもそれらの映像を使用した作品は家庭で楽しむ範囲に限られます。

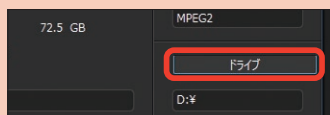
① DVDディスクから映像を取り込むには次ページの手順①、②を参考にして[取り込み]画面を表示します。

② [外部または光学デバイスから取り込み] をクリックします。

③ DVDディスクの内容が表示されます。ディスクの映像すべてを取り込むには[取り込みの基本設定]の[動画] にチェックを入れます。複数のタイトルから必要なタイトルのみを取り込むには、各[タイトル] にチェックを入れます。

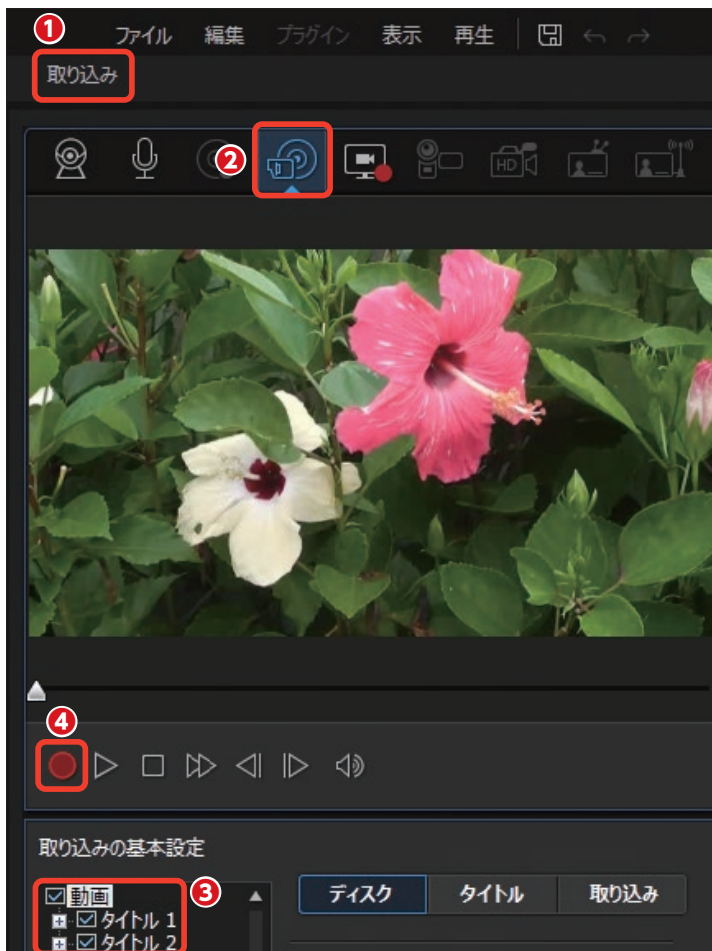
注意

取り込み元の内容が表示されない場合は、画面右下の[ドライブ] ボタンをクリックして、取り込むドライブを指定してください。



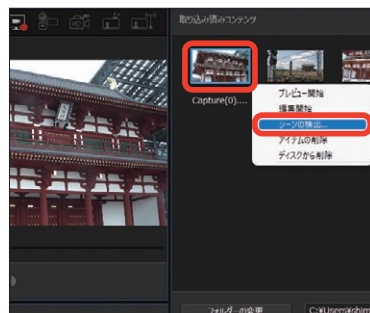
④ [録画] をクリックします。取り込みが終了すると、[取り込んだファイル名] ダイアログボックスが表示されます。ファイル名を入力して[OK] をクリックします。

映像がビデオクリップとして[取り込み済みコンテンツ]に表示されます。また、[メディアルーム]のライブラリにも自動でビデオクリップとして表示されます。



メモ

AVCHDカメラからシーンごとに映像を取り込むこともできます。AVCHDカメラをパソコンに接続し、このページの取り込みと同様の操作をします。取り込んだクリップを右クリックして、表示されるメニューから[シーンの検出]をクリックします。



Webカメラからの映像の取り込み

PowerDirectorではWebカメラを使って映像や音声を取り込むことができます。Webカメラをパソコンに接続します。また、ノートパソコンなどに搭載されているカメラ機能を使って映像や音声を取り込むこともできます。

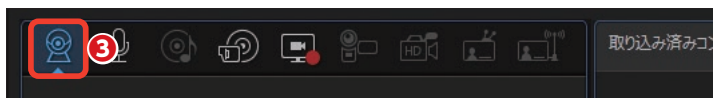
① Webカメラから映像を取り込むには「ファイル」をクリックします。



② 表示されるメニューから「取り込み」をクリックします。



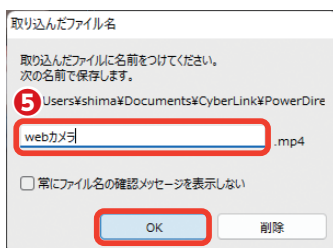
③ 「Webカメラから取り込み」をクリックします。



④ 「録画」をクリックします。録画が終われば、もう一度赤いボタンをクリックします。



⑤ 録画が終了して、「取り込んだファイル名」ダイアログボックスが表示されます。ファイル名を入力して、「OK」をクリックします。「取り込み済みコンテンツ」にビデオが取り込まれます。



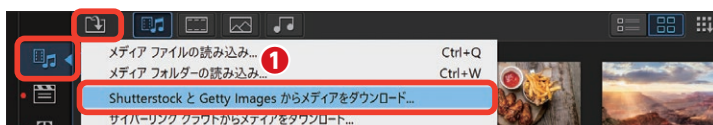
⑥ メイン画面に戻るには「取り込み」の「×」をクリックします。



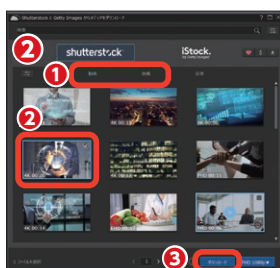
フリー素材のダウンロード

365 DS365

① フリー素材の動画や写真を使うには「メディアルーム」の「メディアの読み込み」をクリックし、表示されるメニューから「ShutterstockとGetty Imagesからメディアをダウンロード」をクリックします。



② 表示されるウィンドウから素材を取り込みます。



① [動画]か[画像]のジャンルを選択します。
② 素材をクリックします。
③ 「ダウンロード」をクリックします。
ダウンロードした素材ファイルは、「メディアルーム」の「ダウンロード完了」に表示されます。

3

新規作成と取り込み

360度ビデオを編集しよう

PowerDirectorでは、360度ビデオカメラで撮影した360度ビデオファイルを読み込み、編集して360度ビデオとして保存でき、360度見渡せるビデオをYouTubeなどにアップロードできます。また、通常の2Dビデオ編集でのビデオ素材として利用することもできます。

360度ビデオの作成

360度ビデオカメラで撮影した映像は、正距円筒図法（エクワイレクタングラー形式）に対応したビデオファイルとして保存しておきます。ファイルの作成方法については、各360度ビデオカメラのマニュアルを参考にしてください。

PowerDirectorを起動します。

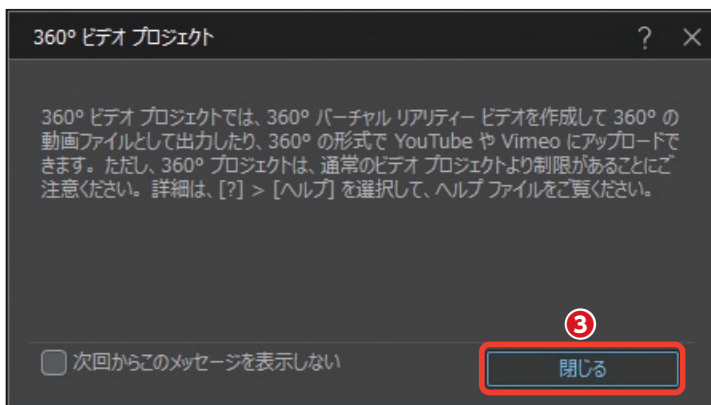
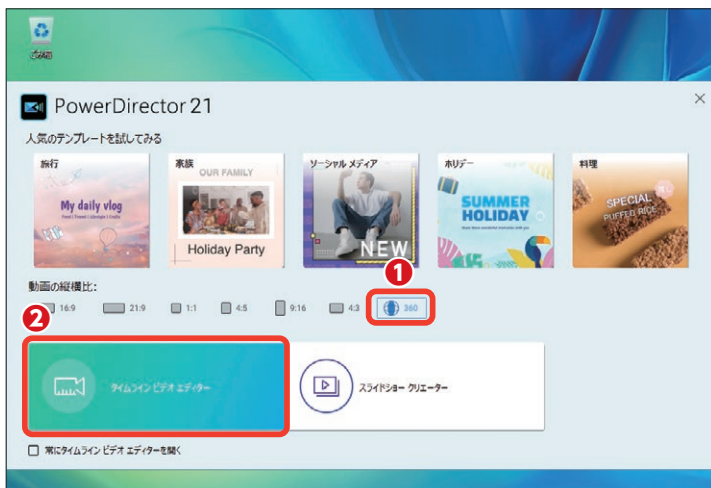
① [動画の縦横比] で、[360] をクリックします。

② [タイムラインビデオエディター] をクリックします。

③ [360°ビデオプロジェクト] ウィンドウが表示されます。[閉じる] をクリックします。

注意

画面に書かれているように、360度のビデオ編集では、扱うビデオファイルが特殊なため、[タイムラインビデオエディター] での編集に使用する機能の一部が使えないことがあります。どの機能が使用できないかについては、オンラインマニュアルをご覧ください。



360度ビデオの取り込み

① [メディアルーム] をクリックします。

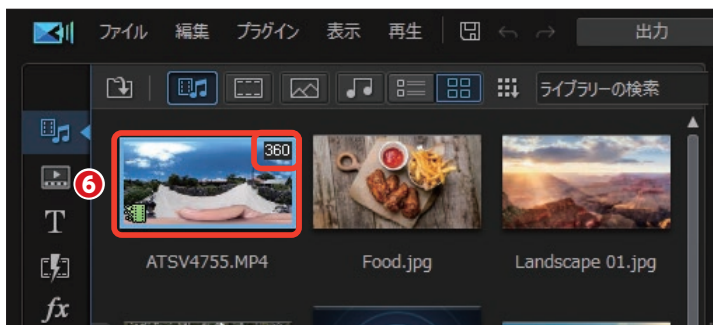
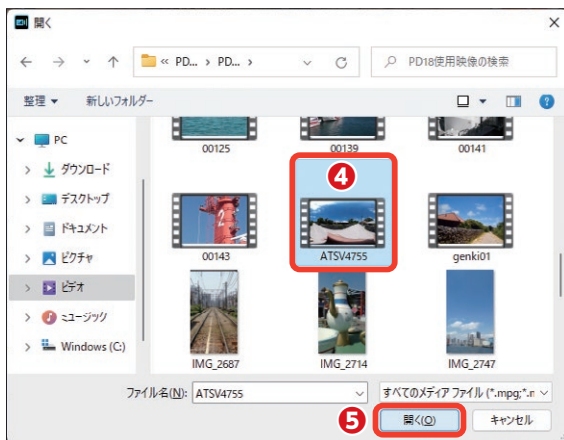
② [メディアの読み込み] をクリックします。

③ 表示されるメニューから [メディアファイルの読み込み] をクリックします。

④ [開く] ダイアログボックスが表示されます。360度ビデオファイルが保存されている場所を選択して、取り込むファイルをクリックします。

⑤ [開く] をクリックします。

⑥ 取り込まれた360度ビデオファイルは [メディアルーム] のライブラリに [クリップ] として表示されます。360度ビデオクリップには、クリップの右上に「360」と表示されます。



3

新規作成と取り込み

メモ

360度ビデオの手ぶれ補正ができます。360度ビデオクリップをタイムラインに配置して選択し、[補正/強調] をクリックし、[補正] の [ビデオスタビライザー (手ぶれ補正)] にチェックを入れます。

360度ビデオの編集

① 360度ビデオクリップをタイムラインにドラッグします。

② [360°ビデオプロジェクトを作成] をクリックします。



③ [360°ビューアモードを有効にする] をクリックします。



④ [プレビューウィンドウ] が360度ビューに切り替わります。画面をマウスでドラッグすると360度の映像が確認できます。

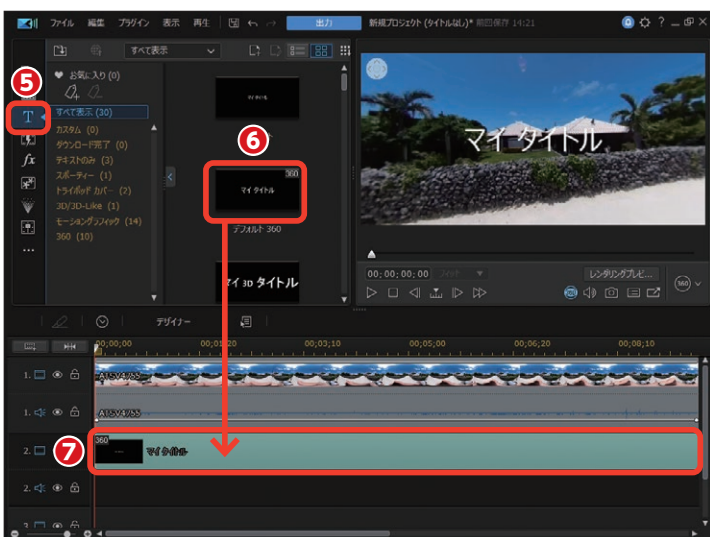
360度ビデオの編集を行います。編集についてはChapter5「編集」をお読みください。



⑤ 360度ビデオにゆがまずになめらかに表示されるタイトルを作成できます。360度タイトルを作成するには、[タイトルルーム] をクリックします。

⑥ [デフォルト360] をタイムラインのビデオトラックにドラッグします。

⑦ 配置されたタイトルクリップをダブルクリックします。



8 [タイトルデザイナー] ウィンドウが表示されます。「マイタイトル」の文字を選択し、タイトルを入力します。

9 [フォント/段落] や [フォント]、[境界線]、[シャドウ]などで、タイトルを整えます。タイトルの入力方法は「Chapter7タイトル」をお読みください。

10 タイトルが作成できたら、[OK]をクリックします。



3

新規作成と取り込み

360度ビデオの出力

1 ビデオの編集が終わったら、[出力]をクリックします。



2 [出力] 画面が表示されます。作成した360度ビデオを保存したりYouTubeなどにアップロードできます。360度ビデオファイルとして保存するには、[360°動画]をクリックします。ビデオは「H.264 AVC」または「H.265 HEVC」の「MP4」形式で保存できます。保存方法は189ページをお読みください。

3 YouTubeなどにアップロードするには[オンライン]をクリックします。アップロード方法は192ページをお読みください。



メモ

YouTubeなどにアップロードした360度ビデオや、作成した360度ビデオファイルをPowerDVD 22 Ultraで再生すると、360度ビデオとしてドラッグして楽しめます。

360度ビデオの2D変換

360度ビデオクリップを2Dの画面で編集することができます。この場合は360度見渡せる映像ではなく、レビューウィンドウに表示される映像のみのビデオになります。

① [タイムラインビデオエディター]
画面で、53ページと同様にして360度ビデオクリップを読み込んで、タイムラインにドラッグします。[360°の動画がタイムラインに追加されています]と表示されたら、[2D]をクリックします。

② [ビューデザイナー] ウィンドウが表示されます。

3 プレビューウィンドウをマウスでドラッグして、360度ビデオから表示する映像を決定します。

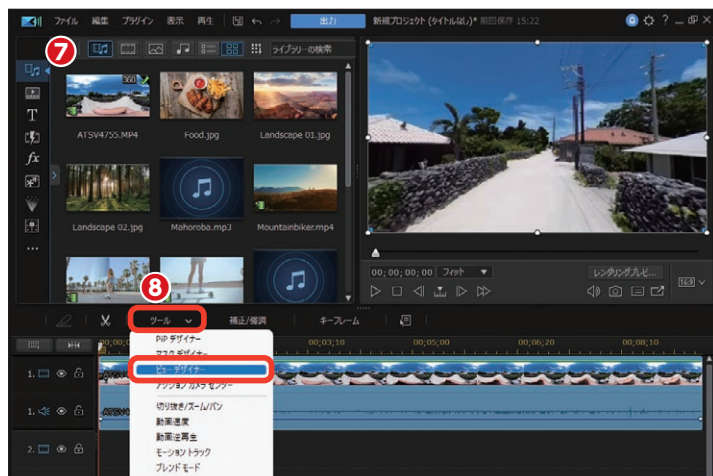
4 表示する映像は「表示の方向」の各スライダーをドラックして決定することもできます。

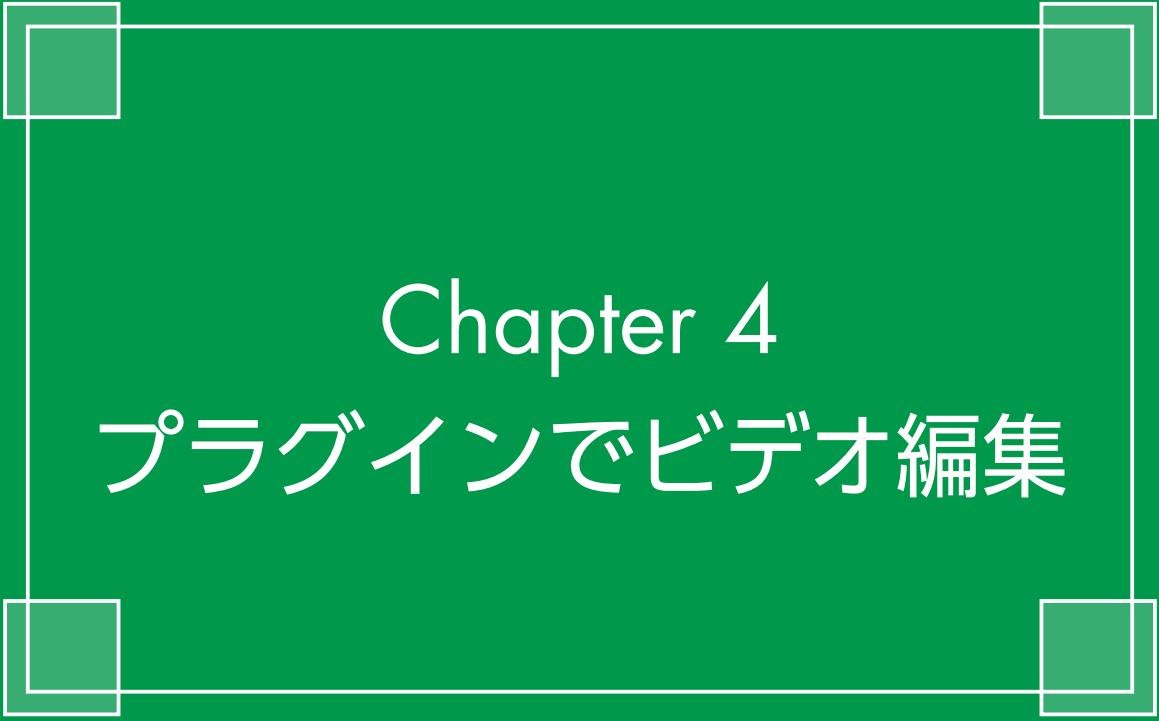
5 [拡大/縮小] ではスライダーをドラッグして、表示する映像範囲を選択できます。

⑥ [OK] をクリックします。

7 [タイムラインビデオエディター]の画面に戻ります。映像は一方向から見たビデオになります。

⑧ 360度ビデオの表示映像を再修正するには、クリップをクリックして、[ツール] から [ビューデザイナー] をクリックします。





Chapter 4

プラグインでビデオ編集

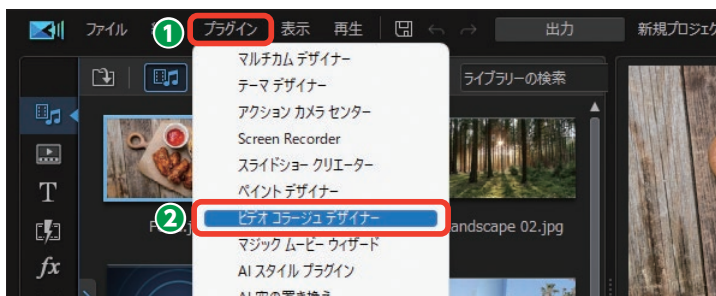
ビデオコラージュ

【ビデオコラージュ】では、分割した画面に複数のビデオクリップを表示して、同時に再生したり、時間をずらして再生したりなど、画面を分割した映像の再生や複数のビデオクリップを同時に再生する、プロ並みの編集が簡単に行えます。

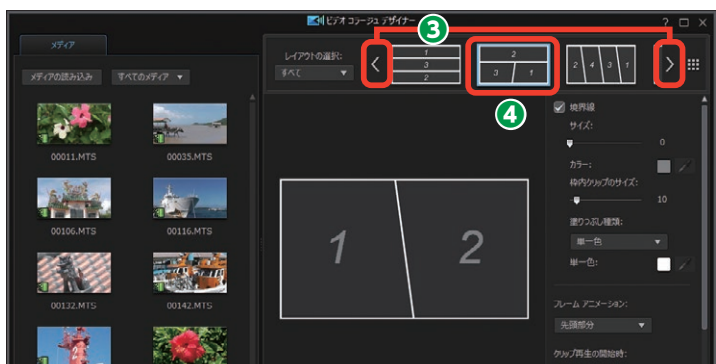
素材を並べる

① 【ビデオコラージュ】を使用するには、【プラグイン】をクリックします。

② 表示されるメニューから【ビデオコラージュデザイナー】をクリックします。



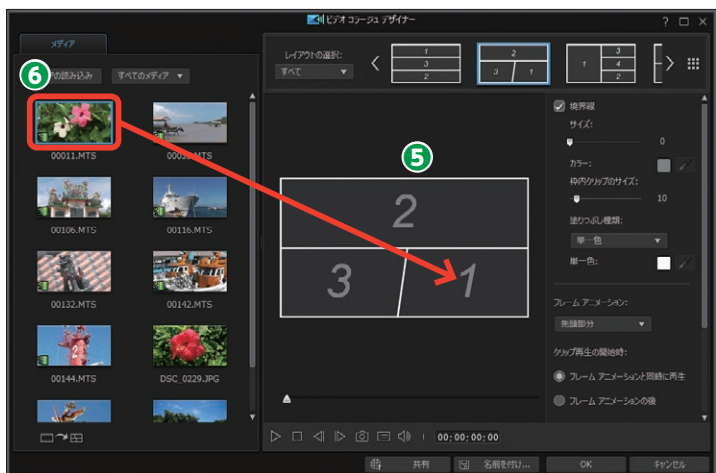
③ 【ビデオコラージュデザイナー】ウィンドウが表示されます。【レイアウトの選択】の【<】や【>】をクリックして、好みのレイアウトを表示します。



④ レイアウトをクリックします。

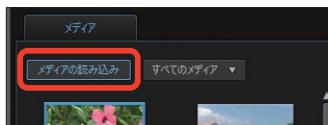
⑤ レイアウトが選択されます。レイアウトには、ビデオクリップが再生される順の番号が表示されます。

⑥ メディアライブラリーから使用するビデオクリップをドラッグします。

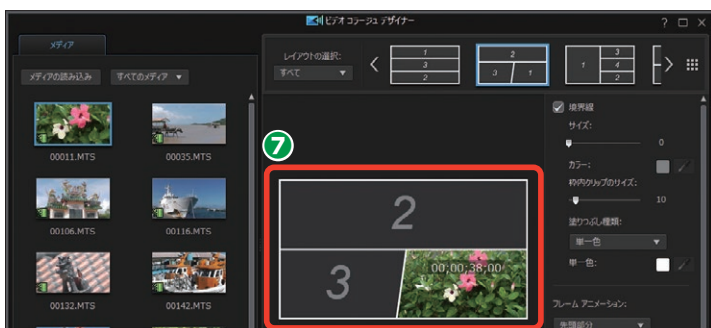


メモ

ビデオや画像クリップは、【メディアの読み込み】をクリックして、表示される【開く】ダイアログボックスからファイルを選択しておきます。



⑦ ビデオクリップが配置されます。
同様に他のビデオクリップを配置します。



4

プラグインでビデオ編集

ビデオクリップを調整する

① 各ビデオクリップにマウスカーソルを移動すると、[トリミング] アイコンが表示されます。[トリミング] アイコンをクリックすると表示される [トリミング] ウィンドウで、ビデオクリップの再生時間を調整できます。

② レイアウトに配置したすべてのビデオクリップの音声再生が再生されます。不要な音声は、ビデオクリップに表示される [音声] アイコンをクリックすると、消音になります。元に戻すには、もう一度 [音声] アイコンをクリックします。



③ [境界線] にチェックを入れると、ビデオクリップ間に境界線が表示されます。

④ [サイズ] をドラッグして、境界線の太さを設定します。

メモ

ビデオクリップ間の境界線にマウスカーソルを合わせると、両矢印のアイコンになります。この状態で上下左右にドラッグすると、ビデオクリップの表示サイズを調整できます。



5 [カラー] をクリックして、表示される [カラー] ウィンドウで、境界線の色を選択します。



6 [フレームアニメーション] の [▼] をクリックして、フレームアニメーションを再生する位置を設定します。[先頭部分] では、ビデオクリップの再生時の先頭にアニメーションが再生されます。[終了部分] では、ビデオクリップが再生された後にアニメーションが表示されます。[オフ] を選択すると、アニメーションは再生されません。



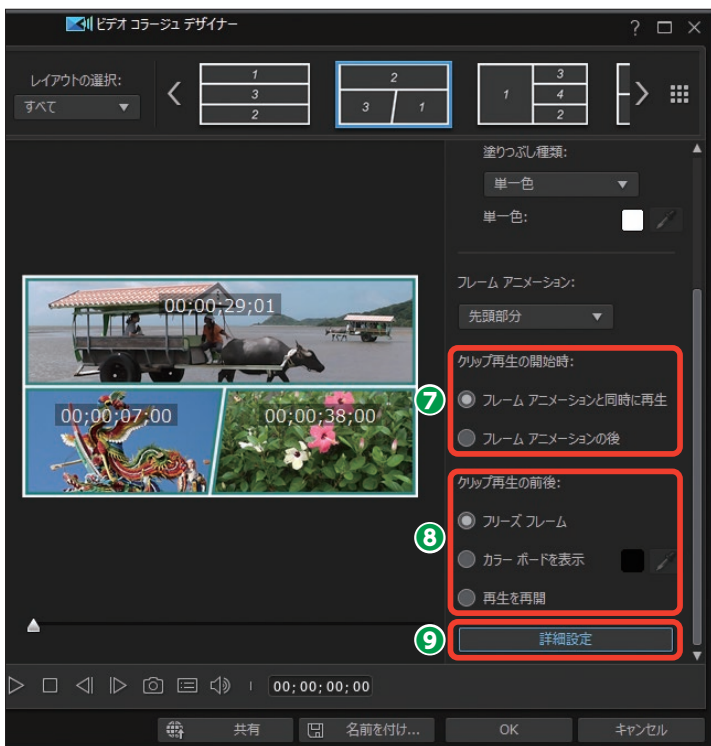
メモ

[フレームアニメーション] とは、選択したフレームのように画面が分割していく様子をアニメーションにした効果のことです。

7 [クリップ再生の開始時] では、ビデオクリップがレイアウトの表示位置に移動するフレームアニメーションを表示してからビデオクリップの再生を開始するか、フレームアニメーションと同時に再生を開始するかを設定できます。

8 次のページで設定する [再生タイミング] で、ビデオクリップを同時に再生しない設定にした場合、再生が開始されるまでや、再生終了後のビデオクリップの表示方法を [クリップ再生の前後] で設定します。ビデオクリップの先頭映像を表示しておくには [フリーズフレーム] に、単色表示にしておくには [カラーボードを表示] に、再生を繰り返すには [再生を再開] にチェックを入れます。

9 各ビデオクリップの再生方法を設定するには、[詳細設定] をクリックします。



詳細を設定する

[詳細設定]ウィンドウが表示されます。

① [再生タイミング] では、ビデオクリップの再生順序を設定します。

A [すべて同時に再生] 配置したすべてのビデオクリップの再生が同時に開始されます。

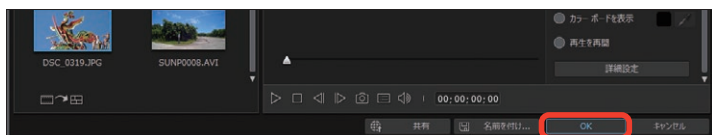
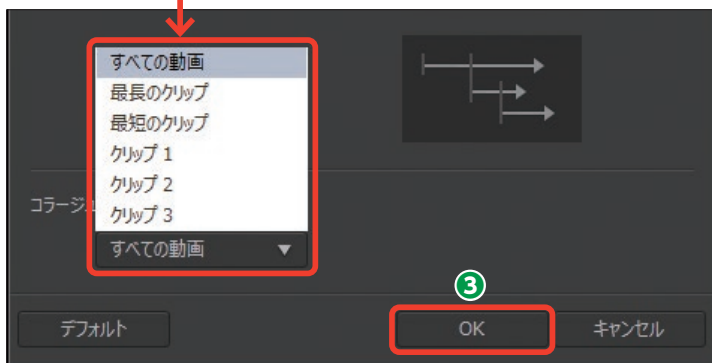
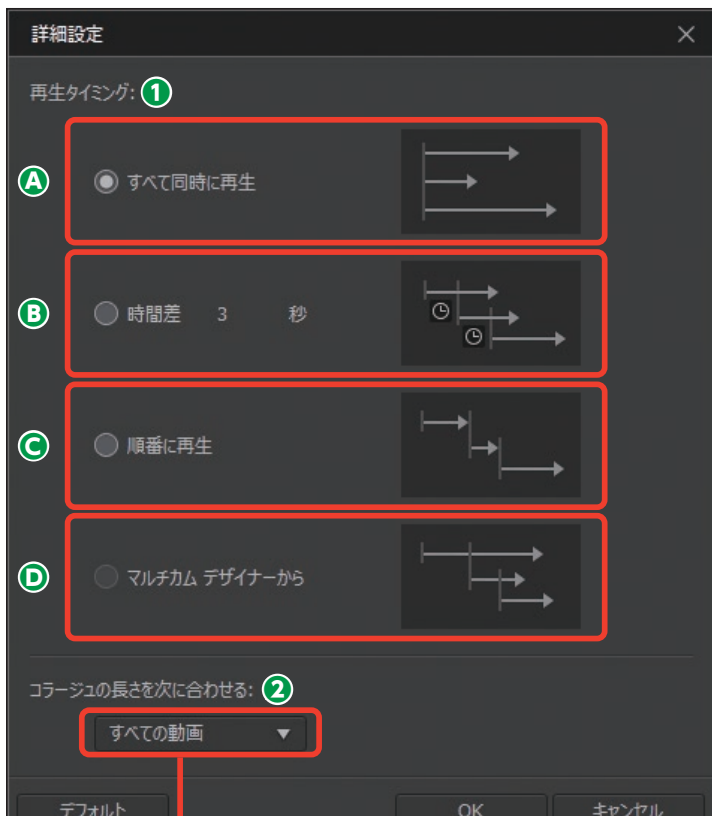
B [時間差] 配置したビデオクリップが順に設定した時間後に再生されます。[時間差] は数字をクリックして設定します。

C [順番に再生] ひとつのビデオクリップの再生が終わると、次のビデオクリップの再生が開始されます。

D [マルチカムデザイナーから] マルチカムデザイナーで編集したビデオで [出力先] を [ビデオコラージュ] にした場合に選択します。

② ビデオクリップの再生時間を設定するには、[コラージュの長さを次に合わせる] の [▼] をクリックします。[最長のクリップ] では、一番長いクリップの再生時間になります。[最短のクリップ] では、一番短いクリップの再生時間になります。各クリップの再生時間に合わせるには、そのクリップの番号をクリックします。

③ [OK] をクリックして [ビデオコラージュデザイナー] に戻り、[OK] をクリックしてビデオコラージュを適用します。



アクションカメラセンター

【アクションカメラセンター】は、アクションカメラで撮影した映像の歪みや光量、手振れを補正する機能です。アクションカメラは臨場感溢れるビデオを撮影できますが、ビデオカメラに劣る部分もあります。それらを補正することで、さらに素晴らしいビデオに仕上がります。

【アクションカメラセンター】を開く

① 【アクションカメラセンター】を使用するには、メディアライブラリーにビデオを取り込んで、取り込んだビデオクリップを選択します。

② 【プラグイン】をクリックします。

③ 表示されるメニューから【アクションカメラセンター】をクリックします。



映像の自動補正

① 【アクションカメラセンター】ウィンドウが表示されます。

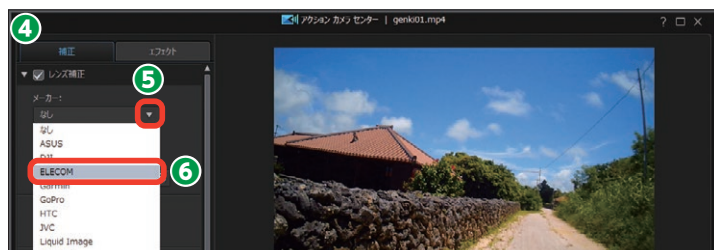
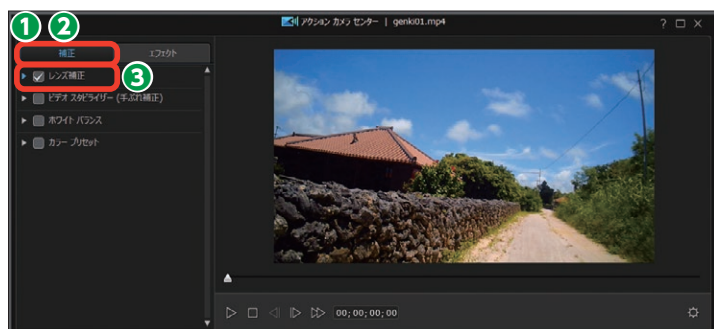
② 映像を補正するには【補正】をクリックします。

③ 映像の歪みを補正するには【レンズ補正】にチェックを入れて、[▶]をクリックします。

④ 設定画面が表示されます。

⑤ 【メーカー】の[▼]をクリックします。

⑥ 表示されるメニューから、撮影したアクションカメラを選択します。



⑦ [モデル] の [▼] をクリックします。

⑧ 表示されるメニューから、撮影したアクションカメラの機種名を選択します。

⑨ アクションカメラの機種に最適な補正が自動で行われます。

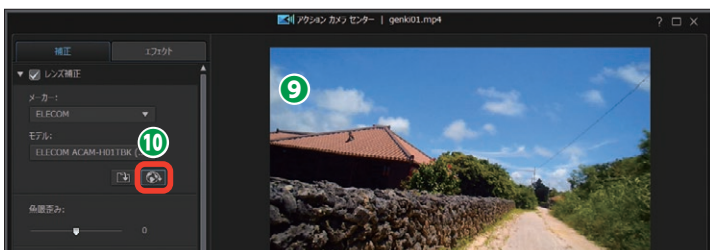
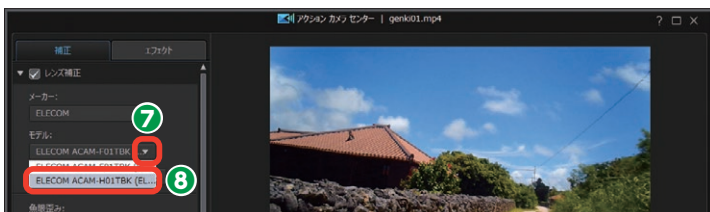
⑩ 使用したアクションカメラ名が見つからなかったときは、[レンズプロファイルのダウンロード] をクリックします。

⑪ Webブラウザが起動して、[DirectorZone] の [アクションカメラのレンズ補正プロファイル] ページが表示されます。お使いのアクションカメラの [ダウンロード] をクリックします。

⑫ Webブラウザに表示される [ファイルを開く] をクリックします。インストールの確認ダイアログボックスが表示されたら [OK] をクリックします。

⑬ [レンズプロファイルの読み込み] をクリックします。表示される [開く] ダイアログボックスでダウンロードしたファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックします。

手順⑦と⑧と同様にして、[メーカー] と [モデル] をダウンロードしたカメラに設定します。



メモ

ダウンロードしたファイルは、デフォルトでは [ダウンロード] フォルダに保存されます。



メモ

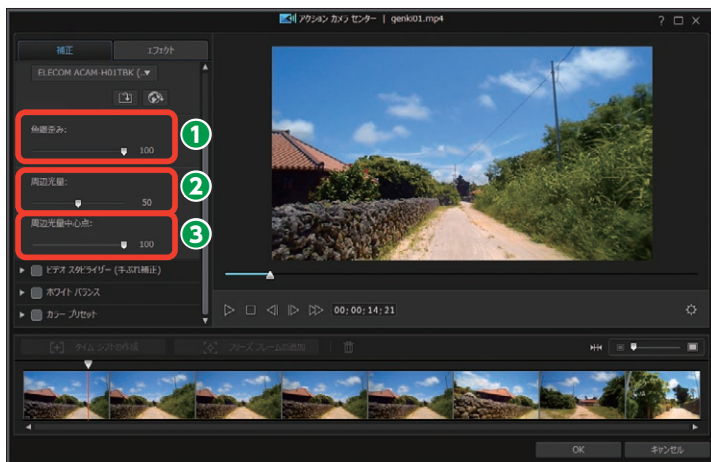
[DirectorZone] からダウンロードするには、まず [DirectorZone] に登録しておく必要があります。[DirectorZone] に登録するには、206ページをお読みください。

映像の手動補正

① レンズ補正は、手で調整できます。歪みを調整するには、[魚眼歪み] のスライダーをドラッグします。右にドラッグすると、丸い歪みがなくなります。

② [周辺光量] のスライダーをドラッグすると、周りの光量を補正できます。

③ [周辺光量中心点] のスライダーをドラッグすると、周りの光量の適用部分を調整できます。左にドラッグすると、中央に向かって大きくなり、右にドラッグすると、端に向かって小さくなります。



手ぶれ補正

アクションカメラを三脚を使わずに撮影した場合は、[手ぶれ補正] をかけるとブレが補正されます。

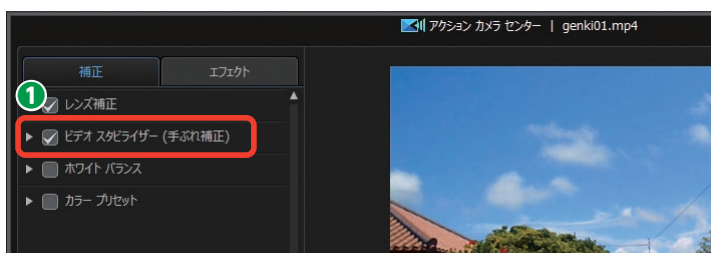
① 手ぶれを補正するには [ビデオスタビライザー] にチェックを入れて [▶] をクリックします。

② 設定画面が表示されます。

③ [強度] のスライダーをドラッグします。数値を大きくすると、手ぶれ補正が強くなります。

④ [回転ブレ補正] にチェックを入れると、カメラが左右に回転する映像を補正します。

⑤ [拡張スタビライザー (手ぶれ補正) を使う] にチェックを入れると、強力な手ぶれ補正が行われます。



注意

[拡張スタビライザー (手ぶれ補正) を使う] を有効にしてメイン画面でプレビューするには高いマシンパワーを必要とします。なめらかにプレビューできない場合は、[プレビュー画質/ディスプレイオプションの設定 (→P.24の⑭)] で [ノンリアルタイムプレビュー] にします。

ホワイトバランスの補正

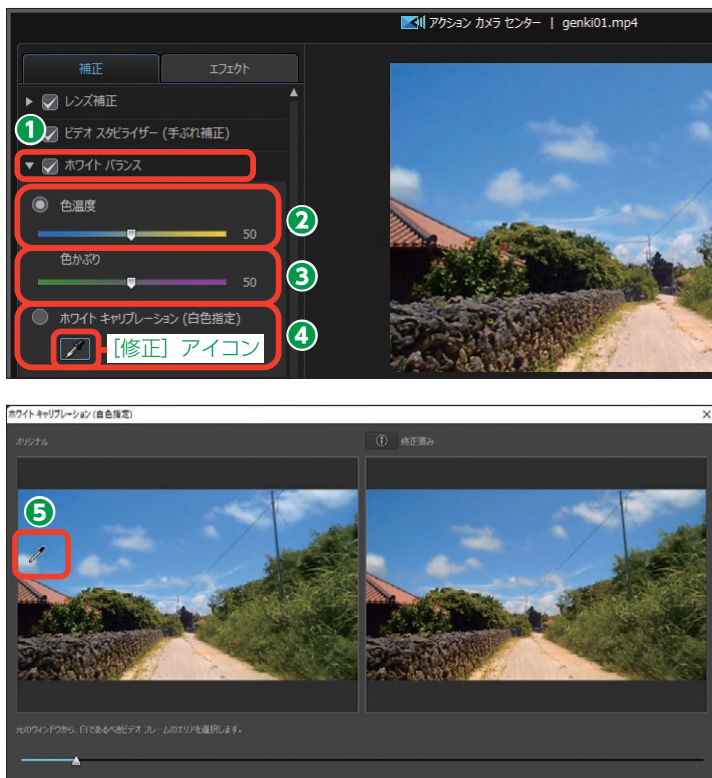
① ホワイトバランスを補正するには、[ホワイトバランス] にチェックを入れて [▶] をクリックします。

② 色味を調整するには、[色温度] にチェックを入れてスライダーをドラッグします。数値を大きくすると暖色に、小さくすると寒色になります。

③ 色かぶりを調整するには [色かぶり] のスライダーをドラッグします。

④ 白味を調整するには、[ホワイトキャリブレーション] にチェックを入れ、[修正] をクリックします。

⑤ 表示される [ホワイトキャリブレーション] ウィンドウで、映像の本来白色の部分をクリックします。白味が修正された映像が右画面に表示されます。[OK] をクリックします。



4

プラグインでビデオ編集

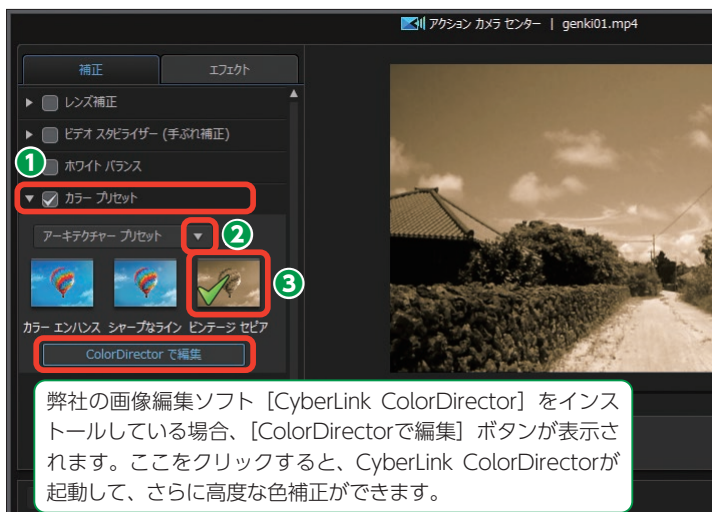
カラープリセット

[カラープリセット] では、いろいろな色味を設定したカラープリセットをビデオクリップに適用できます。

① カラープリセットを適用するには、[カラープリセット] にチェックを入れて [▶] をクリックします。

② カラープリセットの [▼] をクリックして、カラープリセットのジャンルを選択します。

③ 表示されたカラープリセットをクリックすると、映像に適用されます。



リピート再生

【リピート再生】は、クリップの指定した範囲を繰り返し再生します。繰り返す映像をカットしていくつも並べて編集する手間が省け、効率よく作業できます。

① [エフェクト] をクリックします。

② [タイムシフトエフェクト] の [▶] をクリックします。

③ 設定画面が表示されます。繰り返し再生するクリップの先頭にスライダーをドラッグします。

④ [タイムシフトの作成] をクリックします。

⑤ タイムシフトを設定する範囲が黄色の枠で表示されます。

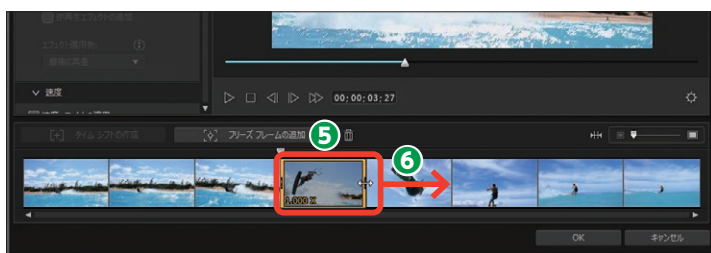
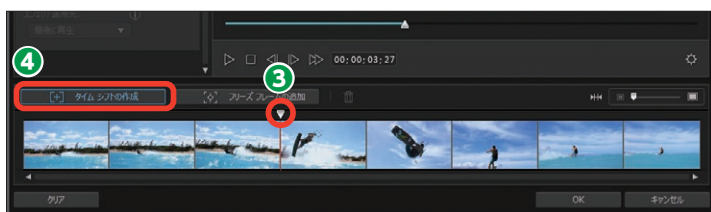
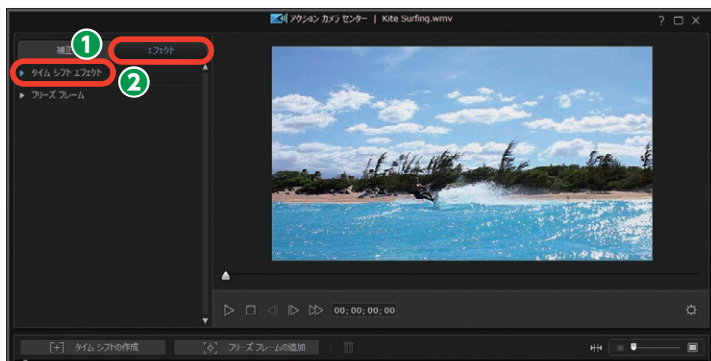
⑥ 黄色の枠の端にマウスポインターを移動して、枠をドラッグするとタイムシフトの範囲を調整できます。

⑦ [リピート再生] の [>] をクリックします。

⑧ [リピート再生と逆再生の適用] にチェックを入れます。

⑨ 繰り返す回数を [再生回数] の数値に入力します。

⑩ リピート再生する映像の先頭にスライダーを移動して [再生] をクリックし、効果を確認します。



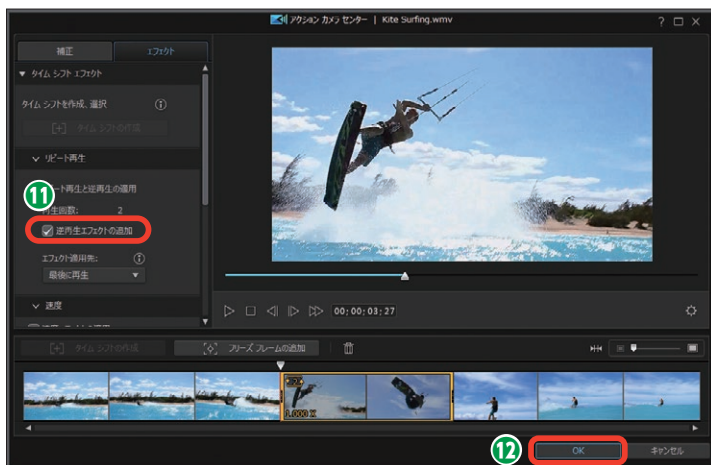
メモ

タイムシフトを削除するには、①黄色の枠をクリックして、②「選択したフリーズフレームまたはタイムシフトの削除」をクリックします。



⑪「逆再生エフェクトの追加」にチェックを入れると、設定した範囲のクリップが再生→逆再生→再生の順に再生されます。

⑫「OK」をクリックして、効果を適用します。



メモ

タイムシフトはビデオクリップの複数箇所に設定でき、各タイムシフトに異なる設定を適用できます。

メモ 365 DS365

PowerDirectorに「AIスタイルプラグイン」機能が加わりました。「AIスタイルプラグイン」は、ゴッホやモネなどが描いた名画、たとえば「ひまわり」などのイメージにビデオを加工します。

①「プラグイン」をクリックして、「AIスタイルプラグイン」をクリックします。

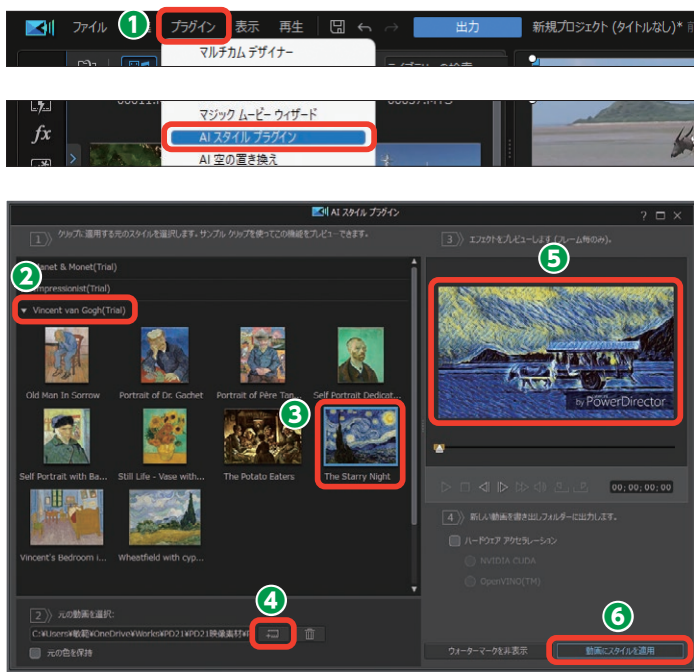
②「AIスタイルプラグイン」ウィンドウでジャンルの「>」をクリックします。

③イラストをクリックします。

④「動画の読み込み」をクリックしてビデオファイルを選択します。

⑤ビデオに効果がかかります。

⑥「動画にスタイルを適用」をクリックします。詳しくはオンラインヘルプをお読みください。



ビデオの再生速度を調整する

ビデオの再生速度を調整できます。部分的に速度を速めたり、スローモーションに設定できます。

① [エフェクト] タブにある [タイムシフトエフェクト] の [速度] の [>] をクリックします。

② 再生速度を調整する位置にスライダーをドラッグします。

③ [タイムシフトの作成] をクリックします。

④ タイムシフトを設定する範囲が黄色の枠で表示されます。

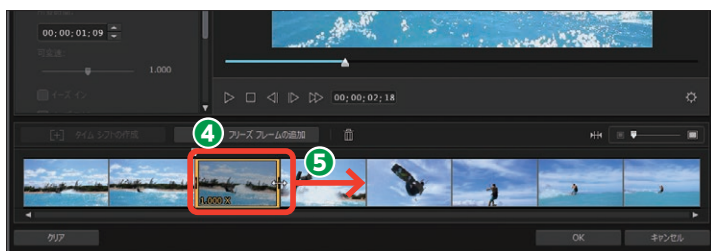
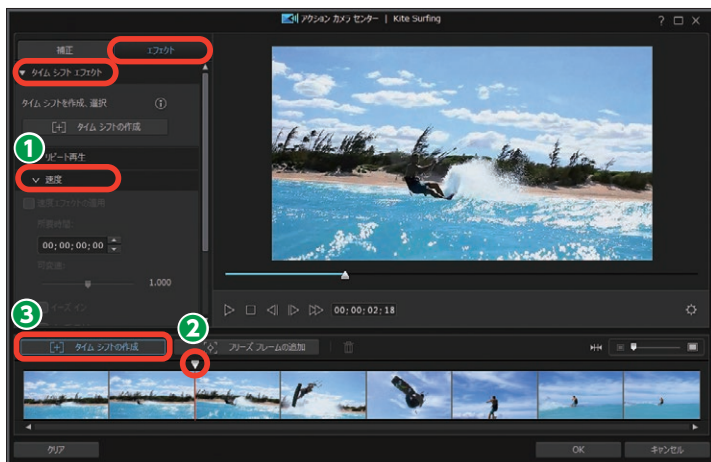
⑤ 黄色の枠の端にマウスポインターを移動して、枠をドラッグするとタイムシフトを設定する範囲を調整できます。

⑥ [速度エフェクトの適用] にチェックを入れます。

⑦ [所要時間] に作成したタイムシフトの再生時間が表示されます。数値入力で再生速度を調整するには、[所要時間] の [時:分:秒:コマ] の数値をクリックして、時間を入力します。決まった再生時間に調整する場合に便利です。

メモ

所要時間を短く設定すると高速再生に、長く設定するとスロー再生になります。

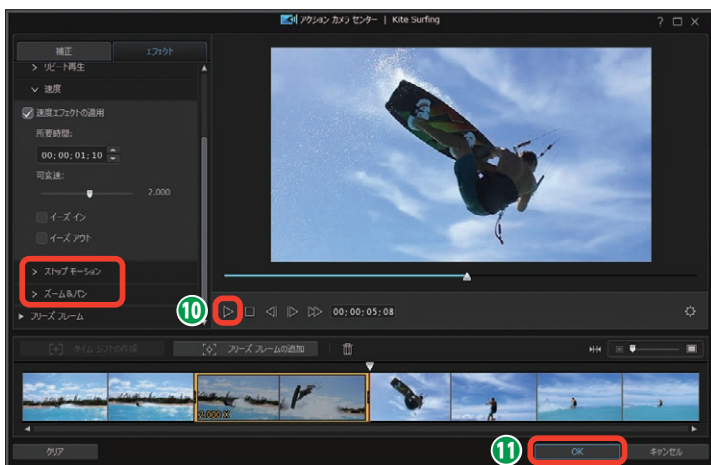
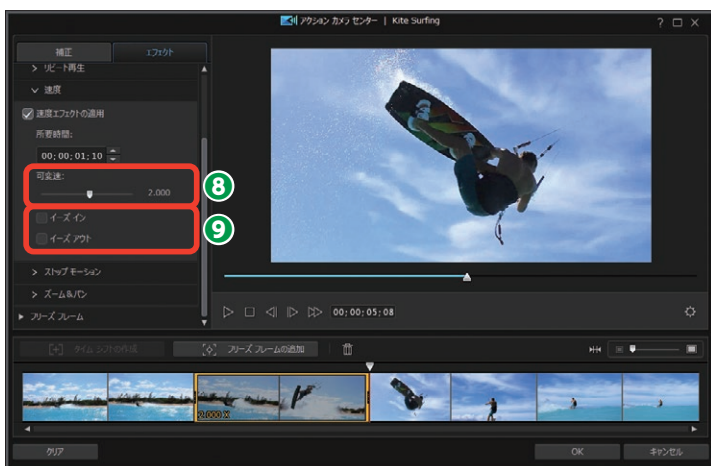


⑧ 再生速度は「可変速」のスライダーをドラッグしても調整できます。ここでは [2] に設定したので、選択した（黄色の枠で囲まれた）部分だけが2倍速で再生されます。

⑨ 速度エフェクトで再生時間を設定すると、設定した速度に瞬時に切り替わります。徐々に設定速度に移行するには「イーズイン」に、徐々に標準速度に移行するには「イーズアウト」にチェックを入れます。

⑩ 「再生」をクリックしてビデオの再生速度を確認します。

⑪ 「OK」をクリックすると、再生速度が適用されます。

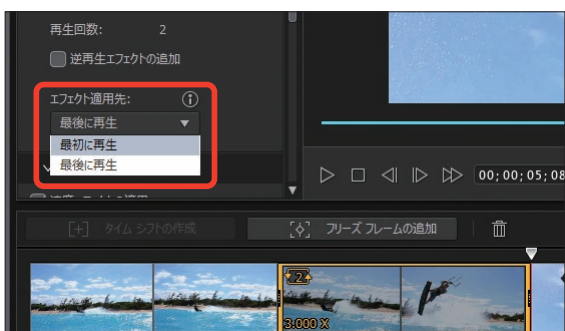


メモ

「ストップモーション」では、「ストップモーションの適用」にチェックを入れて、一時停止するフレーム数を設定すると、パラパラ漫画のような効果になります。
「ズーム&パン」では、キーフレームを使って、映像の拡大・縮小、表示位置の調整ができます。

メモ

ひとつのクリップに速度エフェクトとリピート再生を設定した場合、どの再生時に設定した再生速度を適用するかを「エフェクト適用先」で指定できます。たとえば、ある範囲を3倍速で再生する設定にし、その範囲を2回リピート再生する設定にした場合、最初の再生を3倍速にするには「エフェクト適用先」の「▼」をクリックして「最初に再生」を選択します。2回目は標準速度で再生されます。
1回目の再生を標準速度で、2回目の再生を3倍速にするには、「最後に再生」を選択します。



フリーズフレーム

【フリーズフレーム】は、指定した映像を設定した時間だけ一時停止にします。

① 【エフェクト】 をクリックします。

② 【フリーズフレーム】 の [▶] をクリックします。

③ 設定画面が表示されます。一時停止にする映像にスライダーをドラッグします。

④ 【フリーズフレームの追加】 をクリックします。

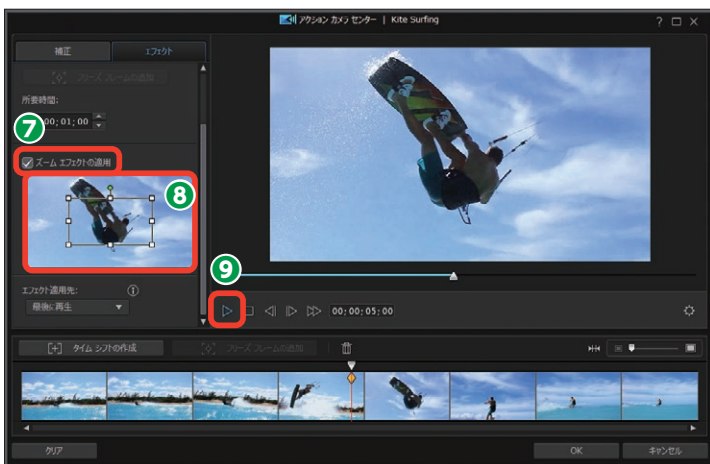
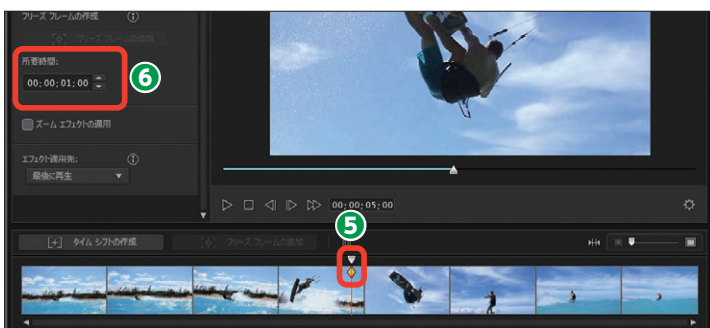
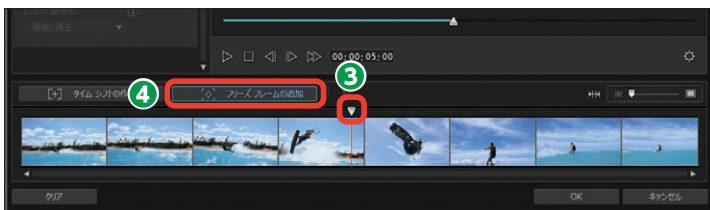
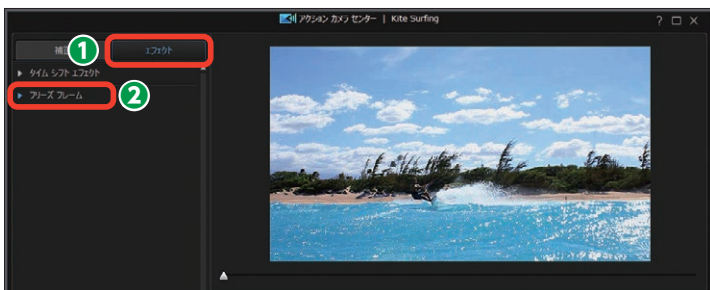
⑤ 映像が一時停止する位置にオレンジのダイヤモンドマークが表示されます。

⑥ 映像が一時停止する時間は、デフォルトでは1秒です。停止時間を変更するには、[所要時間] の数値に、一時停止する時間を入力します。数値は [時:分:秒:コマ] です。

⑦ 一時停止した映像の一部を拡大表示するときは【ズームエフェクトの適用】にチェックを入れます。

⑧ サムネイル映像が表示されます。表示された枠の四角いポインターで、表示範囲や表示位置の調整を行います。

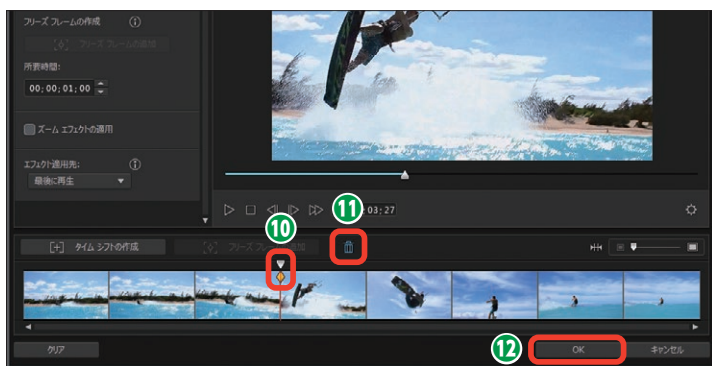
⑨ 【再生】 をクリックして、効果を確認します。



⑩ フリーズフレームの設定を解除するには、一時停止のダイアマークをクリックします。

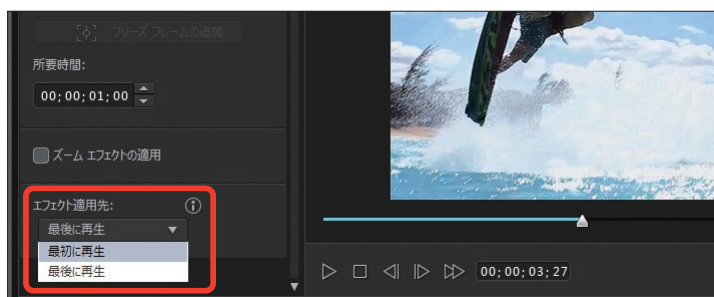
⑪ [選択したフリーズフレームまたはタイムシフトの削除] をクリックします。

⑫ 設定ができれば [OK] をクリックします。



メモ

リピート再生や逆再生を設定している範囲にフリーズフレームを適用した場合、どの再生時にフリーズフレームを適用するかを設定できます。[エフェクト適用先] で [最初に再生] を選択すると、繰り返し再生する最初の回に適用されます。[最後に再生] を選択すると、繰り返し再生の最後の回で適用されます。

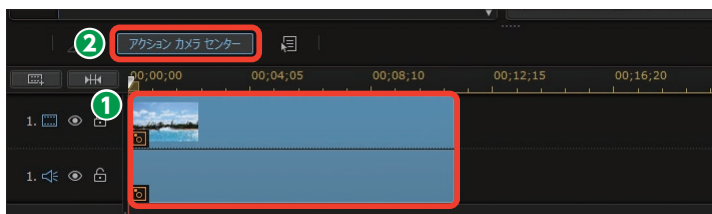


アクションカメラセンターで再編集

① [アクションカメラセンター] で設定した内容を再編集するには、ビデオクリップを選択します。

② [アクションカメラセンター] をクリックします。

③ [アクションカメラセンター] ウィンドウが表示されます。ここで再編集を行なうことができます。



空を置き換える

【AI空の置き換え】機能は、曇った日に撮影した動画の空を晴れた空に加工したり、夜空や夕焼け空、星空などに置き換えることができます。

① 【AI空の置き換え】を使用するには、[プラグイン] をクリックします。

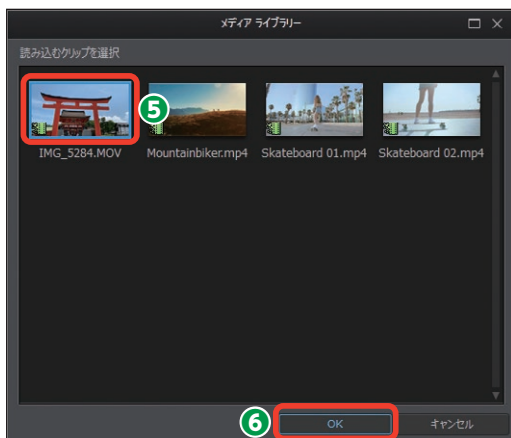
② 表示されるメニューから【AI空の置き換え】をクリックします。

③ 【AI空の置き換え】ウィンドウが表示されます。【動画の読み込み】をクリックします。

④ 表示されるメニューから空を置き換える動画が保管されている場所を選択します。メディアルームにすでに取り込んである場合は【メディアルームから読み込み】を選択します。メディアルームに取り込んでいない場合は【ハードドライブから読み込み】を選択します。ここではメディアルームから読み込みます。

⑤ 【メディアライブラリー】ウィンドウが表示されます。【ハードドライブから読み込み】を選択した場合は【開く】ダイアログボックスが表示されます。動画を選択します。

⑥ 【OK】 をクリックします。



⑦ [プレビュー] に選択した動画が表示されます。

⑧ テンプレートを選択します。

⑨ 空のAI置き換えが施されます。

⑩ スライダーをドラッグしたり、コントロールパネルを使って、動画をプレビューします。

⑪ 各種機能を使って空の置き換え効果を調整します。

⑫ [動画にスタイルを適用] をクリックします。

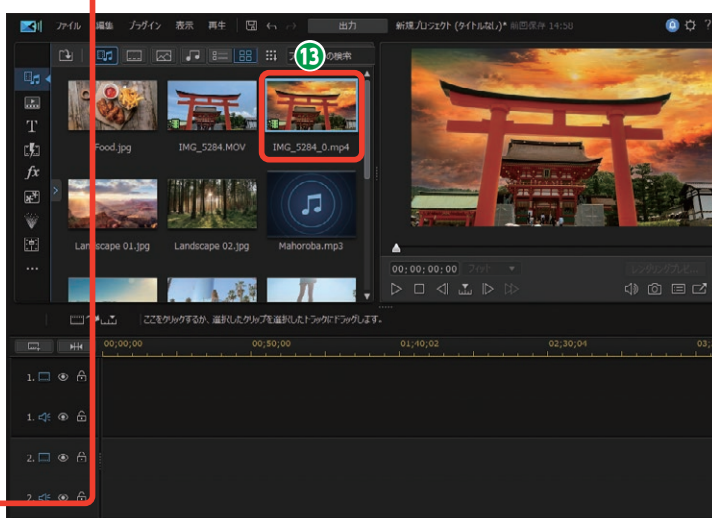
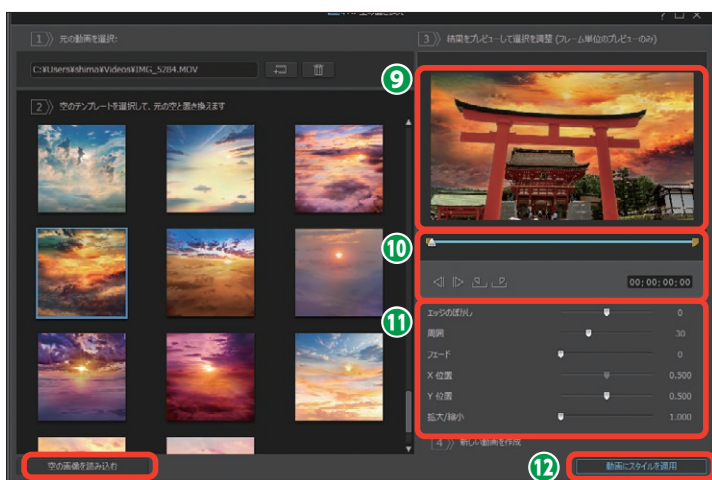
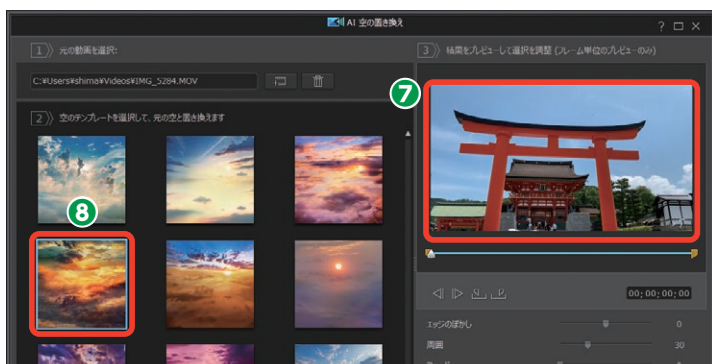
⑬ メイン画面に戻ります。加工した動画は元のクリップとは別に「元のファイル名+_0」というファイル名で保存されて、メディアルームに動画クリップとして表示されます。作成されたビデオクリップをタイムラインに配置して編集できます。

なお、作成されたビデオファイルの保存場所は [ドキュメント] → [CyberLink] → [PowerDirector] フォルダです。

メモ

お手持ちの写真の空で加工することもできます。[空の画像を読み込む] をクリックして、表示される [開く] ダイアログボックスからお手持ちの写真画像を選択して [開く] をクリックします。空がお手持ちの写真の空のイメージで合成されます。

空の画像を読み込む

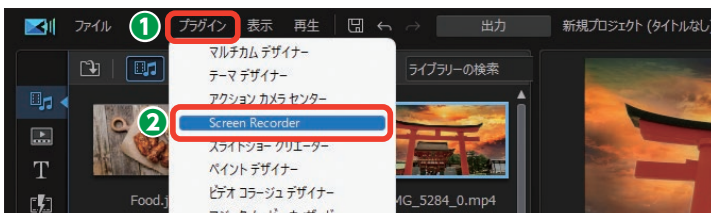


スクリーンレコーダー

【スクリーンレコーダー】はパソコンの画面を録画する機能です。パソコンやアプリの操作を録画し、ナレーションを付けたりして動画マニュアルなどの作成ができます。

① 【スクリーンレコーダー】を使用するには、【プラグイン】をクリックします。

② 表示されるメニューから【Screen Recorder】をクリックします。



③ 【Screen Recorder】ウィンドウが表示されます。【録画】タブから、録画する画面を選択します。モニタ全体の場合は【全画面】を、ゲーム画面は【ゲーム】、起動したアプリを録画するには【アプリ画面に合わせる】、サイズを自由に設定する場合は【カスタム】を選択します。



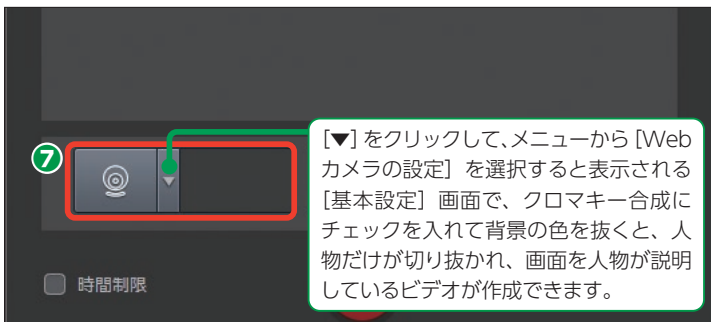
④ 【動画の解像度】と【ビデオフレームレート】を設定します。通常は画面の設定でOKです。

⑤ 【マウスクリック】は、録画した画面でマウスをクリックしたときに、クリックした場所を色で表示する機能です。【あり】をクリックして、右端の【マウスクリック アニメーションカラーの設定】をクリックします。



⑥ 【色の選択】ダイアログボックスが表示されます。ここから選択する色をクリックします。色を表示しない場合は左上のマークを選びます。

⑦ 【Webカメラ】をクリックして有効にすると、パソコンなどの画面を録画した映像にWebカメラに映った映像を重ねて表示できます。



⑧ [マイクを有効/無効] を設定すると、録画した映像の解説などをしゃべった音声も同時に録音できます。

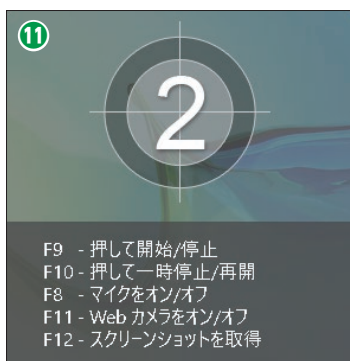
⑨ [ビデオオーバーレイの表示/非表示] をクリックすると、表示画面に画像などを追加できます。[+] の [ビデオオーバーレイを追加/編集] をクリックして、画像を挿入します。

⑩ 録画の準備が整ったら、[REC (記録)] をクリックします。

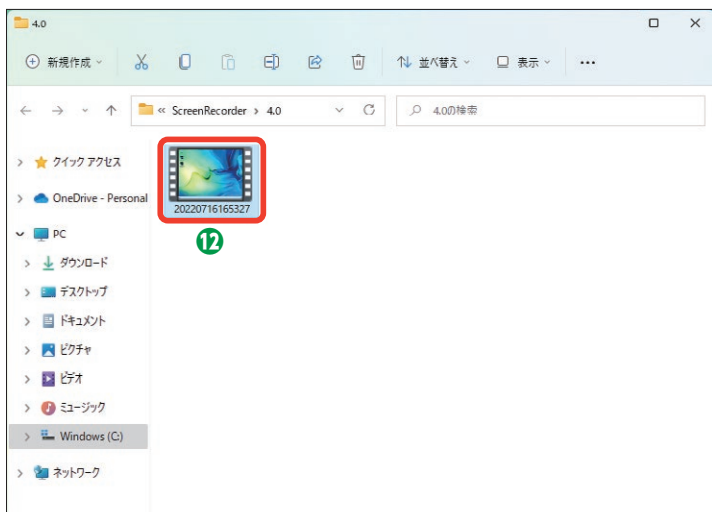


⑪ デスクトップ画面にカウントダウンの数字が表示されます。スクリーンレコーダーでは、[REC] をクリックしてから3秒後に録画が開始されます。

録画を終了するには [F9] キーを押します。一時中止するには、[F10] キーを押します。録画を再開するにはもう一度 [F10] キーを押します。



⑫ 録画したデスクトップやアプリ画面はビデオファイルとして保存されます。保存場所は [ドキュメント] → [CyberLink] → [ScreenRecorder] → [4.0] フォルダです。



マルチカムデザイナー

【マルチカムデザイナー】は同時に撮影した複数のシーンを同期させます。たとえば人が走っている姿を正面や横、後ろから撮影して、正面からの映像を横からや後ろからに切り替えて編集できます。ひとつのシーンをいろいろな角度から見られるビデオが編集できます。

映像の取り込み

① 【マルチカムデザイナー】を使用するには【プラグイン】をクリックします。

② 表示されるメニューから【マルチカムデザイナー】をクリックします。

③ 【マルチカムデザイナー】ウィンドウが表示されます。【動画の読み込み】から【ハードドライブから読み込み...】をクリックします。

④ 【開く】ダイアログボックスが表示されます。マルチカムデザイナーで使用するファイルを選択します。

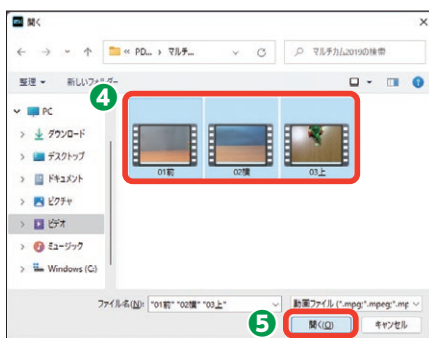
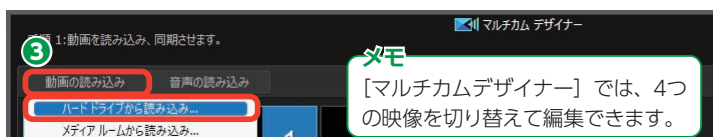
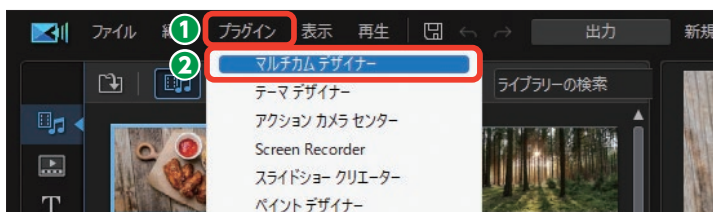
⑤ 【開く】をクリックします。

メモ

ここではカメレオンのおもちゃがコミカルに歩く姿を前からと横から、上からの3方向から撮影したビデオファイルで説明します。

⑥ 【マルチカムデザイナー】ウィンドウが表示されます。取り込まれたファイルは、【カメラ1】【カメラ2】【カメラ3】【カメラ4】（ここでは【カメラ3】まで）の各トラックに配置されます。

⑦ 【出力方法】で、【通常動画】をクリックします。



【マルチカムデザイナー】は【ビデオコラージュ】とシームレスに連携しています。次ページを参考に音声で同期した後に【ビデオコラージュ】をクリックすると、マルチカム映像を保存する手間なく、【ビデオコラージュ】ウィンドウで、すぐに編集することができます。



映像の同期

① ビデオクリップが同じシーンで重なるように同期をとります。[同期]の[▼]をクリックします。

② 表示されるメニューから、どの方法で同期をとるかを選択します。

[タイムコード]：DVカメラやHDVカメラから取り込んだタイムコード情報が付随したビデオクリップを同期する場合に選択します。

[ファイル作成時間]：ファイルに記録されている作成日時で同期します。

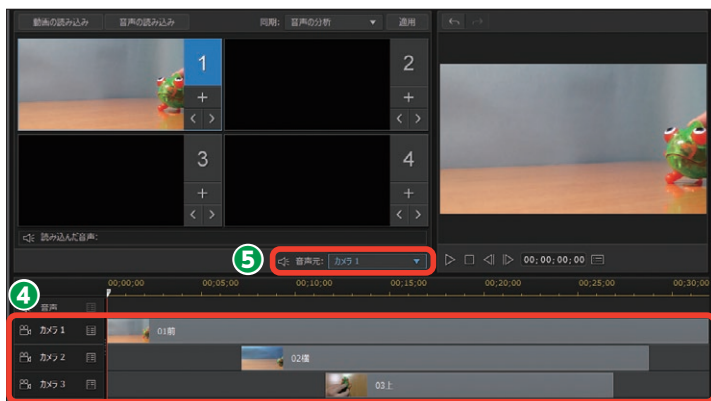
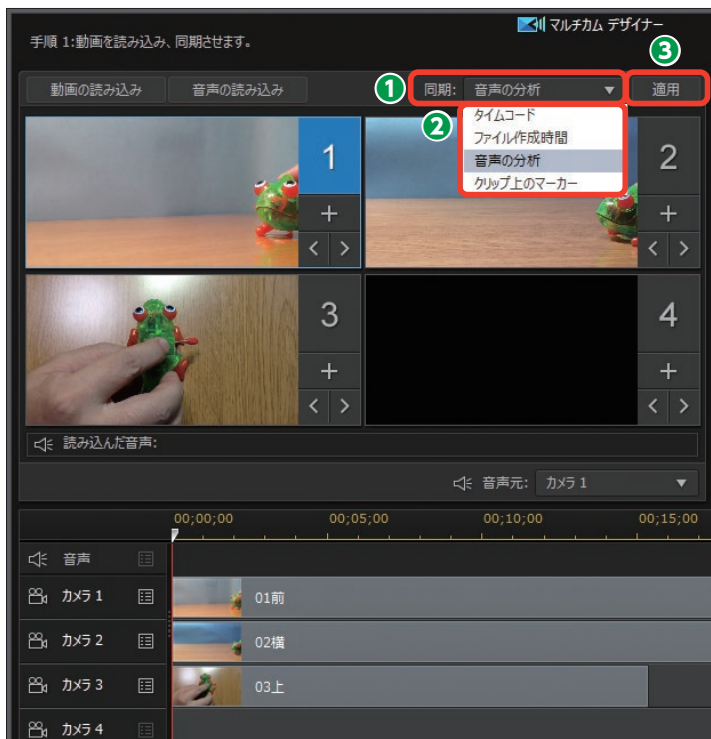
[音声の分析]：各ビデオクリップの音声を分析して同期します。

[クリップ上のマーカー]：各カメラのビデオクリップを選択して再生し、ビデオクリップを右クリックして表示されるメニューから[クリップマーカー]→[クリップマーカーの追加]を選択してマーカーを付け、そのマーカー位置で同期します。

③ [適用] をクリックします。ここでは、[音声の分析]を選択しています。

④ ビデオクリップが同期して配置されます。

⑤ [音声元] では、どのビデオクリップの音声を使用するかを選択します。[▼]をクリックして、表示されるメニューから音声として使用するトラックをクリックします。



メモ

[音声元] は、ビデオトラックの音声を使用せずに、ミュージックファイルを使用することができます。画面の左上にある[音声の読み込み]をクリックして、表示されるメニューからミュージックファイルのある場所を選択してミュージックファイルを選びます。読み込んだミュージックファイルは[カメラ1]トラックの上にある[音声]トラックに表示されます。[音声元] から[読み込んだ音声]を選択すると、作成するビデオの音声に設定されます。

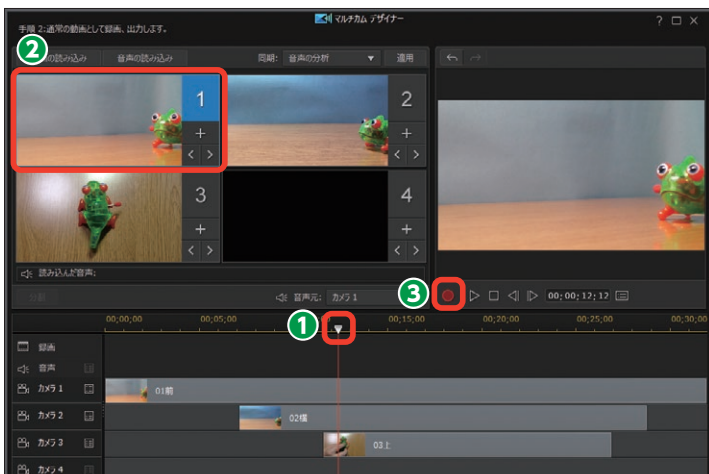


マルチカムで録画

① 録画を開始する位置にタイムラインスライダーをドラッグします。

② ビデオの開始時に使用する映像のカメラトラックの映像をクリックします。ここでは「カメラ1」をクリックします。

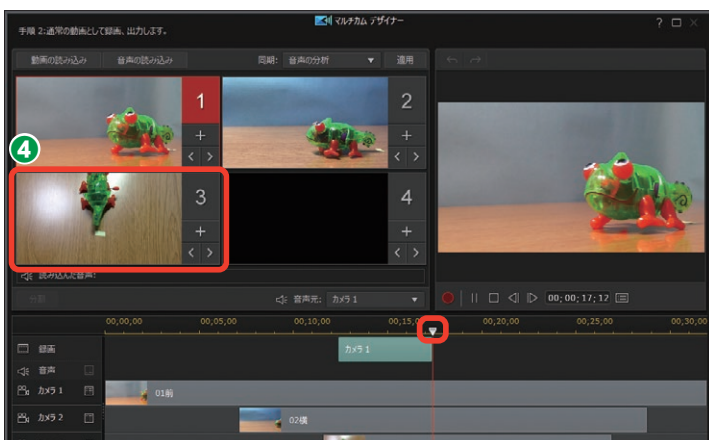
③ 「録画」をクリックします。



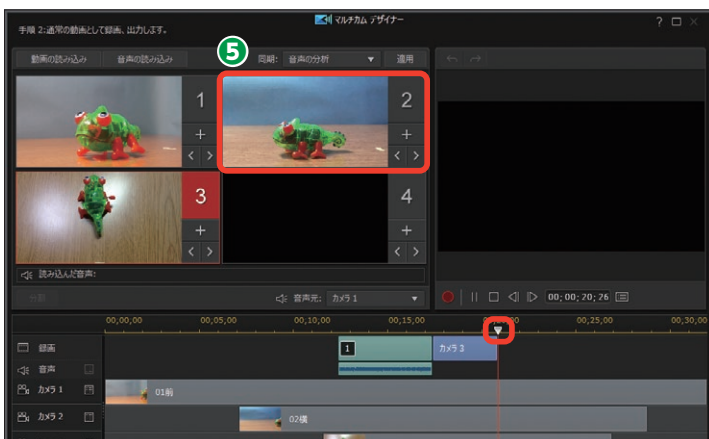
④ 映像を切り替えたい位置でビデオウィンドウをクリックします。ここでは「カメラ3」をクリックします。

メモ

キーボードの [1] [2] [3] [4] キーを押すと、各カメラの映像に切り替わります。



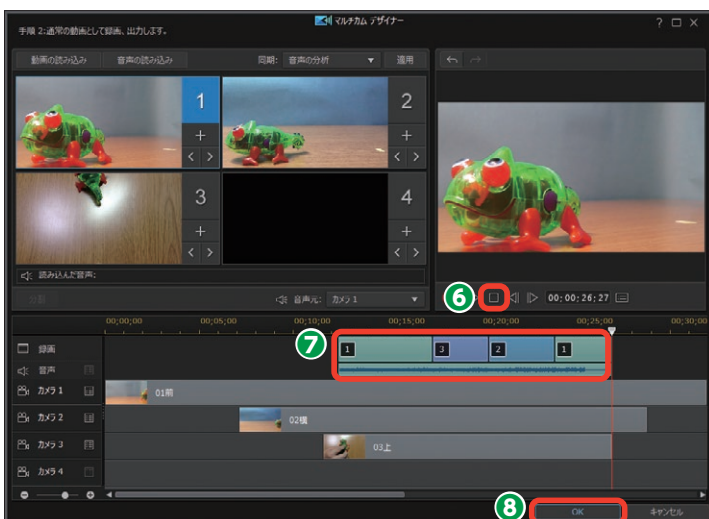
⑤ 次に映像を切り替えたい位置でビデオウィンドウをクリックします。ここでは「カメラ2」をクリックします。



⑥ 同様にしてカメラを切り替えて、録画を終える位置で[停止]をクリックします。

⑦ カメラが切り替わったビデオが作成されます。

⑧ [OK] をクリックします。



⑨ [タイムラインビデオエディター] 画面に戻ります。[マルチカムデザイナー] で録画した映像が、ビデオクリップとしてビデオトラックに配置されます。

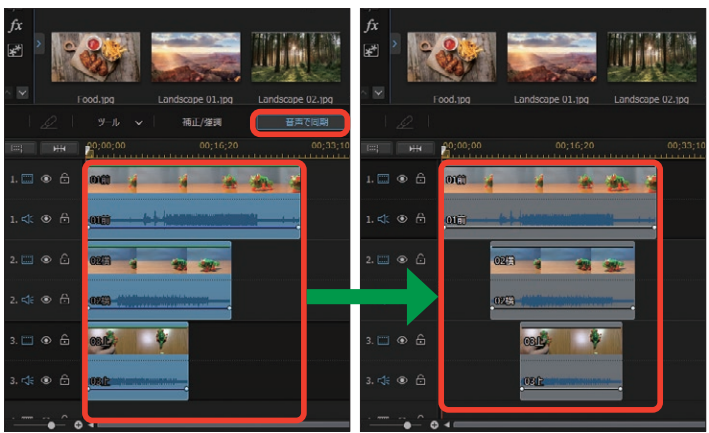
メモ

タイムラインに配置されたビデオクリップは編集することができます。



メモ

[マルチカムデザイナー] で複数のビデオクリップを[音声の分析]で同期したように、タイムライン上でも同じ内容の音声のビデオクリップを音声で同期させることができます。タイムラインにビデオクリップを配置します。[Ctrl] キーを押しながらすべてのビデオクリップを選択し、[音声で同期]をクリックします。各ビデオクリップの音声が分析され、同じ音声の位置に同期されて配置されます。

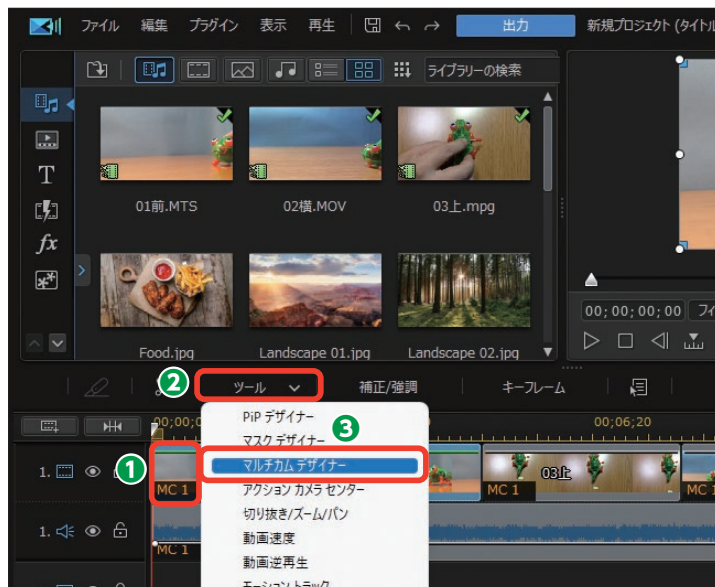


マルチカムデザイナーで録画したビデオを再編集する

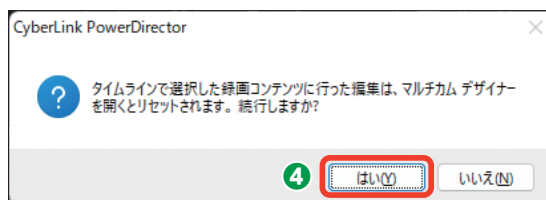
① [マルチカムデザイナー] で録画したビデオクリップは、再編集することができます。録画したビデオクリップをクリックします。

② [ツール] をクリックします。

③ [マルチカムデザイナー] をクリックします。

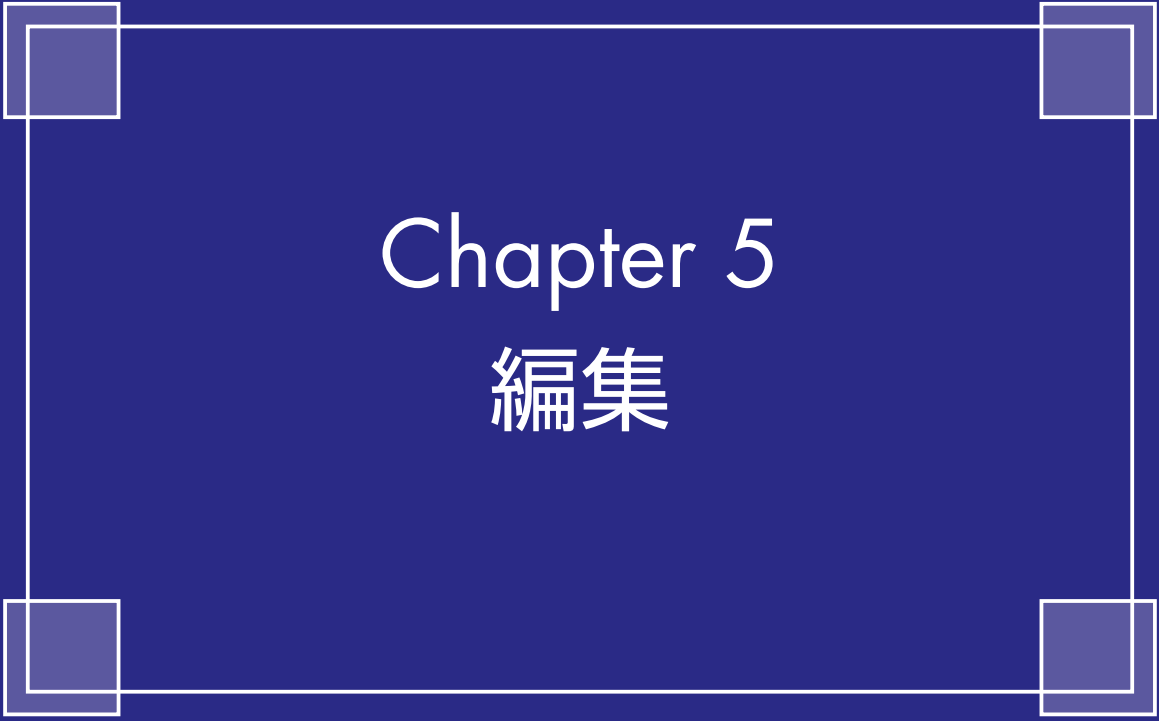


④ 表示されるダイアログボックスで、[はい] をクリックします。



⑤ [マルチカムデザイナー] ウィンドウが表示されます。ここで再編集が行えます。





Chapter 5

編集

ビデオの基本編集

ビデオカメラから取り込んだ映像やパソコンから取り込んだ動画や画像、ミュージックファイルは、メディアクリップとして [メディアルーム] の [ライブラリ] に表示されます。これらのメディアクリップをタイムラインに配置してビデオを編集します。

タイムライン

① ビデオを編集するには、[メディアルーム] をクリックします。

② 取り込んだメディアクリップが [ライブラリ] に表示されます。

③ [タイムラインビデオエディター] では標準でタイムラインが表示されます。タイムラインは時間軸で表示され、ビデオや画像クリップを並べてビデオを編集します。各クリップがアイコンで表示されるので、クリップの再生時間やビデオの構成がわかりやすくなります。なお、ストーリーボードでビデオ編集を行うこともできます。詳しくは96ページをお読みください。



タイムラインにはビデオや画像、ミュージッククリップを配置するトラックがあります。ビデオクリップをタイムラインに挿入すると、動画部分はビデオトラックに、音声部分はオーディオトラックに配置されます。

クリップをフォルダーで整理する

① メディアクリップはフォルダーで整理できます。ライブラリを右クリックして表示されるメニューから [フォルダーの作成] をクリックします。

② 作成されたフォルダーを右クリックし、メニューの [名前の変更] を選択してフォルダ名を入力し、クリップをフォルダーにドラッグします。

③ フォルダーをダブルクリックすると保管したクリップが表示されます。



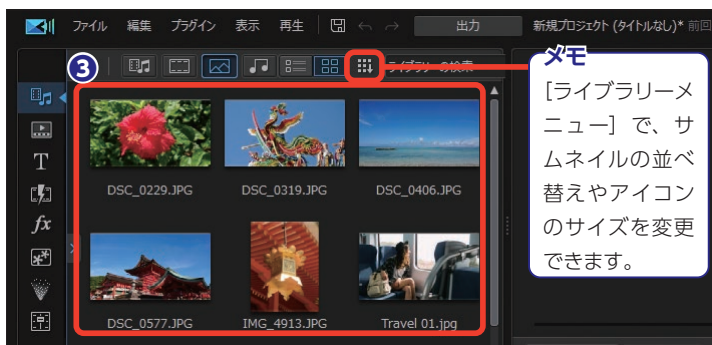
メディアの表示

① [メディアルーム] のライブラリは、標準で [すべてのメディア] に設定されていて、動画と画像、音声クリップが表示されます。

② [画像のみ] をクリックします。

③ ライブラリには動画や音声クリップが非表示になり、画像クリップのみが表示されます。画像だけをタイムラインに並べたいときなどに選択すると、たくさんのメディアクリップから選択しやすくなります。

※取り込んだクリップをすべて表示するには [すべてのメディア] をクリックします。



作成するビデオに必要なクリップをまとめる

作成するビデオで使用するメディアクリップだけをタグにまとめることができます。

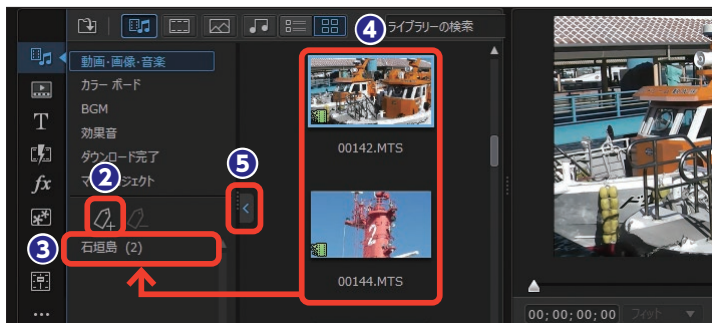
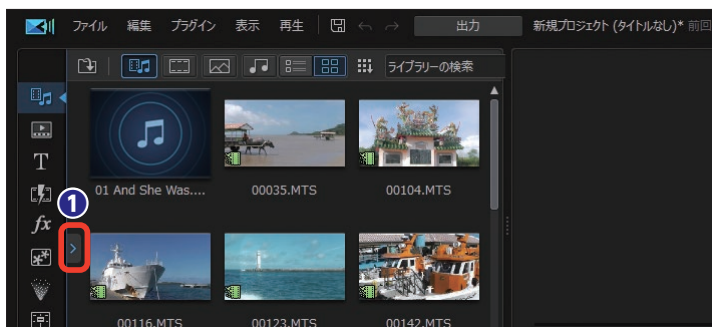
① [エクスプローラービューの表示／非表示] をクリックします。

② [新規タグの追加] をクリックします。

③ 作成された [新規タグ] をクリックしてタグの名前を入力します。

④ メディアクリップをタグにドラッグします。

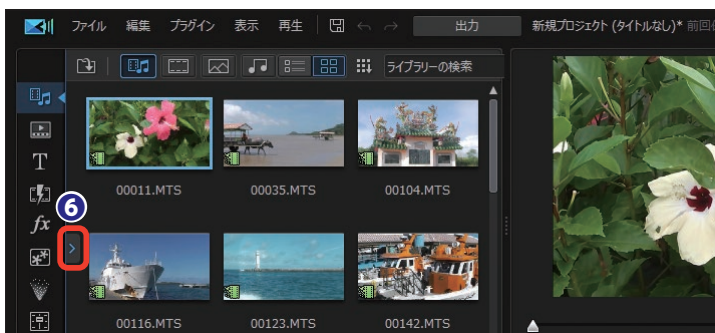
⑤ [エクスプローラービューの表示／非表示] をクリックします。



⑥ タグを表示するには [エクスプローラービュー] の表示 / 非表示 をクリックします。

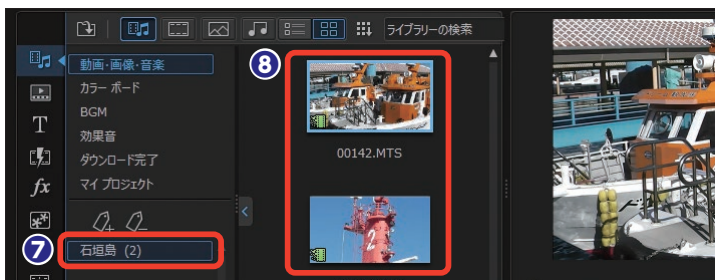
メモ

タグを削除してもタグに登録したクリップは削除されずに、[メディアルーム] に表示されます。



⑦ 表示されるメニューから、作成したタグ名をクリックします。

⑧ タグに登録したクリップだけが表示されます。

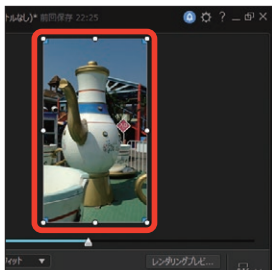


メディアクリップの配置

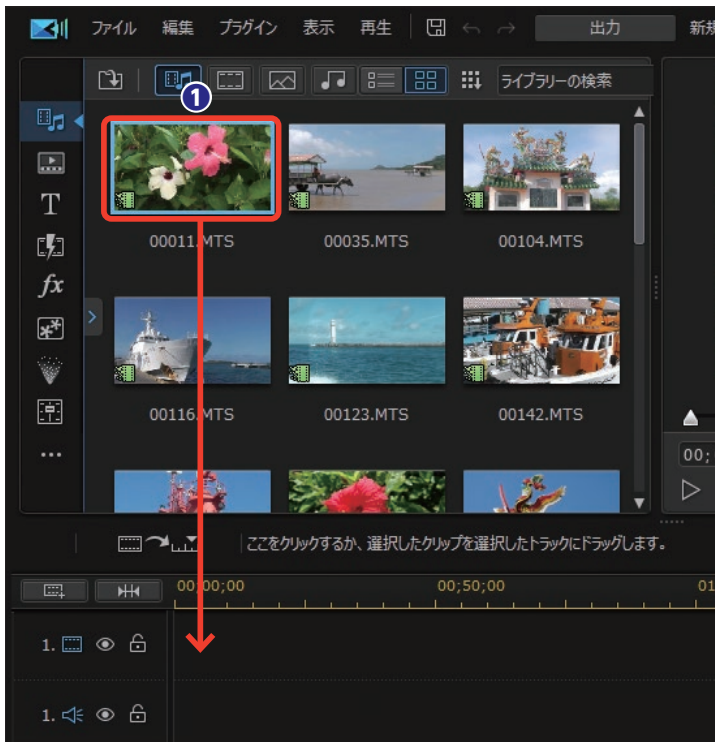
① メディアクリップをタイムラインにドラッグします。ここではビデオクリップをビデオトラックにドラッグします。

メモ

スマートフォンやタブレットで撮影した縦長のビデオクリップも同様にしてビデオトラックにドラッグします。縦長の映像のまま編集できます。



※起動画面で縦横比 [9:16] にチェックを入れて [タイムラインビデオエディター] で起動し、スマートフォンやタブレットの縦長ビデオを読み込んでおきます。

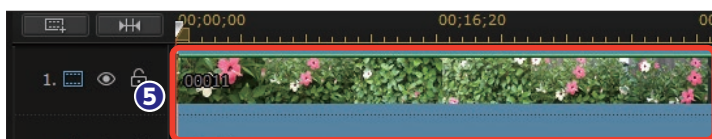
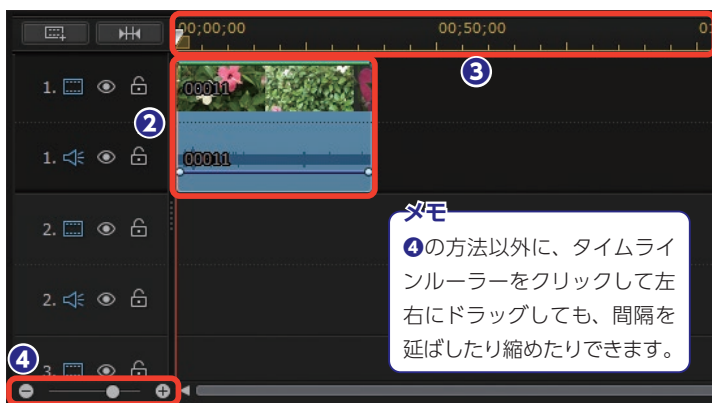


② タイムラインのビデオトラック1とオーディオトラック1にビデオクリップが配置されます。

③ トラックの一番上にはタイムラインルーラーがあります。メモリ上の数値は [分:秒:コマ] を表示します。

④ タイムラインルーラーの時間間隔を延ばすには ⊕ (拡大) を、縮めるには ⊖ (縮小) をクリックします。

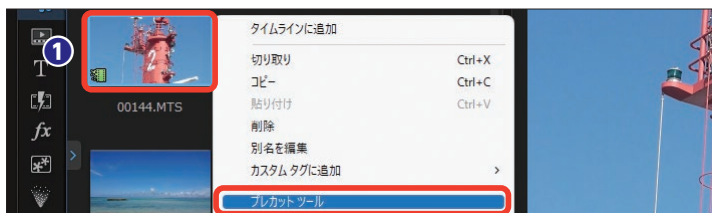
⑤ ここでは [拡大] をクリックしたので時間間隔が延びて、ビデオクリップの表示サイズが大きくなります。



プレカット

ビデオクリップはビデオトラックに配置する前に、必要な映像だけに編集することができます。

① ビデオクリップを右クリックして [プレカットツール] を選択します。



② [プレカット (前編集)] ウィンドウが表示されます。ここでビデオクリップの必要な映像だけに編集できます。操作方法は98～101ページをお読みください。[OK] をクリックします。



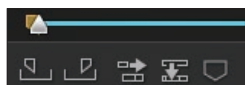
③ 編集したビデオクリップは分割されて [セグメントライブラリー] に表示されます。各セグメントをタイムラインにドラッグして編集します。



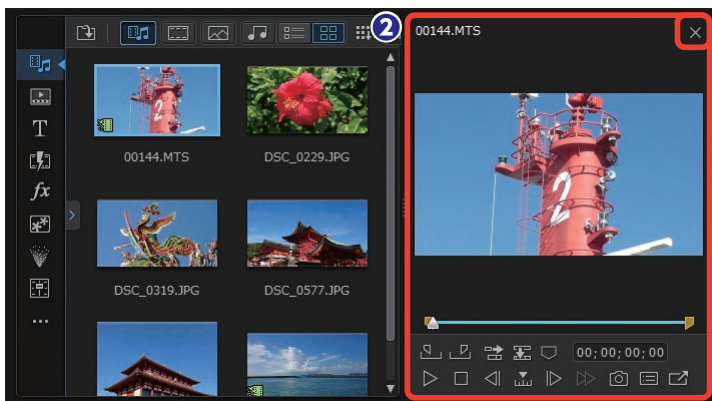
ビデオクリップをビデオトラックに配置する前に、確認や簡易編集ができます。

① ビデオクリップをクリックして、[表示] から [ライブラリプレビューウィンドウを表示] を選択します。また、ビデオクリップを右クリックして、表示されるメニューから [ライブラリプレビューウィンドウに表示] を選択しても表示されます。

② ライブラリプレビューウィンドウが表示されます。ここでビデオクリップのプレビューやトリミング、マーカの設定ができます。ライブラリプレビューウィンドウを閉じるには右上の [X] (閉じる) ボタンをクリックします。



① ② ③ ④ ⑤



【①開始位置】：スライダーを移動した位置でクリックすると、クリップの先頭がトリミングされます。

【②終了位置】：スライダーを移動した位置でクリックすると、クリップの終わりがトリミングされます。

【③選択したトラックに挿入】：選択したトラックの先頭にクリップが配置されます。配置してあったクリップは後

ろにずれます。

【④選択したトラックに上書き】：選択したトラックの先頭にクリップが配置されます。配置してあったクリップはその時間分だけ上書きされます。

【⑤クリップマーカ追加】：スライダーを移動した位置でこのアイコンをクリックすると、その地点にマーカが設定されます。

ビデオクリップの不透明度

① ビデオクリップの不透明度は変更できます。元になるビデオクリップをビデオトラック1に、透明にするビデオクリップをビデオトラック2に配置してクリックします。

② 緑のラインを下にドラッグします。

③ トラック2のビデオクリップの映像が透けるようになります。



ネスト編集（プロジェクトの再利用）

タイムラインには、これまでに編集して保存したビデオのプロジェクトを配置することもできます。

① [メディアルーム] をクリックします。

② [マイプロジェクト] をクリックします。

③ ライブラリにプロジェクトファイルの一覧が表示されます。

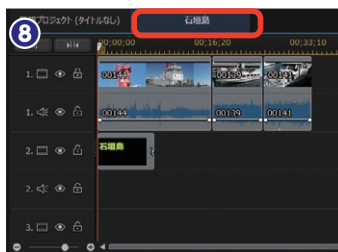
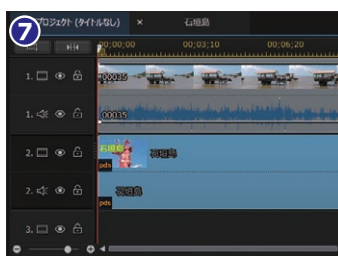
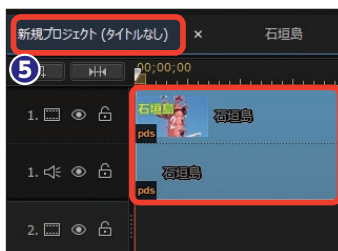
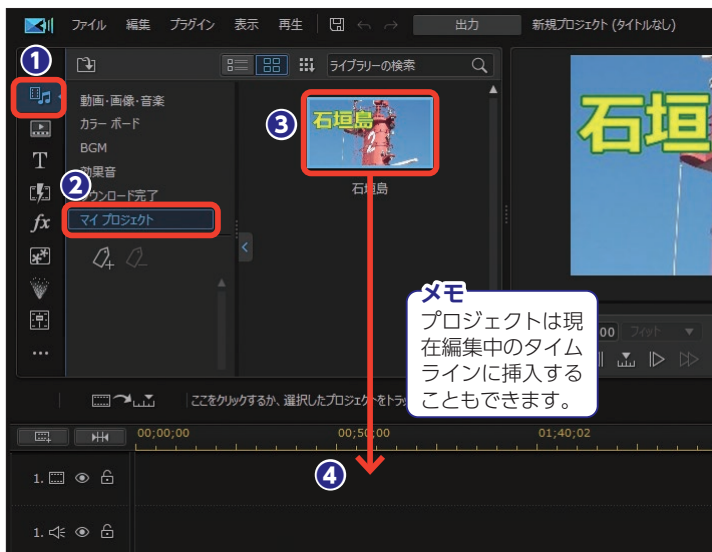
④ プロジェクトをタイムラインにドラッグします。

⑤ プロジェクトの内容がひとつのビデオクリップとしてタイムラインに配置されます。

⑥ プロジェクトを再編集するには、プロジェクト名のタブをクリックします。

⑦ ビデオトラック1で編集している動画に、ビデオトラック2にすでに作成しているプロジェクトを配置し、映像サイズを縮小すると、ビデオトラック1の映像の上にビデオトラック2のプロジェクトが表示されます。ビデオは回転したり、変形することができます。

⑧ ビデオトラック2に配置したプロジェクトはタブで切り替えられ、そのプロジェクトを再編集することもできます。



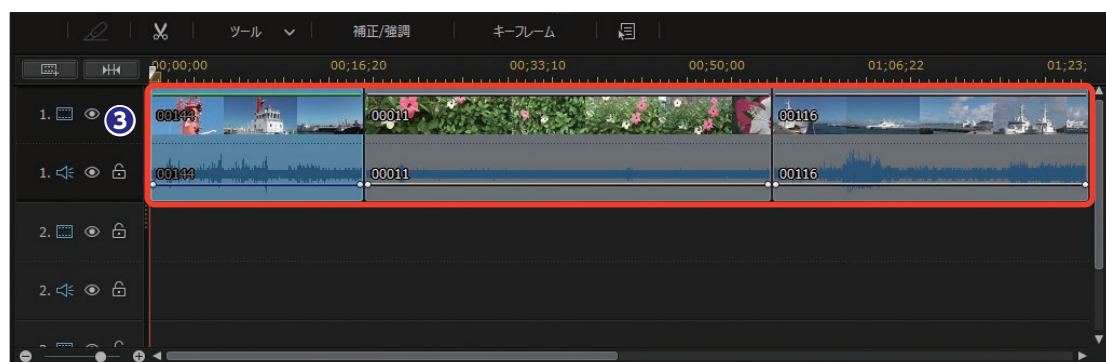
タイムラインの調整

① ビデオクリップが画面のタイムラインからはみ出している場合は、スライダーを右にドラッグすると、隠れているビデオクリップが表示されます。

② すべてのメディアクリップを表示するには、[動画全体を表示] をクリックします。

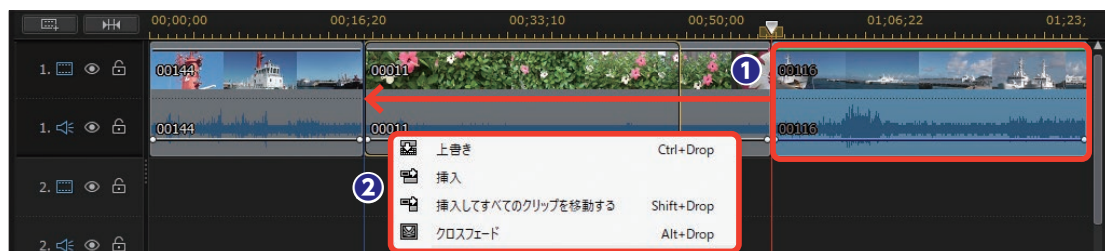


③ 画面の幅一杯にビデオクリップ全体が表示されます。



移動

- 1 ビデオクリップを移動するには、ビデオクリップを移動する位置までドラッグします。
- 2 既存クリップの上にドロップする場合、表示されるメニューから適用する項目を選択します。
[上書き]：元あるビデオクリップの上に上書きします。
[挿入]：挿入した位置以降のビデオクリップが後ろにずれます。
[挿入してすべてのクリップを移動する]：挿入した位置以降のすべてのトラックのクリップが後ろに移動します。
[クロスフェード]：前にあるビデオクリップとの間に自動で映像の切り替わり効果のトランジションが挿入されます。

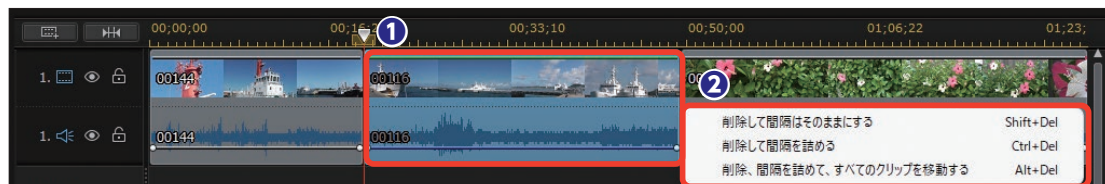


- 3 ビデオクリップが移動します。

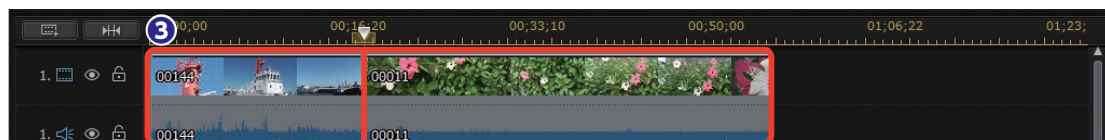


削除

- 1 ビデオクリップを削除するには、ビデオクリップを選択してキーボードの [Delete] キーを押すか、クリップを右クリックして [削除] を選択します。
- 2 表示されるメニューから適用する項目を選択します。
[削除して間隔はそのままにする]：ビデオクリップのみが削除され、その部分が空白になります。
[削除して間隔を詰める]：ビデオクリップが削除され、そのあとに配置されていたクリップが前に移動します。
[削除、間隔を詰めて、すべてのクリップを移動する]：削除するビデオクリップ以降にあるすべてのクリップが前に移動します。



- 3 [削除して間隔を詰める] を選択した場合は、ビデオクリップが削除されてビデオクリップの間が詰められます。

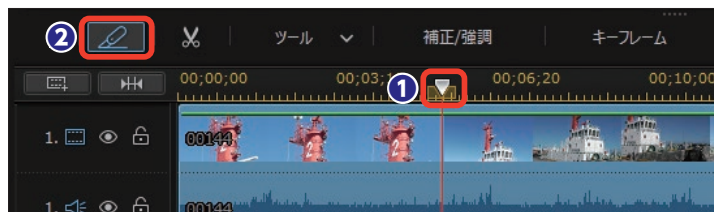


分割

① ビデオクリップを分割するには、タイムラインスライダーを分割する位置までドラッグします。

② 「選択したクリップを分割」をクリックします。

③ ビデオクリップが分割されます。分割したビデオクリップは、移動や削除ができます。



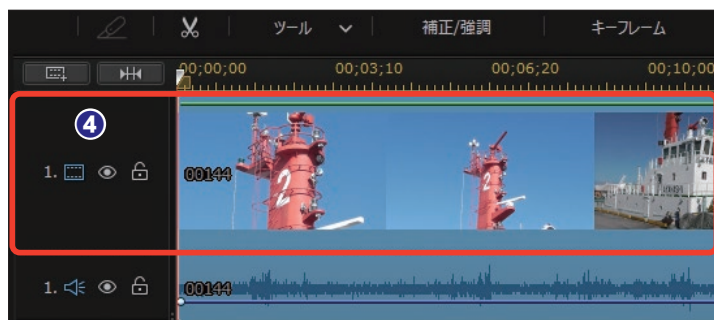
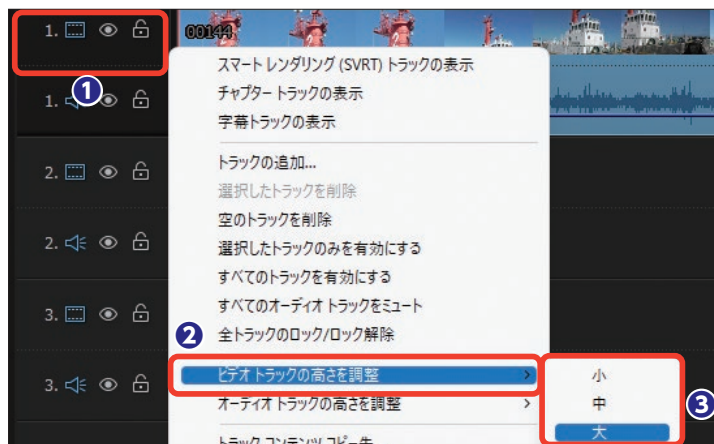
トラックサイズの調整

① トラックのたて幅を調整するには、トラックの先頭部分を右クリックします。

② 表示されるメニューから「ビデオトラックの高さを調整」をクリックします。

③ 標準サイズは「中」です。サブメニューから調整するサイズをクリックします。

④ ビデオトラックの高さが変更されます。「大」にしてビデオクリップの内容がよくわかるようにしたり、「小」にしてたくさんのトラックを表示したりして調整します。



トラックの追加

タイムラインには標準でビデオトラックが3本、オーディオトラックが3本表示されています。ビデオトラックとオーディオトラックは必要に応じて増やすことができます。

1 [タイムラインにビデオ／オーディオトラックを追加] をクリックします。

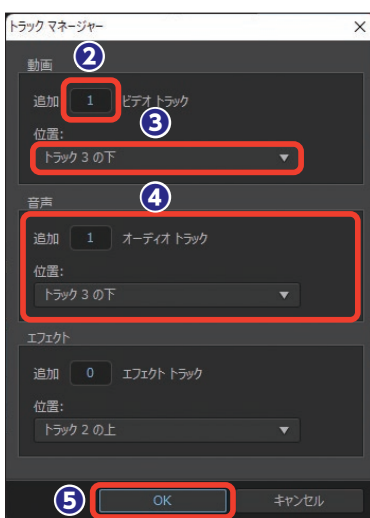


2 [トラックマネージャー] ウィンドウが表示されます。[動画] の [追加] に、追加する数値を入力します。

3 [位置] の [▼] をクリックして、挿入する場所を選択します。

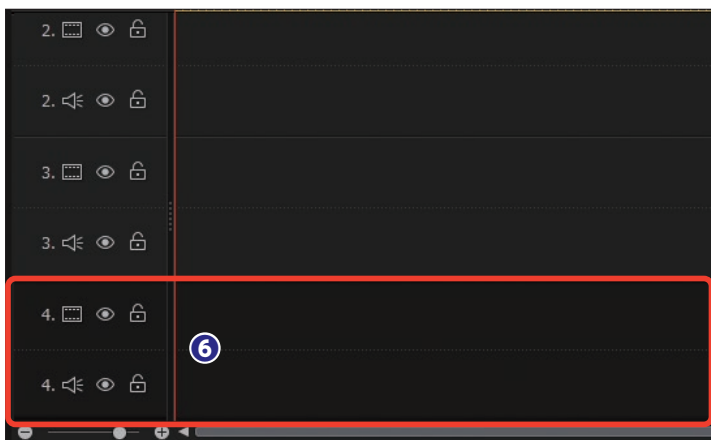
4 同じように [音声] の [追加] に追加する数値を入力し、[位置] の [▼] をクリックして挿入する場所を選択します。

5 [OK] をクリックします。



メモ
トラックは、最大100本まで追加できます。

6 ビデオトラックとオーディオトラックが追加されます。



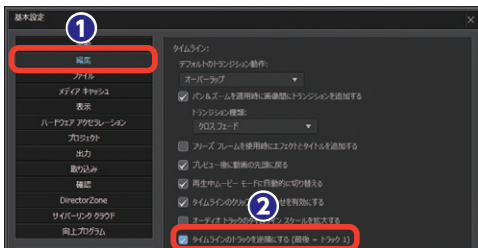
メモ

[動画] の [追加] を [0] に設定して [音声] の [追加] を [1] にすると、オーディオトラックのみが追加されます。

タイムラインのトラックの表示変更

タイムラインは標準で、ビデオトラックとオーディオトラックのセットで1～3までが並んでいます。編集作業によっては下のトラックや追加したトラックが画面に表示されず、タイムラインを上下にスクロールする必要があります。そんなときは、トラックの表示順を変更すると便利です。

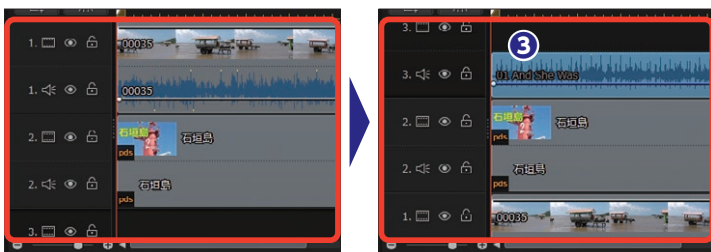
① [基本設定] をクリックして、表示された [基本設定] ウィンドウで、[編集] を選択します。



メモ
[基本設定] ウィンドウの表示および操作方法はP.204をお読みください。

② [タイムラインのトラックを逆順にする] にチェックを入れて、[OK] をクリックします。

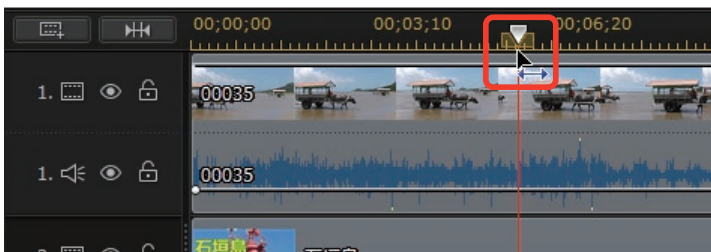
③ タイムラインのトラックが逆順に表示されます。この例ではオーディオトラック3が表示されていませんでしたが、タイムラインのトラックを逆順にしたので、オーディオトラック3が上に来ています。



ビデオクリップの音声確認

365 DS365

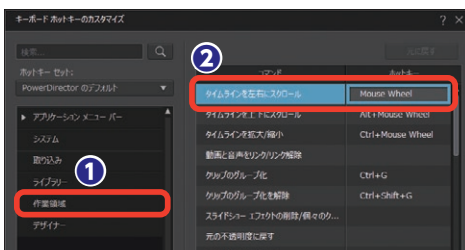
タイムラインで、タイムラインスライダーを左右にドラッグすると、その場所にある音声はプレビューされます。これを [音声スクラブ機能] と呼びます。音声に合わせてオブジェクトを配置する場合などに役立ちます。



タイムラインスライダーの位置の音声が再生されます。

マウスホイールの動作をカスタマイズ

タイムラインのトラック上でマウスホイールを回転させると、タイムラインを左右にスクロールできます。この操作をカスタマイズするには [編集] メニューの [キーボードホットキー] で設定します。設定方法は205ページをお読みください。

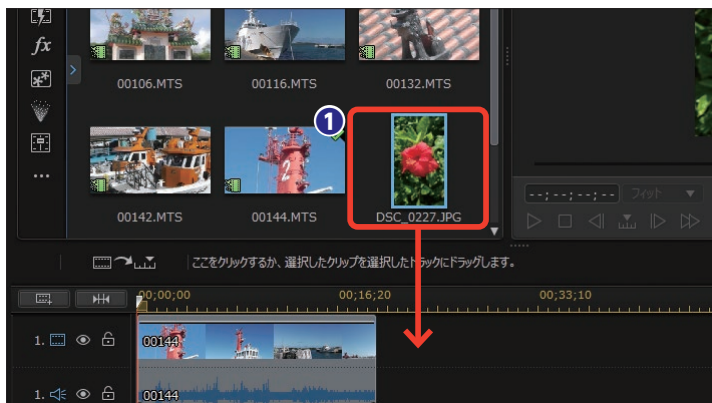


① [作業領域] をクリックします。

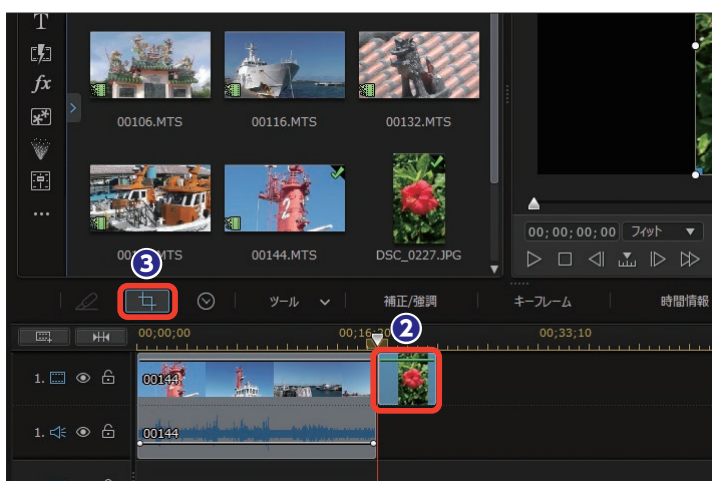
② [タイムラインを左右にスクロール] をクリックします。
カスタマイズする操作を行います。

画像クリップの配置

① 画像クリップをタイムラインに配置するには、[メディアルーム] のライブラリから画像クリップをタイムラインにドラッグします。



② 画像クリップがタイムラインに配置されます。作成するビデオの縦横比と画像の縦横比が異なるときは、画像の上下や両端に黒縁が表示されます。これを避けるには、画像のトリミングを行います。タイムラインの画像クリップをクリックします。

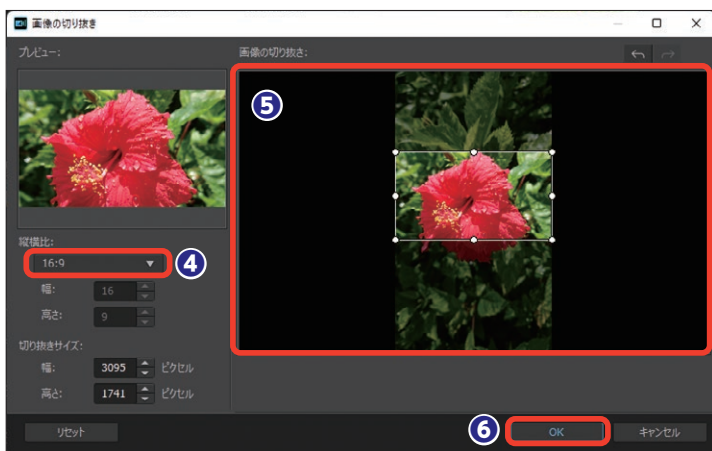


③ [選択した画像を切り抜き] をクリックします。

④ [画像の切り抜き] ウィンドウが表示されます。たとえば、ビデオの縦横比を [16:9] に設定している場合は、[縦横比] の [▼] をクリックして、表示されるメニューから [16:9] を選択します。

⑤ プレビューウィンドウの白い枠をドラッグして、表示する範囲を設定します。

⑥ [OK] をクリックします。作成するビデオの縦横比にあった写真サイズになります。



コンテンツ解析ツール

【コンテンツ解析ツール】は、PowerDirectorがビデオクリップを自動解析して、映像の良い箇所と悪い箇所を分析し、悪い箇所を削除したり補正したりする機能です。これによりビデオクリップ全体が見栄えのいい映像になります。

① 解析するビデオクリップを右クリックします。

② [動画の編集] → [コンテンツ解析ツールを使用して編集] をクリックします。

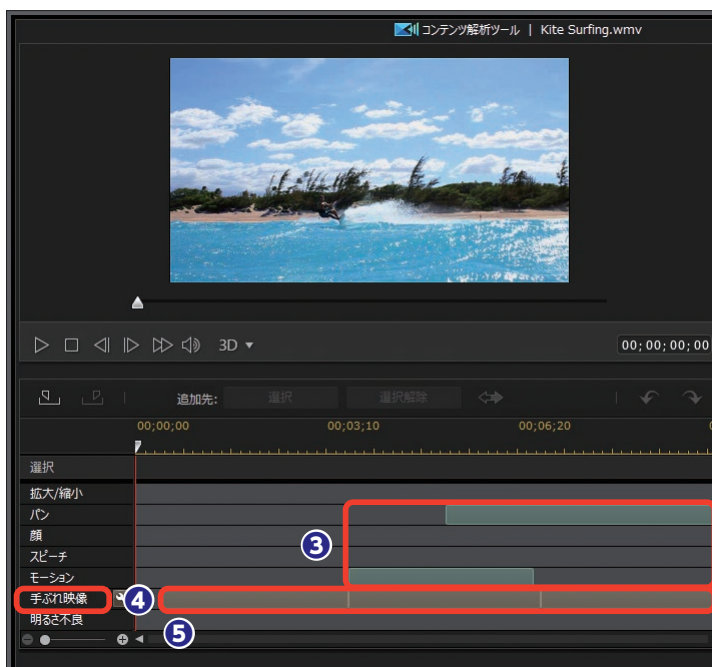


【コンテンツ解析ツール】ウィンドウが表示されます。

③ ビデオクリップの映像の良い部分が緑のマーカで表示されます。

④ 映像の悪い部分は茶色のマーカで表示されます。このビデオクリップでは手ぶれが発生していることがわかります。

⑤ 悪い部分を補正するには、茶色のマーカ部分を右クリックします。



⑥ 表示されるメニューから [このセグメントに補正を適用] をクリックします。

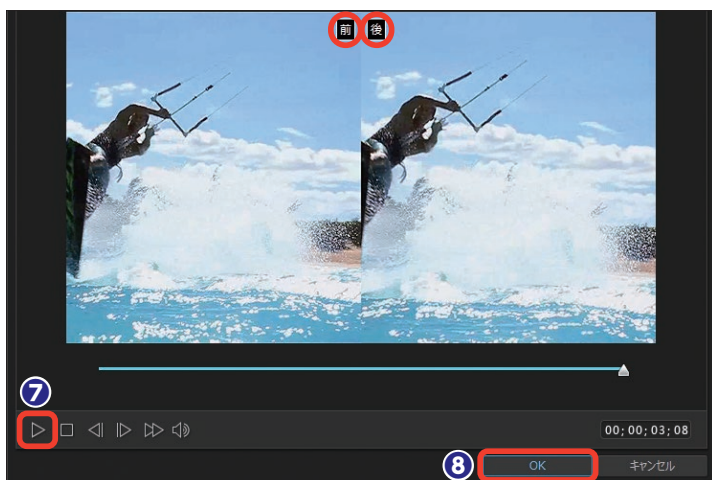
メモ

[シーン全体に補正を適用] を選択すると、すべてのシーンが補正されます。

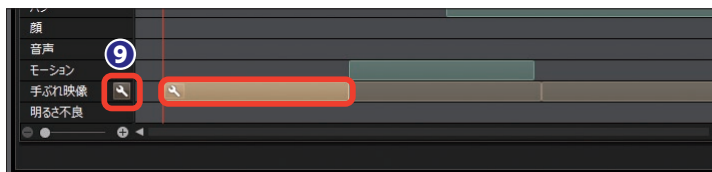


⑦ 手ぶれ補正を行う [自動補正 | 手ぶれ映像] ウィンドウが表示されて、自動で補正が行われます。
[再生] をクリックして補正 [前] と [後] の映像を見比べます。

⑧ よければ [OK] をクリックします。



⑨ [コンテンツ解析ツール] ウィンドウに戻ります。修正されたセグメントにはスパナのアイコンが表示されます。[すべてのセグメントを自動補正] をクリックすると、同じ原因のセグメントが自動補正されます。

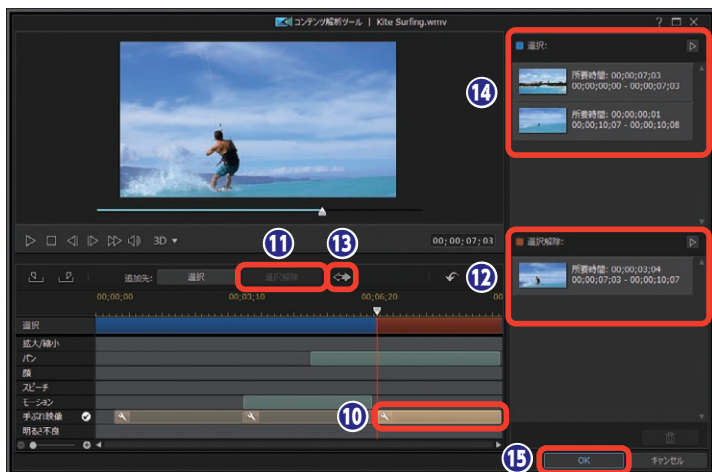


⑩ 手ぶれ部分などを、補正するのではなく、ビデオから削除することもできます。削除する映像部分を [Ctrl] キーを押しながら選択します。

⑪ [選択解除] をクリックします。

⑫ ビデオから削除する部分が [選択解除] の一覧に表示されます。

⑬ [すべて選択 (選択解除したコンテンツ以外)] をクリックします。



⑭ ビデオで使用する部分が [選択] の一覧に表示されます。

⑮ これで、手ぶれを補正して、手ぶれの多い部分は削除したビデオになります。[OK] をクリックします。

ストーリーボード

ストーリーボードは、ビデオクリップのサムネイルを並べてビデオを編集します。どの順番にビデオクリップを並べたかが視覚的にわかり、ビデオの構成を考えるときに役立ちます。ストーリーボードで大まかな構成を練り、タイムライン編集モードで本格的にビデオ編集を行うといいでしょう。

① 起動画面から [タイムラインビデオエディター] をクリックします。[タイムラインビデオエディター] 画面が表示されます。画面下には [タイムライン] が表示されます。キーボードから [Tab] キーを押します。



② 画面下の [タイムライン] が [ストーリーボード] に切り替わります。

③ [メディアルーム] のライブラリからビデオクリップをストーリーボードにドラッグします。



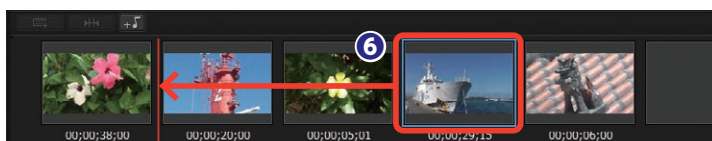
④ ストーリーボードにビデオクリップが表示されます。同様にビデオクリップをストーリーボードにドラッグします。



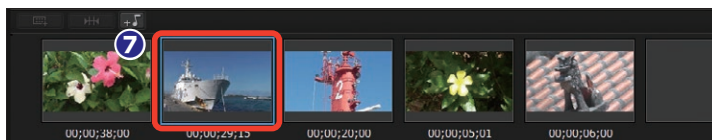
⑤ ビデオクリップがストーリーボードに配置されます。



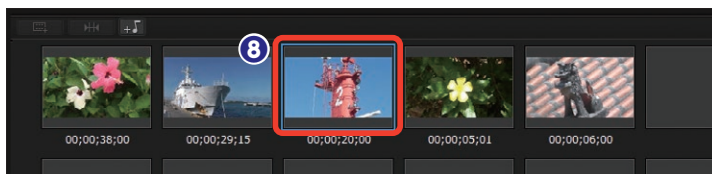
6 ビデオや画像クリップの再生順を変更するには、ビデオクリップを変更する位置までドラッグします。



7 ビデオクリップが移動します。



8 ビデオクリップを削除するには、ビデオクリップを選択してキーボードの [Delete] キーを押すか、クリップを右クリックして [削除] を選択します。



9 表示されるメニューから適用する項目を選択します。

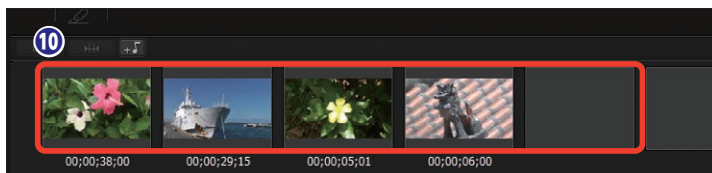
[削除して間隔はそのままにする]：ビデオクリップのみが削除され、その部分が空白になります。

[削除して間隔を詰める]：ビデオクリップが削除され、そのあとに配置されているビデオクリップが前に移動します。

[削除、間隔を詰めて、すべてのクリップを移動する]：削除するビデオクリップ以降にあるすべてのクリップが前に移動します。



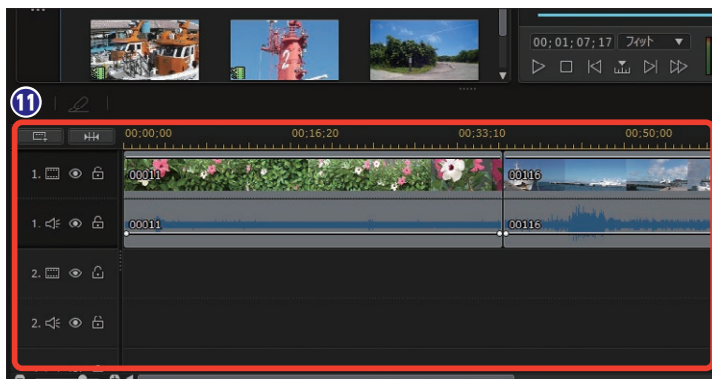
10 ビデオクリップが削除されます。



11 [タイムライン] に切り替えるには、キーボードの [Tab] キーを押します。

[タイムライン] が表示され、編集したビデオクリップがビデオトラックに配置されます。

[ストーリーボード] に切り替えるには、[Tab] キーを押します。



トリミング

トリミングは、ビデオクリップから手ぶれなどの見づらいシーンや不要なシーンを省き、安定した映像にする作業です。ただし、手ぶれを起こしていても、見せたいシーンや決定的な瞬間、貴重なシーンであればトリミングせずに残しましょう。

① トリミングしたいビデオクリップを選択します。

② [選択したクリップから不要部分をトリミング] をクリックします。



③ [トリミング] ウィンドウが表示されます。[シングルトリミング] タブがアクティブになっていることを確認します。

④ 再生スライダーをドラッグして、ビデオクリップの内容を確認します。必要なシーンの冒頭に再生スライダーを移動します。



⑤ [開始位置] をクリックします。



⑥ 冒頭のシーンがトリミングされます。

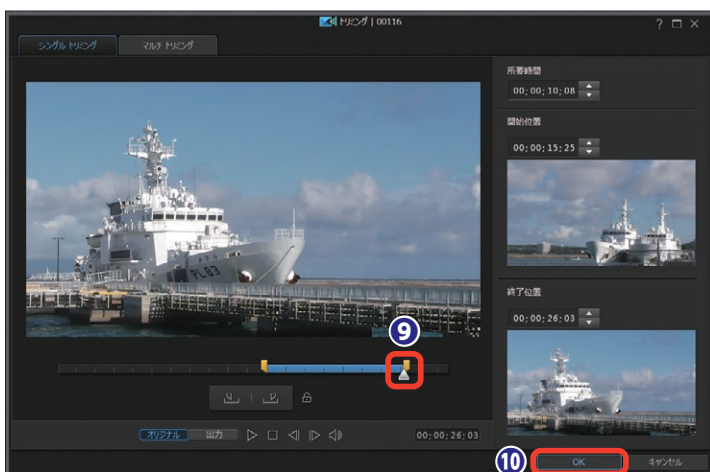
⑦ 必要なシーンの終わりに再生スライダーを移動します。

⑧ [終了位置] をクリックします。



⑨ 終わりのシーンがトリミングされます。

⑩ [OK] をクリックすると、ビデオトラックに配置しているビデオクリップがトリミングされます。



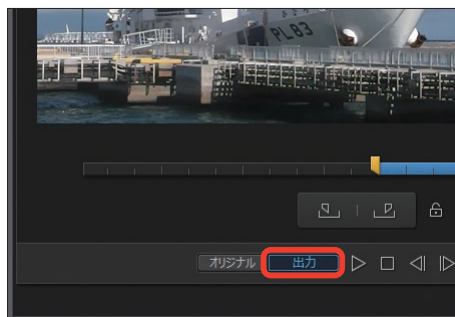
メモ

[開始位置] や [終了位置] を示すカウンター右端の [▲] や [▼] をクリックすると、[開始位置] や [終了位置] をフレーム単位で調整できます。



メモ

トリミングしたビデオクリップを再生して確認するには、[出力] をクリックします。[開始位置] から [終了位置] までのシーンだけが再生されます。



マルチトリミング

マルチトリミングは、ビデオクリップのシーンの変化を自動で分析して、シーンごとに分割（セグメント化）します。シーンごとに分割する手間が省け、各シーンのトリミングがすぐにできます。また、手動でビデオクリップから複数のシーンを抽出することもできます。

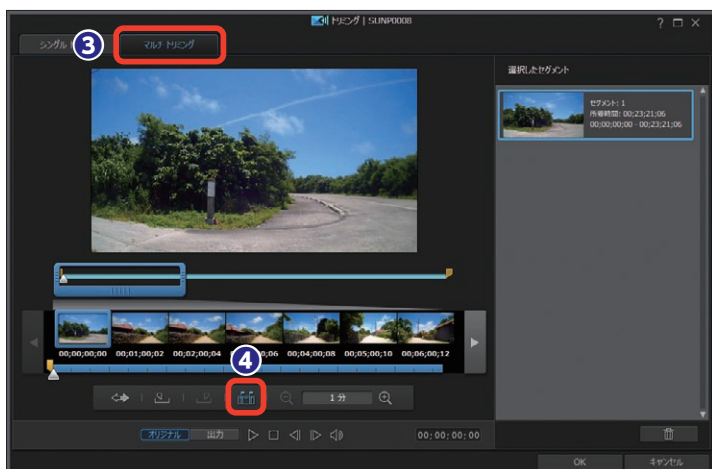
① トリミングしたいビデオクリップを選択します。

② [選択したクリップから不要部分をトリミング] をクリックします。



③ [トリミング] ウィンドウが表示されます。[マルチトリミング] タブをクリックします。

④ [シーンの検出] をクリックします。



メモ

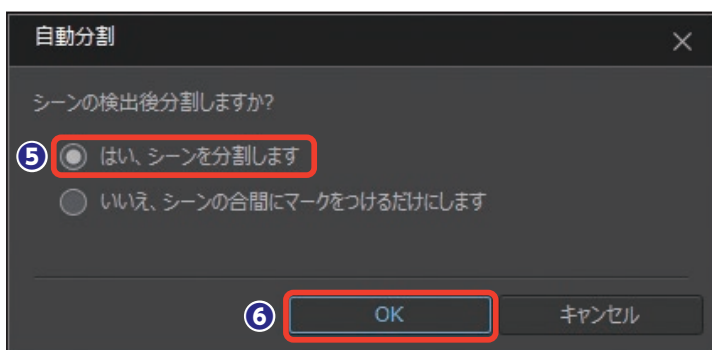
[開始位置] と [終了位置] を設定した後に [トリミング反転の結果] をクリックすると、選択範囲以外のシーンが抽出されます。

⑤ [自動分割] ダイアログボックスが表示されます。[はい、シーンを分割します] にチェックを入れます。

注意

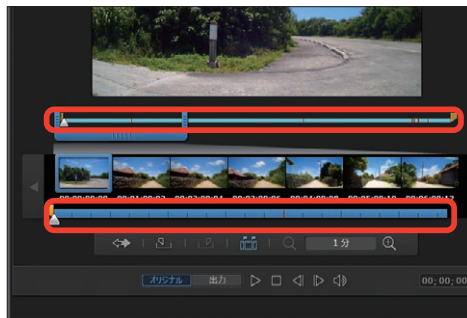
オリジナルのビデオファイルが分割されるわけではありません。

⑥ [OK] をクリックします。



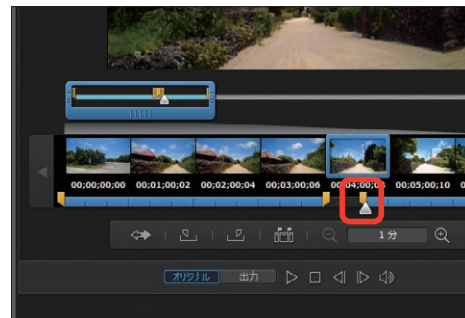
メモ

⑤で、[いいえ、シーンの合間にマークをつけるだけにします] を選んで [OK] をクリックすると、各シーンの境に赤い線が表示されます。再生スライダーを操作した際に赤い線にスナップします。



メモ

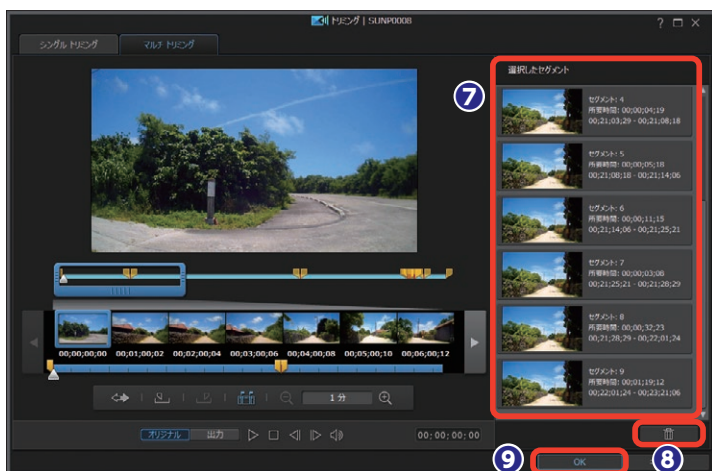
セグメントをクリックして、[開始位置スライダー] や [終了位置スライダー] をドラッグしてセグメントの再生開始位置や終了位置を調整すると、各セグメントのトリミングもできます。



⑦ [選択したセグメント] に、ビデオクリップ内のシーンを分割したセグメントが表示されます。

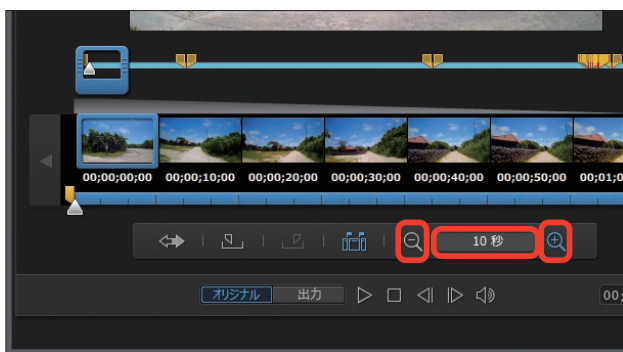
⑧ 不要なセグメントを削除するには、セグメントを選択して [削除] をクリックします。

⑨ [OK] をクリックすると選択したセグメントがひとつのビデオクリップとしてタイムラインに配置されます。



メモ

[拡大] [縮小] をクリックすると、ビデオクリップが1分、10秒、5秒、1秒、5フレーム、1フレームの単位で表示されます。各セグメントの再生時間を細かく調整するときに便利です。



クリップの長さの調整

タイムラインに配置したビデオクリップの長さを調整するには、ビデオクリップの端をドラッグします。トリミングしたビデオクリップの後に配置されたクリップは前に詰めるか、そのまま空白にするかを選択できます。

① 2つのクリップに挟まれたビデオクリップを選択します。

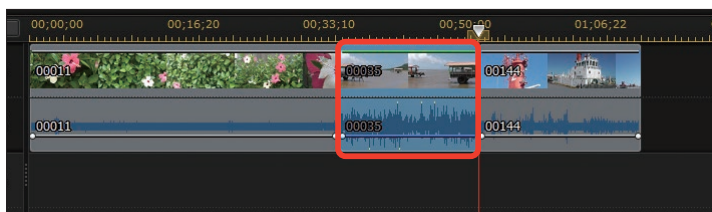
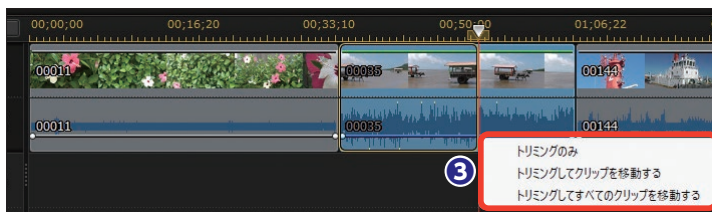
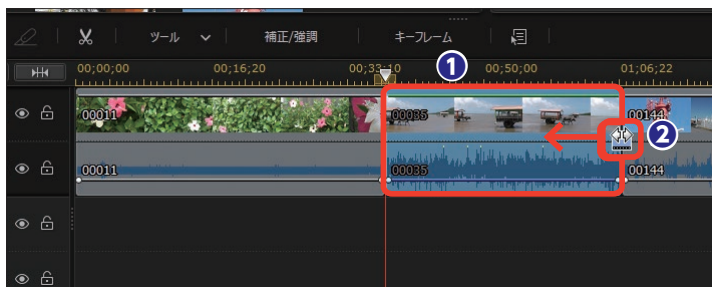
② 他のクリップと隣接した箇所にはポインタを合わせると【↔】アイコンになります。クリップの終わりをトリミングする場合はクリップの右端を左にドラッグします。

③ 表示されるメニューからトリミング方法を選択します。

【トリミングのみ】：クリップの長さを調整した後の空白がそのままになります。

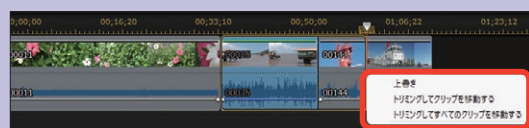
【トリミングしてクリップを移動する】：クリップの長さを調整した空白に、後に続くすべてのクリップが移動します。ただし、別のトラックに配置したクリップは移動しません。

【トリミングしてすべてのクリップを移動する】：クリップの長さを調整した空白に、後に続くすべてのクリップが移動します。別のトラックに配置しているクリップも連動します。



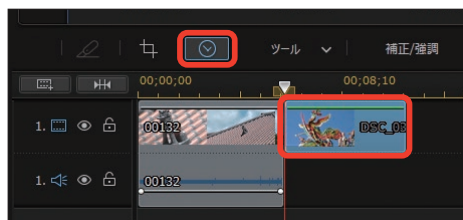
注意

画像クリップの再生時間を長くする場合や再生時間を短くしていたビデオクリップを長くする場合は、クリップの先頭から延長するなら左へ、後尾からであれば右へドラッグすると【上書き】【トリミングしてクリップを移動する】【トリミングしてすべてのクリップを移動する】の3つのサブメニューが表示されます。【上書き】は直前または直後のクリップと重なる部分を上書き（置き換え）します。ほかの2つでは長くした時間だけビデオ全体が延びます。



メモ

画像クリップの再生時間を変更するには、タイムラインの画像クリップを選択して【選択したクリップの長さを設定】をクリックします。表示される【所要時間の設定】ダイアログボックスで再生時間を入力して、【OK】をクリックします。



映像の補正／強調

【補正／強調】では、ビデオや画像クリップの明るさや色の調整、動画の手ぶれ補正、ノイズの除去などの映像の補正を行います。

① タイムラインに配置したクリップを選択します。

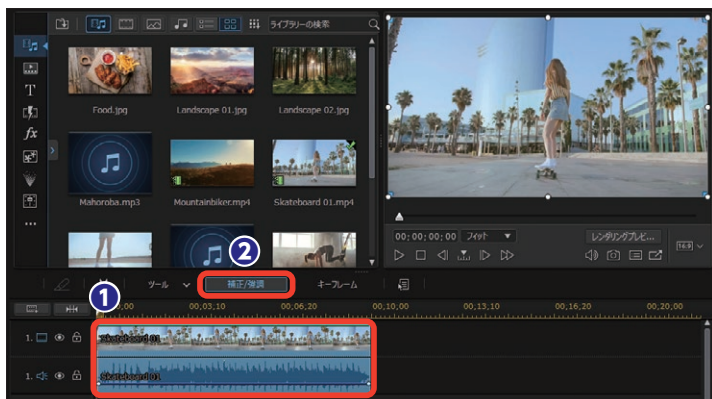
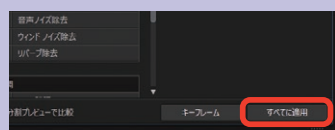
② 【補正／強調】 をクリックします。

③ 【補正／強調】 ウィンドウが表示されます。ビデオの場合は、【補正】の項目に【明るさ調整】【ホワイトバランス】【ビデオスタビライザー】【レンズ補正】【映像ノイズ除去】【音声ノイズ除去】【ウィンドノイズ除去】【リバーブ除去】が表示されます。

【強調】の項目には、【エッジ強調】【色調整】【カラーエンハンスメント】【カラーマッチ】【明暗別色補正】【HDRエフェクト】【スピーチ強調】が表示されます。各項目にチェックを入れると、効果が適用されます。調整はスライダーの操作やサムネイルの選択などで行います。

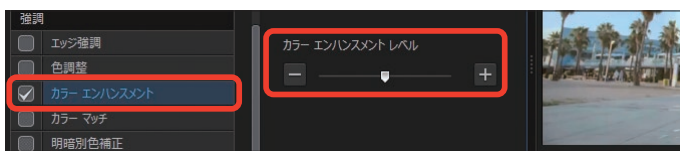
注意

補正や強調を行った後、【補正／強調】ウィンドウの右下にある【すべてに適用】をクリックすると、補正中のクリップと同じトラックに並ぶ他のクリップにも補正が適用されます。ただし、ビデオクリップへの補正は同じビデオトラックのビデオクリップにしか適用されません。同様に画像クリップへの補正は同じビデオトラックの画像クリップにしか適用されません。



メモ

【強調】の【カラーエンハンスメント】では、ビデオを解析して映像の彩度を最適化します。色の鮮やかさは【カラーエンハンスメントレベル】のスライダーで調整します（肌の色は変わりません）。



カラーマッチ

編集に使用するビデオクリップの色味がバラバラの場合、[カラーマッチ]で映像の色味を調整します。

① 色味を調整するクリップを選択して [補正/強調] をクリックします。

② [強調] の [カラーマッチ] をクリックします。

③ 右のウィンドウで [カラーマッチ] をクリックします。

④ [カラーマッチ] ウィンドウが表示されます。色味を調整したいクリップが [ターゲット] に表示されます。

⑤ タイムラインから色味の元にするクリップをクリックします。

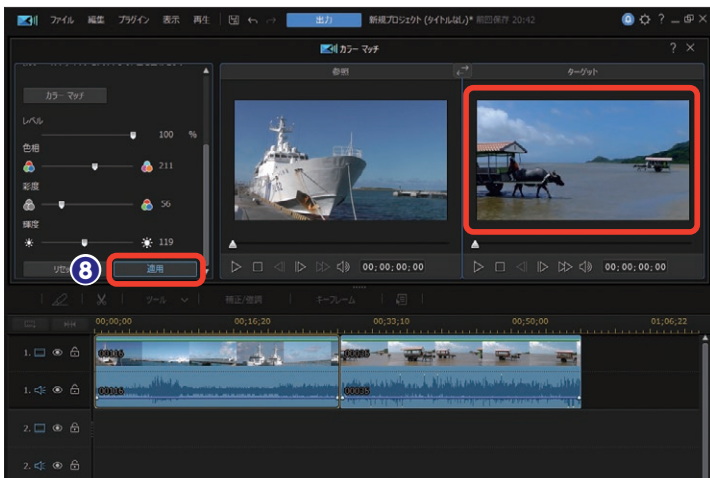
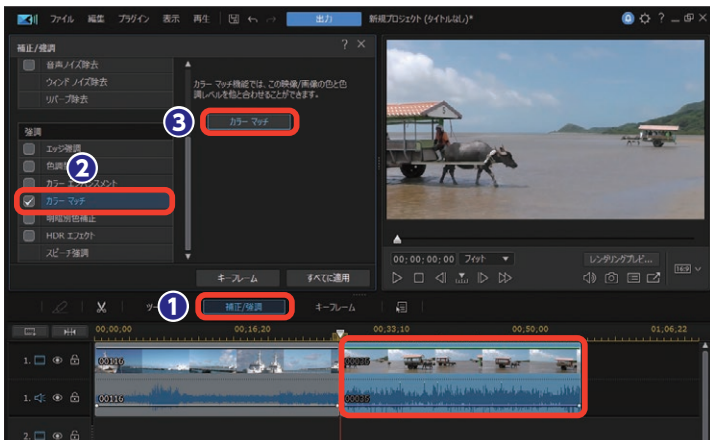
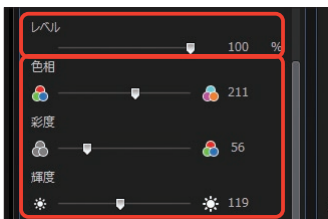
⑥ 色味の元になるクリップが [参照] に表示されます。

⑦ [カラーマッチ] をクリックします。

⑧ クリップの色味が調整されます。[適用] をクリックします。

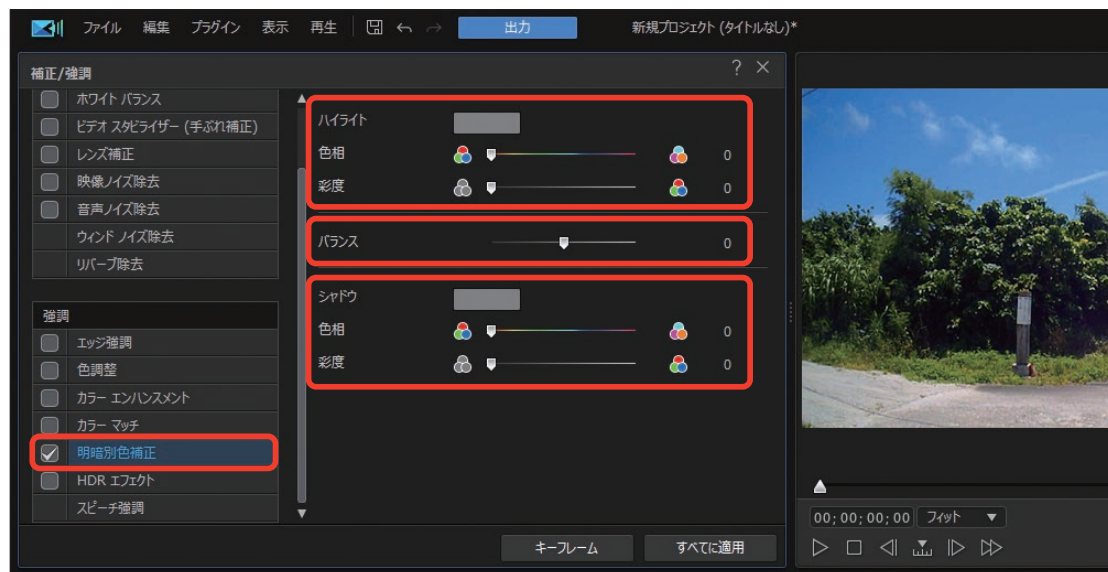
メモ

[レベル] で色味をどのくらい反映するかを、[色相] や [彩度]、[輝度] で、クリップの色味を詳細に調整できます。



明暗別色補正

[強調]の[明暗別色補正]では映像の最も明るい部分の色と最も暗い部分の色を調整できます。最も明るい部分は[ハイライト]で、最も暗い部分は[シャドウ]で調整します。各色の選択はカラーボックスをクリックして、表示される[カラー]ダイアログボックスで選択します。[バランス]で[ハイライト]と[シャドウ]の色合いの調整をします。



5

編集

HDRエフェクト

[強調]の[HDRエフェクト]では、映像にHDR（ハイダイナミックレンジ）エフェクトを加えます。[グロー]でぼかし具合を調整します。[エッジ]ではコントラストのエッジを調整します。



キーフレーム

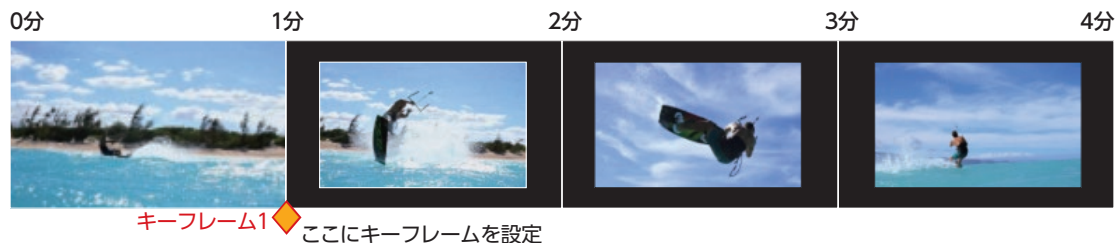
キーフレームを利用することで、ビデオや画像、音声、BGMなどへの修正や加工、エフェクトの効果の増減をフレーム単位で設定できます。PowerDirectorではさまざまな機能にキーフレームを設定できます。

キーフレームの基礎

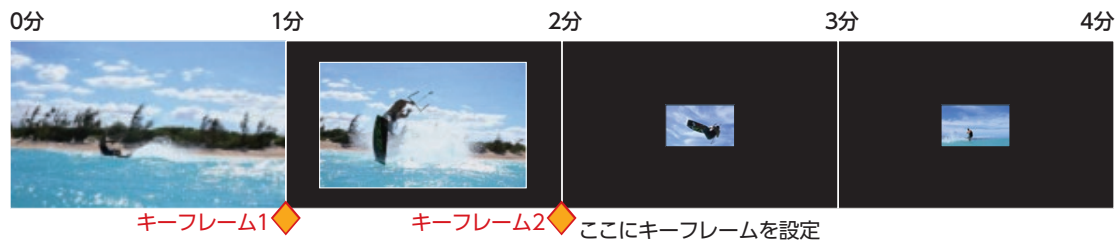
キーフレームは、ビデオの途中で違う効果に変更したいときや変化を加えるときなどに設定します。別の効果を加えるためにビデオを分割することなく、簡単にひとつのビデオクリップにいくつもの設定ができます。



① ここではビデオの表示サイズをキーフレームを使って縮小したり、元の表示サイズに戻す例で説明します。ビデオの表示サイズを少し小さくする位置にキーフレームを設定し、表示サイズを75%に設定します。するとキーフレームを設定した位置からあとのビデオの表示サイズが小さくなります。



② [2分] のところに2つ目のキーフレームを設定してビデオサイズを25%に設定します。

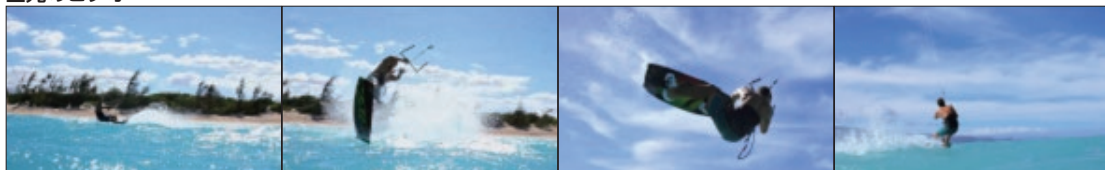


③ 3つ目のキーフレームを設定して、ビデオの表示サイズを元（100%）に戻します。

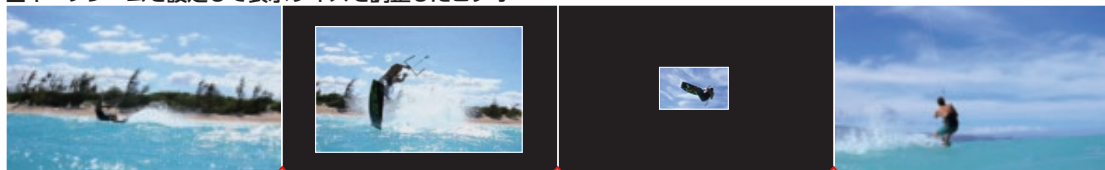


④ キーフレームの位置でビデオの表示サイズが変わります。このようにPowerDirectorではビデオの拡大/縮小、ビデオの補正/強調、音量、エフェクト、タイトルの表示など、いろいろな機能でキーフレームを設定できます。

■元のビデオ



■キーフレームを設定して表示サイズを調整したビデオ



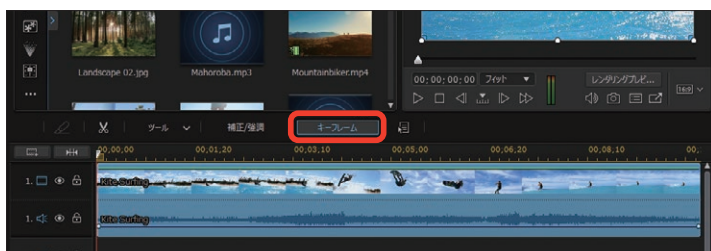
キーフレーム1

キーフレーム2

キーフレーム3

⑤ キーフレームを設定するにはクリップをクリックして、[キーフレーム]をクリックします。

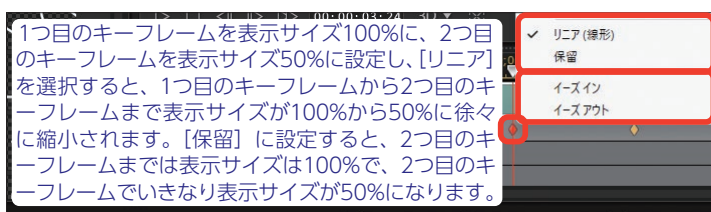
[キーフレームの設定] 画面が表示されます。ここでは、クリップの[補正/強調]や[クリップの属性]、[音量]をキーフレームで設定できます。



⑥ キーフレームは、[キーフレームの設定] 画面だけではなく、[トランジション]や[エフェクト]、[PiP]、[マスク]、[パーティクル]、[タイトル]の各設定画面で使用できます。どの機能でも設定方法は同じで、◆ [現在のキーフレームを追加/削除] アイコンをクリックしてキーフレームを設定し、そこに各効果や変化を調整します。



⑦ キーフレームを右クリックして表示されるメニューから、効果の設定ができます。[イーズイン]は効果のかかり具合を加速し、[イーズアウト]は効果のかかり具合を減速します。



キーフレームの設定

ここではビデオクリップが徐々に小さくなって消えていく効果を例にキーフレームの基本操作を説明します。

① タイムラインに配置したクリップを選択します。

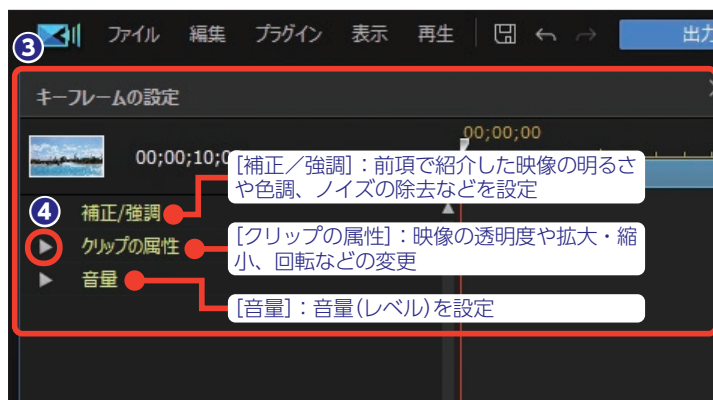
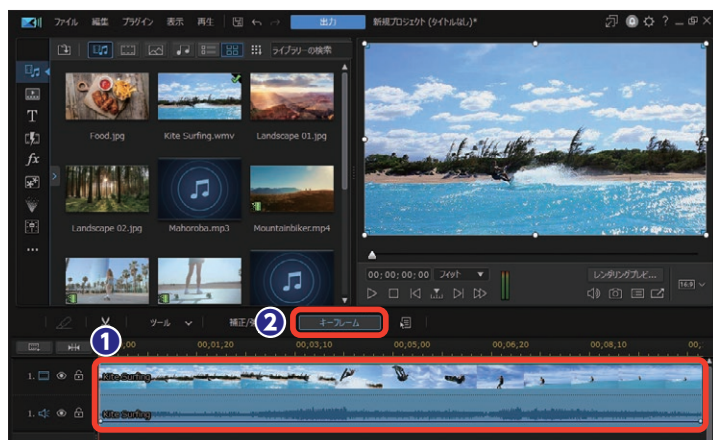
② [キーフレーム] をクリックします。

③ [キーフレームの設定] ウィンドウが表示されます。[キーフレームの設定] で変更できるのは、[補正／強調] [クリップの属性] [音量] です。

④ [クリップの属性] の [▶] をクリックします。

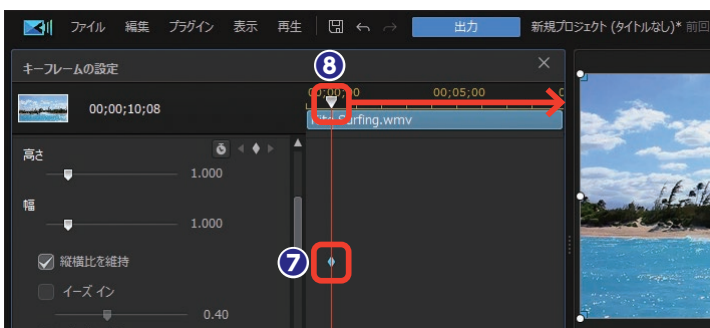
⑤ タイムラインスライダーを映像が小さくなり始める位置までドラッグします。

⑥ [高さ] と [幅] の [現在のキーフレームを追加／削除] をクリックします。



7 キーフレームが設定されます。
キーフレームは水色のポインタで表示されます。

8 タイムラインスライダーを映像の終わりにドラッグします。



9 [縦横比を維持] にチェックを入れます。

10 [高さ] ([幅] でも可) のスライダーを左にドラッグして数値を [0] にします。

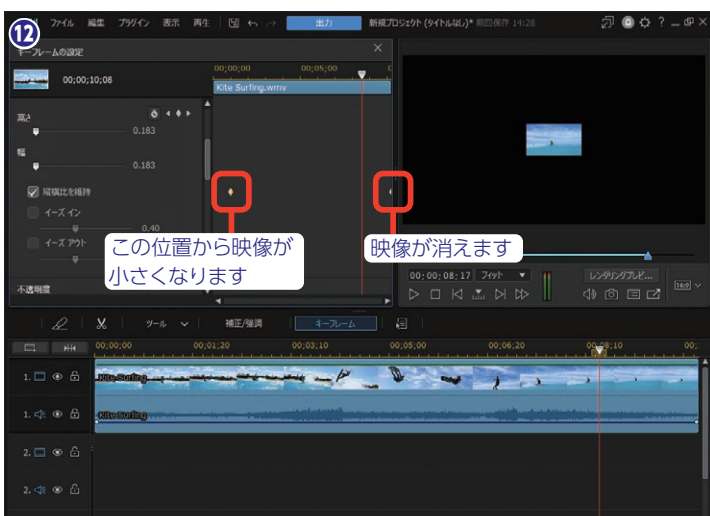
11 キーフレーム (水色のポインタ) が設定されます。



注意

クリップの後にほかのクリップがないため、プレビューウィンドウには黒い画面が表示されます。

12 キーフレームを設定した位置からビデオクリップが徐々に小さくなって消えていく映像になります。



タイムラインマーカー

タイムラインの任意の場所にマーカーを付けることができます。他の位置で編集していても素早くタイムラインスライダーのヘッドをマーカーの位置に移動したり、クリップをタイムラインに配置する場合、マーカーの位置に合わせることができます。

① タイムラインでタイムラインマーカーを付ける位置にタイムラインスライダーのヘッドを移動します。その位置で右クリックします。

② 表示されるメニューから「タイムラインマーカーの追加」をクリックします。

③ 「マーカー」ウィンドウが表示されます。マーカーの色を選択します。また、マーカーに名前やコメントを付けられます。

④ [OK] をクリックします。

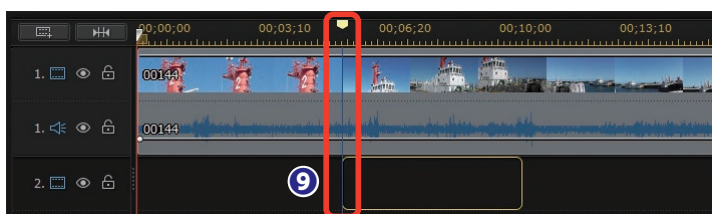
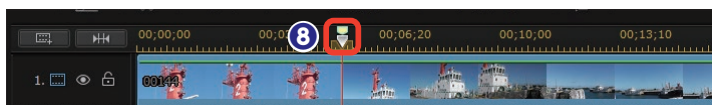
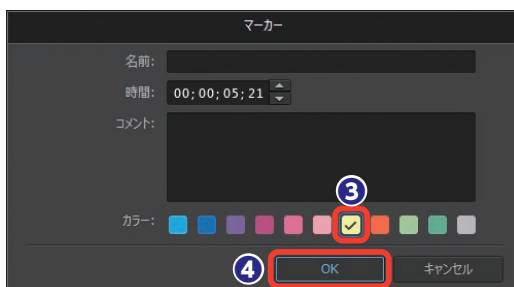
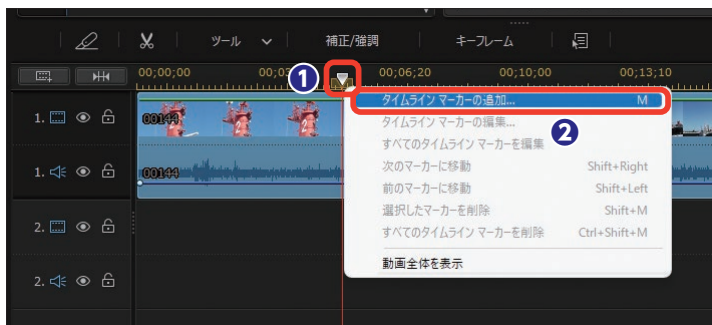
⑤ タイムラインにタイムラインマーカーが設置されます。

⑥ タイムライン上にあるタイムラインスライダーのヘッドをタイムラインマーカーの位置に素早く移動するには、ヘッドを右クリックします。

⑦ 「次のマーカーに移動」をクリックします。

⑧ タイムラインスライダーのヘッドがタイムラインマーカーの位置に移動します。

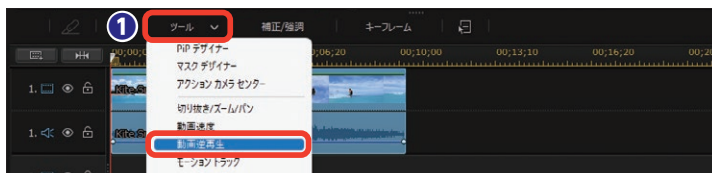
⑨ クリップをタイムラインマーカーの位置に配置しようとすると、ブルーのラインが表示されます。マーカーの位置ぴったりに配置できます。



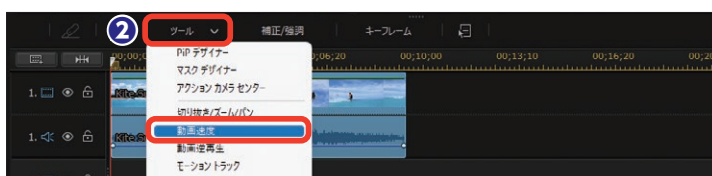
動画の切り抜きと動画速度・逆再生

動画のオブジェクトに寄ったり、引いたりする効果や動画の早送りやスロー再生、逆再生など、ビデオ編集に役立つ機能も用意されています。これらの効果は「ツール」機能のメニューから選択します。

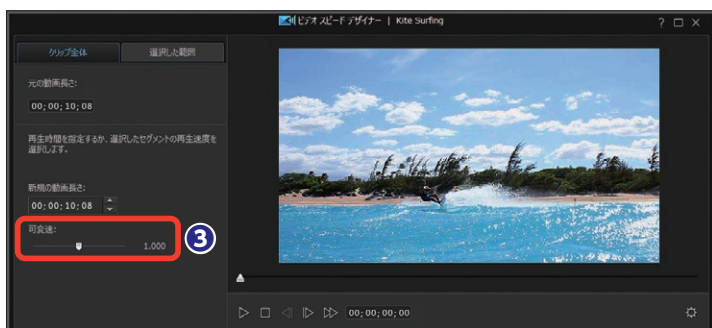
① ビデオクリップを選択して「ツール」の「動画逆再生」をクリックすると、ビデオクリップが終点から逆再生されます。映像を巻き戻した効果になります。



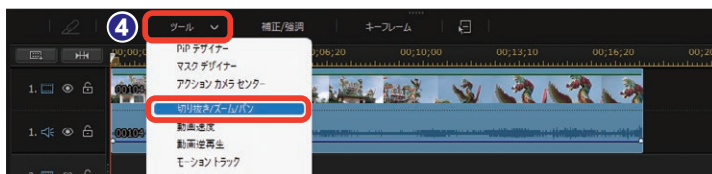
② 映像を倍速再生したり、スロー再生するには、ビデオクリップを選択して「ツール」の「動画速度」をクリックします。



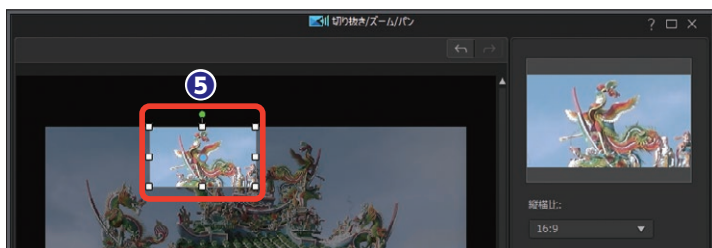
③ 「ビデオスピードデザイナー」ウィンドウが表示されます。[可変速]を[1]以下に設定するとスロー再生に、[1]以上に設定すると倍速再生になります。



④ ビデオクリップを選択して「ツール」の「切り抜き/ズーム/パン」をクリックすると、動画のトリミングができます。



⑤ 「切り抜き/ズーム/パン」ウィンドウが表示されます。映像の一部をクローズアップできるほか、キーフレームを設定して、クローズアップする位置を移動することもできます。



モーショントラック

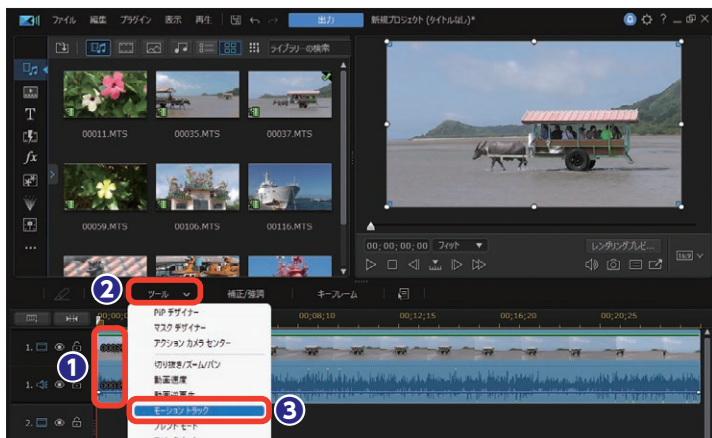
モーショントラックは、オブジェクトの動きに合わせてタイトルやビデオなどを追加できます。たとえばマラソン大会などのランナーに氏名のタイトルを表示すると、ランナーが映像で移動してもその動きに合わせてタイトルも一緒に移動します。

オブジェクトの設定

① タイムラインに配置したクリップを選択します。

② [ツール] をクリックします。

③ 表示されるメニューから[モーショントラック] をクリックします。



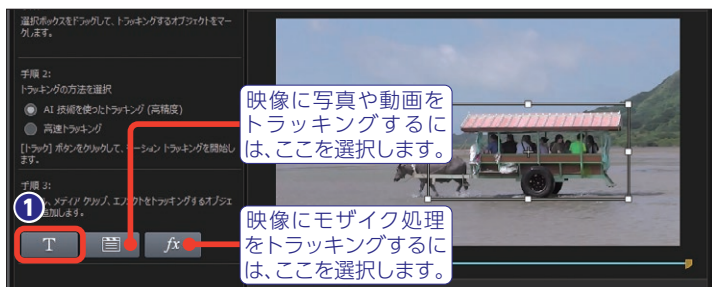
④ [モーショントラック] ウィンドウが表示されます。

⑤ ここでは移動する水牛車をトラッキングします。選択ボックスを移動するオブジェクト（水牛車）にドラッグし、四角いポイントをドラッグしてオブジェクトのサイズに合わせます。



タイトルを追加する

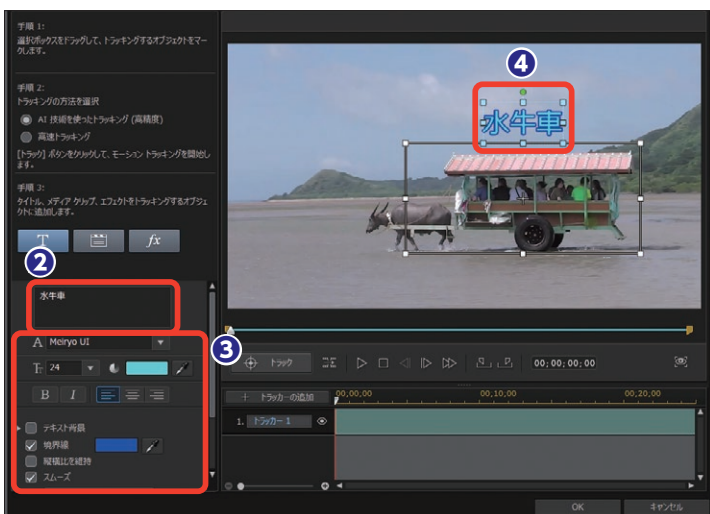
① オブジェクトに文字を追加するには、[タイトルテキストの追加] をクリックします。



② テキストの設定画面が表示されます。テキストボックスに文字を入力します。

③ テキストのフォントやサイズ、文字飾りなどを設定します。

④ プレビューウインドウにテキストオブジェクトが表示されます。テキストオブジェクトはドラッグして移動したり、サイズを変更できます。

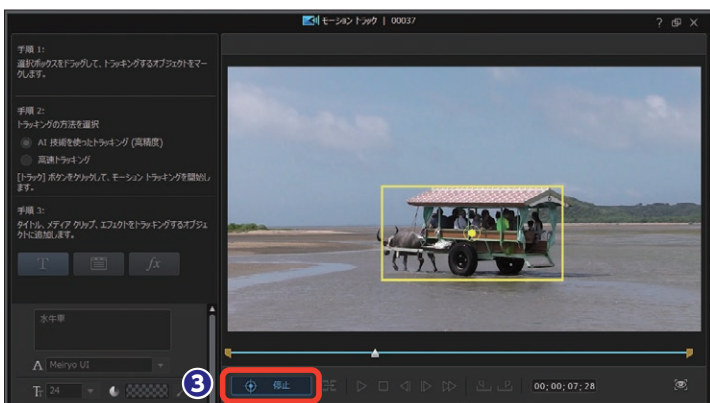


モーショントラッキングを適用する

① 設定ができれば、トラッキングの方法を選びます。[AI 技術を使ったトラッキング (高精度)] は、AIベースでより正確なトラッキングができます。

② [トラック] をクリックします。

③ トラッキングが開始されます。ビデオの途中でトラッキングを中止するには [停止] をクリックします。

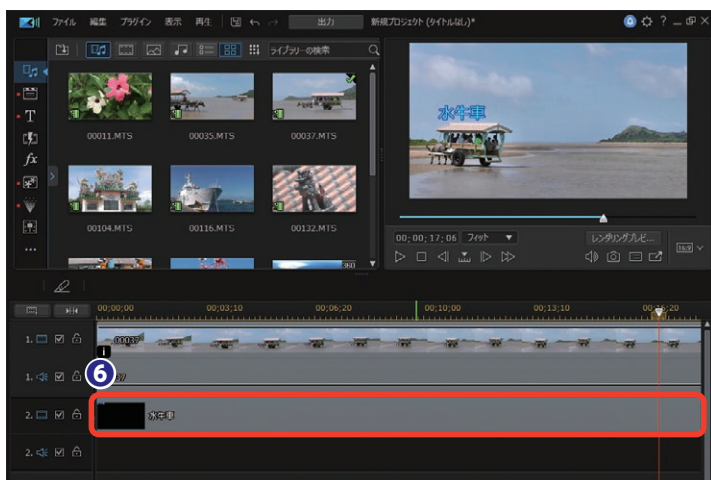


④ モーショントラックが適用されます。効果を確認するには「再生」をクリックします。

⑤ よければ「OK」をクリックします。



⑥ 作成したモーショントラックはビデオトラックにクリップとして配置されます。



■モーショントラックの作例



メモ

「Ctrl」 + 「M」 キーを押すと、1フレームごとにモーショントラックを設定できます。また、「Ctrl」 キーを押しながら上下左右の矢印キーを押すと、モーショントラックの範囲を1ピクセルずつ調整できます。



ブレンドモード

ブレンドエフェクトは、ビデオにレンズフレアやライトスポットなどの光やライトなどのエフェクト効果を合成できます。また、[ブレンドモード] によって色の掛け合わせ方を設定することができます。

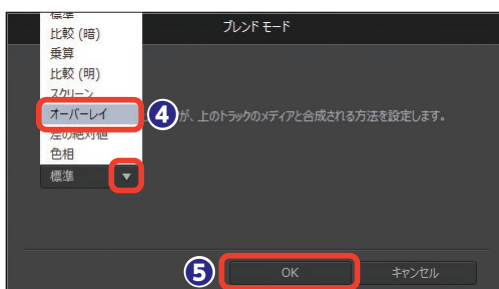
① タイムラインに配置したクリップを選択します。

② [ツール] をクリックします。

③ [ブレンドモード] をクリックします。



④ [ブレンドモード] 画面が表示されます。[▼] をクリックして、合成方法を選択します。合成方法については下記をお読みください。



⑤ [OK] をクリックします。

⑥ ビデオクリップが合成されます。



■島のビデオと煙突のビデオを「オーバーレイ」で合成した例



[標準]：ビデオ1とビデオ2の色をそのまま重ねた色合いになります。

[比較 (暗)]：ビデオ1とビデオ2の暗い方の色で合成されます。

[乗算]：ビデオ1とビデオ2の色を混ぜた色合いになります。

[比較 (明)]：ビデオ1とビデオ2の明るい方の色で合成されます。

[スクリーン]：ビデオ1とビデオ2の明るい方の色が透過した色合いになります。

[オーバーレイ]：暗い色では [乗算] に、明るい色では [スクリーン] になります。

[差の絶対値]：ビデオの白い部分は反転し、黒い部分はそのまま合成されます。

[色相]：ビデオ2の色相とビデオ1の明度と彩度が合成されます。

音声のミュート

音声のミュートは、ビデオクリップの音声を無音にします。ビデオの音声をオーディオトラックに配置したBGMやナレーションだけにしたい場合は、ビデオクリップの音声をミュートに設定します。

① トラックに配置したビデオクリップを右クリックします。

② 表示されるメニューから「ミュート (クリップ)」をクリックします。

メモ

ミュートを解除するには、ビデオクリップを右クリックして、表示されるメニューから「ミュート (クリップ)」をクリックします。



③ 音声が無音になります。

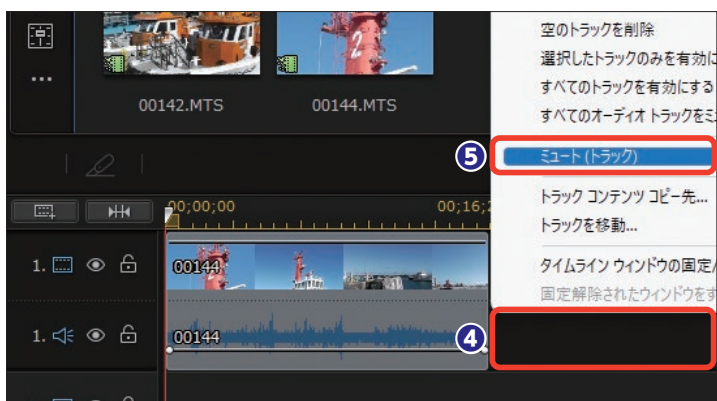
メモ

ビデオクリップから音声だけを分離することができます。ビデオクリップを右クリックして、表示されるメニューから「動画と音声をリンク/リンク解除」をクリックします。音声クリップとしてビデオクリップから分離します。この音声クリップは削除したり、ドラッグして移動したりできます。



④ トラック全体をミュートにするには、ビデオトラックにある音声トラックの空欄を右クリックします。

⑤ 表示されるメニューから「ミュート (トラック)」をクリックします。



メモ

トラック全体のミュートを解除するには、ビデオトラックにある音声トラックを右クリックして、表示されるメニューから「ミュート (トラック)」をクリックします。

ビデオスタビライザー

【ビデオスタビライザー】は、手ぶれ防止機能の搭載されていないスマートフォンやビデオカメラなどで撮影した映像の手ぶれを補正します。【ビデオスタビライザー（手ぶれ補正）】は映像を分析して、手ぶれが目立たなくなるように自動でトリミングする機能です。

① ビデオクリップを選択します。

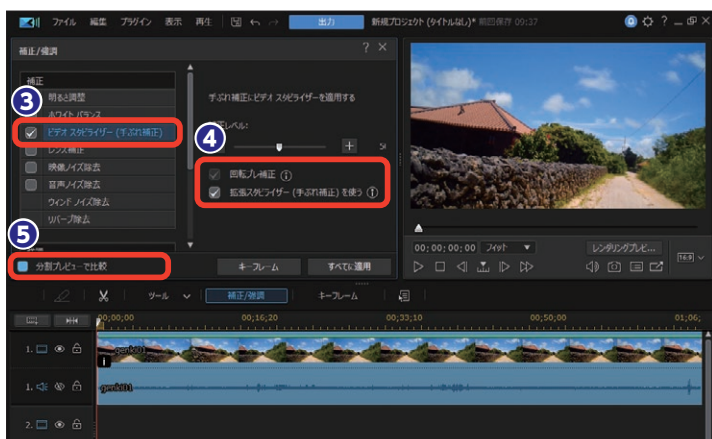
② [補正／強調] をクリックします。



③ [補正／強調] ウィンドウが表示されます。【ビデオスタビライザー（手ぶれ補正）】にチェックを入れます。

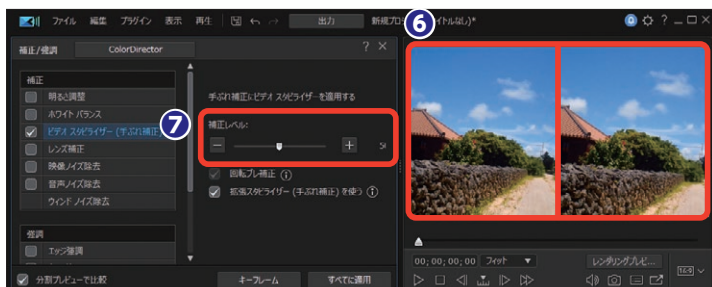
④ [回転手ブレ補正] にチェックを入れて、[拡張スタビライザー（手ぶれ補正）を使う] にチェックを入れます。

⑤ [分割プレビューで比較] にチェックを入れます。



⑥ プレビューウィンドウにオリジナル画像（左）と補正後（右）の映像が表示されます。

⑦ [手ぶれ補正にビデオスタビライザーを適用する] の [補正レベル] のスライダーをドラッグして、補正効果を調整します。



注意

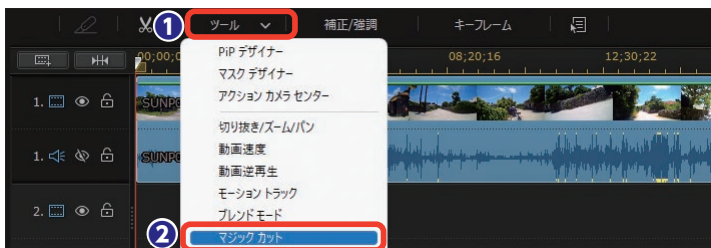
【拡張スタビライザー（手ぶれ補正）を使う】にチェックを入れると、より安定した手ぶれ補正効果を得ることが出来ます。この効果は高い処理能力が求められるため、パソコンによっては【リアルタイムプレビュー】が行えない機種もあります。プレビューウィンドウを右クリックして、表示されるメニューから【プレビューモード】→【ノンリアルタイムプレビュー】をクリックして、【ノンリアルタイムプレビュー】に切り替えて効果を確認してください。

マジックカット

マジックカットは、ビデオクリップから条件に合うシーンだけを保持して、それ以外の不要なシーンを削除します。また、指定した時間やBGMの再生時間に合わせてビデオクリップを仕上げることもできます。

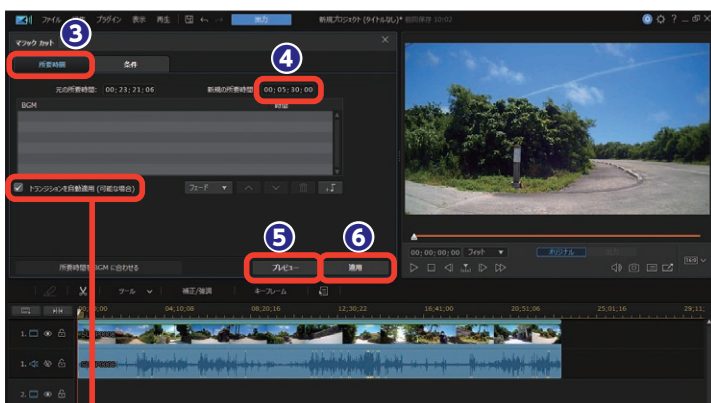
① ビデオクリップを選択して、[ツール] をクリックします。

② 表示されるメニューから [マジックカット] をクリックします。



③ [マジックカット] ウィンドウが表示されます。[所要時間] をクリックします。

④ [新規の所要時間] にビデオクリップの再生時間を入力します。ここでは23分21秒のビデオを、5分30秒のダイジェストビデオにするため、[00:05:30:00] に設定しています。



⑤ [プレビュー] をクリックすると [新規の所要時間] で再生されます。

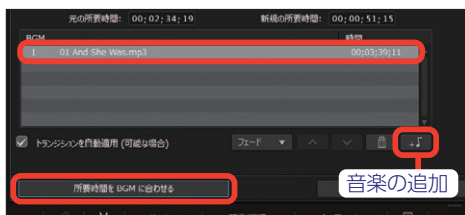
⑥ よければ [適用] をクリックします。

メモ

[トランジションを自動適用 (可能な場合)] にチェックを入れると、カット間にトランジションが適用されます。ただし、マジックカットで設定した [新規の所要時間] が短い場合は適用されません。

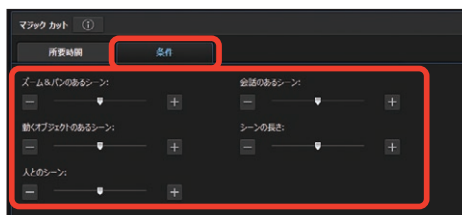
メモ

[音楽の追加] をクリックして、表示されるウィンドウからBGMファイルを選択し、[所要時間をBGMに合わせる] をクリックすると、BGMの再生時間が [新規の所要時間] になります。



メモ

[条件] をクリックすると、所要時間を決定する5つの条件が表示されます。各々の条件に当てはまるシーンを多めに残す場合は [+] 方向へ、少なくする場合は [-] 方向へスライダーをドラッグします。



クリップの追加

複数のクリップが並ぶタイムラインにクリップを追加してみましょう。クリップを追加するときに表示されるメニューから、[上書き] や [挿入]、[置き換え] などの追加方法を選択できます。

❶ クリップをメディアライブラリからタイムラインヘドラッグします。

❷ クリップの上にドラッグすると、メニューが表示されます。

[上書き]：ドラッグしたクリップの所要時間だけ、ドラッグした先のクリップが上書きされます。タイムライン全体の所要時間より短いクリップであれば、タイムライン全体の時間は変わりません。

[挿入]：挿入したクリップの時間だけ、タイムライン全体の所要時間が増えます。

[挿入してすべてのクリップを移動する]：挿入したクリップより後にあるすべてのトラックのクリップが移動します。

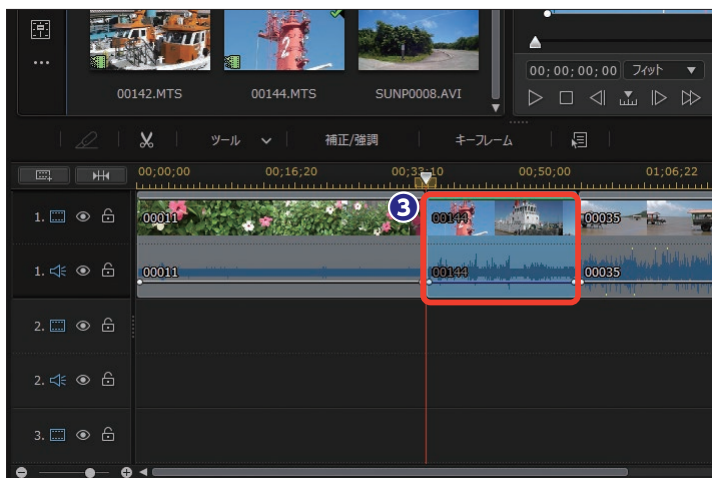
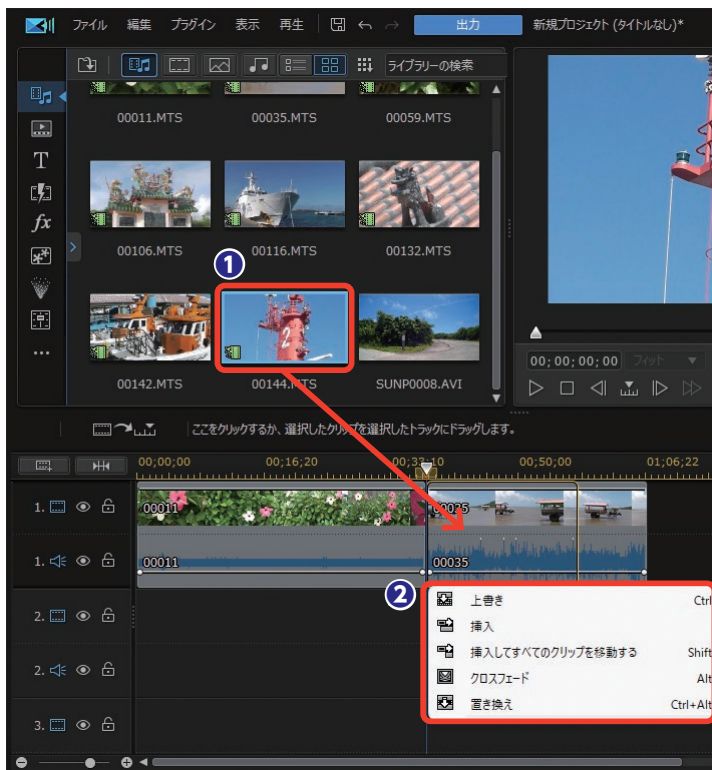
[クロスフェード]：クリップが重なる部分にトランジションが適用されます。

[置き換え]：タイムラインにあるクリップがドラッグしたクリップに入れ替わります。タイムラインにあるクリップの所用時間が短い場合は、その所要時間に合わせられます。長い場合や長くできない場合は隙間が空きます。

❸ クリップが追加されます。

メモ

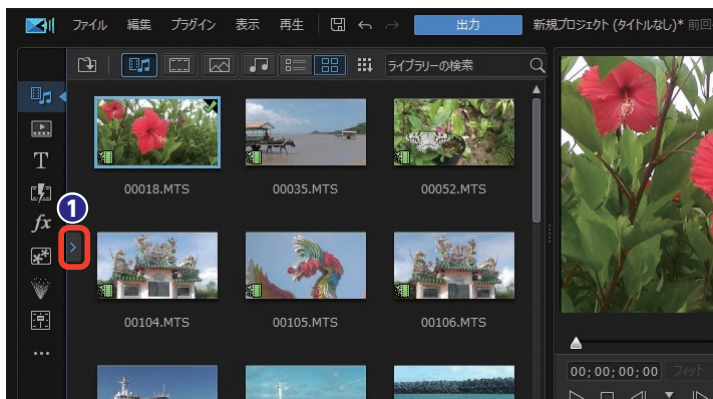
クリップとクリップの境ではなく、クリップの上ヘドラッグした場合は、[クロスフェード] を除いたサブメニューが表示されます。また、挿入するクリップが挿入先のクリップより長い場合も同様になります。



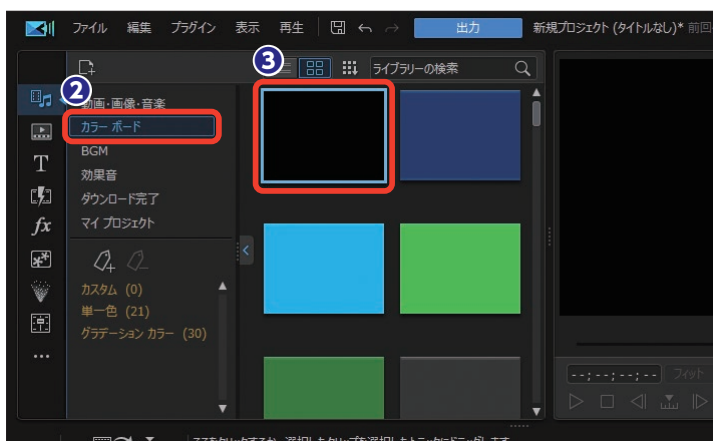
カラーボードの追加

映像演出での暗転や明転に使う黒色や白色の画面に使用するカラーボードが用意されています。カラーボードは、タイトルバックとして使用することもできます。

- ① [エクスプローラービューの表示／非表示] をクリックします。



- ② [エクスプローラービュー] が表示されます。[カラーボード] をクリックします。



- ③ [カラーボード] には51枚のカラー画像が収納されています。カラーボードをタイムラインにドラッグします。

メモ

カラーボードの色を変更するには、①カラーボードを選択して、②[色の変更] をクリックし、表示される[カラー] ウィンドウで行います。



メモ

カラーボードをタイトルバックとして使用することもできます。タイトルの入力方法は「Chapter7タイトル」をお読みください。

メモ

カラーボードの再生時間を調整するには時計のアイコン  の [選択したクリップの長さを設定] をクリックして、表示される [所要時間の設定] ダイアログボックスで再生時間を設定します。または、クリップを右クリックして、表示されるメニューから [所要時間] を選択します。なお、クリップの右端をドラッグして、再生時間を調整することもできます。



Chapter 6

エフェクト

エフェクトの追加

エフェクトは、ビデオに水面のゆらぎやマルチ画面などのさまざまな視覚効果を加えます。[エフェクトルーム] に200個以上のエフェクトが用意されていて、ビデオや画像クリップに特殊効果を加えられます。

① エフェクトを追加するには、タイムラインにビデオクリップを配置します。

② エフェクトを追加する位置にタイムラインスライダーを移動します。

③ [エフェクトルーム] をクリックします。

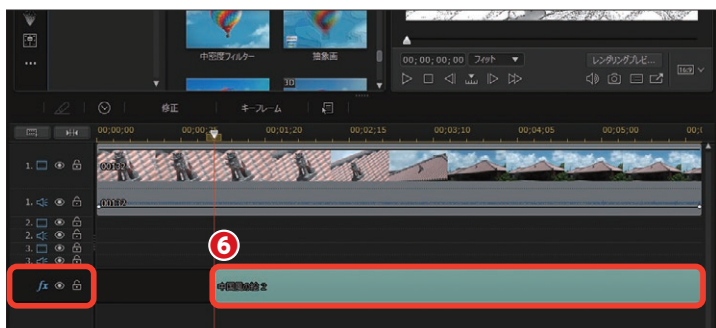
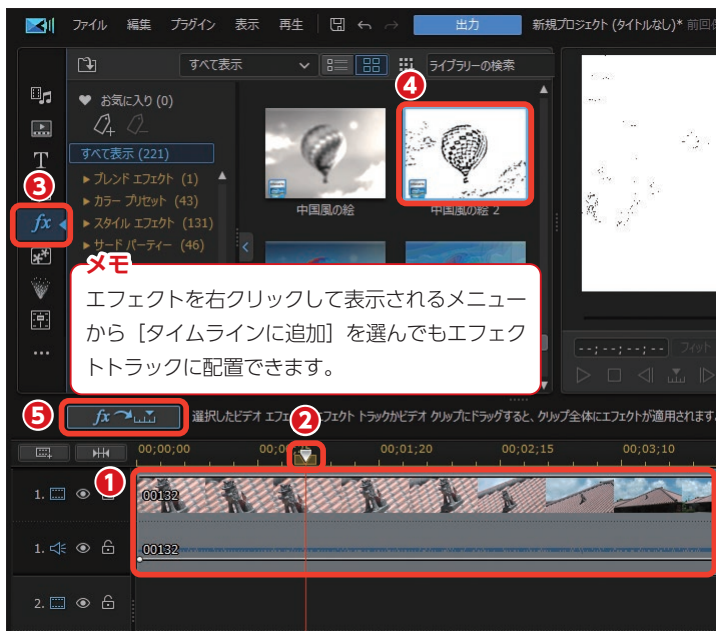
④ エフェクトを選択します。

⑤ [エフェクトトラックに追加] をクリックします。

⑥ エフェクトトラックが追加され、そこにエフェクトクリップとして配置されます。

メモ

エフェクトは、ビデオクリップや画像クリップに直接ドラッグして、複数のエフェクトを設定することもできます。



メモ

エフェクトを配置している場所にエフェクトを追加すると、メニューが表示されます。

[上書き]：すでにあるエフェクトと重なる箇所が新しいエフェクトで上書きされます。

[挿入]：すでにあるエフェクトと重なる箇所で分割され、新しいエフェクトが挿入されます。分割されたエフェクトの残りが右へ移動します。

[挿入してすべてを移動]：すでにあるエフェクトと重なる箇所が分割され、新しいエフェクトが挿入されます。分割されたエフェクトの残りやあとにあるクリップが、すべてのトラックで右へ移動します。



エフェクトの修正

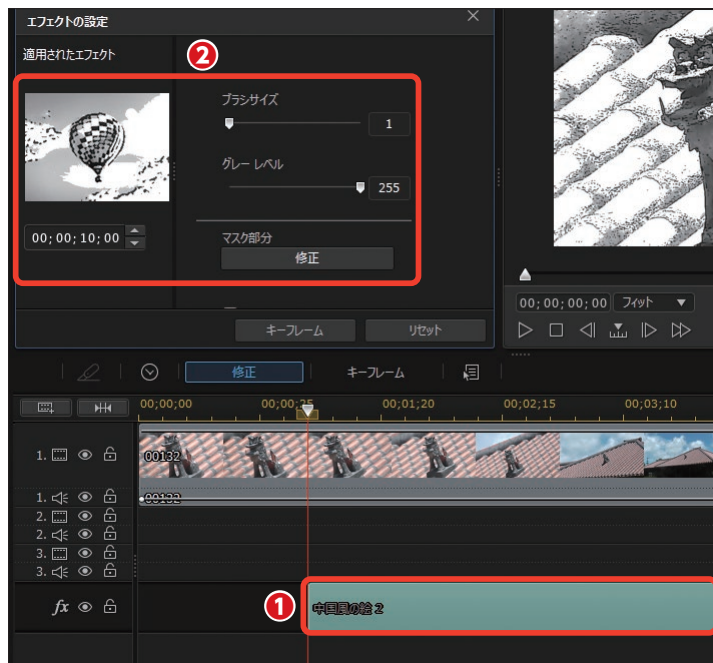
エフェクトトラックに配置したエフェクトは、効果の強弱などの設定を変更できます。また、効果の変動をキーフレームで設定できます。

① エフェクトトラックに配置したエフェクトをダブルクリックします。

② [エフェクトの設定] ウィンドウが表示されます。スライダーや数値入力などにより、エフェクトをカスタマイズします。

メモ

エフェクトにより、設定できる項目が変わります。



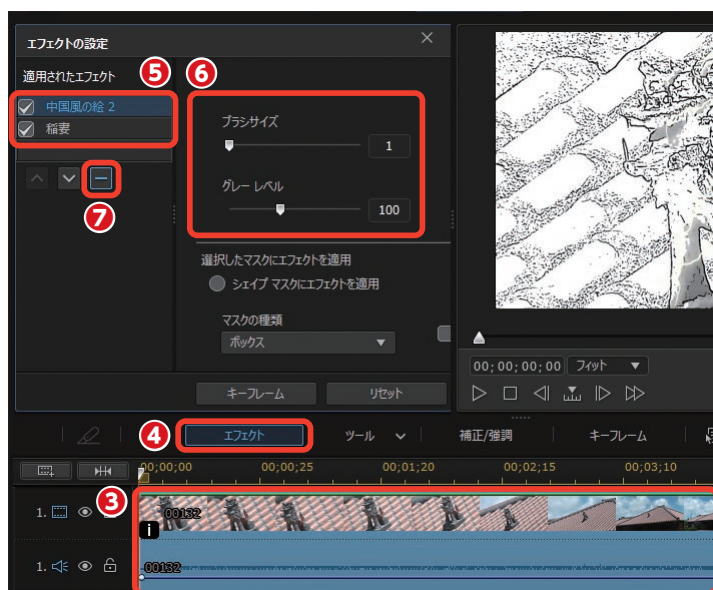
③ ビデオや画像クリップヘドラッグしたエフェクトの修正や削除は、クリップを選択します。

④ [エフェクト] をクリックします。

⑤ [エフェクトの設定] ウィンドウに、適用しているエフェクトの一覧が表示されます。

⑥ エフェクトを選択して、スライダーなどで修正を行います。

⑦ 設定したエフェクトを削除するには、エフェクトを選択して [－] をクリックします。



エフェクト効果の応用

エフェクトにはさまざまな効果が用意されています、ここでは映像の人物などだけにエフェクトをかける[オブジェクトの自動切り抜き]効果やAIがビデオクリップから自動で人物などを抽出し、特殊効果をかける[AIオブジェクト]効果について説明します。

オブジェクトの自動切り抜き

「オブジェクトの自動切り抜き」ではエフェクト効果をかけたビデオの一部、たとえば人物だけを切り抜いてエフェクト効果を解除し、人物だけを実写、背景はエフェクト効果にすることができます。

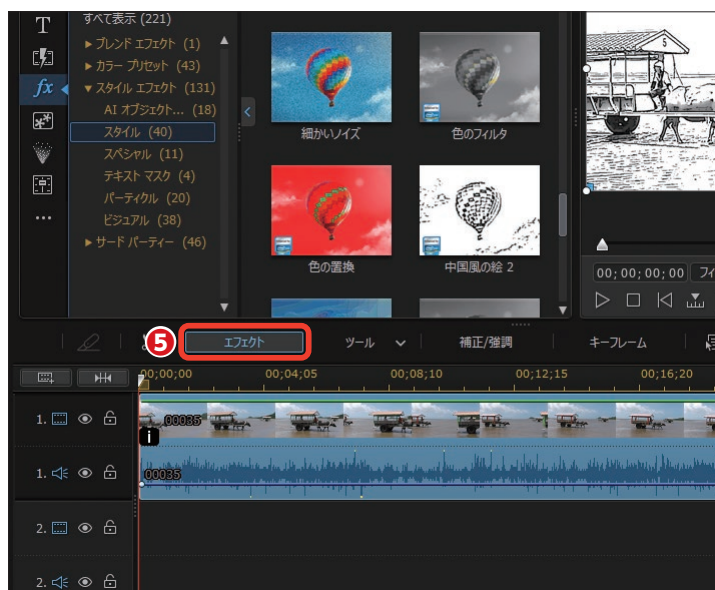
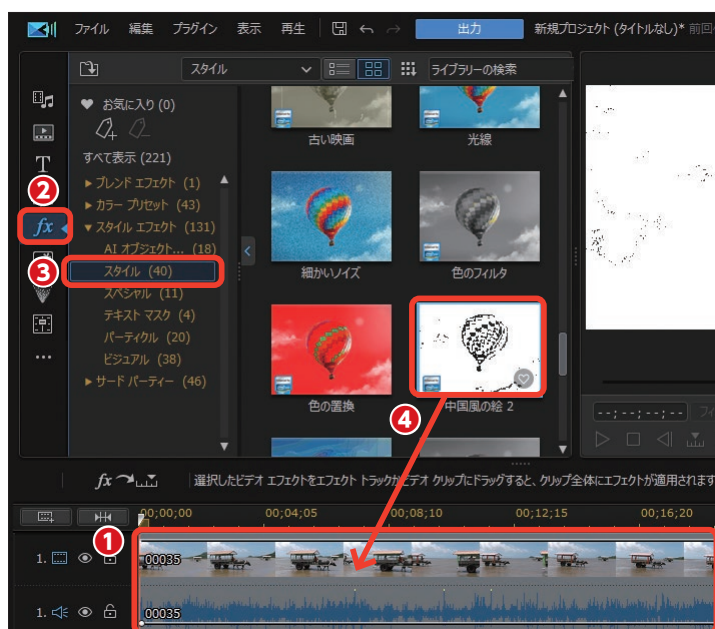
① メディアルームから編集するビデオクリップをタイムラインに配置します。

② 「エフェクトルーム」をクリックします。

③ エフェクトのジャンルをクリックします。

④ 使用するエフェクトを選択して、タイムラインのビデオクリップにドラッグします。

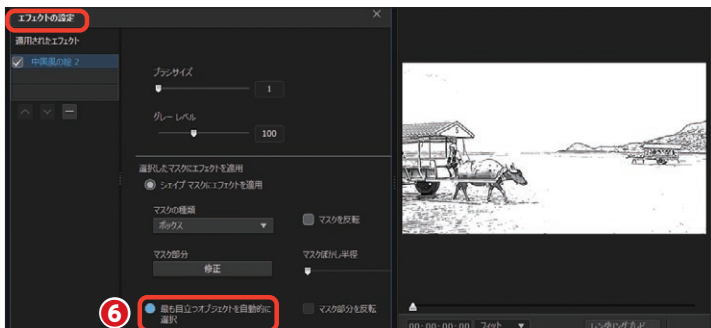
⑤ ビデオクリップにエフェクトが適用されます。「エフェクト」をクリックします。



注意

「オブジェクトの自動切り抜き」機能は、一部のマスクには非対応です。

6 [エフェクトの設定] 画面が表示されます。下の方にある[最も目立つオブジェクトを自動的に選択]の丸ボタンをクリックしてチェックを入れます。

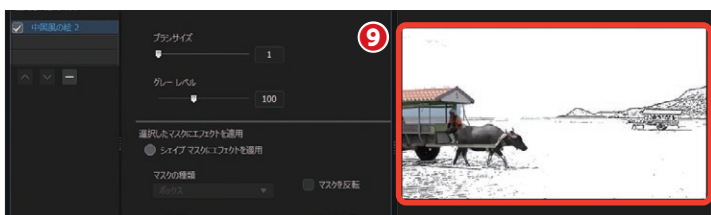


7 人物やものだけにエフェクト効果がかかり、その他の背景などは実写になります。この例では水牛車だけにエフェクトがかかります。



8 [マスク部分を反転] をクリックしてチェックを入れます。

9 オブジェクトだけが実写になり、その他の部分にエフェクトがかかります。

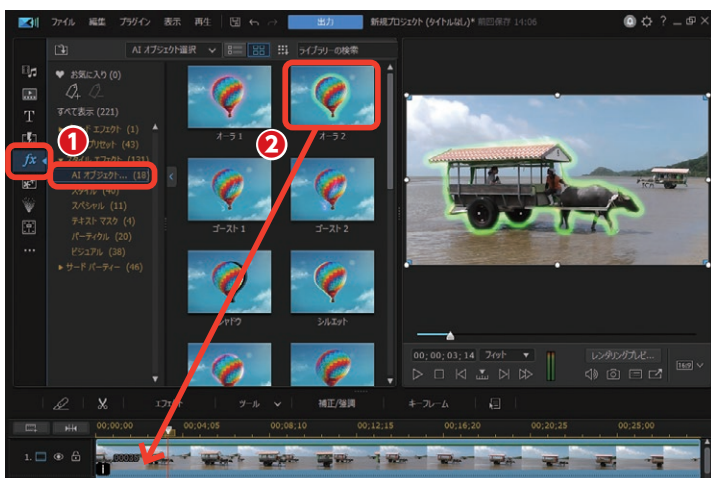


AIオブジェクト

[AIオブジェクト] は、AIがビデオクリップから自動で人物などを抽出し、その人物にオーラがかかっているような効果や影をつけたり、人物の周りに雷を起こしたりなど、おもしろい効果を適用できます。

1 [エフェクトルーム] から [AIオブジェクト] をクリックします。

2 エフェクトを選択してビデオクリップにドラッグします。



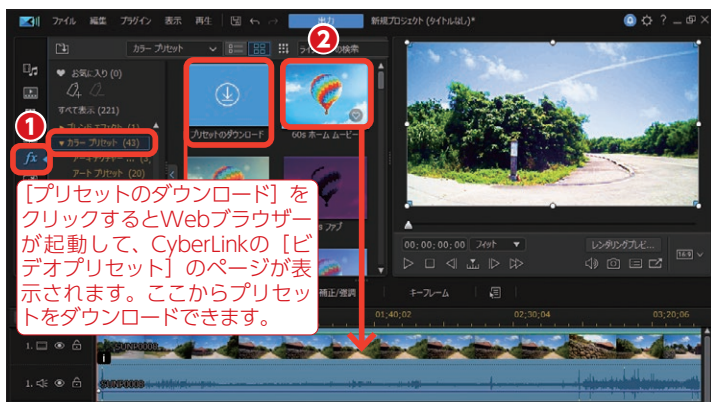
色調整（カラープリセット）

エフェクトは映像に視覚効果を加えるだけではなく、映像の色味を調整することもできます。あらかじめ用意されたカラープリセットを選択して、好みの色調整を行いましょう。

クリップの色味を、カラープリセットで変更できます。プリセットはサイバーリンクのWebサイトにも用意されています。

① [エフェクトルーム] の [カラープリセット] をクリックします。

② プリセットを選択して、タイムラインのクリップにドラッグします。



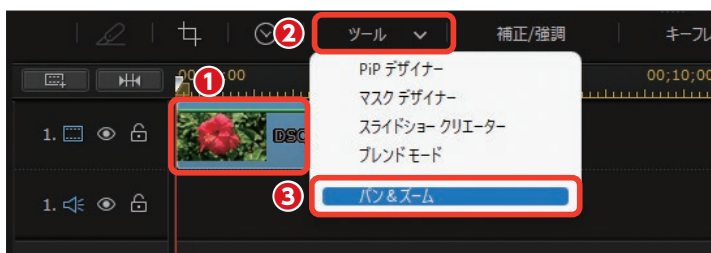
パン&ズーム

画像クリップの一部が拡大したり、画像が右から左に移動したりする動きを設定できます。これらの動きは画像クリップにモーションスタイルを選択するだけで、適用されます。

① タイムラインに配置した画像クリップを選択します。

② [ツール] をクリックします。

③ 表示されるメニューから [パン&ズーム] を選択します。



④ [パン&ズーム] ウィンドウが表示されます。

⑤ モーションスタイルを選択すると、画像クリップにモーションが適用されます。

注意

モーションスタイルをクリップにドラッグしても適用されません。

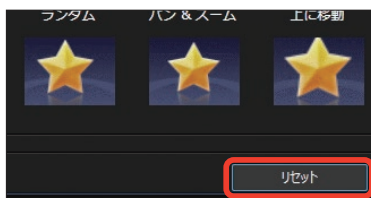


メモ

【すべてに適用】：選択したモーションを複数の画像クリップに適用します。また、異なるトラックに配置された画像クリップにも適用されます。なお、画像クリップが連続している場合はクリップ間にトランジション（クロスフェード）が自動的に設定されます。

メモ

画像クリップに適用したパン&ズームを解除するには、[リセット]をクリックします。



メモ

写真をズームインするには、[モーションスタイル] から [拡大] を、ズームバックするには [縮小] を選択します。

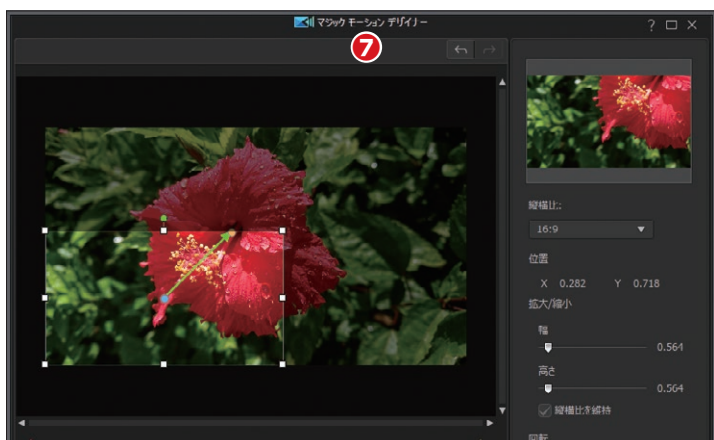
また、写真をパン（左右に移動）するには、[右に移動] か [左に移動] を選択します。



6 適用したモーションスタイルをカスタマイズするには、[モーションデザイナー] をクリックします。



7 [マジックモーションデザイナー] ウィンドウが表示されます。ここで、キーフレームを設定して、表示する画像のサイズや位置などを調整できます。



PiPエフェクト

テレビのバラエティ番組などでよく見る、画面の隅に映る動くイラストやロゴマーク、会話の吹き出しのイラストをビデオに加えられます。テンプレートとして150個以上のオブジェクトが用意されています。

① PiPエフェクトを追加するには、タイムラインにビデオクリップを配置します。

② [ビデオオーバーレイ (PiPオブジェクト) ルーム] をクリックします。

③ エフェクトを選択します。

④ 合成したいビデオクリップの下にあるビデオトラックにドラッグします。

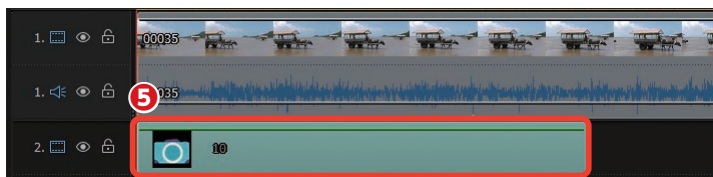
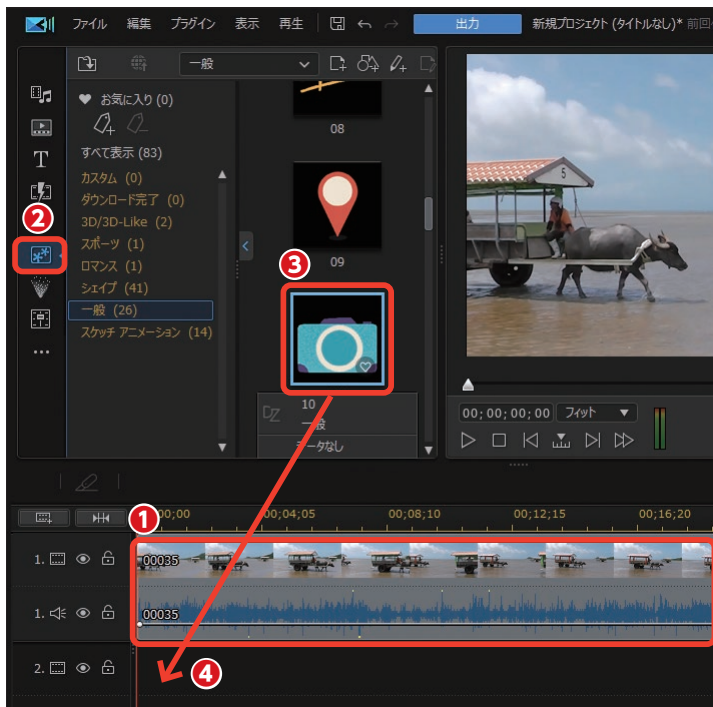
注意

オブジェクトは必ずビデオや画像クリップを配置しているビデオトラックより下のビデオトラックに配置します。ビデオや画像クリップより上のビデオトラックに配置すると、ビデオや画像クリップに隠れて見えなくなります。

⑤ タイムラインにエフェクトクリップが配置されます。エフェクトクリップをダブルクリックします。

[PiPデザイナー] ウィンドウが表示されます。

⑥ ポインタをオブジェクトの四隅にある白色のポイントに合わせ、ポインタが [↔] になったらドラッグします。



⑦ オブジェクトにポインタを合わせて十字矢印にし、オブジェクトを画面右上にドラッグします。

⑧ オブジェクトが移動します。

⑨ [OK] をクリックします。

⑩ タイムラインのエフェクトクリップをドラッグして、表示時間を調整します。

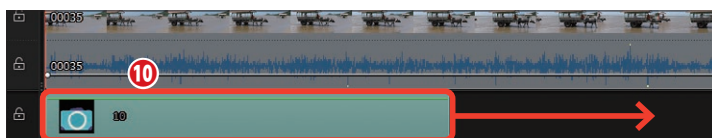
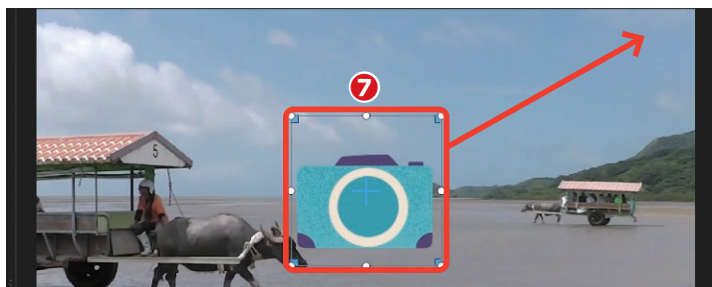
メモ

プレビューウィンドウでオブジェクトを移動すると、センターなどを表すピンクのラインが表示され、そのラインに揃えやすくなります。



メモ

ライブラリにあるオブジェクトはお好みにカスタマイズすることができます。修正を加えるオブジェクトを選択して、[デザインツールなどをを使って選択されたクリップを変更] をクリックします。表示されるメニューで、デザインなどを変更するには [PIPの属性を修正] を、マスク効果を変更するには [マスクの属性を修正] を選択します。修正したときは、[OK] をクリックすると表示されるダイアログボックスで修正したテンプレート名を付けてオリジナルと区別できるようにしましょう。



メモ

[スケッチアニメーション] タブには、ベジェ曲線で描いた図形や矢印などのアニメーションが用意されています。[ペイントデザイナー] で手描きのアニメーションを加えるのもいいですが、ベジェ曲線の綺麗なラインで表示されるオブジェクトは、映像を説明するときにとっても効果的です。



[スケッチアニメーション01] では、ベジェ曲線できれいなマルが描かれるアニメーションになります。

【ビデオオーバーレイ】では、映像の上に矢印や吹出などのシェイプと呼ばれるオブジェクトを配置できます。シェイプは【シェイプデザイナー】機能で、吹き出しやコメントを作成してカスタマイズすることができます。

① PiPエフェクトを追加するには、タイムラインにビデオクリップを配置します。

② 【ビデオオーバーレイ (PiPオブジェクト) ルーム】をクリックします。

③ 【シェイプ】をクリックします。

④ シェイプの形状を選択します。

⑤ 合成したいビデオクリップの下にビデオトラックにドラッグします。

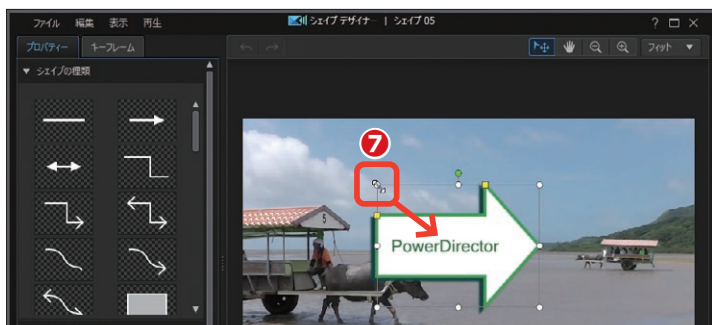
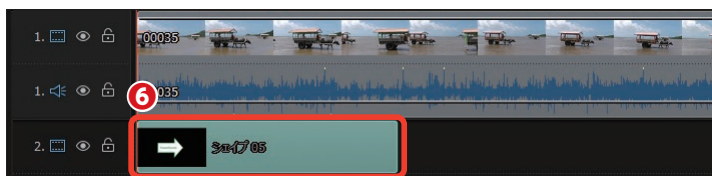
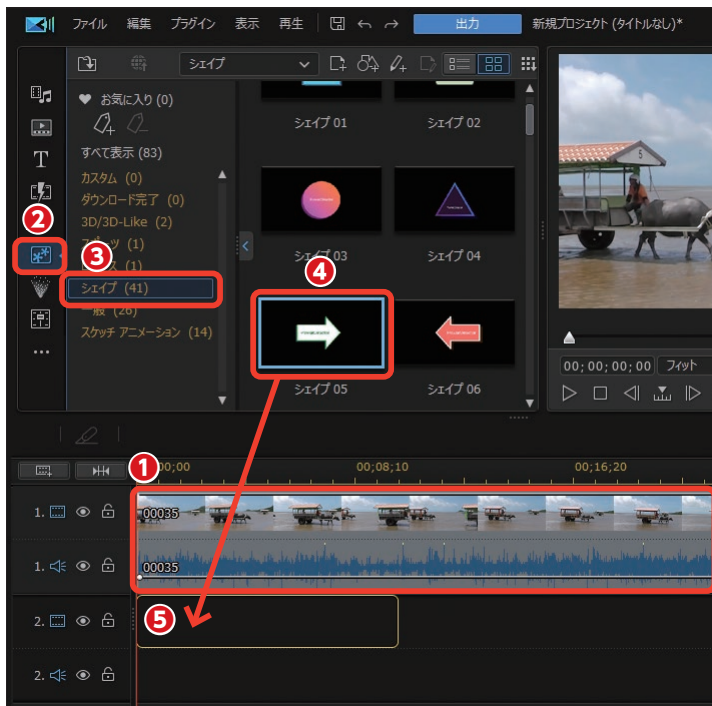
注意

シェイプオブジェクトは、必ずビデオや画像クリップを配置しているビデオトラックより下のビデオトラックに配置します。ビデオや画像クリップより上のビデオトラックに配置すると、ビデオや画像クリップに隠れて見えなくなります。

⑥ タイムラインにシェイプクリップが配置されます。シェイプクリップをダブルクリックします。

【シェイプデザイナー】ウィンドウが表示されます。

⑦ オブジェクトのサイズを変更するには、ポイントをオブジェクトの四隅にある白色のポイントに合わせ、ポイントが【↔→】になったらドラッグします。



8 オブジェクトにポインタを合わせて十字矢印にし、オブジェクトを画面右下にドラッグします。

9 オブジェクトが移動します。文字の部分を選択してテキストを入力します。[シェイプの種類] でシェイプの形を、[シェイププリセット] でシェイプの形を、[シェイプ塗りつぶし] でシェイプのデザインを、[シェイプ塗りつぶし] で背景の色を、文字のサイズや色などは[タイトル] をクリックしてそれぞれ設定します。

10 [OK] をクリックします。

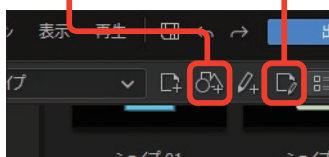
11 タイムラインのシェイプクリップをドラッグして、ビデオや画像クリップと同じ長さに調整します。

メモ

シェイプオブジェクトはオリジナルの新規シェイプオブジェクトを作成したり、既成のシェイプオブジェクトをカスタマイズしたりできます。[新規シェイプの作成] でオリジナルの作成が、[選択されたシェイプを変更] でシェイプのカスタマイズができます。

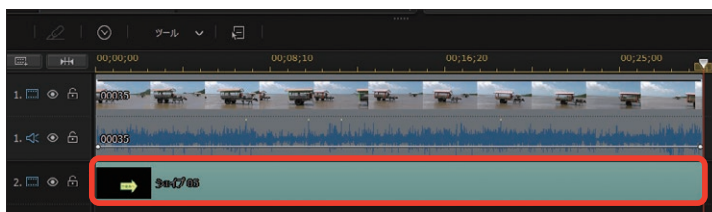
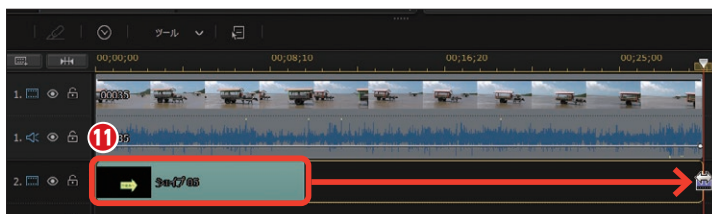
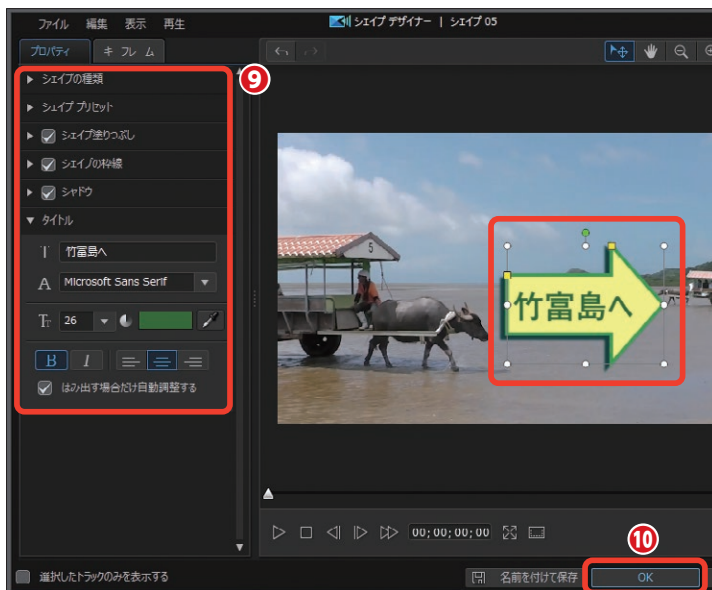
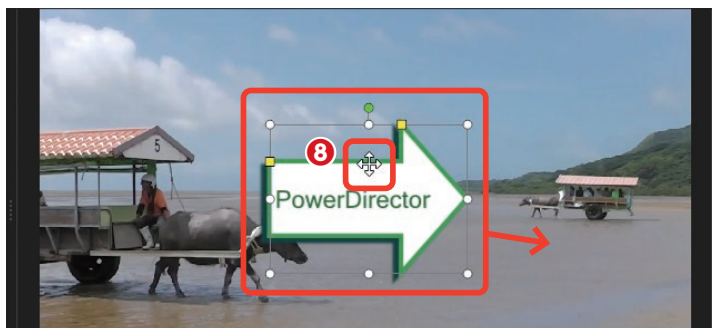
新規シェイプの作成

選択されたシェイプを変更



メモ

作成したシェイプは、ビデオトラックのPiPオブジェクトとして利用できます。



PiPデザイナー

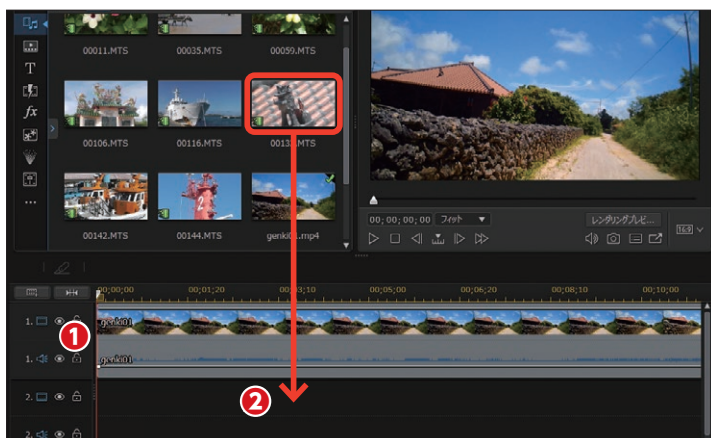
ビデオや画像クリップ、PiPオブジェクトルームのオブジェクトにPiPデザイナーで合成や3Dの設定、モーション、マスクなどの効果を加えられます。

PiP（ピクチャーインピクチャー）

PowerDirectorでは、さまざまなビデオ合成が編集できます。[PiP（ピクチャーインピクチャー）] はテレビ番組などでよく見かける映像の中に人物だけを撮影した小さな映像を表示する機能です。

① [ビデオトラック1] に、背景になるビデオクリップを配置します。

② [ビデオトラック2] に、小さな映像にするビデオクリップをドラッグします。



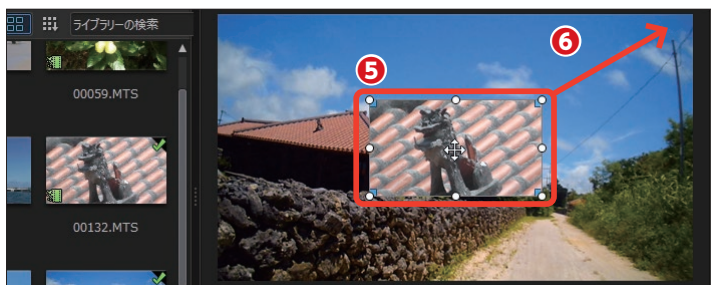
③ プレビューウィンドウには [ビデオトラック2] の映像が表示されます。

④ 右下の白いポイントを左上にドラッグします。

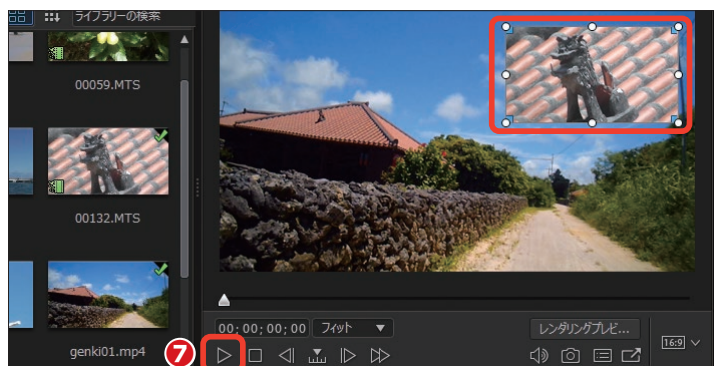


⑤ 縦横比が維持されたまま、映像が縮小されます。

⑥ [ビデオトラック2] の映像を配置する場所にドラッグします。

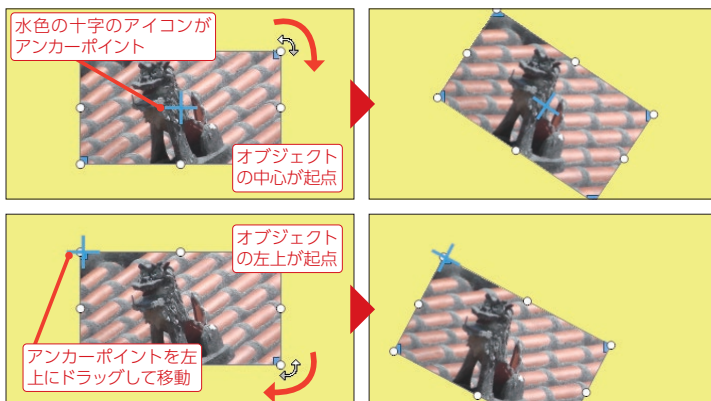


7 [再生] をクリックします。[ビデオトラック1] の映像の上で [ビデオトラック2] の映像が再生されます。



メモ

このあとに説明します [PiPデザイナー] では、PiPオブジェクトを回転して配置する場合、オブジェクトを回転する起点を変更できます。1 [プロパティ] タブの2 [アンカーポイントを表示] にチェックを入れると、アンカーポイントが表示されます。標準ではオブジェクトの中心に表示されます。この状態でオブジェクトを回転および拡大・縮小すると、オブジェクトの中心を起点に実行されます。アンカーポイントはドラッグして位置を変更できます。下の段の図のようにアンカーポイントを左上に移動すると、左上を起点にして回転および拡大・縮小されます。



PiPデザイナー

1 [ビデオトラック2] のビデオクリップにさらに効果を加えるには、ビデオクリップを選択します。

2 [ツール] の [M] をクリックして、表示されるメニューから [PiPデザイナー] をクリックします。

メモ

クリップをダブルクリックしても、[PiPデザイナー] ウィンドウが表示されます。



3 [PiPデザイナー] ウィンドウが表示されます。[詳細] をクリックして、[プロパティ] をクリックします。

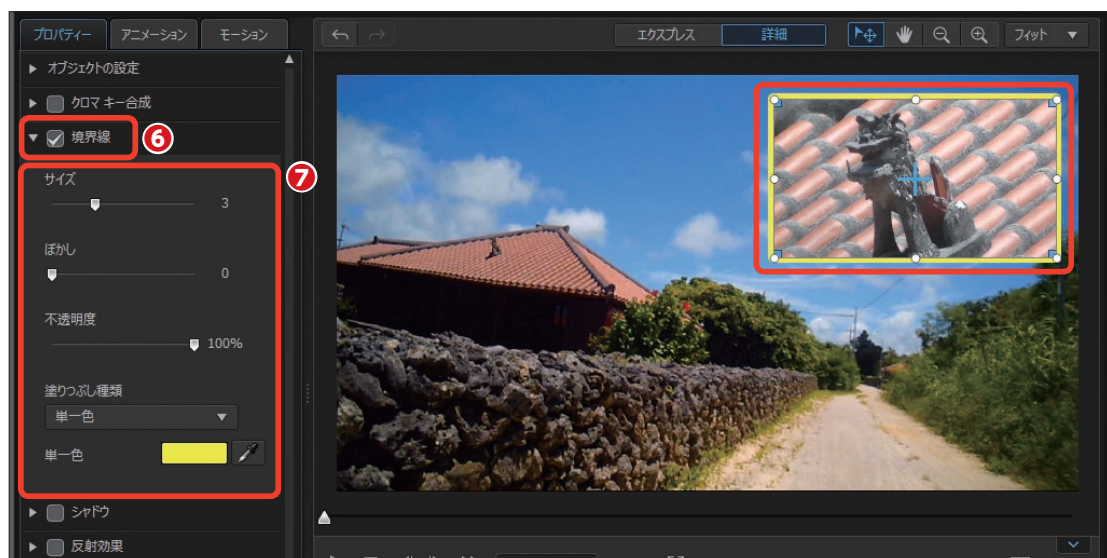
4 設定の一覧が表示されます。各設定の [▶] をクリックすると、設定項目が表示されます。[オブジェクトの設定] の [▶] をクリックします。

5 ここで映像の [位置] や [拡大／縮小]、[不透明度]、[回転] を変更できます。



⑥ 重ね合わせた映像が見づらい場合は「境界線」にチェックを入れて、「▶」をクリックします。

⑦ [サイズ] は境界線の幅を、[ぼかし] は境界線のぼけ具合を、[不透明度] は境界線の濃さを、[塗りつぶし種類] では境界線の色の数を、[色] は境界線の色を設定します。境界線を設定すると、映像と映像の境がはっきりして、重ね合わせた映像が見やすくなります。



128ページで説明したPiPエフェクトで、アニメーションするオブジェクトは、アニメーションの速度を調整できます。

① 128ページと同様に [ビデオオーバーレイ (PiPオブジェクト) ルーム] から [アニメーション] のオブジェクトを選択してタイムラインのビデオトラック2に配置しておきます。

② マウスカーソルをクリップの最後に合わせると両矢印のアイコンに変わります。[Ctrl] キーを押しながら左にドラッグすると速度アップ、右にドラッグすると速度がスローになります。



PiPデザイナーの終了時の設定

速度を変更したPiPオブジェクトは、本来のアニメーション時間より伸びた場合、どのように調整するかを設定できます。

① タイムラインのPiPオブジェクトをダブルクリックします。

② 表示される [PiPデザイナー] ウィンドウで、PiPオブジェクトを右クリックします。

③ 表示されるメニューから [イメージシーケンスの終了後] をクリックします。

④ メニューからアニメーションの終了した後の処理を選択します。



[Aループ再生]：設定した再生時間の間、アニメーションが繰り返されます。

[B最初のフレームをフリーズ]：アニメーションの最初のフレーム（映像）がずっと再生されます。

[C最後のフレームをフリーズ]：アニメーションの最後のフレーム（映像）がずっと再生されます。

[D再生を停止]：アニメーションの再生が終わると、そのままになります。

クロマキー合成

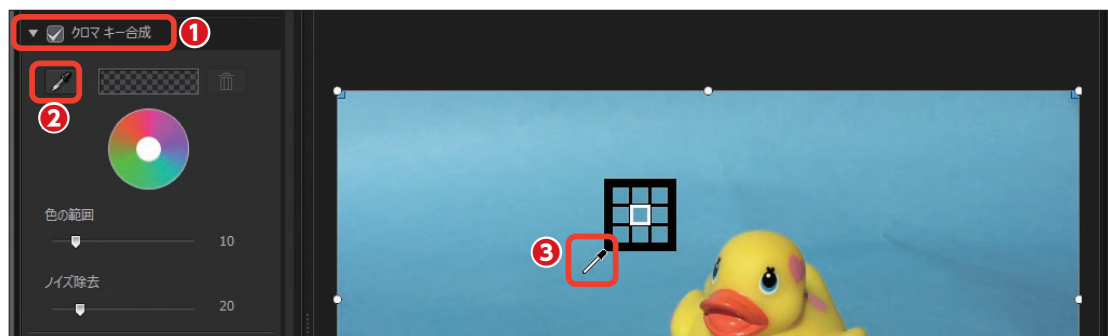
【クロマキー合成】は、重ねる映像から指定した色を抜いて、その抜いた色の部分に下の映像が映るようにする機能です。青いシートなどの前で人物を撮影して、その映像からシートの青色を抜くと、人物だけが切り抜かれた映像になります。

【クロマキー合成】を編集するには、背景となるビデオクリップを【ビデオトラック1】に配置して、色を抜き取るビデオクリップを【ビデオトラック2】に配置します。【ビデオトラック2】に配置したビデオクリップを選択して、【ツール】をクリックし、表示されるメニューから【PIPデザイナー】をクリックします。

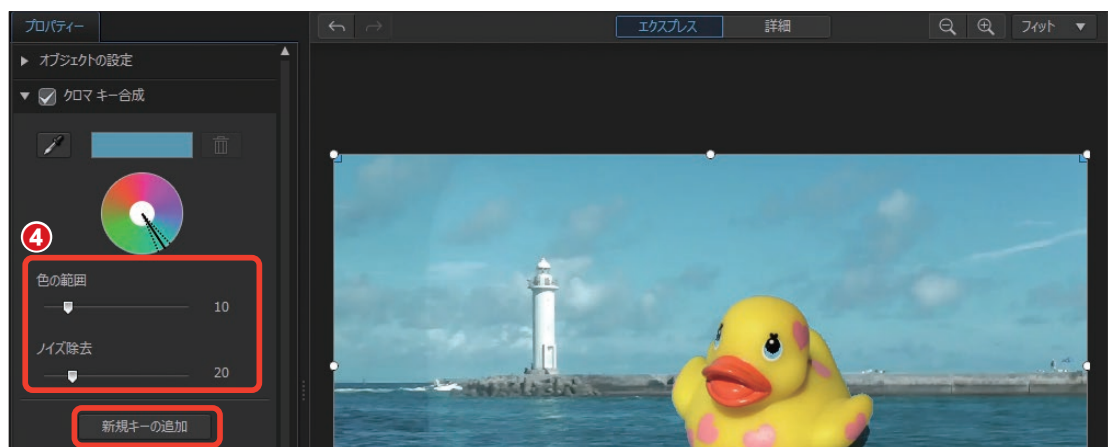
① 【PIPデザイナー】ウィンドウで、【クロマキー合成】にチェックを入れて、【▶】をクリックします。

② 【スポイト】をクリックします。

③ プレビューウィンドウで抜きたい色の部分をクリックします。



④ 選択した色が削除されて、【ビデオトラック1】の映像が見えます。【色の範囲】や【ノイズ除去】のスライダーをドラッグして抜く色の範囲を調整すると、きれいに色が抜けます。



メモ

他の色も抜きたいときは【新規キーの追加】をクリックします。抜く色を設定するパーツが追加されます。

メモ

クロマキー合成を修正するには、合成したビデオクリップをダブルクリックして【PIPデザイナー】ウィンドウを表示します。

PiPモーション

重ねるクリップに動きを加えることができます。[PiPデザイナー]の[モーション]を使用すると、クリップが画面の左端から右端に移動しながら再生されたり、画面上を回転しながら再生されます。動きを設定した[パス]を使用すれば、ダイナミックな動きを加えることができます。

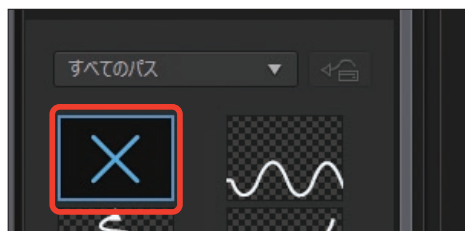
パス

[モーション]を設定するには、背景となるビデオクリップを[ビデオトラック1]に配置して、動きを加えるクリップを[ビデオトラック2]に配置します。[ビデオトラック2]に配置したクリップを選択して[ツール]の[V]をクリックして[Pipデザイナー]をクリックします。

- 1 [PiPデザイナー] ウィンドウで、[詳細] をクリックして、[モーション] をクリックします。
- 2 [パス] の[▶] をクリックします。
- 3 一覧からパスを選択します。
- 4 プレビューウィンドウにパスの動きが表示されます。

メモ

パスの設定を取りやめるには、パスの一覧の左上にある[X]をクリックします。



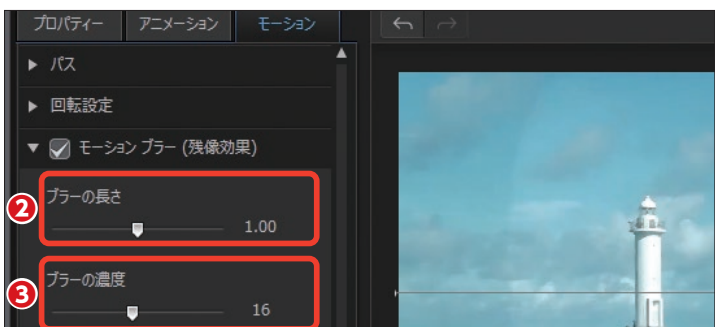
モーションブラー

【モーションブラー】は動いているビデオクリップなどに残像効果を加えて、高速で移動している印象を与えます。【モーション】機能の【パス】や【回転】を設定したビデオクリップに適用すると効果的です。

① 【モーション】タブにある【パス】の【▼】をクリックしてパスの詳細設定を閉じ、【モーションブラー（残像効果）】にチェックを入れて、【▶】をクリックします。

② 【ブラーの長さ】で、残像が表示される長さ（時間）を設定します。

③ 【ブラーの濃度】で、残像の濃さを設定します。



6

エフェクト

回転

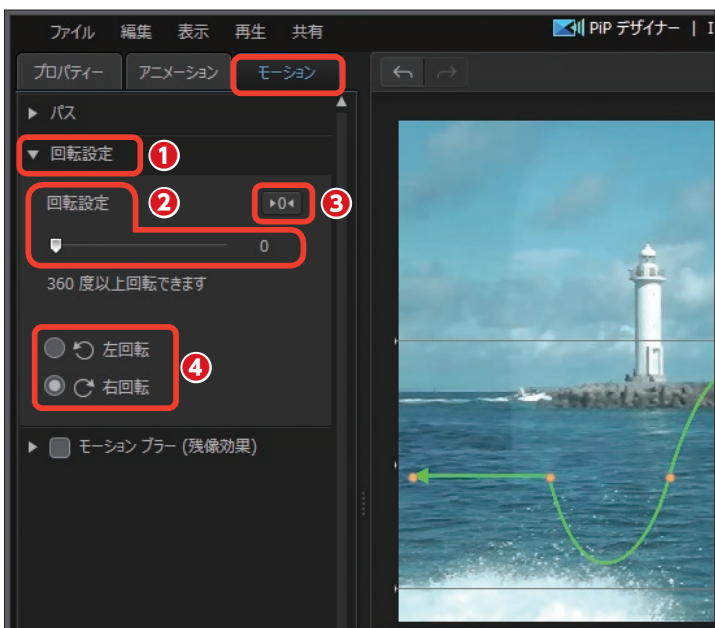
ピクチャーインピクチャーの映像を回転することができます。

① 【モーション】タブにある【回転設定】の【▶】をクリックします。

② 【回転設定】のスライダーをドラッグして回転数を設定します。最大で9999度（27回転した後に279度の角度で止まります）まで回転できます。

③ 【0度で設定】をクリックすると、回転を解除できます。

④ 回転する方向にチェックを入れます。



マスクデザイナー

マスクデザイナーを使えばビデオや画像クリップ、PiPオブジェクトルームのオブジェクト（ペイントデザイナーで作成したオブジェクトを除く）にマスク合成を行えます。

マスク合成

「マスク」を設定するには、背景となるビデオクリップを「ビデオトラック1」に配置して、マスクで切り抜くクリップを「ビデオトラック2」に配置します。「ビデオトラック2」に配置したクリップを選択して「ツール」の「V」をクリックし、「マスクデザイナー」をクリックします。

① 「マスクデザイナー」ウィンドウが表示されます。「マスク」をクリックします。

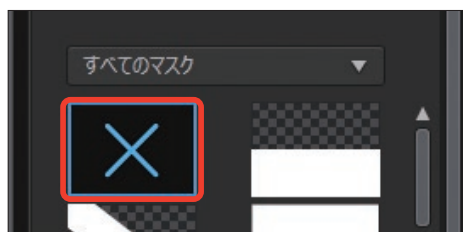
② 「マスクのプロパティ」の「▶」をクリックします。

③ マスクを選択します。

④ プレビューウィンドウにマスクで切り抜かれた映像が表示されます。

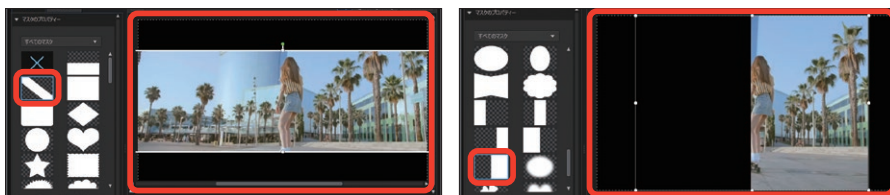
メモ

マスクの設定を取りやめるには、マスクの一覧の左上にある「×」をクリックします。



メモ

マスクには映像の中央部分を表示するものや映像の端から表示するものがあり、表示範囲を設定できます。



5 マスクは、自分で作成することができます。[カスタムのセレクションマスクを作成] をクリックします。

6 マスクを作成する映像が半透明で表示されます。マスクを作成する範囲をマウスでクリックして囲みます。

7 [マスクを反転] にチェックを入れると、テンプレートや作成したマスクが反転表示します。

8 [ぼかし半径] のスライダーをドラッグして、マスクの縁のぼかし具合を設定します。



メモ

画像クリップでは [カスタムのペイントマスク (+ブラシ)] を作成を使用するときに、[もっとも目立つオブジェクトを自動的に選択] をクリックすると、画像からオブジェクトを自動抽出します。すぐく簡単にオブジェクトを切り抜けます。



9 [オブジェクトの設定] の [▶] をクリックします (自分で作成したマスクなどには設定できない場合があります)。

10 [マスク位置] は、マスクの表示位置を変更します。

11 [マスク大きさ] は、マスクの大きさを変更します。

12 [マスクの縦横比を維持] のチェックをはずすと、マスクの縦横サイズを自由に変えられます。

13 [マスク不透明度] は、白色以外の部分の透明度を設定します。



文字で切り抜くマスクの作成

PowerDirectorでは、文字を使ったマスクの作成ができます。ビデオや画像を文字の形で切り抜きます。

1 マスクをかけるクリップを選択して、[ツール] をクリックします。

2 [マスクデザイナー] をクリックします。

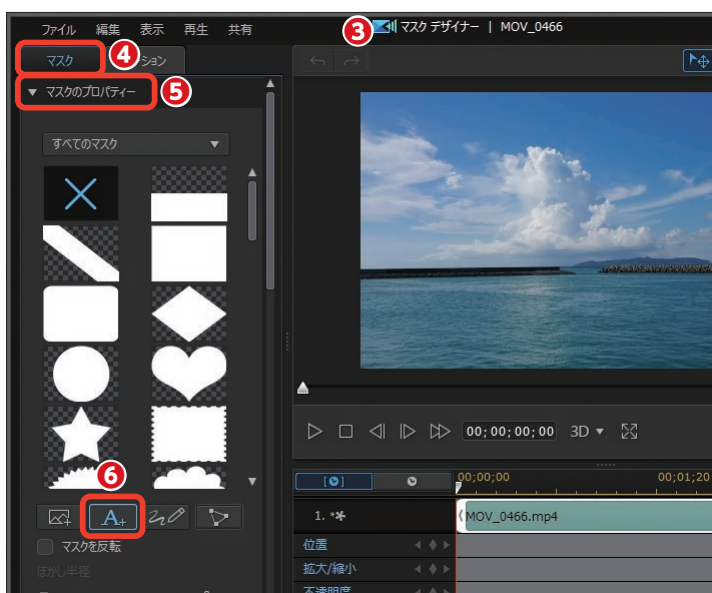
3 [マスクデザイナー] ウィンドウが表示されます。

4 [マスク] をクリックします。

5 [マスクのプロパティ] の [▶] をクリックします。

6 [テキスト／画像からカスタムのマスクを作成] をクリックします。

7 [マスク作成ツール] ウィンドウが表示されます。[マイタイトル] の文字をドラッグして、文字を入力します。



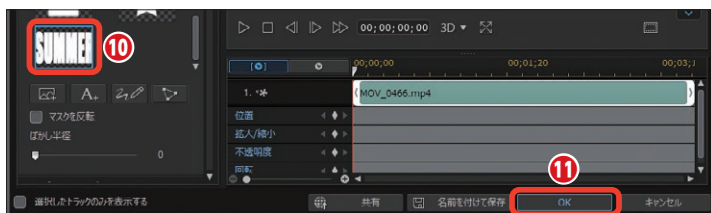
8 [フォント/段落] や [オブジェクトの設定] で、タイトルをデザインします。ここでは「Impact」という線の太いフォントを[太字]にして、[縦横比を維持]のチェックを外し、[拡大/縮小]の[幅]と[高さ]を調整しています。

9 [OK] をクリックします。



10 [マスクデザイナー] ウィンドウに戻ります。マスクが作成されます。

11 [OK] をクリックします。

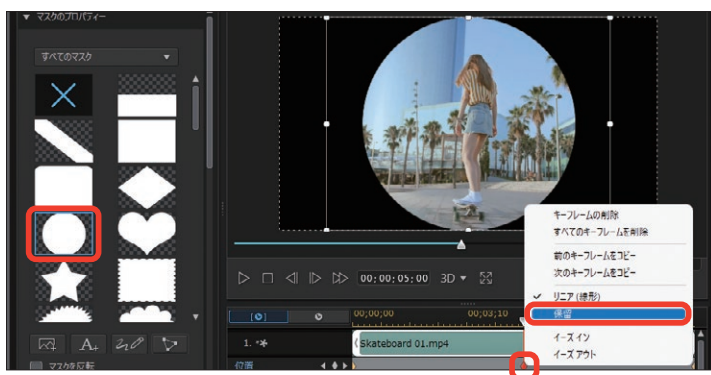


12 クリップにマスクが適用されます。



マスクデザイナーのキーフレーム編集

この例は円のマスクで切り抜き、この円が左端から右端に移動する演出です。図のようにキーフレームを設定し、キーフレームを右クリックして表示されるメニューから[保留]を選択します。そのあとにもうひとつキーフレームを設定すると、その間だけ円の移動が一時的に止まり、また移動しはじめます。



パーティクルエフェクト

パーティクルは花びらが散るような物理演算を用いた自然なエフェクトや、アニメーションを作成できます。本格的なサンプルも用意されています。

パーティクルテンプレート

① [ビデオトラック1] にビデオクリップを配置します。[パーティクルルーム] をクリックします。

② パーティクルのライブラリーが表示されます。パーティクルを選択して、[ビデオトラック2] にドラッグします。

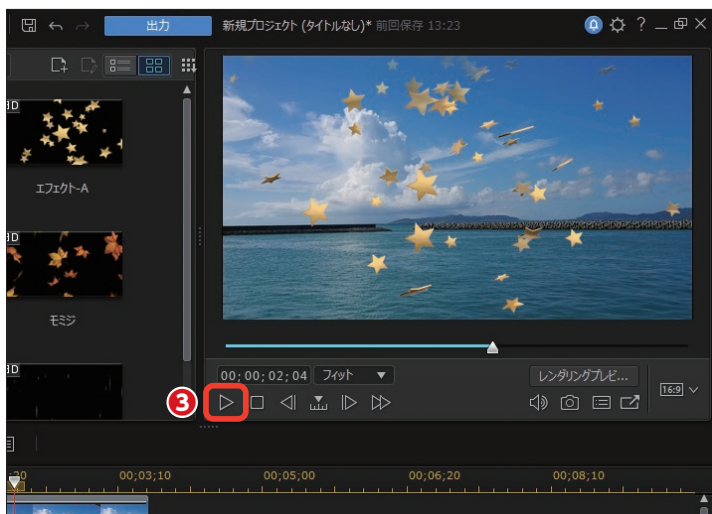
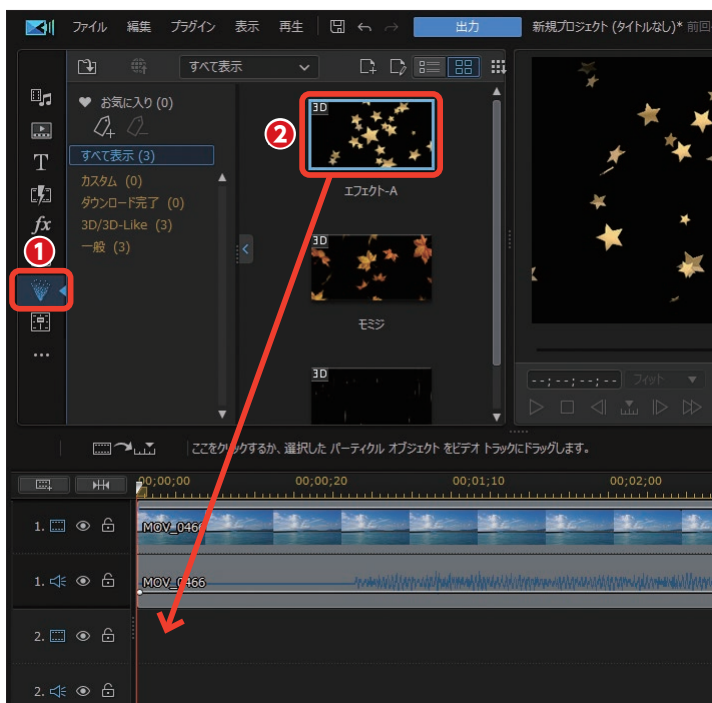
注意

パーティクルは、ビデオや画像クリップを配置したビデオトラックより下のビデオトラックにドラッグします。パーティクルは、ビデオや画像クリップを配置したビデオトラックの上に配置すると隠れてしまいます。

③ パーティクルエフェクトが [ビデオトラック2] に配置されます。プレビューウィンドウで [再生] をクリックして、パーティクルのかかり具合を確認します。

注意

パーティクルをカスタマイズするには、パーティクルエフェクトをダブルクリックして、表示される [パーティクルデザイナー] ウィンドウで行います。詳しくは次ページをお読みください。



パーティクルのカスタマイズ

① [詳細] タブをクリックします。



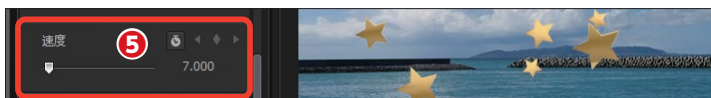
② パーティクルはいくつかのオブジェクトで構成されています。[編集するパーティクルを選択] の [▼] をクリックして、カスタマイズするパーティクルのオブジェクトを選択します。



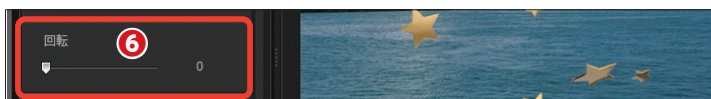
③ [プロパティ] タブをクリックします。

④ [パラメーターの変更] の [▶] をクリックします。[放出レート] では放出されるパーティクルオブジェクトの割合を、[最大数] ではパーティクルオブジェクトの最大表示数を、[時間] ではパーティクルオブジェクトの表示時間を変更できます。

⑤ [速度] では、パーティクルアニメーションの速度を設定できます。



⑥ [回転] では、パーティクルオブジェクトを回転できます。

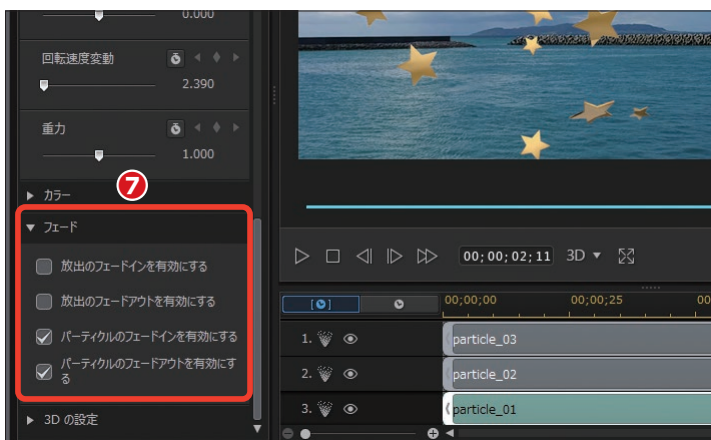


⑦ [フェード] の [▶] をクリックします。

[放出のフェードインを有効にする]: パーティクルオブジェクトが徐々に現れます。

[放出のフェードアウトを有効にする]: パーティクルオブジェクトが徐々に消えていきます。

[パーティクルのフェードインを有効にする]: パーティクルのひとつ一つのオブジェクトが徐々に現れます。
[パーティクルのフェードアウトを有効にする]: パーティクルのひとつ一つのオブジェクトが徐々に消えていきます。



パーティクルの作成

オリジナルのパーティクルを作成することができます。

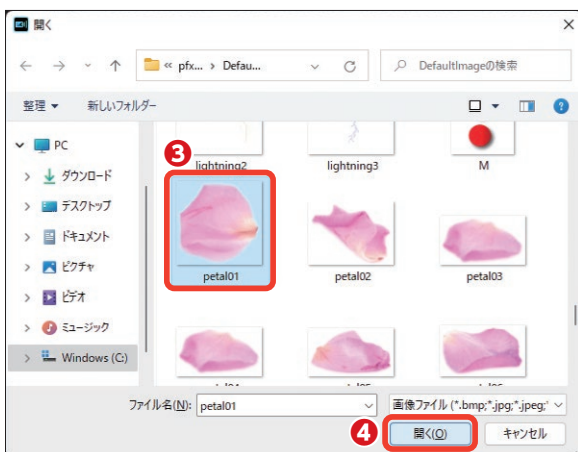
① [パーティクルルーム] をクリックします。

② [新規のパーティクルオブジェクトを作成] をクリックします。



③ [開く] ウィンドウが表示され、オブジェクトの素材一覧が表示されます。オブジェクトを選択します。

④ [開く] をクリックします。



メモ

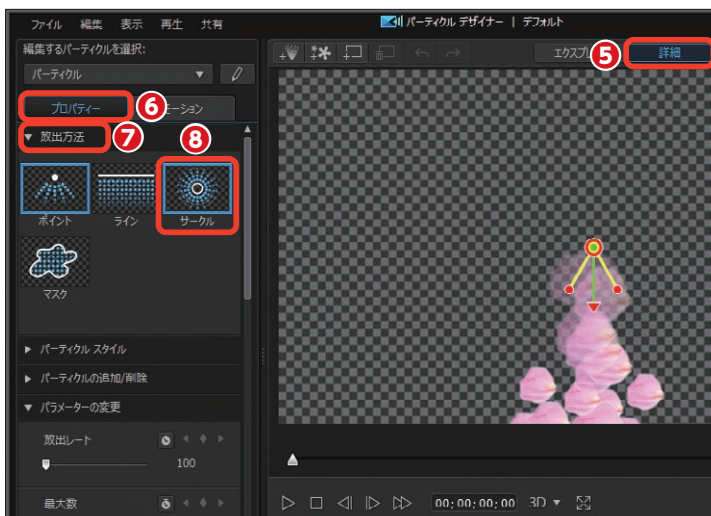
オリジナルの画像などを使ってパーティクルを作成することもできます。

⑤ [パーティクルデザイナー] ウィンドウが表示されます。[詳細] をクリックします。

⑥ [プロパティ] をクリックします。

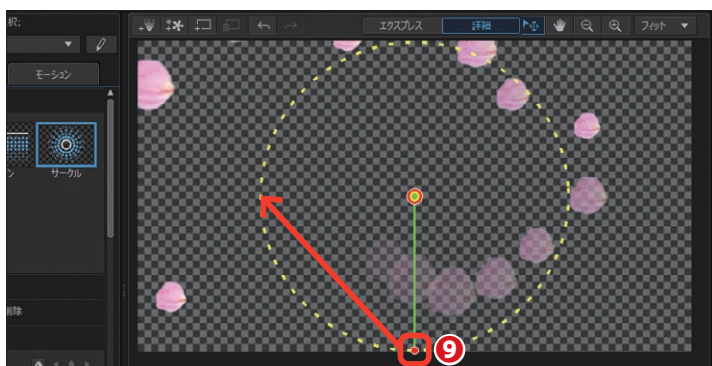
⑦ [放出方法] の [▶] をクリックします。

⑧ [放出方法] では、オブジェクトが移動する効果を設定します。ここでは [サークル] をクリックします。



[サークル] は、オブジェクトが円を描くように拡散するアニメーションになります。

9 赤いポイントが放出を開始する地点です。ここでは、赤いポイントを左にドラッグします。



10 放出開始位置が左端になります。

11 [パーティクルスタイル] の [▶] をクリックします。

12 ここではオブジェクトの動きを設定します。[ボール] を選びます。

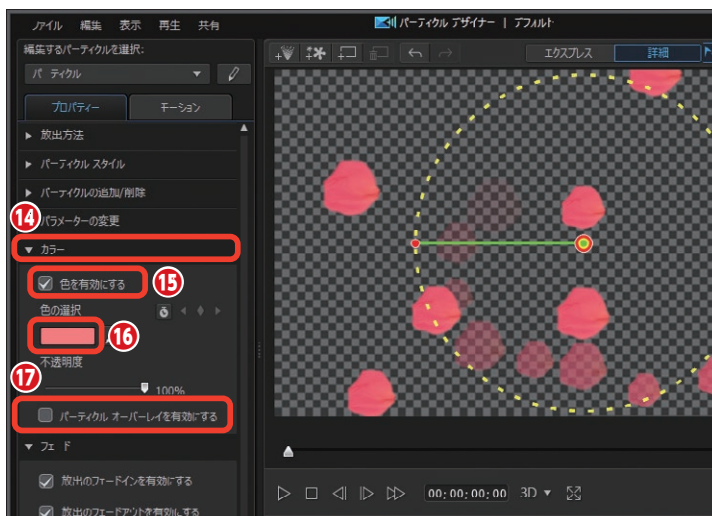
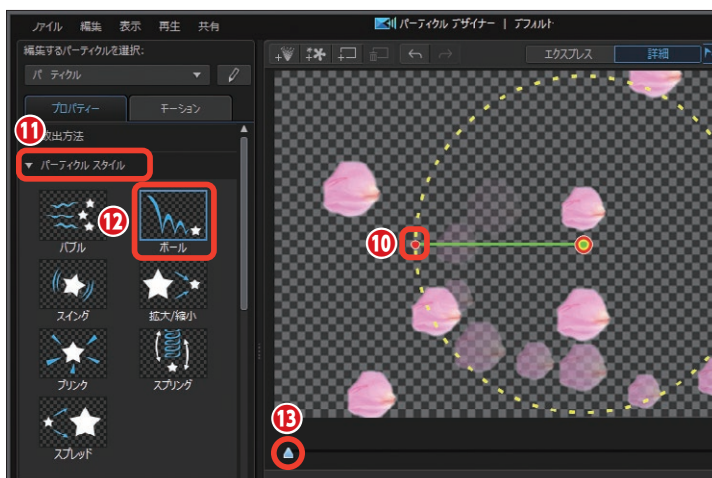
13 再生スライダーをドラッグすると、オブジェクトの動きを確認できます。

14 [カラー] の [▶] をクリックします。

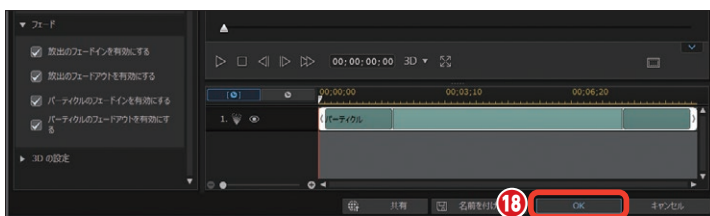
15 オブジェクトの色を変更するには、[色を有効にする] にチェックを入れます。

16 [色の選択] をクリックして、表示される [カラー] ウィンドウから色を選択します。

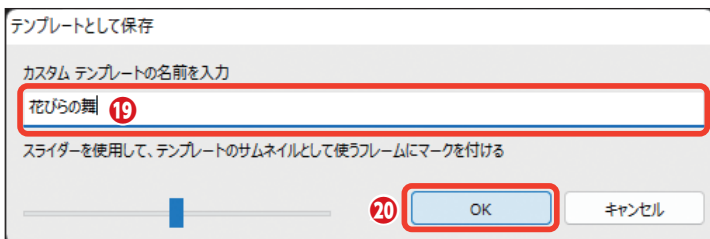
17 [パーティクルオーバーレイを有効にする] にチェックを入れると、パーティクルオブジェクトが透過され、背景の色とブレンドします。ここではチェックを入れません。



18 [OK] をクリックします。



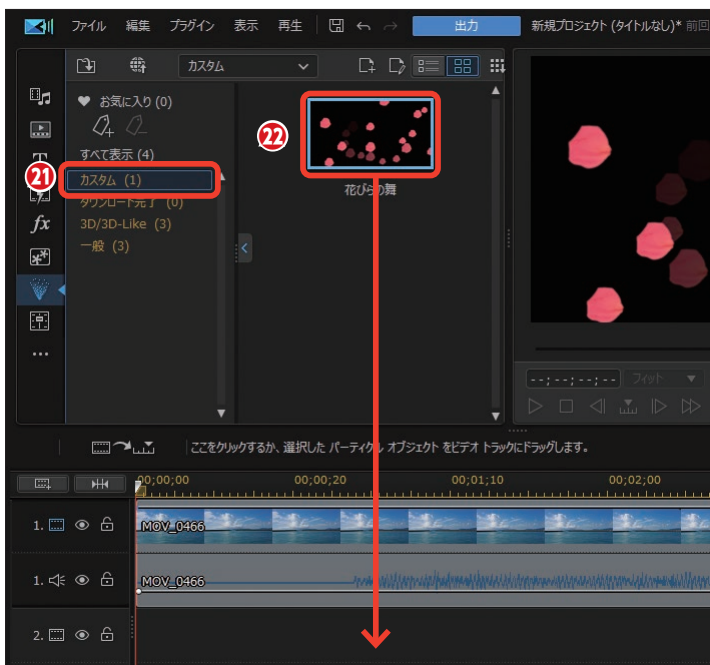
19 [テンプレートとして保存] ダイアログボックスが表示されます。パーティクル名を入力します。



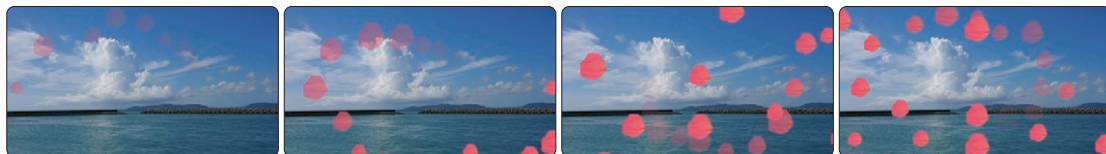
20 [OK] をクリックします。

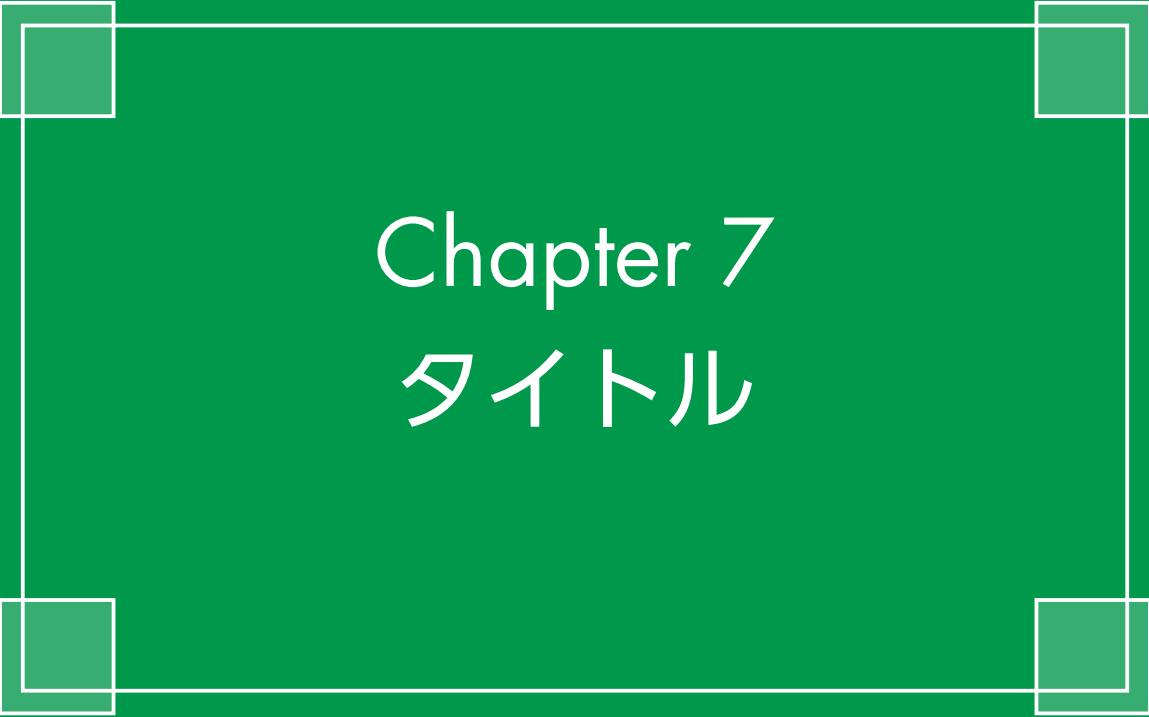
21 [パーティクルルーム] の [カスタム] ライブラリーに、作成したパーティクルエフェクトが表示されます。

22 作成したパーティクルエフェクトをタイムラインにドラッグして使用します。



■オリジナルパーティクルエフェクトの作例





Chapter 7

タイトル

タイトル

ビデオにタイトルを表示しましょう。タイトルの作成は「タイトルルーム」のテンプレートを使ったり、「タイトルデザイナー」でフォントの種類やサイズ、色などを設定します。テキストに影を付けたりして見やすいタイトルを作成します。

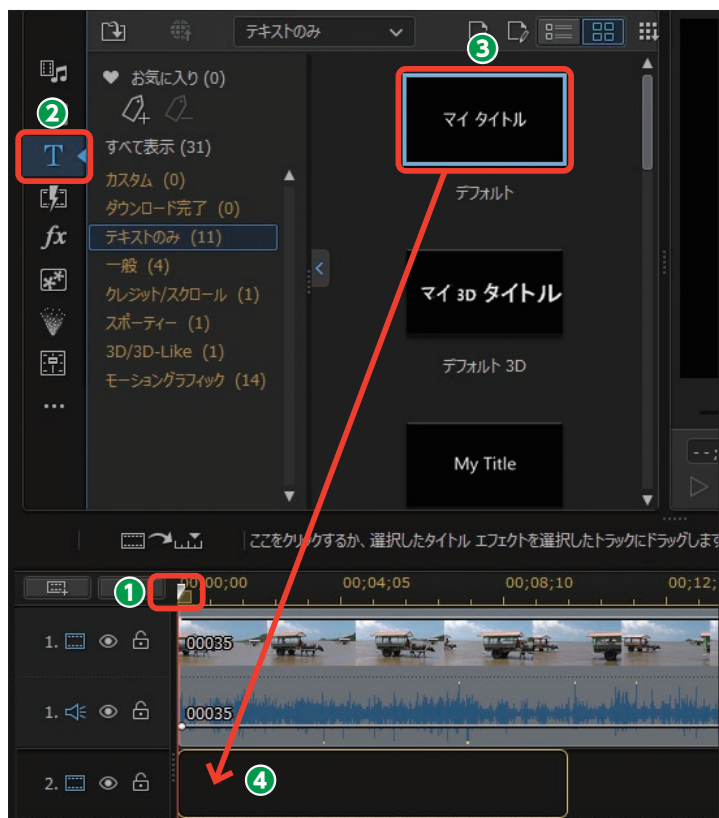
タイトルの設定

① タイトルを入力するにはタイムラインにビデオクリップを配置して、タイムラインスライダーをタイトルを表示する位置にドラッグします。

② 「タイトルルーム」をクリックします。

③ 標準のタイトルを作成してみましょう。「デフォルト」をクリックします。

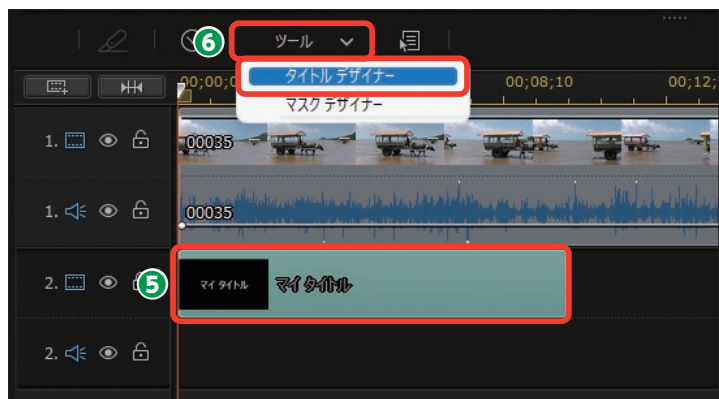
④ ビデオトラックにドラッグします。



⑤ タイムラインのビデオトラックにタイトルクリップが表示されます。

⑥ 「ツール」の「M」をクリックして、表示されるメニューから「タイトルデザイナー」をクリックします。

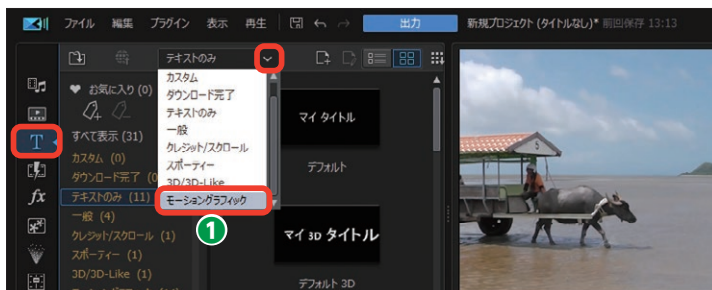
次ページ下段の「タイトルデザイナー」に進みます。



モーショングラフィックタイトル

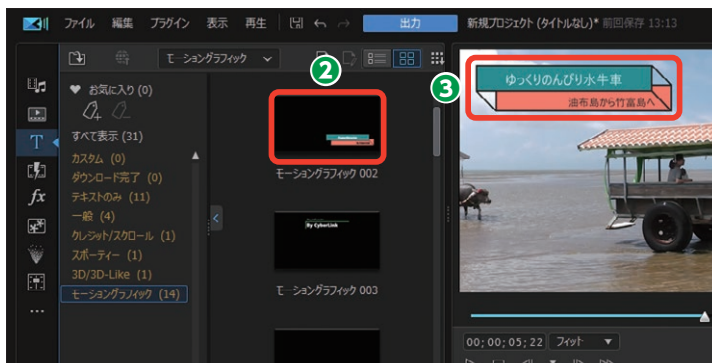
タイトルには、動きのあるモーショングラフィックのテンプレートを使用できます。

① [タイトルルーム] でメニューの [V] をクリックし、[モーショングラフィック] を選択すると、モーショングラフィックの一覧が表示されます。



② モーショングラフィックを選択して、タイムラインのビデオトラックにドラッグします。

③ ビデオトラックに配置したモーショングラフィックのクリップをダブルクリックします。表示される [タイトルデザイナー] でタイトルの文字を入力したり、表示位置を調整します。



7

タイトル

タイトルデザイナー

① [タイトルデザイナー] ウィンドウが表示されます。[エクスプレス] をクリックします。

② [マイタイトル] の文字をドラッグして選択します。



③ タイトルにする文字を入力します。タイトルにはいろいろなデザインが付けられます。タイトルをデザインするには文字をクリックして選択します。



④ [フォント/段落] の [▶] をクリックし、[フォント種類の選択] の [▼] をクリックして、表示されるメニューからフォントを選択します。

注意

[フォント名] の先頭に「@」が付いているフォントは、文字が横になるので使用できません。

⑤ [フォントサイズの選択] でフォントの大きさを設定します。

⑥ [フォント色の選択] をクリックして、表示される [カラー] ダイアログボックスから使用する色を選択します。

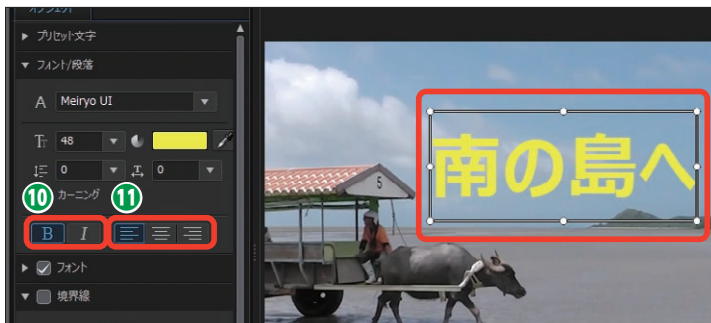
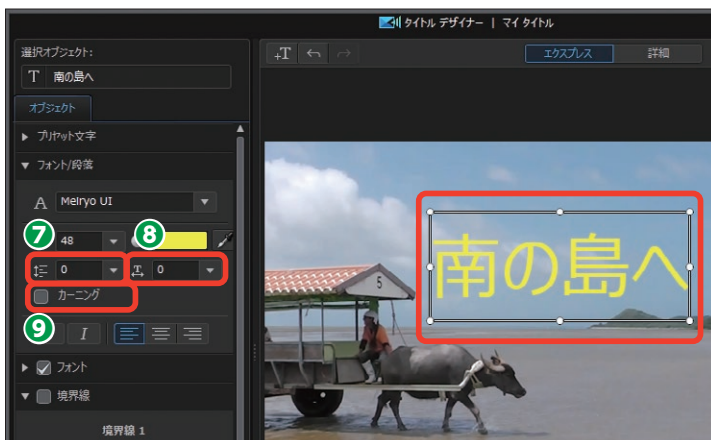
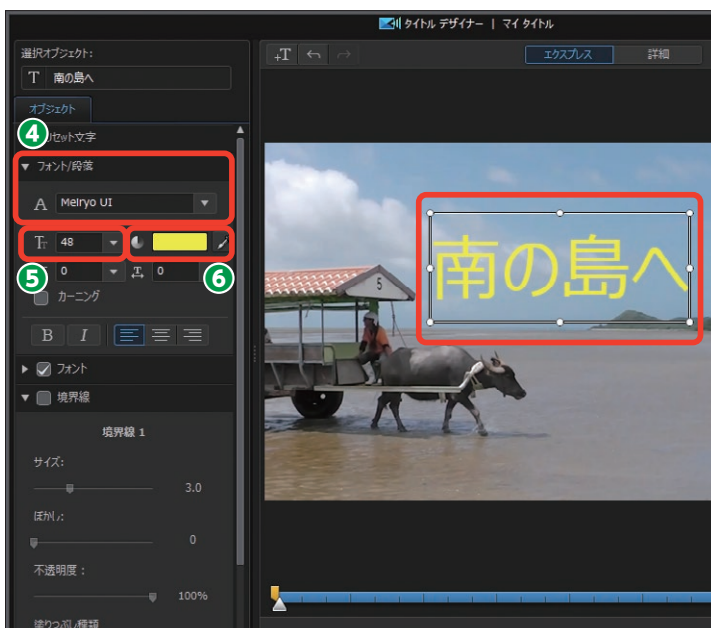
⑦ [行間] では2行以上のタイトルの行と行の間隔を設定します。大きな数字にするほど、行間が開きます。

⑧ [文字間隔] では、タイトルの文字と文字の間を調整します。大きな数字にするほど、文字の間隔が開きます。

⑨ [カーニング] は英語フォントの字間を調整します。チェックを入れると、きれいな字づめになります。

⑩ [B] をクリックすると、文字が太字になります。[I] をクリックすると、文字が斜体になります。

⑪ ここでは文字揃えを設定できません。[左揃え]、[中央揃え]、[右揃え]があります。



プリセット文字

【プリセット文字】には、文字をデザインしたテンプレートが用意されています。

① プリセット文字を使用するには、【プリセット文字】の【▶】をクリックします。

② 効果をかけたいプリセットをクリックすると、適用されます。

③ 解除するには、【元に戻す】をクリックします。



境界線

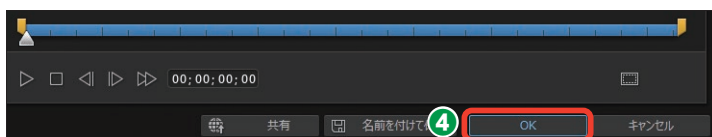
【境界線】は、タイトルの文字に縁取りをつけます。

① 文字を選択して、【境界線】にチェックを入れます。詳細設定を表示するには、【▶】をクリックします。

② 【サイズ】のスライダーをドラッグすると、境界線の太さを設定できます。【ぼかし】のスライダーをドラッグすると、境界線をぼかします。【不透明度】のスライダーをドラッグすると、境界線の透明度を調整できます。

③ 【境界線の色を選択】をクリックして、境界線の色を設定します。

④ タイトルを適用するには、【OK】をクリックします。



5 [詳細] をクリックします。

6 [境界線] の [+] をクリックすると、境界線を増やすことができます。境界線は3つまで追加できます。境界線を減らすには [-] をクリックします。

7 境界線ごとにサイズや色を調整できます。ここでは青色の文字に白色の境界線1を付け、さらに赤色の境界線2を加えています。このようにタイトルを作成すると、YouTubeのサムネイルで表示されているような目立つタイトルが作成できます。



タイトルのグラデーション

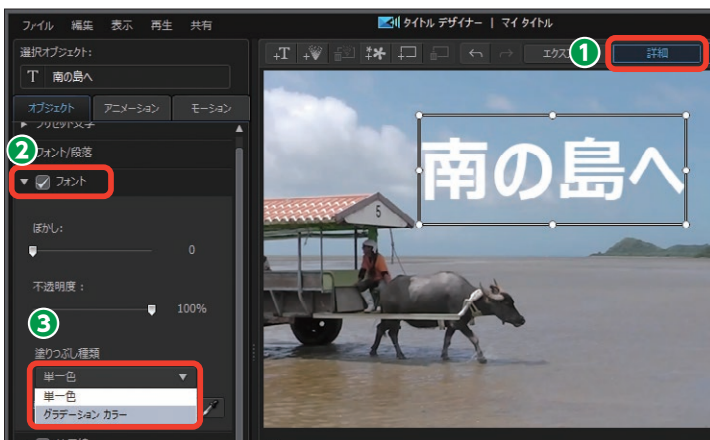
1 タイトルの色にグラデーションをかけるには [詳細] をクリックします。

2 [フォント] の [▶] をクリックします。

3 [塗りつぶし種類] の [▼] をクリックして、表示されるメニューから [グラデーションカラー] を選択します。

4 タイトルの色にグラデーションがかかります。デフォルトではグラデーションのバーに表示されているように下側が [黒色] で上側が [白色] のグラデーションがかかっています。

5 [グラデーションの方向] をドラッグしてグラデーションのかかる方向を調整します。



⑥ 上が黒色で下が白色のグラデーションに設定されます。

⑦ [色の設定] をダブルクリックして、表示される[カラー] ウィンドウから色を選択します。

⑧ もう一方の色を設定します。

⑨ 設定した2色のグラデーションになります。

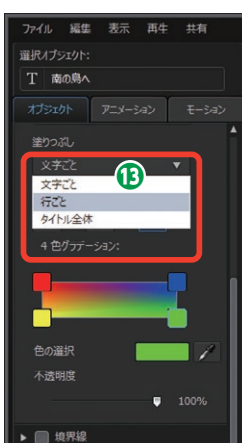
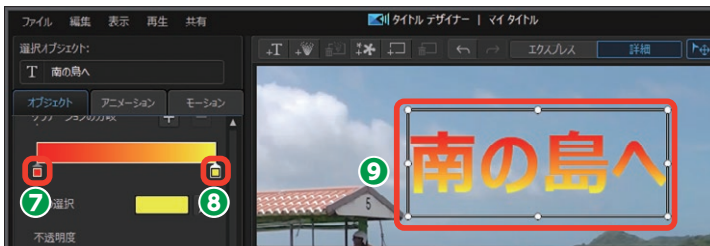
⑩ [グラデーションスタイル] では、グラデーションのかかり方を設定します。**A** [リニア] では[上から下]や[右から左]に帯状でグラデーションがかかります。**B** [放射状] では、タイトルの中心から円状にグラデーションがかかります。**C** [角] では、タイトルの四隅に設定した4色でグラデーションがかかります。

⑪ 各色の設定は[この角の色を選択] をクリックします。

⑫ [フォントグラデーションの開始色を選択] をクリックして、表示される[カラー] ウィンドウから色を選択します。

⑬ [塗りつぶし] でグラデーションをかける部位を設定します。[▼] をクリックして表示されるメニューから選択します。ここでは4色のグラデーションで説明します。

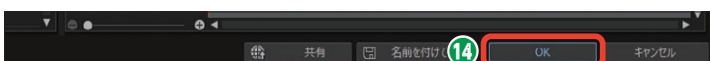
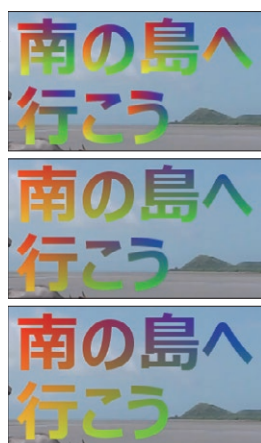
⑭ タイトルのグラデーションができあがったら、[OK] をクリックします。



[文字ごと] 一文字ごとに4色のグラデーションがかかります。

[行ごと] 1行ごとに4色のグラデーションがかかります。

[タイトル全体] タイトル全体に4色のグラデーションがかかります。



テキスト背景

【テキスト背景】は、タイトルの文字のバックに背景を付けて、文字を見やすくします。

① 文字を選択して、【テキスト背景】にチェックを入れ、[▶] をクリックします。

② 【テキスト背景の種類】の【ソリッドな背景バー】はタイトルに帯の背景を付けます。【タイトルに合わせる】では、文字の横幅に合わせた背景が付きます。【▼】をクリックして、形状を選択します。

③ 背景を塗りつぶしたり、塗りつぶす幅や高さを設定します。

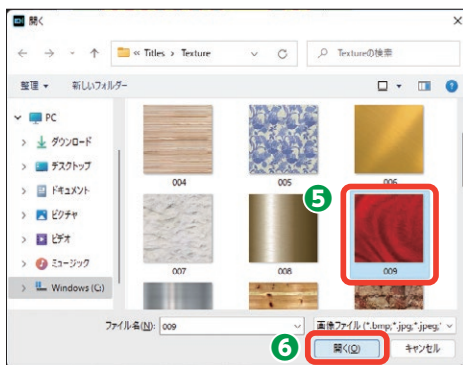
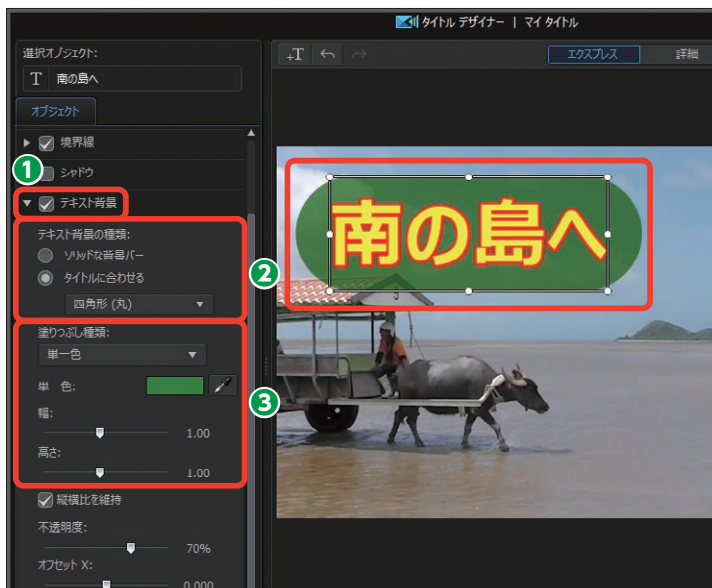
④ 背景に画像ファイルを設定できます。【塗りつぶし種類】の▼をクリックして【画像】を選択します。

⑤ 【開く】ウィンドウからタイトルの背景に使用するテクスチャ画像を選択します。

⑥ 【開く】をクリックします。

⑦ 画像がタイトルの背景になります。

⑧ 画像のサムネイルの白線で囲まれた範囲が背景に反映されます。白線の周りの四角いポインターをドラッグして背景で使用する範囲を調整できます。



シャドウ

① [シャドウ] は、タイトルに影の効果を付けます。[シャドウ] にチェックを入れます。詳細設定を表示するには、[▶] をクリックします。

② [距離] のスライダーをドラッグすると、タイトルと影の間隔を設定できます。[ぼかし] のスライダーをドラッグすると、影をぼかすことができます。[不透明度] のスライダーをドラッグすると、影の透明度を調整できます。

③ [シャドウ塗りつぶし] にチェックを入れると、テキストと影の間がきれいに塗りつぶされます。[シャドウカラーの選択] をクリックして、影の色を設定します。



7

タイトル

反射効果

[反射効果] は、タイトルが鏡に映ったような、または水面に映ったような効果を加えます。

① [詳細] をクリックします。

② [反射効果] にチェックを入れます。詳細設定を表示するには、[▶] をクリックします。

③ [距離] のスライダーをドラッグすると、タイトルとの間隔を設定できます。

④ [不透明度] のスライダーをドラッグすると、反射効果のタイトルの透明度を調整できます。



タイトルのレイアウト

作成したタイトルの表示位置を調整しましょう。タイトルをドラッグすると画面の自由な位置に配置できます。また、キーフレームを使うと、タイトルが徐々に拡大する効果などを加えることもできます。

タイトルは画面のどこにでも配置できます。

① タイトルの回転でタイトルを傾けることができます。白点にマウスカーソルを移動してドラッグします。

② 文字ボックスの白点をドラッグすると、タイトルの拡大・縮小ができます。

【オブジェクトの設定】では、数値入力力でタイトルを調整します。

③ [詳細] をクリックします。

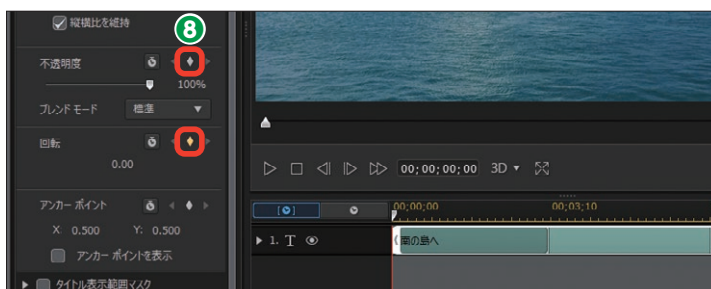
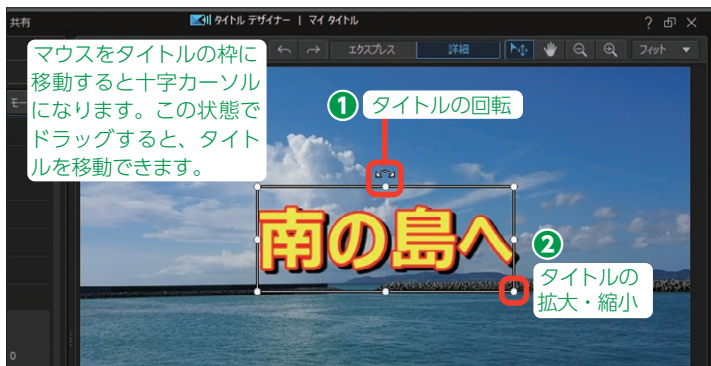
④ 【オブジェクトの設定】の【>】をクリックします。

⑤ [位置] の [X] と [Y] で、タイトルの表示場所を設定できます。

⑥ [拡大／縮小] ではタイトルの大きさを設定できます。

⑦ [不透明度] ではタイトルを透明にできます。[回転] はタイトルの傾きを設定します。

⑧ 各項目のキーフレームボタンをクリックすると、キーフレームまでの効果が設定でき、変化のあるタイトルになります。キーフレームの設定方法は、106～109ページをお読みください。



タイトルのアニメーション

タイトルの表示に演出を加えることができます。タイトルの文字が1文字ずつ飛んで来て表示される効果やにじむようにして消えていく効果など、タイトルにアニメーションを付けられます。タイトルのアニメーションは、[詳細] の [アニメーション] と [モーション] タブで設定します。

タイトルのエフェクト効果

[詳細] の [アニメーション] タブでは、タイトルをアニメーションさせることができます。

① [詳細] をクリックします。

② [アニメーション] をクリックします。

③ タイトルの表示にアニメーション効果を適用するには [開始アニメーション] の [▶] をクリックします。

④ エフェクトを選択します。プレビューウィンドウにエフェクトの効果が再生されます。

⑤ タイトルの再生終了時にアニメーション効果を適用するには、[終了アニメーション] の [▶] をクリックします。

⑥ 表示されるメニューからエフェクトを選択します。プレビューウィンドウにエフェクトの効果が再生されます。

メモ

[タイトルルーム] の [クレジット/スクロール] には、映画のエンドロールが作成できるアニメーションが用意されています。[エンディングロール] の001や002を適用すると、テキストが画面の下から上へスクロールして消えます。



⑦ [モーションブラー] は、タイトルがぶれるような効果を加えます。モーションブラーを適用するには、[モーションブラー] にチェックを入れます。[▶] をクリックすると、詳細設定が表示されます。

⑧ [ブラーの長さ] では、ぶれる再生時間を調整できます。

⑨ [ブラーの濃度] では、ぶれるときのタイトルの色の濃さを調整できます。



■タイトルエフェクトの作例



タイトルの特殊エフェクト

特殊エフェクトはタイトルが燃えているようなアニメーションやネオンサイン、ライトが当たったような効果を加え、よりインパクトのあるタイトルにします。

① [オブジェクト] にある [特殊エフェクト] の [▶] をクリックします。

② 特殊エフェクトをクリックします。

③ [ルック] で効果の見栄えを、[サイズ] で効果のかかる範囲などを設定します。

[OK] をクリックすると、特殊エフェクトが適用されます。



タイトルの表示範囲の設定

タイトル文字の一部だけを表示する効果を加えることができます。

① [オブジェクト] の [タイトル表示範囲マスク] にチェックを入れて、[▶] をクリックします。

② 画面が暗く表示されます。画面の中央上に、緑のポインタが付いた長方形の範囲だけが明るく表示されます。この部分がタイトル文字が表示されるエリアです。ここでは堤防にかかるタイトル文字の下側を選択範囲から外しています。

③ タイトル文字を表示するエリアは [位置] や [拡大/縮小]、[回転] で調整できます。

④ タイトルの一部がマスクされます。



タイトルデザイナーでパーティクルの移動

[タイトルデザイナー] ウィンドウでは、挿入したパーティクルを移動することができます。

① [タイトルデザイナー] ウィンドウで [パーティクルの挿入] をクリックし、[パーティクルの読み込み] でパーティクルオブジェクトを選択します。

② プレビューウィンドウに表示されたパーティクルオブジェクトを選択すると赤い丸が表示されます。これをドラッグします。

③ パーティクルオブジェクトが移動します。



タイトルのモーション効果

【モーション】では、タイトルにモーション効果をつけることができます。

① タイトルにモーション効果を適用するには【詳細】の【モーション】タブをクリックします。

② 【パス】の【▶】をクリックします。

③ モーション効果の一覧からモーションを選択します。

④ プレビューウィンドウにモーションの効果が表示されます。

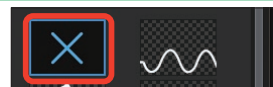
⑤ 【再生】をクリックして、モーション効果を確認します。

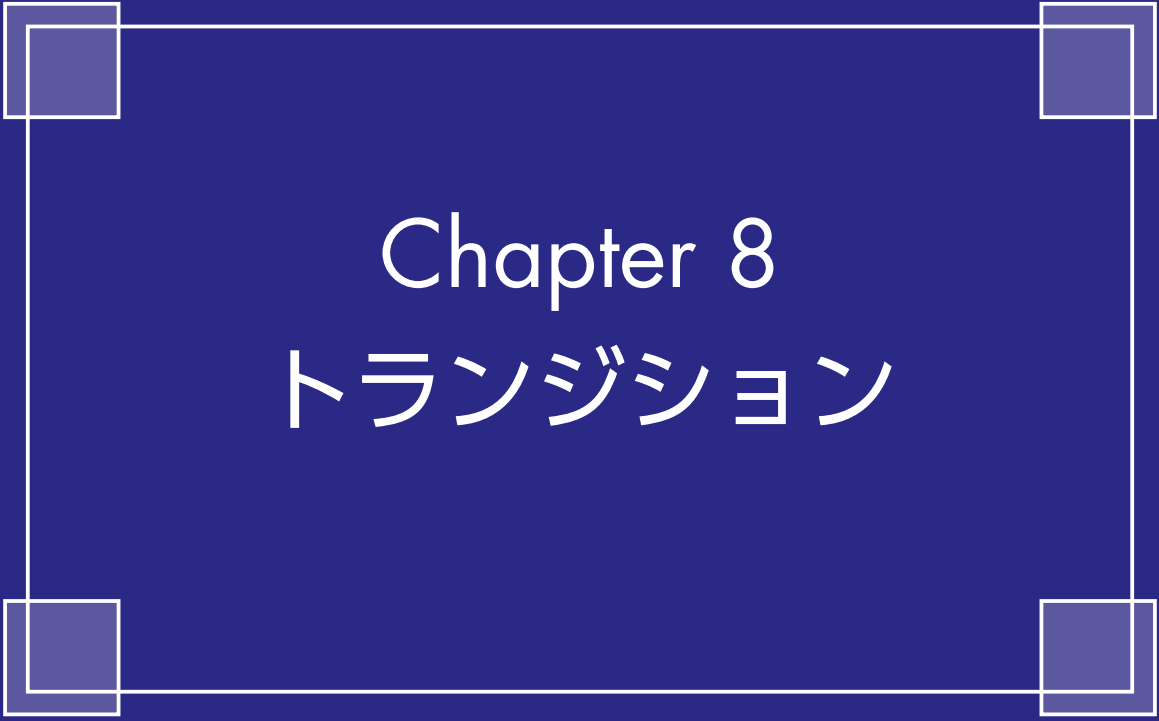
⑥ 【OK】をクリックして適用します。



メモ

モーションを取りやめるにはモーションの一覧から【×】をクリックします。





Chapter 8

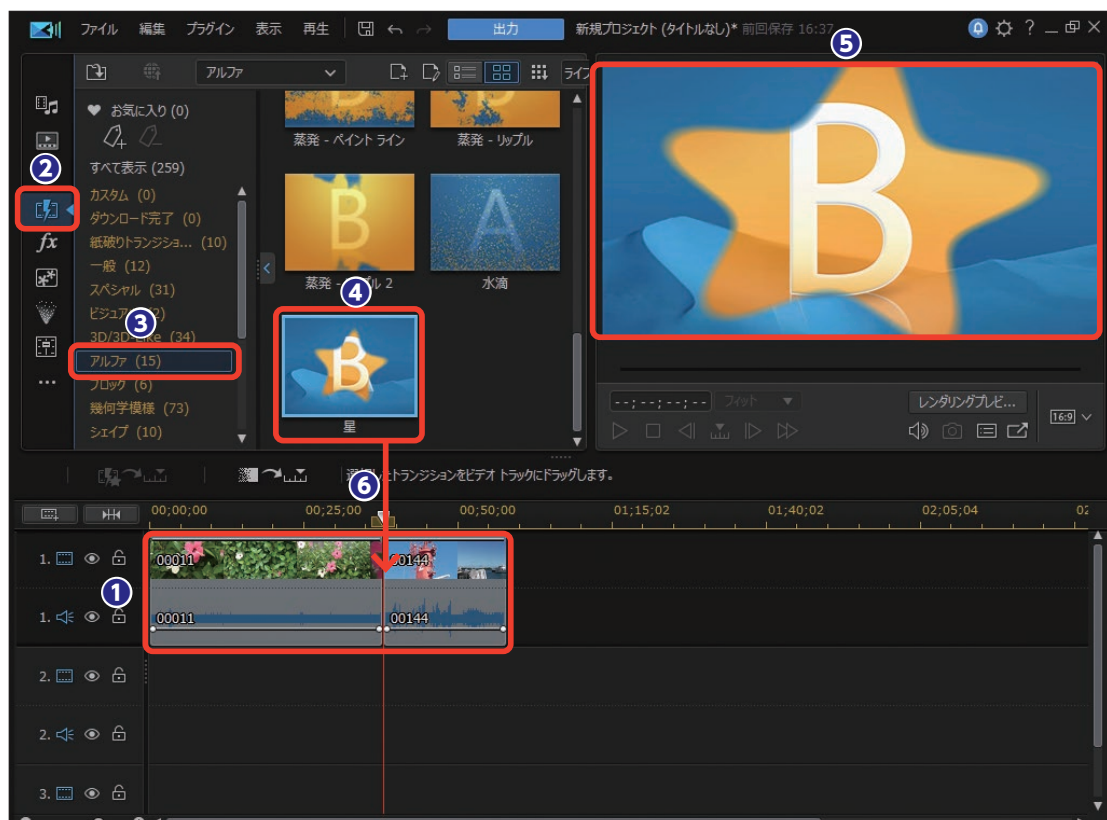
トランジション

トランジション

【トランジション】は、ビデオとビデオの間に挿入して、ビデオの切り替わる時に加える効果です。ページがめくれるように次のビデオが表示されたり、次に再生されるビデオが前に再生されていたビデオを画面の端に追いやったりと、時間の経過や場面が変わったことを表現します。

トランジションの設定

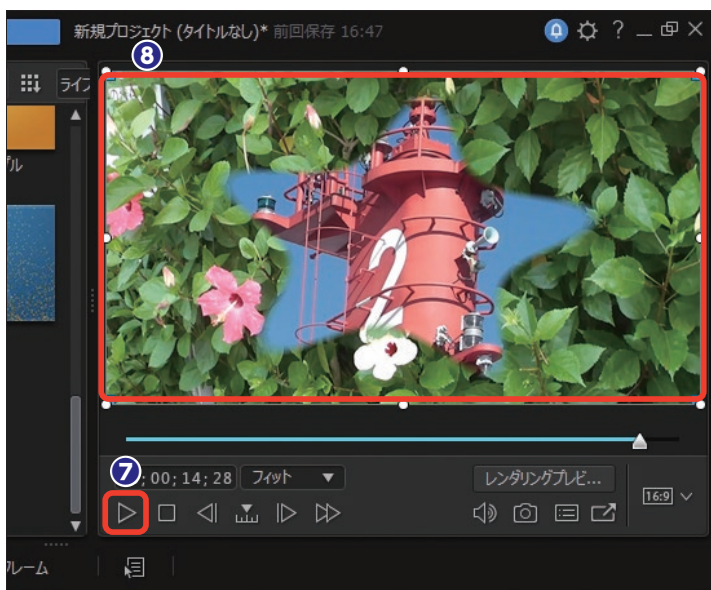
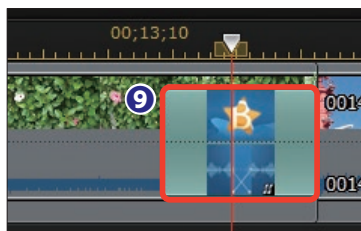
- ① 複数のビデオクリップをタイムラインに配置しておきます。
- ② 【トランジションルーム】をクリックします。
- ③ トランジションのカテゴリをクリックします。
- ④ トランジションを選択します。
- ⑤ トランジションの効果は、プレビューウィンドウに表示されます。
- ⑥ トランジションをビデオクリップとビデオクリップの間にドラッグします。



7 トランジションが適用されます。
[再生] をクリックします。

8 プレビューウィンドウで効果を確認します。

9 トランジション効果をカスタマイズするには、トランジションをダブルクリックします。



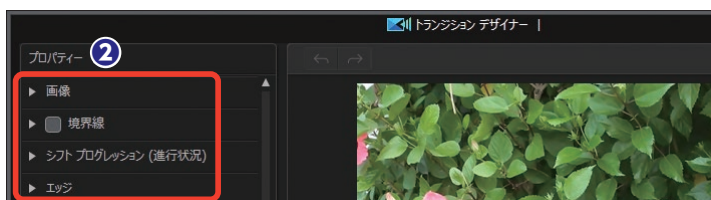
トランジションのカスタマイズ

1 [トランジションの設定] ウィンドウが表示されます。トランジションをカスタマイズするには、[トランジションデザイナー] をクリックします。

※カスタマイズできないトランジションもあります。その場合、[トランジションデザイナー] ボタンは表示されません。



2 [トランジションデザイナー] ウィンドウが表示されます。各設定は、[プロパティー] の項目名の [▶] をクリックして表示します。



メモ

オリジナルのトランジション効果を作成することができます。トランジションに使用する画像ファイルを用意しておきます。[トランジションルーム] のメニューにある [新規アルファトランジションの作成] ボタンをクリックして、表示される [開く] ダイアログボックスから画像ファイルを選択します。表示される [トランジションデザイナー] で画像を調整して [OK] をクリックします。詳しい作成方法は、オンラインマニュアルをお読みください。

③ [画像] では、トランジションで使用する画像をカスタマイズできます。白いポイントをドラッグして、表示する範囲を調整します。

④ [上下反転] にチェックを入れると、画像が逆さに表示されます。

⑤ [左右反転] にチェックを入れると、画像の左右が逆になります。

⑥ [境界線] にチェックを入れると、映像の境に境界線が表示されます。

⑦ [不透明度] では、境界線の濃さを設定します。

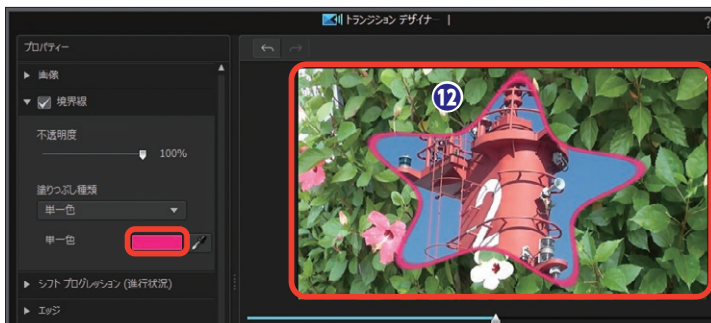
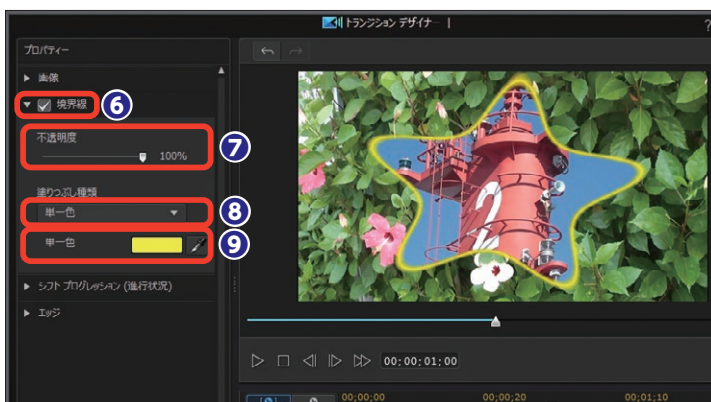
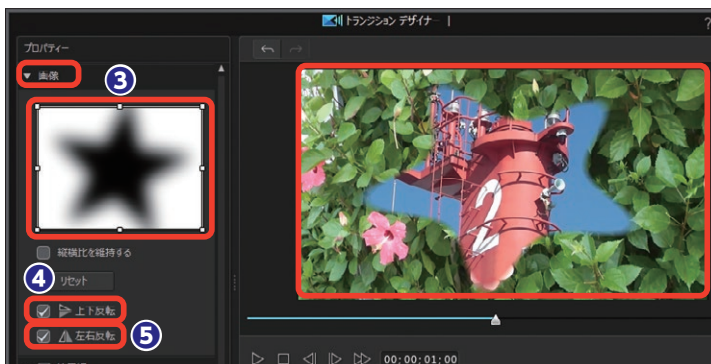
⑧ [塗りつぶし種類] の[▼]をクリックして[単一色]を選択すると、単色の境界線になります。[2色グラデーション]を選択すると、境界線にグラデーションをかけられます。

⑨ カラーボックスをクリックします。

⑩ 表示される[カラー] ウィンドウから色を選択します。

⑪ [OK] をクリックします。

⑫ 境界線の色が設定できます。



13 [シフトプログレッション] では、キーフレームを使ってトランジションのアニメーションを調整できます。ここでは[星]のトランジションを使って、大きくなった星が途中から小さくなり、そこからまた大きくなるアニメーションに変更してみます。

14 星を小さくする位置に再生スライダーをドラッグします。

15 [現在のキーフレームを追加／削除] をクリックします。

16 キーフレームが設定されます。

17 星を再び大きくする位置に再生スライダーをドラッグします。

18 [現在のキーフレームを追加／削除] をクリックします。

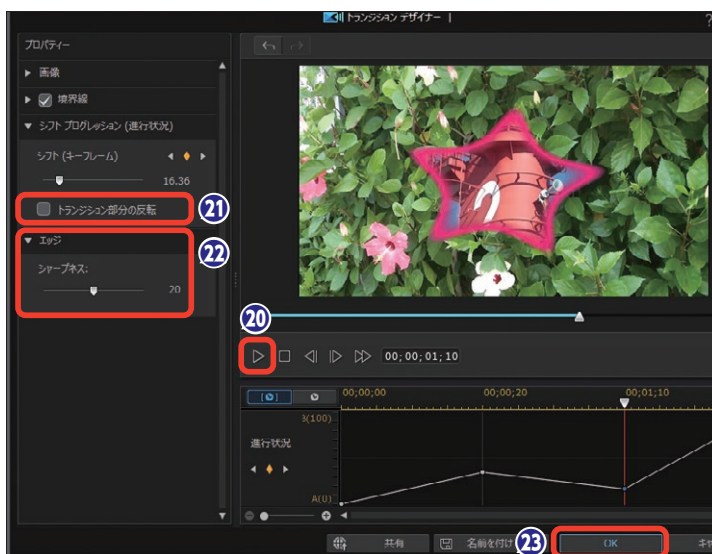
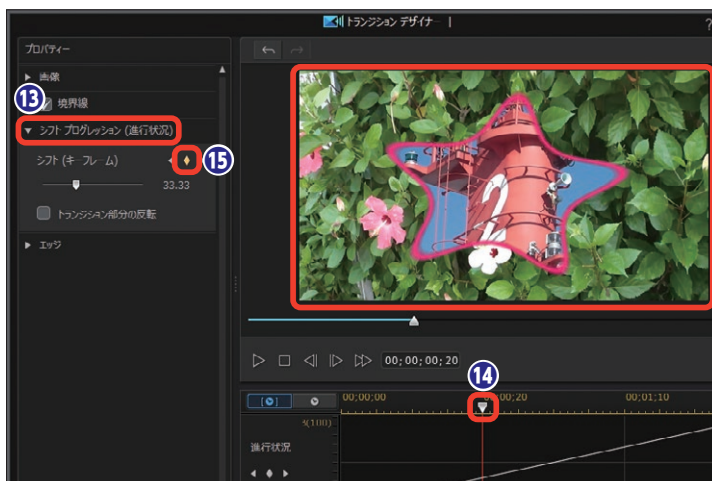
19 青いポイントを下にドラッグします。

20 [再生] をクリックすると、星の形が大きくなり、一度小さくなってからまた大きくなるトランジションが確認できます。

21 [トランジション部分の反転] にチェックを入れると、トランジションの効果が逆になります。

22 [エッジ] では、境界線にぼかしをかけます。[シャープネス]をドラッグして、境界線のぼけ具合を調整します。

23 カスタマイズが終了したら、[OK] をクリックします。



トランジションをすべてのビデオクリップ間に適用

タイムラインに配置したビデオクリップ間すべてにトランジションを適用することができます。

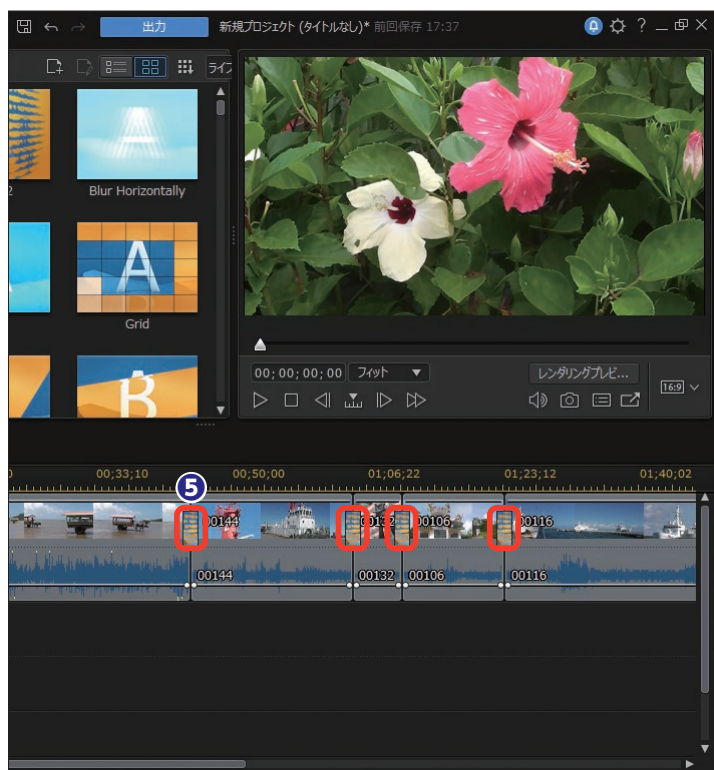
① ビデオクリップ間すべてに適用したいトランジションをクリックします。

② トランジションを適用するトラックをクリックします。

③ [選択したトランジションを選択したトラック上のすべての動画に適用] をクリックします。

④ 表示されるメニューから [クロストランジション] か [オーバーラップトランジション] を選択します。

⑤ すべてのビデオクリップ間にトランジションが配置されます。





Chapter 9

オーディオ

音楽CDから曲を取り込む

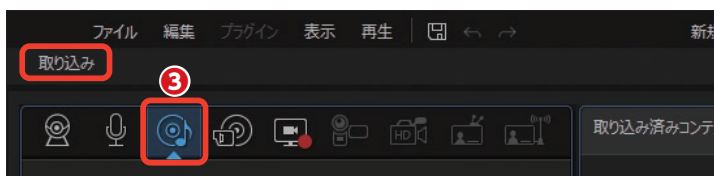
音楽CDから曲を取り込んで、BGMに使用できます。ただし個人で楽しむビデオ作成の場合に限られます。音楽CDから取り込んだ曲を使ったビデオをYouTubeなどの動画サイトにアップロードすることはできません。

① 音楽CDから曲を取り込むには、DVDドライブなどに音楽CDをセットして「ファイル」をクリックします。



② メニューから「取り込み」をクリックします。

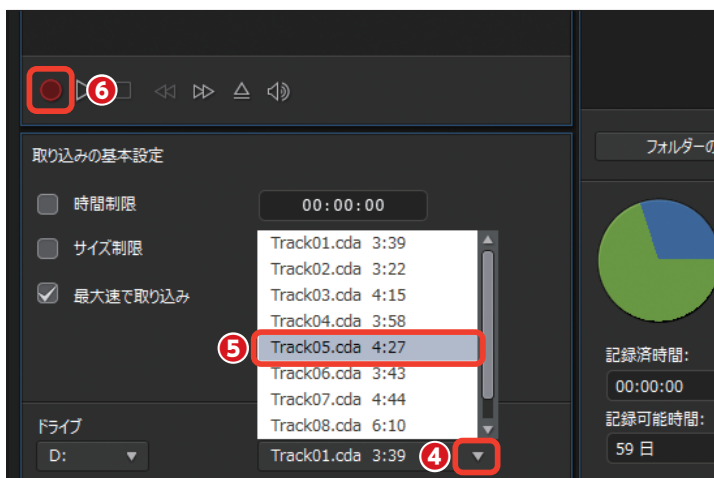
③ 「取り込み」画面で、「CDから取り込み」をクリックします。



④ 「トラック」の「▼」をクリックします。

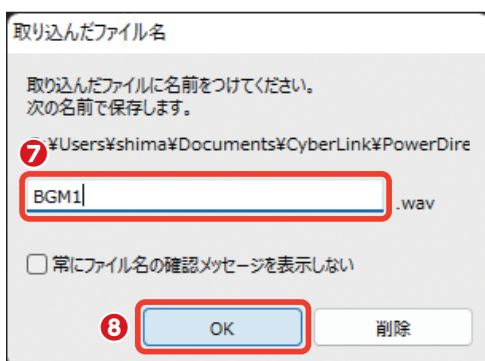
⑤ 表示されるメニューから取り込む曲をクリックします。

⑥ 「録画」をクリックします。曲の取り込みが開始されます。



⑦ 曲の取り込みが終了すると、「取り込んだファイル名」ダイアログボックスが表示されます。わかりやすいファイル名を入力します。

⑧ 「OK」をクリックします。



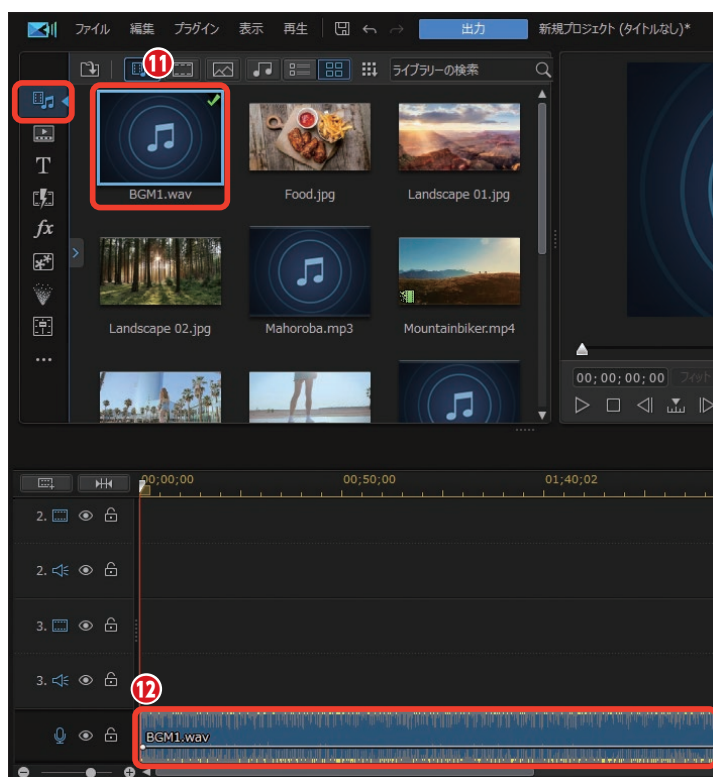
⑨ 取り込まれた音楽CDの曲はミュージックファイルとして[取り込み済みコンテンツ]に表示されます。

⑩ [閉じる] をクリックします。[タイムライン編集モード] のメイン画面に戻ります。



⑪ ミュージックファイルは[メディアアールーム]にミュージッククリップとして表示されます。

⑫ また、取り込んだミュージッククリップは、タイムラインに新規に作成されたボイストラックに配置されます。



ミュージックファイルを取り込む

パソコンに保存してあるミュージックファイルを取り込んで、BGMに使用できます。ただし個人で楽しむビデオ作成の場合に限られます。ミュージックファイルを使ったビデオをYouTubeなどの動画サイトにアップロードすることはできません。

① ミュージックファイルを取り込むには、[メディアルーム] で [メディアの読み込み] をクリックします。

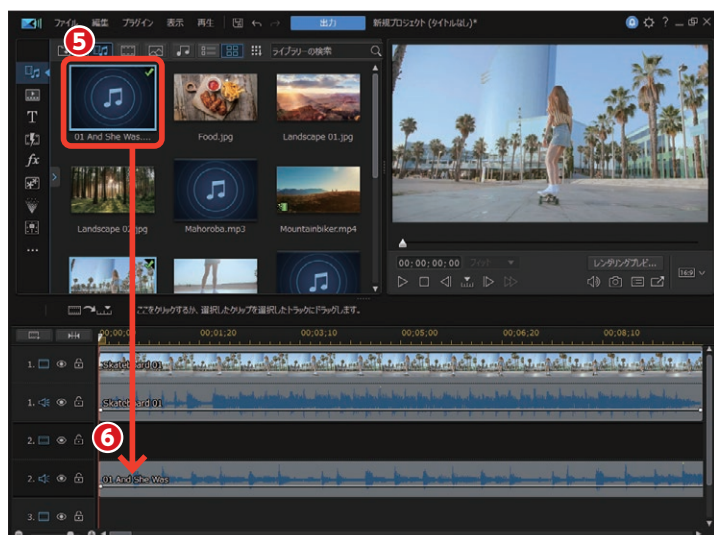
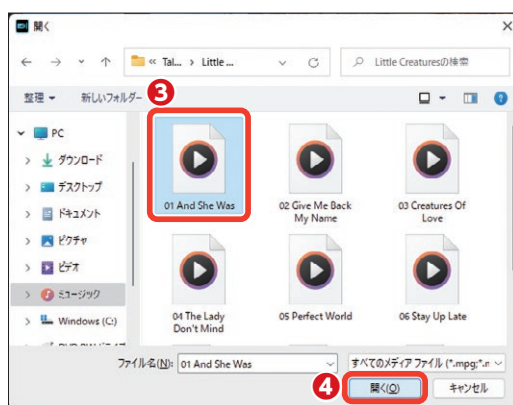
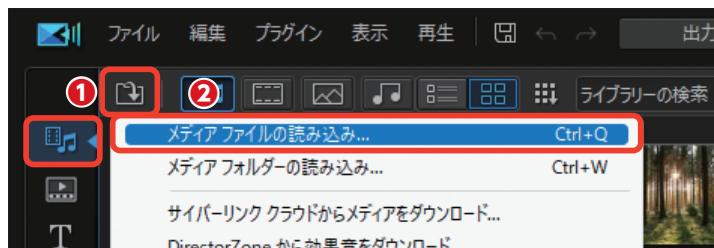
② 表示されるメニューから [メディアファイルの読み込み] をクリックします。

③ ミュージックファイルが収納されているフォルダーを表示して、ミュージックファイルを選択します。

④ [開く] をクリックします。

⑤ ミュージックファイルが、[メディアルーム] のライブラリにミュージッククリップとして取り込まれます。

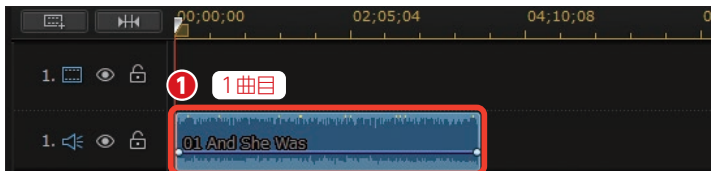
⑥ ミュージッククリップをオーディオトラックの再生したい位置にドラッグします。



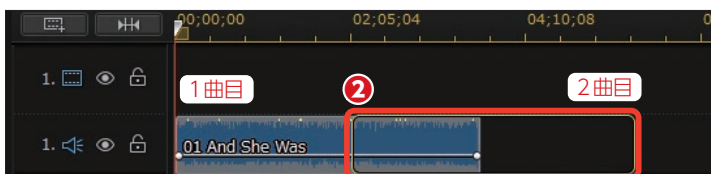
クロスフェード

ミュージッククリップとミュージッククリップをクロスフェードすることができます。1曲目と2曲目の重なった部分で1曲目の音量が徐々に下がって消えていき、2曲目の音量が徐々に大きくなります。クロスフェードは、ミュージッククリップを重ね合わせるだけで設定ができます。

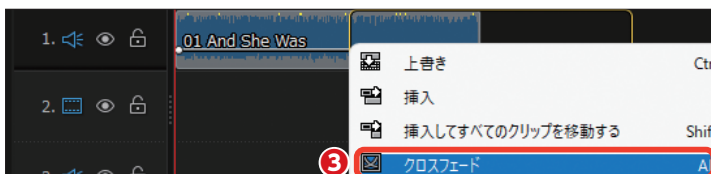
❶ 1曲目のミュージッククリップをオーディオトラックに配置します。



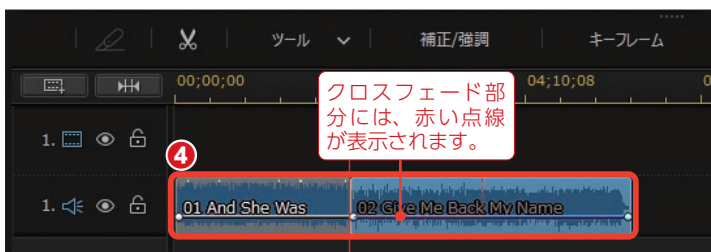
❷ 2曲目のミュージッククリップをメディアルームのライブラリから1曲目のミュージッククリップに重なるようにドラッグします。



❸ 表示されるメニューから、[クロスフェード] をクリックします。



❹ 2曲目のミュージッククリップが1曲目のミュージッククリップに重なって配置されます。曲の重なった部分で、1曲目のミュージッククリップの音量が徐々に小さくなって消え、2曲目のミュージッククリップの音量が徐々に大きくなります。



メモ

オーディオトラックやボイストラックでは、タイムラインに配置したクリップで、音声の途中から音量を変更することができます。

クリップを選択してトラック音量のラインで [Ctrl] キーを押しながらクリックすると、ポイントが表示されます。ポイントを上にはドラッグすると大きな音に、下にはドラッグすると小さな音になります。

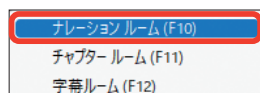


ナレーション

運動会のビデオなどで音声の解説を入れるなど、ビデオにナレーションを加えることができます。パソコンにマイク機能があればマイクに向かって、ない場合は市販のマイクを用意してナレーションを吹き込みます。ビデオの映像に合わせてナレーションを吹き込みます。

① タイムラインスライダーをナレーションを配置する位置にドラッグします。

② [...] をクリックして、表示されるメニューから [ナレーションルーム (F10)] をクリックします。



③ マイクに向かってしゃべると、インジケーターが上下に移動します。

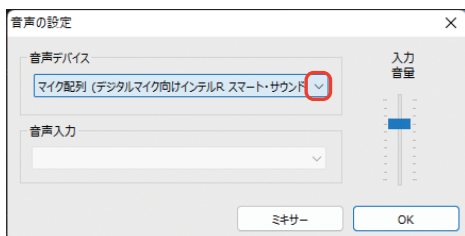
④ 一番大きな音が赤のラインにかからないようにスライダーをドラッグして調整します。

⑤ [録音中は全トラックをミュートする] にチェックを入れると、ナレーションの録音中にビデオクリップの音声が無音になります。



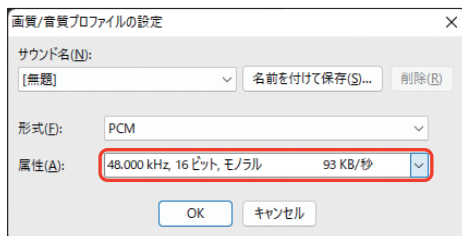
メモ

インジケーターがなにも振れない場合は [デバイス] をクリックして、表示される [音声の設定] ダイアログボックスで [音声デバイス] の [V] をクリックし、[マイク] が選択されているか確認してください。



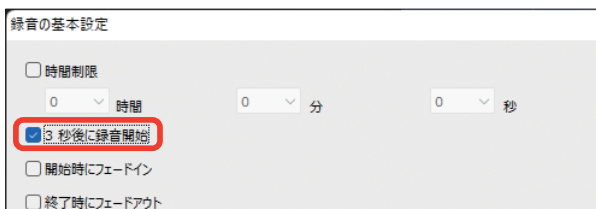
メモ

[プロファイル] をクリックすると、[画質/音質プロファイルの設定] ダイアログボックスが表示されます。[属性] の [V] をクリックして表示されるメニューから、音声のクオリティを設定できます。

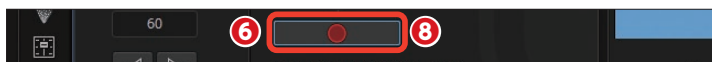


メモ

「基本設定」をクリックすると、「録音の基本設定」ダイアログボックスが表示されます。[3秒後に録音開始]にチェックを入れると、「録音」をクリックしてから3秒後に録音が始まります。「録音」をクリックしてから少し余裕があるので、慌てずにナレーションを吹き込みます。



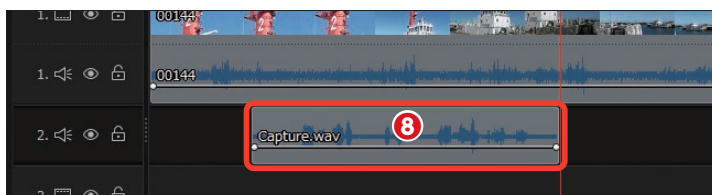
6 「録音」をクリックします。



7 「ナレーション録音」ダイアログボックスの「録画先」で、ナレーションを収録するトラックを選択して[OK]をクリックします。プレビューウィンドウにビデオが再生されるので、映像に合わせてナレーションを吹き込みます。



8 ナレーションを吹き込み終わったら、「停止」をクリックします。ナレーションクリップが表示されます。



9

オーディオ

オーディオ エディター

オーディオエディターは、音声をより詳細に編集する機能です。音声の加工は「オーディオエディター」ウィンドウで行います。詳しくはオンラインヘルプをお読みください。

1 音声を加工するミュージッククリップを右クリックして、「音声の編集」から「オーディオエディター」をクリックします。



2 「オーディオエディター」ウィンドウが表示されます。ここで、音量や歪み、ノイズなどを編集します。



3 画面右下の[OK]をクリックして、PowerDirectorの「タイムラインビデオエディター」画面に戻ります。

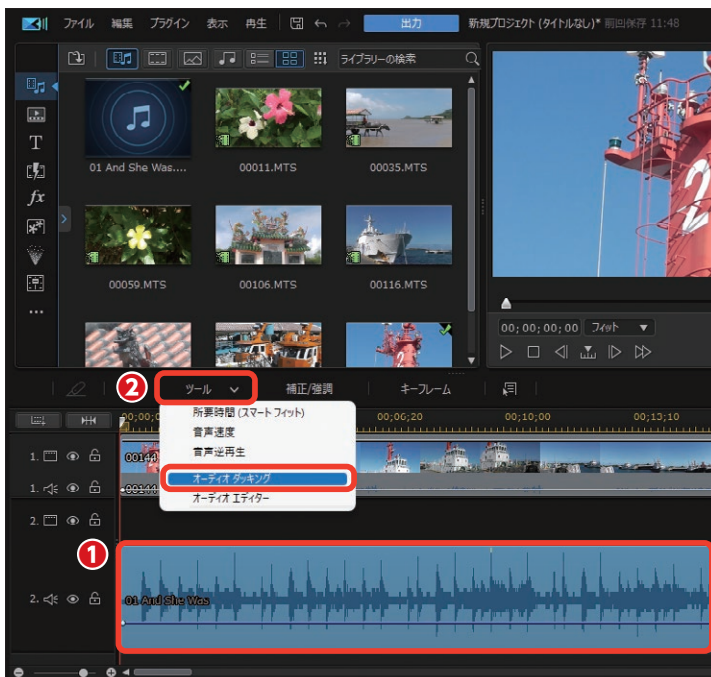
オーディオダッキング

ビデオクリップのBGMとしてオーディオクリップを配置した場合、ビデオクリップの会話などの音声聞きにくくなることがあります。そんなときに「オーディオダッキング」機能を使うと、自動で会話などの音声を分析し、その部分だけオーディオクリップの音量を下げたりできます。

ここではビデオトラックにビデオクリップを、オーディオトラックにBGMのオーディオクリップを配置して、ビデオクリップ内で会話しているときにBGMの音量が自然と下がるように設定します。

① 音量を調整するオーディオクリップをクリックします。

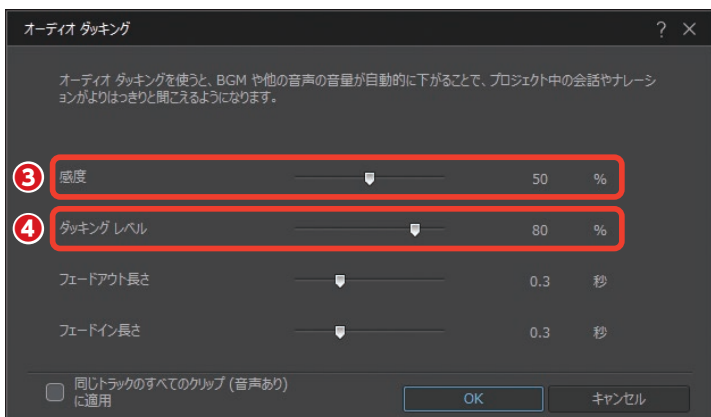
② 「ツール」をクリックして、表示されるメニューから「オーディオダッキング」をクリックします。



「オーディオダッキング」ウィンドウが表示されます。

③ 「感度」では、他のトラックにあるクリップ（ここではビデオクリップ）の音声を分析するレベルを設定します。

④ 「ダッキングレベル」では、選択したクリップの音量を設定します。たとえば図のように「80」%に設定すると、オーディオクリップの音量は、標準で再生するときの音量の80%下げた20%の音量になります。



5 [フェードアウト長さ] では、クリップの標準の音量から[ダッキングレベル]で設定した音量に下げるまでの時間を設定します。この設定により急に音量が下がるのではなく、自然と音量が下がる設定になります。

6 [フェードイン長さ] では、会話などが終わった後、急に元の音量に戻るのではなく、設定した時間をかけて標準の音声になります。

7 [OK] をクリックします。

8 ビデオクリップの音声を自動で分析して、BGMのオーディオクリップの音声、会話が聞きやすいように調整されます。



メモ

[同じトラックのすべてのクリップに適用] にチェックを入れると、同じトラックに配置されているクリップにもオーディオダッキングが適用されます。ひとつのビデオクリップにいくつもBGMのオーディオクリップを配置している場合などに便利です。



ビデオクリップで会話などが再生されている間、オーディオクリップの音量が自動で下がります。

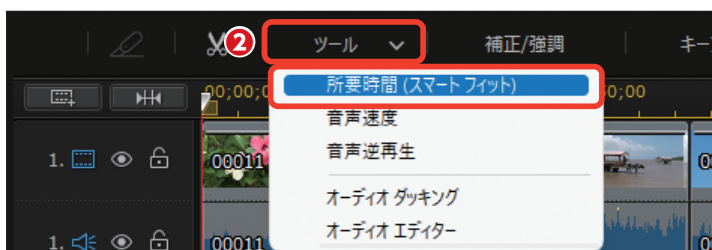
スマートフィット

【所要時間（スマートフィット）】では、編集したビデオに流すBGMの再生時間を調整します。編集した動画より長い再生時間のBGMを動画の再生時間ちょうどにリミックスしたり、動画の再生時間より短いBGMをくり返しのアレンジを加えて再生時間に合わせたりできます。

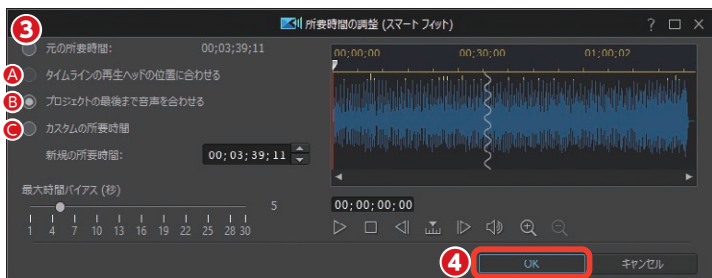
① ここではBGMとして配置したミュージッククリップを3つのビデオクリップに合わせてリミックスし、ビデオの再生時間と合わせます。タイムラインにビデオクリップとミュージッククリップを配置しておきます。



② ミュージッククリップをクリックして、[ツール] をクリックし、表示されるメニューから「所要時間（スマートフィット）」をクリックします。



③ 「所要時間の調整」ウィンドウが表示されます。曲をどのように調整するかを選択します。



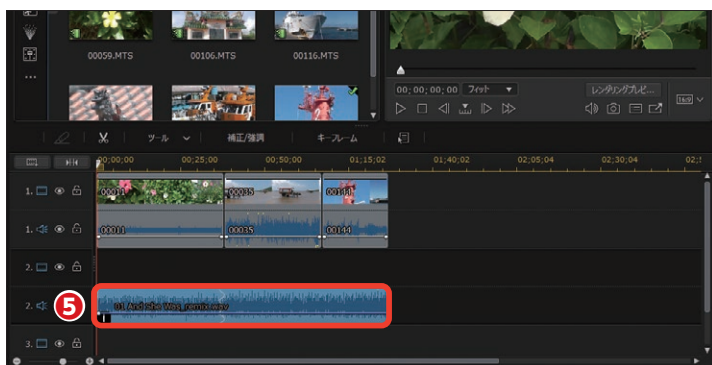
A タイムラインの再生ヘッドの位置に合わせる
タイムラインスライダーを移動した位置まで曲が再生されるように調整されます。

B プロジェクトの最後までで音声を拡張
プロジェクトのクリップが並んでいる最後まで曲がかかるように調整します。曲の再生時間が長い場合は曲の一部を違和感がないように間引き、曲の再生時間が短い場合は曲の一部を違和感のないようにくり返す調整が行われます。

C カスタムの所要時間
[新規の所要時間] にセットした時間だけ曲が再生されます。

④ [OK] をクリックします。

⑤ ミュージッククリップの再生時間が調整されます。



スピーチ強調

動画撮影では、その場の音がすべて録音されます。結婚式でのスピーチや子どもの発表会など、ざわついたなかでしゃべっている声を際立たせるには[スピーチ強調]機能を使用します。しゃべっている声の音質が改善され、より聞きやすくなります。

① ビデオクリップをクリックします。

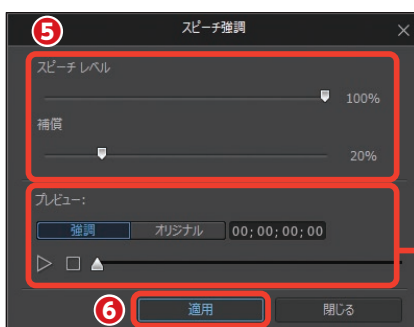
② [補正/強調] をクリックします。

③ [強調] が表示されます。[スピーチ強調] をクリックします。

④ [スピーチ強調] をクリックします。

⑤ [スピーチ強調] ウィンドウが表示されます。[スピーチレベル] でスピーチ強調のかけ具合を調整します。[補償] ではスピーチ強調を適用した後のしゃべっている音声は自然に聞こえるように調整します。各スライダーをドラッグして設定します。

⑥ [適用] をクリックします。



[プレビュー] のコントロールパネルで音声を確認できます。[強調] をクリックすると調整した音声は、[オリジナル] をクリックすると元の音声は流れます。

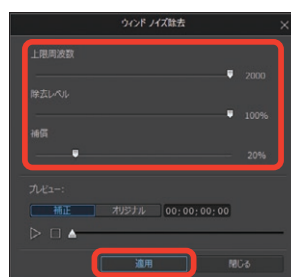
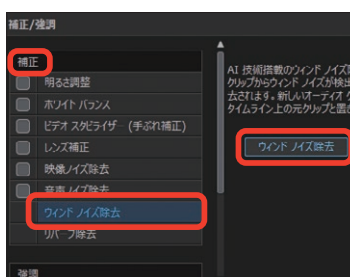
9

オーディオ

メモ

動画を撮影したときに風の音が録音されることがありますが、この音を削除してしゃべっている声を聞きやすくなります。

上の手順①②と同様にしてビデオクリップを選択して[補正/強調]をクリックします。表示される[補正]から[ウィンドノイズ除去]を選択し、[ウィンドノイズ除去]をクリックします。表示される[ウィンドノイズ除去]ウィンドウで除去する調整を行い[適用]をクリックします。



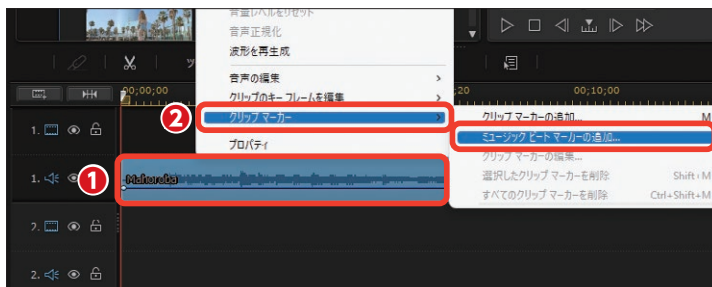
[上限周波数] ウィンドノイズの最高周波数を設定します。
[除去レベル] ノイズ除去のレベルを設定します。
[補償] 自然な音声になるように調整します。

ミュージックビート

【ミュージックビート検出】は、ミュージッククリップを分析してミュージックから自動でビートを検出し、マーカーを打ちます。このマーカーに合わせてビデオや画像クリップを配置すると、曲のビートに合わせてビデオや画像が再生されます。

① ミュージッククリップをオーディオトラックに配置しておき、ミュージッククリップを右クリックします。

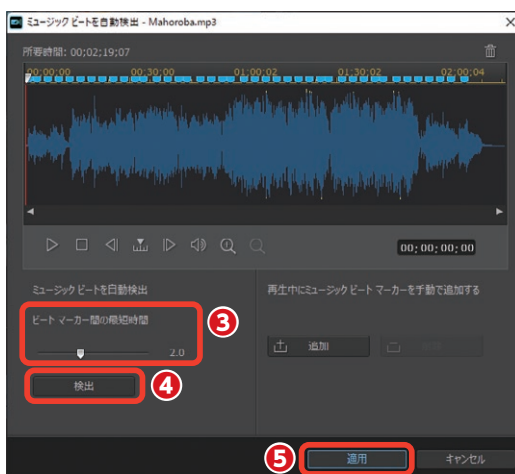
② 表示されるメニューから [クリップマーカー] → [ミュージックビートマーカーの追加] をクリックします。



③ 【ミュージックビートを自動検出】ウィンドウが表示されます。[ビートマーカー間の最短時間] で、スライダーをドラッグしてビートマーカーの間隔を設定します。たとえば、画像や動画を2秒ごとに切り替えるようにするには、2秒がそれより少し短い時間に設定します。

④ 【検出】をクリックします。

⑤ ミュージックビートが検出されます。【適用】をクリックします。

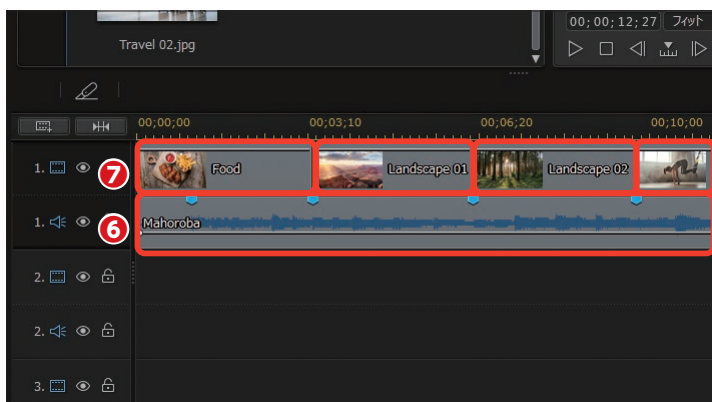


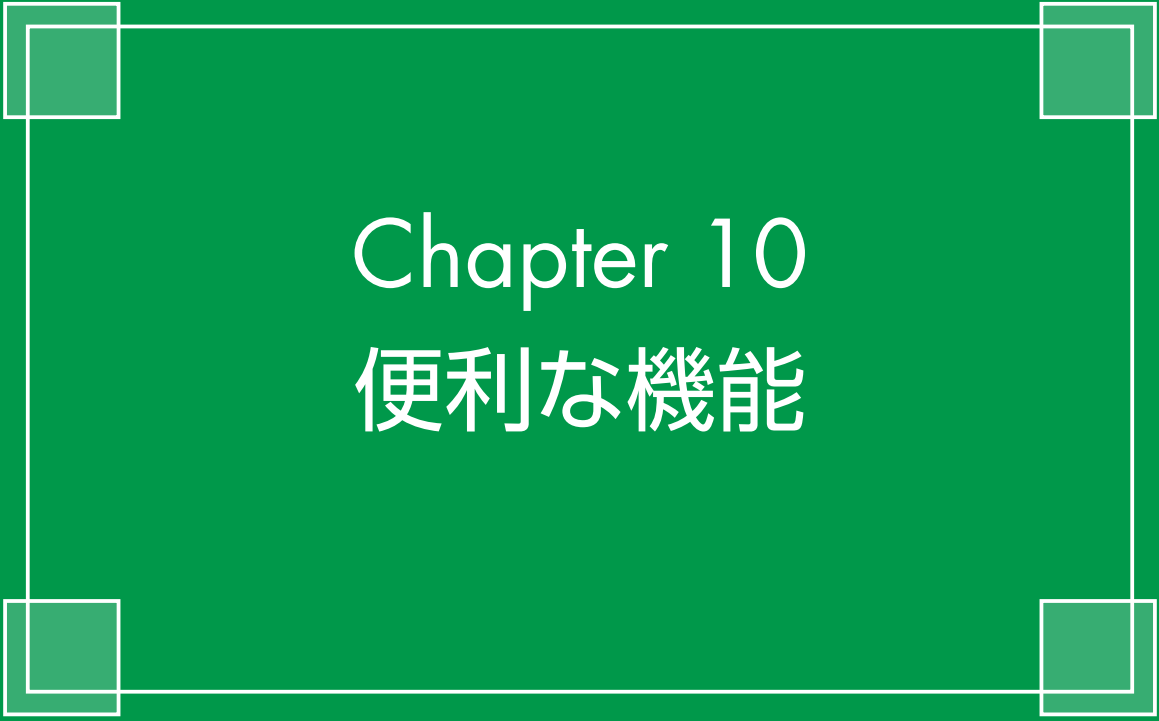
メモ

複数の画像クリップをマーカーに合わせて配置すると、ビートに合わせて次々に画像が切り替わるビデオが作成できます。

⑥ オーディオトラックに水色のクリップマーカーが設定されます。

⑦ 画像クリップをビデオトラックに配置すると、マーカーにぴたりと合わせることができます。画像クリップを次のクリップマーカーまでトリミングして、次々に配置すると、ビートに合わせて画像が切り替わる映像になります。





Chapter 10

便利な機能

字幕

ビデオに字幕を表示します。会話を文字で画面に表示したり、重要なことをしゃべっている場合、その台詞だけを字幕にして視覚にも訴えるなど、いろいろな活用があります。字幕を使ってよりわかりやすい映像にしましょう。

字幕を作成するには、字幕を入れるビデオクリップを再生しながら、字幕を入れる位置をチェックします。

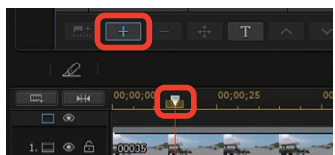
① タイムラインにビデオクリップを配置して、タイムラインスライダーをビデオクリップの先頭にドラッグします。

② [...] をクリックして、表示されるメニューから「字幕ルーム」をクリックします。

③ [再生] をクリックします。

メモ

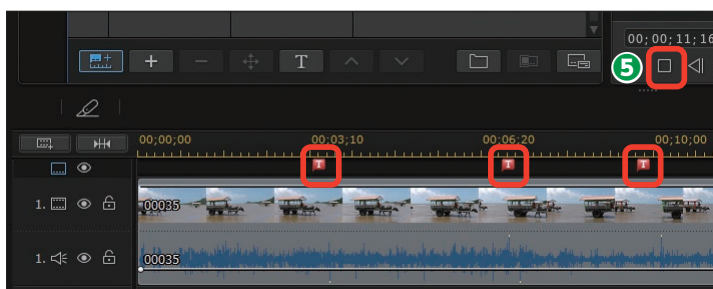
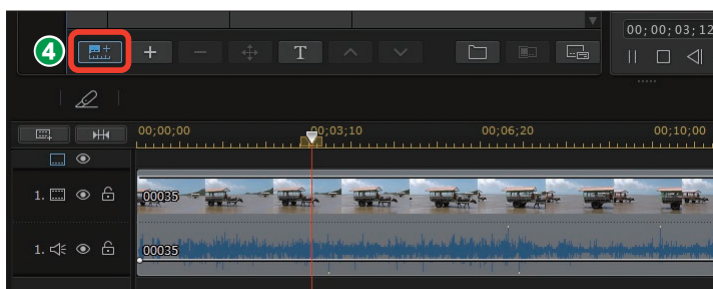
字幕を手動で設定するには、字幕を表示する位置にタイムラインスライダーを移動して、[現在の位置に字幕マーカを追加] をクリックします。



④ プレビューウィンドウにビデオが再生されます。字幕を入れる位置で[再生中に複数の字幕マーカを追加] をクリックします。

同様にして次に字幕を入れたい位置で[再生中に複数の字幕マーカを追加] をクリックします。

⑤ 字幕を入れたい位置のチェックが終われば、[停止] をクリックします。



⑥ [字幕ルーム] に字幕クリップが表示されます。各字幕クリップには番号が付き、[開始時間] と [終了時間] が表示されます。

⑦ 字幕クリップの [字幕テキスト] 欄をダブルクリックします。

⑧ 字幕にする文字を入力します。

⑨ 文字を確定するには、字幕の入力欄以外をクリックします。

⑩ プレビューウィンドウに字幕が表示されます。

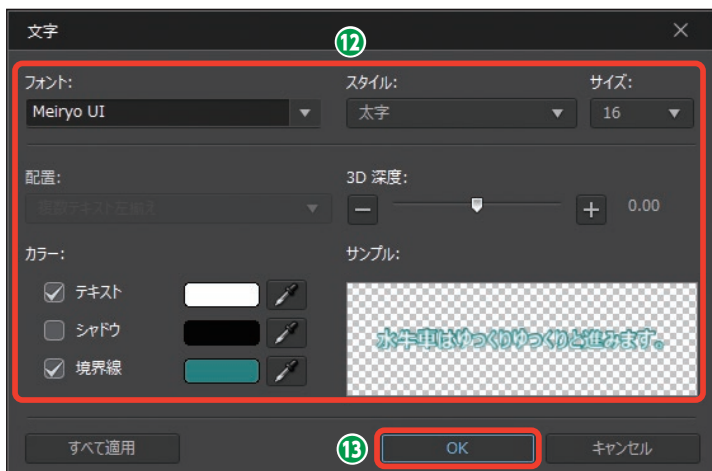
⑪ 字幕の文字を編集するには、[字幕テキスト形式の変更] をクリックします。

⑫ [文字] ウィンドウが表示されます。[フォント] や [スタイル]、[サイズ]、[カラー] で、テキストの色や影付きにしたりなどの設定を行います。

⑬ [OK] をクリックします。

メモ

[すべて適用] をクリックすると、[文字] ウィンドウで設定した内容が他の字幕クリップにも反映されます。



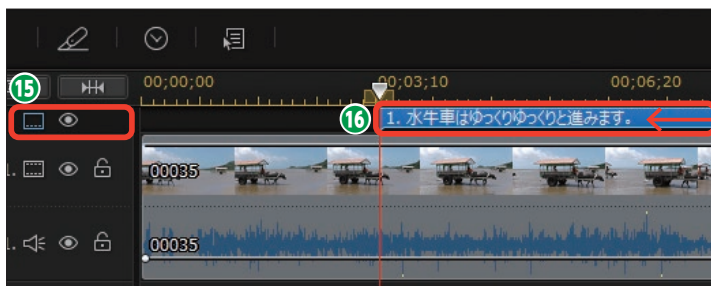
10

便利な機能

14 字幕に設定が適用されます。

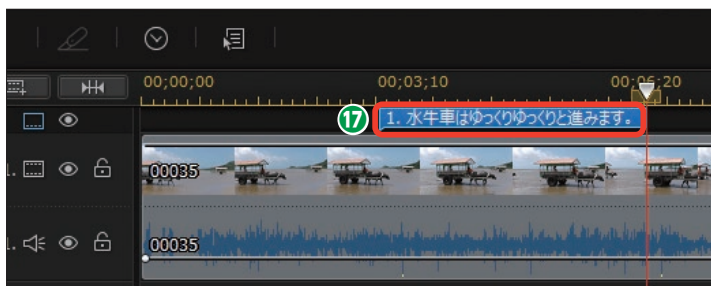


15 タイムラインには、[字幕]トラックが表示され、各字幕クリップが配置されます。



16 字幕クリップの表示時間を変更するには、字幕クリップの右端をドラッグして、表示されるメニューから[トリミングのみ]を選択します。

17 字幕の再生時間を変更されます。同様にして、他の字幕クリップに文字を入力します。



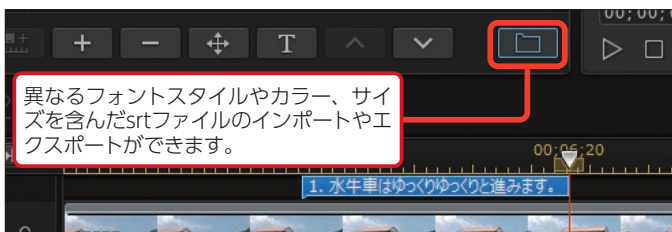
メモ

字幕の表示時間は[字幕ルーム]の[開始時間]や[終了時間]の数字をクリックして、直接入力することもできます。

	開始時間	終了時間	字幕テキスト
1	00:00:03:12	00:00:07:06	水牛車はゆっくりゆっくと進
2	00:00:09:20	00:00:12:09	ダブルクリックして編集

メモ

字幕をファイルに保存している場合は、[SRTまたはTXTファイルの字幕を読み込み]をクリックして、字幕にするテキストを読み込みます。また、MKVファイルから字幕を抽出することもできます。ファイルから取り込む方法の詳細は、オンラインマニュアルをお読みください。



チャプター

ディスクに書き込んだビデオを観るときに、リモコンなどを使って次のシーンにジャンプすることがあります。そのジャンプ先を設定する機能が「チャプター」です。チャプターは自動で設定したり、任意の位置に手動で設定することができます。

① タイムラインにビデオクリップを配置します。

② [...] をクリックして、「チャプタールーム」をクリックします。

③ 自動でチャプターを設定する方法は3つあります。「最初のビデオトラックの各クリップの開始位置にチャプターを挿入」にチェックを入れると、各ビデオクリップの先頭にチャプターが設定されて、ビデオクリップごとに飛ばして観ることができます。

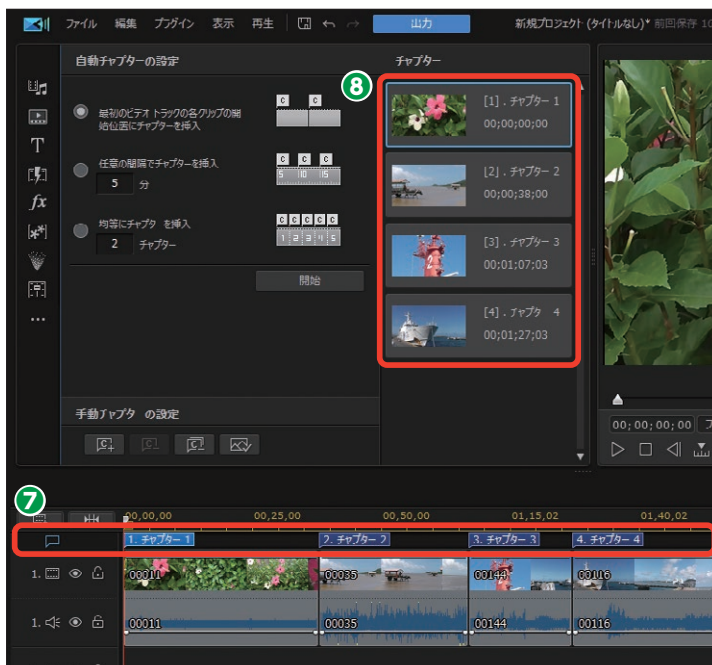
④ 「任意の間隔でチャプターを挿入」では、設定した時間後のチャプターポイントに飛ばして観ることができます。数値をクリックして設定する時間を入力します。

⑤ 「均等にチャプターを挿入」では、チャプターを設定する数を決めて、ビデオを均等割します。いくつチャプターを設定するか数値を入力します。

⑥ 「開始」をクリックします（ここでは各クリップの開始位置を選択）。

⑦ タイムラインに「チャプタートラック」が表示され、自動で設定されたチャプターが配置されます。

⑧ 「チャプター」ルームには各チャプターの先頭の映像が表示されたチャプタークリップが並びます。



10

便利な機能

9 チャプターを右クリックするとメニューが表示されます。

10 [名前の変更] をクリックすると、表示される [チャプター名の変更] ダイアログボックスでチャプター名を変更できます。

11 [削除] をクリックすると、そのチャプターを削除できます。

12 [すべて削除] をクリックすると、すべてのチャプターの設定を解除します。

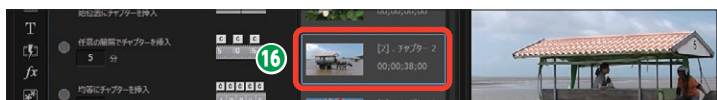


13 ディスクで鑑賞する場合、各チャプターの先頭の映像が表示されて、そこから再生することがあります。そのため、チャプターのサムネイルを、ビデオの内容がよくわかる映像に変更しておくを選びやすくなります。サムネイルの映像を変更するには、サムネイルをクリックします。

14 タイムラインスライダーを、使用したい映像の位置にドラッグします。



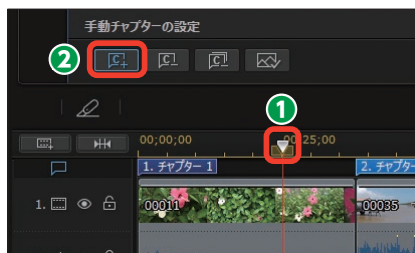
15 [現在のフレームをチャプターサムネイルとして設定する] をクリックします。

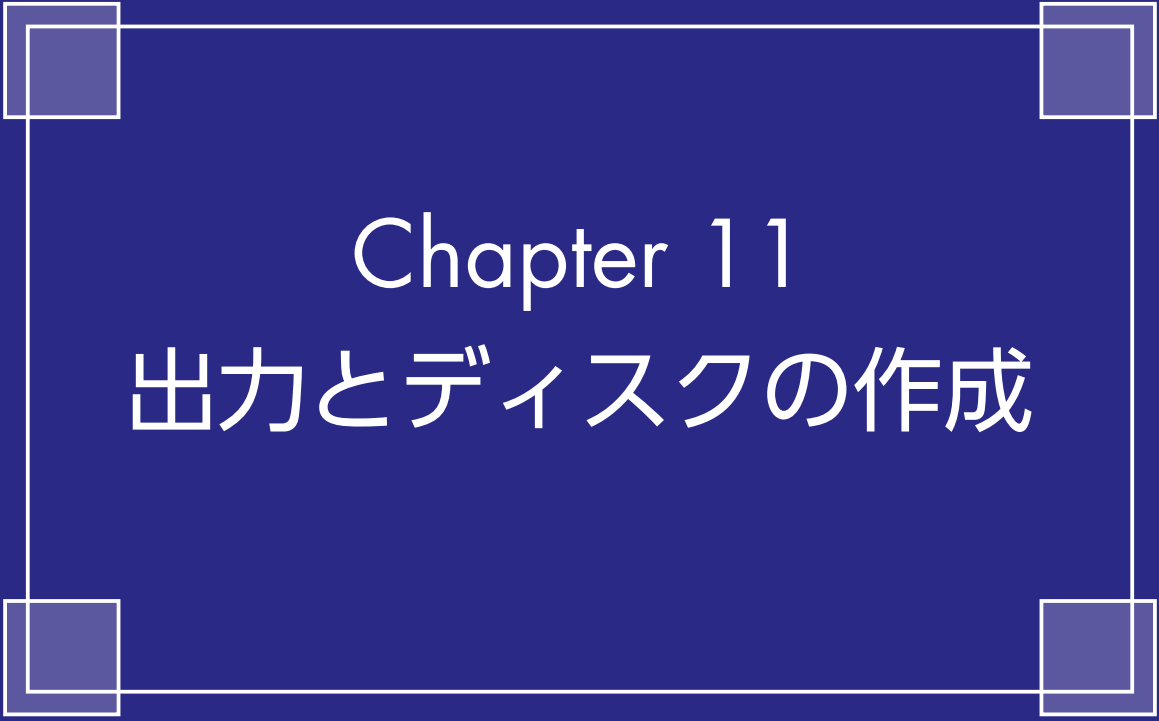


16 チャプターのサムネイル映像が変更されます。

メモ

手動でチャプターを設定するには、1 タイムラインスライダーをチャプターを設定する位置にドラッグします。2 [現在の位置にチャプターを追加] をクリックします。





Chapter 11

出力とディスクの作成

編集したビデオの保存

ビデオの編集が終了したら、[出力] 画面でビデオを保存しましょう。ビデオファイルとして保存したり、YouTubeなどのWebにアップロードするには、[ファイルを出力] を選択します。作成したビデオをDVDやBlu-rayなどのディスクに保存するには、[ディスク作成] を選択します。

① ビデオファイルとして保存したりディスクに書き込んだり、YouTubeなどのWebにアップロードするには、[出力] をクリックします。



② ビデオファイルとして保存したり、YouTubeなどのWebにアップロードするには、[ファイルを出力] をクリックします。



③ 編集したビデオをDVDやBlu-rayディスクなどに書き込むには、[ディスク作成] をクリックします (→P.194 ページへ)。

出力

[出力] 画面では、編集したビデオをビデオファイルとして保存したり、YouTubeなどのWebにアップロードします。どの形式でビデオを保存するかを決めましょう。

[ファイルを出力] 画面では、どの形式でビデオを完成させるかを選択します。

① [標準 2D]: 編集したビデオをビデオファイルとして保存します。

→P.189

② [オンライン]: YouTubeなどのWebにアップロードします。→P.192

③ [デバイス]: DVやHDVテープに書き戻したり、iPhoneやスマートフォンなどに保存します。→P.191

④ [3D]: 編集したビデオを3Dファイルとして保存します。→P.190



ビデオファイルとして保存

編集したビデオをビデオファイルとして保存します。PowerDirectorではさまざまなビデオファイル形式で保存できます。また、ファイルの保存方法に迷ったら、[プロファイル分析ツール] をクリックします。編集したビデオに適したファイルの保存方法を提示してくれます。

① [標準 2D] をクリックします。

② [ファイル形式の選択] で、保存するビデオファイルの種類を選択します。各ファイル形式については下記の説明をお読みください。

③ [ファイル拡張子] で、ファイルの保存形式を選択します。

④ ファイルの保存形式のプロファイルがある場合は、[プロファイル種類] の [▼] をクリックして、表示されるメニューからプロファイルを選択します。

⑤ [プロファイル名/画質] の [▼] をクリックして、画質を設定します。

⑥ [+] をクリックすると、新規プロファイルを作成できます。

⑦ [国/ビデオ規格] は、[日本 (NTSC)] に設定します。

⑧ [開始] をクリックします。



メモ

[ファイル形式の選択] で、[プロファイル分析ツール] をクリックすると、[プロファイル分析ツール] ウィンドウが表示されます。編集したビデオが分析されて、[最適な出力形式] タブにそのビデオに適した出力形式が表示されます。出力形式を選択して[OK]をクリックすると、[ファイル形式] や [ファイル拡張子]、[プロファイル名/画質] が自動で設定されます。



メモ

[H.264 AVC] : MPEG-4を用いた動画圧縮規格です。メモリーカードに記録するビデオカメラで多く利用されています。

[H.265 HEVC] : H.264 AVCに続く新しい動画圧縮規格です。圧縮効率に優れながら、高解像度です。

[Windows Media] : Windows用の動画・音声ファイルの形式です。スマートフォンでも再生できます。

[XAVC S] : ハイビジョンに対応するAVC規格を発展させた、4K動画に対応した規格です。

[AVI] : Windows用の動画・音声ファイルの形式です。

[MPEG-2] : 動画圧縮規格のひとつで、DVDソフトなどに使われています。

[音声ファイル] : Windows Media Audio、Wav、Mpeg 4 Audioの形式から選択して出力します。

3Dビデオファイルとして保存

3D映像を編集したビデオは、3Dビデオファイルとして保存します。3D映像を視聴する環境に合わせて、3D出力形式を選択します。

① [3D] をクリックします。

② [ファイル形式の選択] で、保存するビデオファイルの種類を選択します。各ファイル形式については189ページの「メモ」をお読みください。
ここでは「H.264 AVC」ファイルの作成で説明します。

③ 各設定は189ページの「ビデオファイルとして保存」をお読みください。

④ [3D出力形式] の「▼」をクリックして、表示されるメニューから3Dの出力形式を選択します。

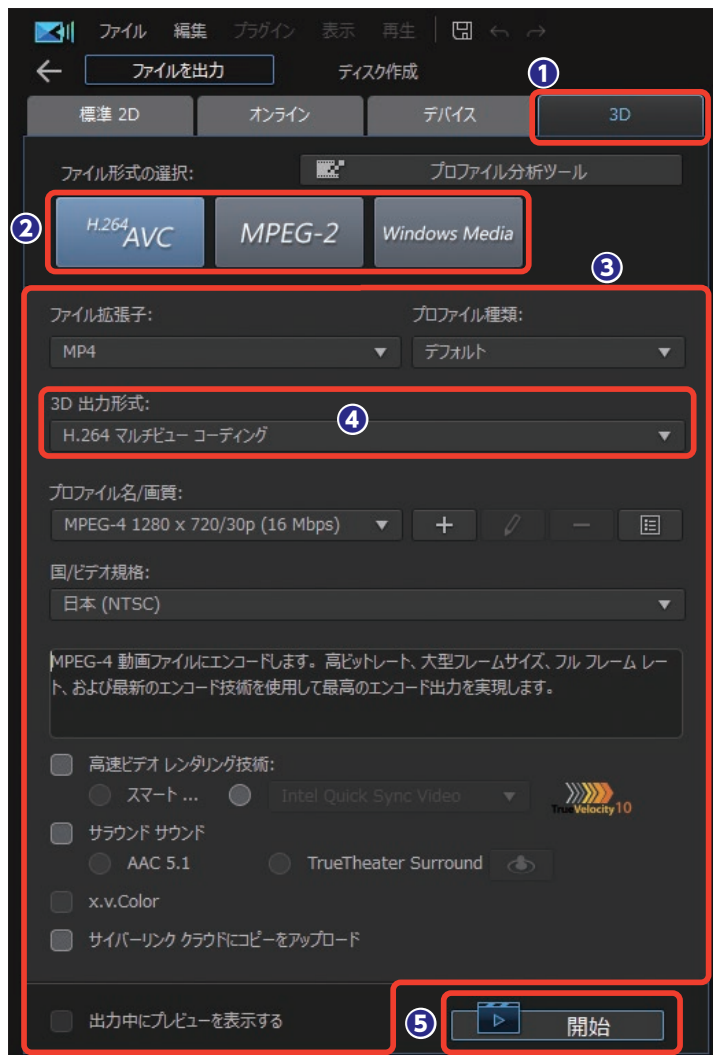
[H.264マルチビューコーディング] 保存するビデオファイルの圧縮率のよいファイル形式です。

[サイドバイサイドハーフ幅 (L/R)] 4:3またはHD以外のプロジェクトに適したサイドバイサイド3D形式です。

[サイドバイサイドフル幅 (L/R)] HDのプロジェクトに適したサイドバイサイド3D形式です。

[アナグリフ] 赤と青のメガネで観る形式です。

⑤ 「開始」をクリックすると、ビデオファイルが作成されます。



DVテープやiPhone、スマートフォンに録画

編集したビデオは、DVテープに書き戻すことができます。テープで保管する場合に選択します。また、スマートフォンやiPhone、SonyやMicrosoft製品などに保存することもできます。DVテープに書き戻す場合は、ビデオカメラで録画するDVテープの頭出しをしておきます。

① [デバイス] をクリックします。ビデオカメラやデバイスをパソコンに接続します。

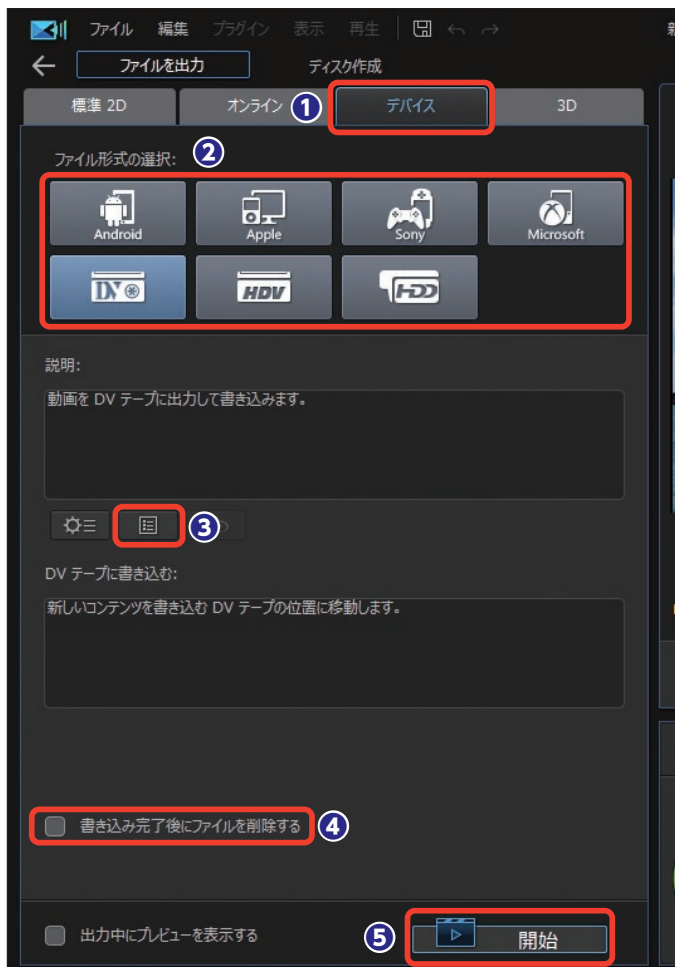
② [ファイル形式の選択] で、保存するビデオカメラかデバイスを選択します。各デバイスについては下記の[メモ]をお読みください。

ここでは [DV] を選択して、DVカメラのテープに書き込む方法を説明します。

③ [詳細] をクリックすると、ビデオテープに書き込む設定が表示されます。

④ DVテープに書き込む場合にPower Directorは [出力フォルダー] にビデオファイルを作成します。テープに書き込むだけの場合は [書き込み完了後にファイルを削除する] にチェックを入れておくと、録画が終わると自動でビデオファイルが削除されます。

⑤ [開始] をクリックすると、ビデオファイルが作成され、テープに録画されたり、各デバイスに保存されます。



メモ

[Androidデバイス] 各社スマートフォンでの再生に適したファイルを作成します。

[Appleデバイス] iPadやiPhoneでの再生に適したファイルを作成します。

[Sonyデバイス] ソニー製ポータブルゲーム機 [PSP] での再生に適したファイルを作成します。

[Microsoftデバイス] マイクロソフト製デバイスでの再生に適したファイルを作成します。

[DVテープ] [HDVテープ] DVカメラ (デジタルビデオカメラ) で使うビデオテープカセットに最適化します。

[HDD] Hard Disk Drive (ハードディスクドライブ) を搭載したビデオカメラに最適化します。

YouTubeにアップロード

ビデオを編集して、そのままYouTubeにアップロードすることができます。YouTubeに動画をアップロードする設定もPowerDirectorで行えます。YouTubeのアカウントを取得していない方は、操作の前にアカウント登録を済ませておくと、スムーズにアップロードできます。

① [オンライン] をクリックします。

② [オンラインサイトの選択] で、[YouTube] をクリックします。

③ [プロフィール種類] の[▼]をクリックして動画の画質を選択します。

④ 3Dビデオの場合は、[3D動画として共有] にチェックを入れます。

⑤ [タイトル] に作成したビデオのタイトルを入力し、[説明] にビデオの内容紹介を入力します。

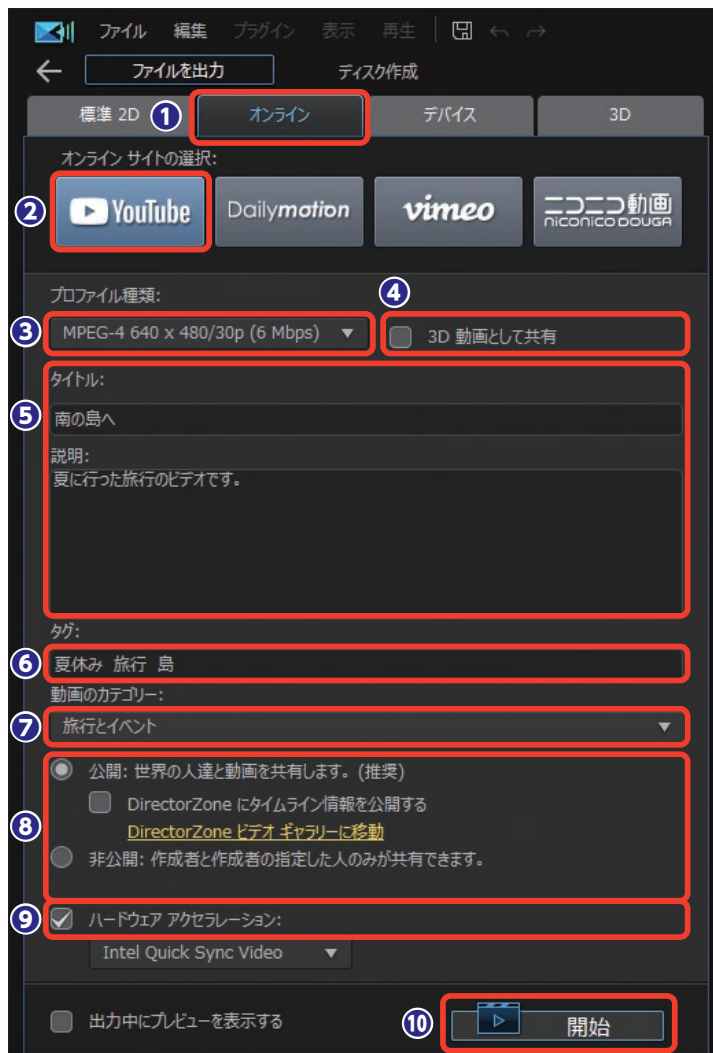
⑥ YouTubeで検索されるときにキーワードを[タグ]に入力します。

⑦ [動画のカテゴリー] の[▼]をクリックして、表示されるメニューから動画のジャンルを選択します。

⑧ [公開] か [非公開] のどちらかにチェックを入れます。

⑨ [ハードウェアアクセラレーション] は、グラフィックカードを搭載したパソコンで選択できます。

⑩ [開始] をクリックします。



メモ

[出力中にプレビューを表示する] にチェックを入れると、出力作業の経過がプレビューウィンドウに表示されます。どの映像まで作業が進んだかがわかりますが、作業時間が増えます。

11 [YouTubeにサインイン] ダイアログボックスが表示されます。[サインイン] をクリックします。

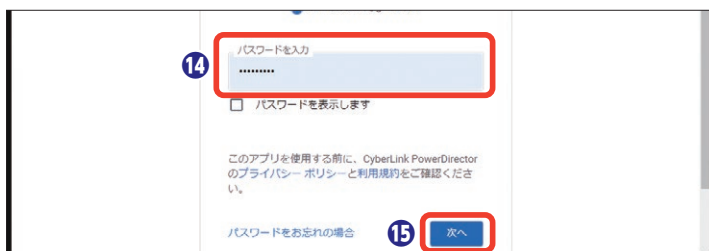


12 Webブラウザが起動して [Googleにログイン] ページが表示されます。Googleアカウントのメールアドレスまたは電話番号を入力します。



13 [次へ] をクリックします。

14 Googleアカウントのパスワードを入力します。



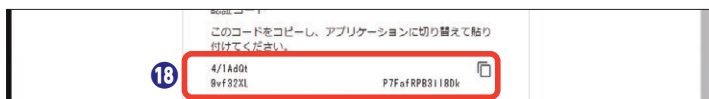
15 [次へ] をクリックします。

16 [Googleアカウントへのアクセスをリクエストしています] ページが表示されます。

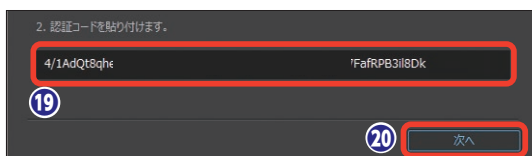


17 [許可] をクリックします。

18 Webページに表示されたコードをドラッグして選択し [Ctrl] + [C] キーを押してコピーします。

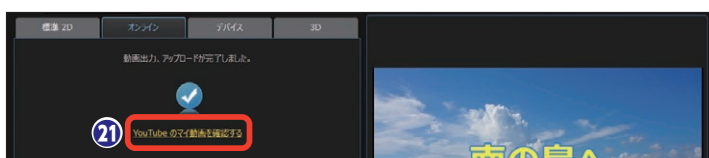


19 PowerDirectorの [YouTubeにサインイン] ダイアログボックスに戻り、[2.認証コードを貼り付けます。] をクリックし、[Ctrl] + [V] キーを押してペースト (貼り付け) します。



20 [次へ] をクリックします。

21 動画の出力とYouTubeへのアップロードが開始されます。アップロードが完了した後に、[YouTubeのマイ動画を確認する] をクリックすると、YouTubeで動画を確認できます。



ディスクの作成

編集したビデオをディスクに書き込みましょう。ディスクで保管しておけば、ハードディスクにもしものことがあっても安心ですし、大容量のビデオをディスクに書き込むことで、みんなに配って簡単に観てもらうこともできます。

【ディスク作成】画面

編集したビデオをDVDやBlu-rayディスクに書き込むには、[ディスク作成]をクリックします。

[ディスク作成]画面が表示されます。操作の流れは以下の通りです。

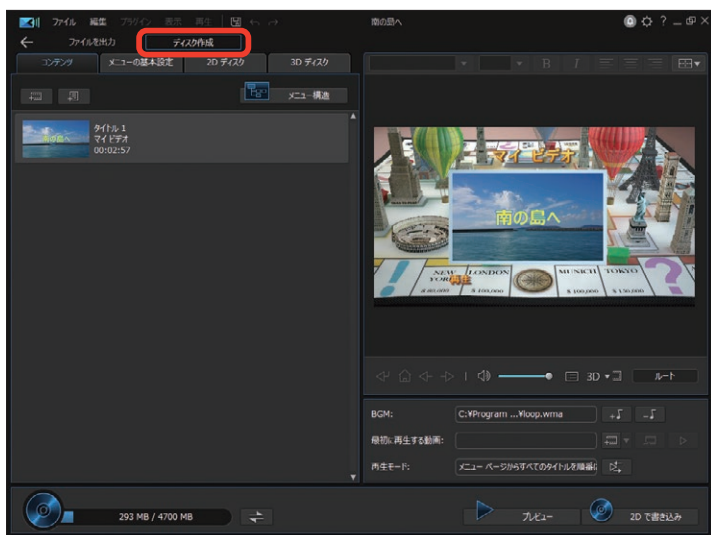
ディスクに書き込むビデオの準備



メニューの作成



ディスクへ書き込み

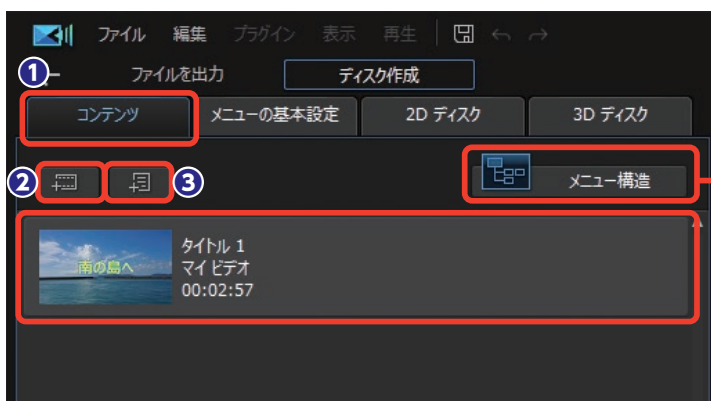


書き込むビデオの準備

① [コンテンツ] をクリックします。ここでは、ディスクに書き込むビデオを準備します。編集したビデオが表示されます。

② 他のビデオも書き込む場合は、[追加の動画を読み込み] をクリックして、表示される [開く] ダイアログボックスからビデオファイルを選択します。

③ [PowerDirectorのプロジェクトを読み込み] をクリックすると、保存してあるプロジェクトファイルのビデオ編集内容を取り込むことができます。



メモ

[メニュー構造] をクリックすると、ディスクに書き込む内容がツリー形式で一覧表示されます。

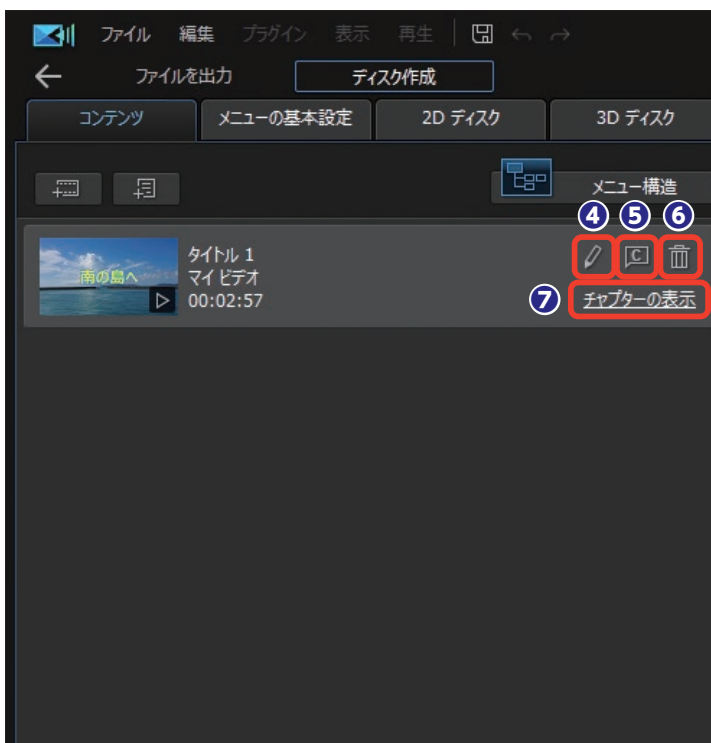
タイトルにマウスカースルを移動すると、操作できる項目のアイコンが表示されます。

④ [このタイトルを編集する] ビデオを再編集できます。[編集] 画面が表示されます。戻るには [出力] → [ディスク作成] をクリックします。

⑤ [チャプターの設定] ビデオにチャプターを設定します。

⑥ [タイトルをディスクから削除する] タイトルの書き込みを取りやめます。

⑦ [チャプターの表示] チャプターを設定している場合、どの位置にチャプターを設定したかがサムネイルで確認できます。



メニューの作成

① ディスクに書き込む内容を決定したら、[メニューの基本設定] をクリックします。

② メニューで使用するテンプレートを選択します。

③ テンプレートの内容が表示されます。[すべてのページに適用] をクリックします。

メモ

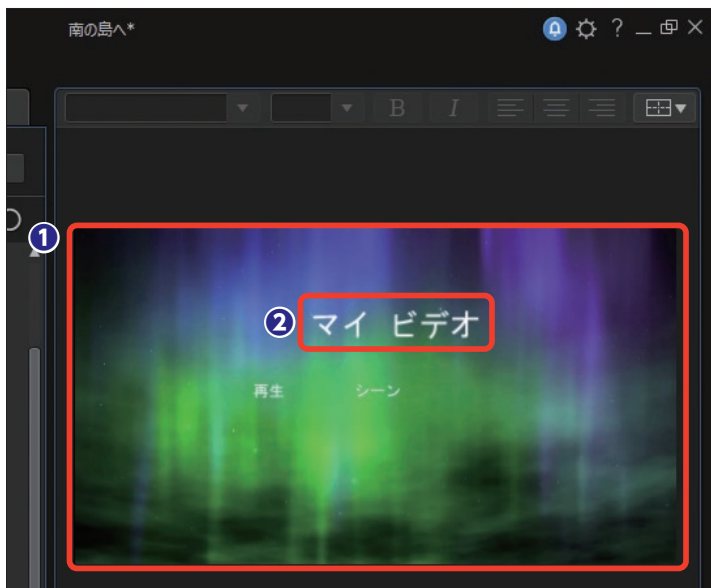
ディスクにメニューを作成しない場合は、[メニューなし] を選択します。



テキストの編集

① ディスクに書き込むメニューのイメージがプレビューウィンドウに表示されます。

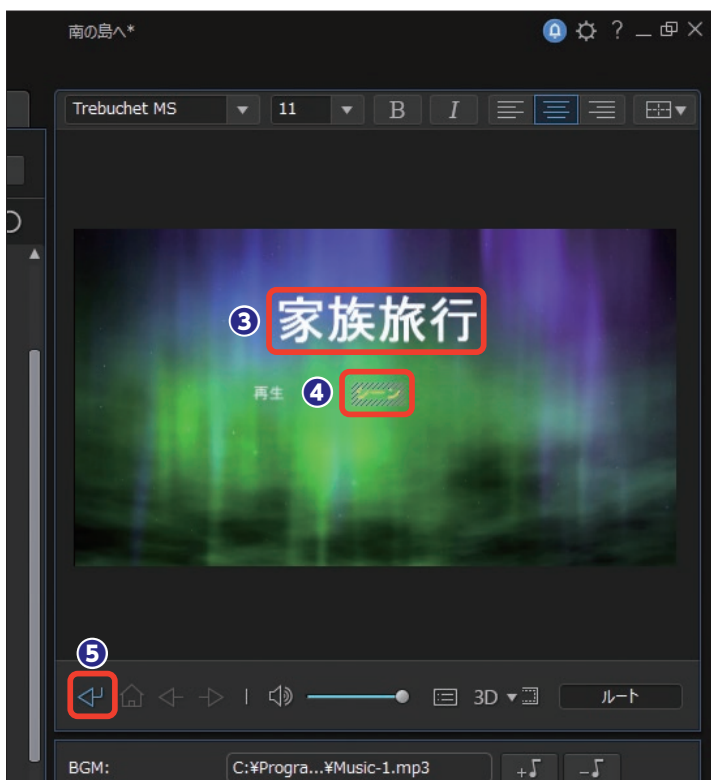
② タイトルを変更するには、[マイ ビデオ] の文字をドラッグして、タイトルを入力します。



③ タイトルが変更されます。タイトルを選択した状態で、フォントやサイズ、飾りなどを編集できます。各設定はChapter7「タイトル」をお読みください。

④ [再生] やチャプターを設定している場合に表示される [シーン] のテキストも同様に変更できます。

⑤ [シーン] などの文字をクリックして選択し、[入力] をクリックすると、作成したビデオをテレビで見る場合に、リモコンの決定ボタンを押すのと同じ操作を確認できます。



メニューのシミュレーション

メニューがどのように機能するかを確認するには、[メニューナビゲーションコントロール] を使用します。

① [ホーム] をクリックすると、メニューのトップページに移動します。

② このメニューのようにチャプターメニューが複数ページある場合は、[次のページ] をクリックして2ページ目を表示し、チャプターのタイトルなどを入力します。

③ 戻るには [前のページ] をクリックします。

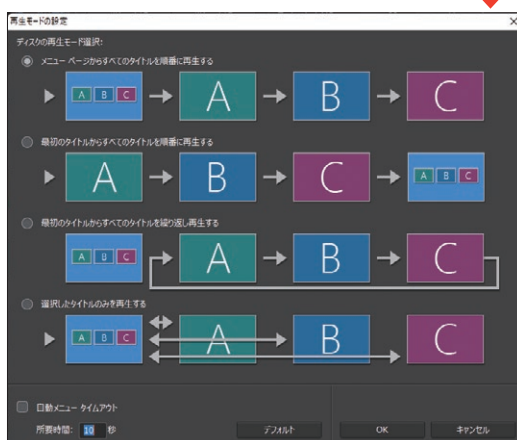
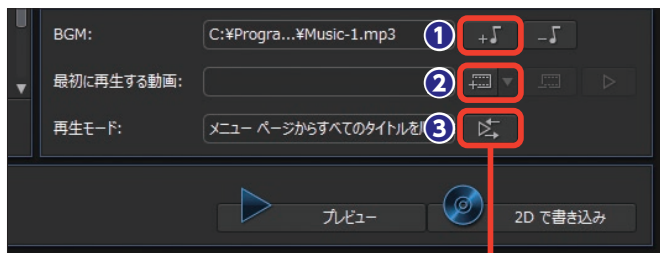


メニューの設定

① テンプレートによっては、メニューが表示されているときにBGMが流れる設定になっています。BGMを変更するには [BGMの設定] をクリックして、表示される [メニュー BGMの選択] ウィンドウの [別の音声ファイルを選択する] をクリックして、ミュージックファイルを選択します。

② 作成したディスクをパソコンやDVDプレーヤーにセットしたときに、メニューが表示される前に動画を再生することができます。[最初に再生する動画の設定] をクリックして、表示される [開く] ダイアログボックスからビデオファイルを選択します。

③ [再生モード] はメニューからどのように各ビデオを再生するかを設定できます。[ディスクの再生モードを設置する] をクリックして設定します。



メニューの編集

テンプレートによってはメニューをカスタマイズすることができます。

- 1 テンプレートを右クリックします。
- 2 表示されるメニューから、[修正]をクリックします。



[メニューデザイナー] ウィンドウが表示されます。

- 3 [ページを編集] の[▼]をクリックして、カスタマイズするページを選択します。

- 4 [オブジェクトのプロパティを変更] をクリックします。

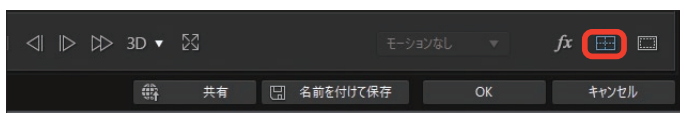
- 5 プレビューメニューで変更するテキストを選択します。[フォント/段落] や [シャドウ] などを選択して、テキストを変更します。テキストの編集はChapter7「タイトル」をお読みください。



- 6 メニューに配置されているテキストをクリックすると、テキストが選択されます。テキストボックスをドラッグして配置位置を調整したり、緑のポイントを左右にドラッグして傾きを付けることができます。

メモ

チャプターなどのテキストがいくつかある場合は、[メニューデザイナー] ウィンドウの右下にある[オブジェクトの整列]をクリックして、表示されるメニューから整列する項目を選択すると、一括で整えることができます。



7 [再生] や [ホーム] などのボタンをカスタマイズすることができます。[ページを編集] の [▼] をクリックして、[タイトル/チャプターメニュー] を選択します。

8 [ボタンのプロパティを設定] をクリックします。

9 [ナビゲーションボタン] の [▶] をクリックします。

10 ナビゲーションボタンを選択します。

11 ナビゲーションボタンが変更されます。

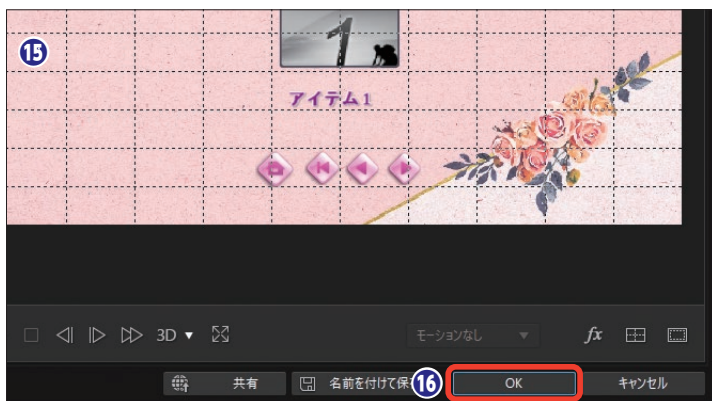
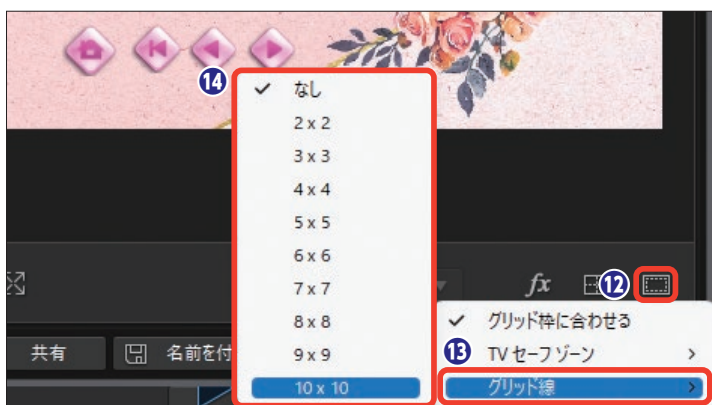
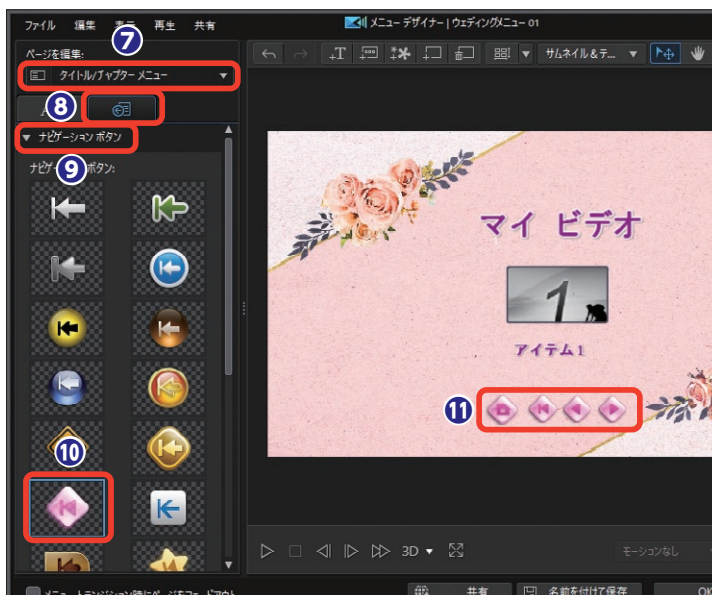
12 メニューをカスタマイズするときにプレビューウィンドウにグリッドを表示すると、テキストやボタンなどの配置がスムーズに行えます。[TVセーフゾーンとグリッド線の表示/非表示] をクリックします。

13 表示されるメニューから [グリッド線] をクリックします。

14 標準では [なし] に設定されているので、サブメニューからグリッド線数を選択します。

15 プレビューウィンドウにグリッド線が表示されます。

16 [OK] をクリックすると、[テンプレートとして保存] ダイアログボックスが表示されるので、テンプレート名を入力して [OK] をクリックします。



ディスクに書き込む

作成したビデオに合わせて書き込むディスクを用意しましょう。使用しているパソコンのディスクドライブを確認して、使用できるディスクを選択します。また、友達や家族に書き込んだディスクをプレゼントする場合などは、相手のディスク再生環境を考慮してディスクを選択します。

書き込みの設定

① [2Dディスク] をクリックします。

② 3D映像をディスクに書き込む場合は [3Dディスク] をクリックします。

3Dディスクの作成は次ページの [メモ] をお読みください。

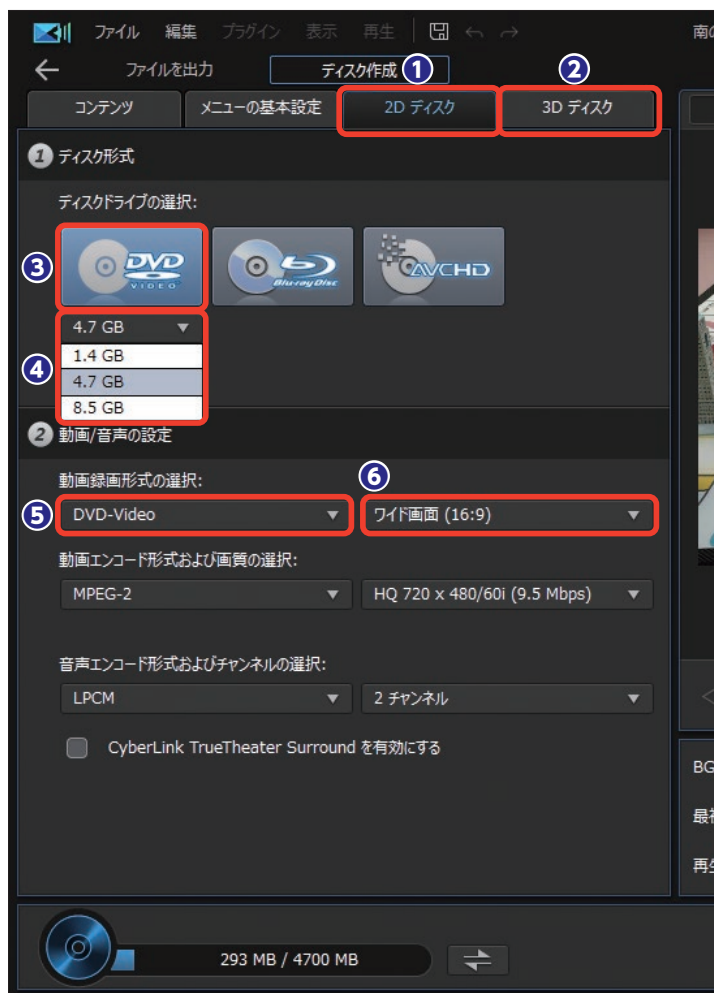
③ [ディスクドライブの選択] から書き込むディスクの種類を選択します。PowerDirectorで書き込みができるディスクは以下の通りです。

DVD	DVD-R、DVD-RW、 DVD+R、DVD+RW
Blu-ray	BDXL、BD-RE、BD-R

④ ここではDVDディスクで説明します。各ディスクの下にある [▼] をクリックして、ディスク容量を選択します。

⑤ [動画録画形式の選択] の [▼] をクリックして、表示されるメニューから録画形式を選択します。

⑥ 右にある [▼] をクリックして、表示されるメニューから画面の縦横比を選択します。



⑦ 動画のエンコード形式を、[▼] をクリックして、表示されるメニューから選択します。

⑧ 画質の [▼] をクリックして、表示されるメニューから画質を選択します。

メモ

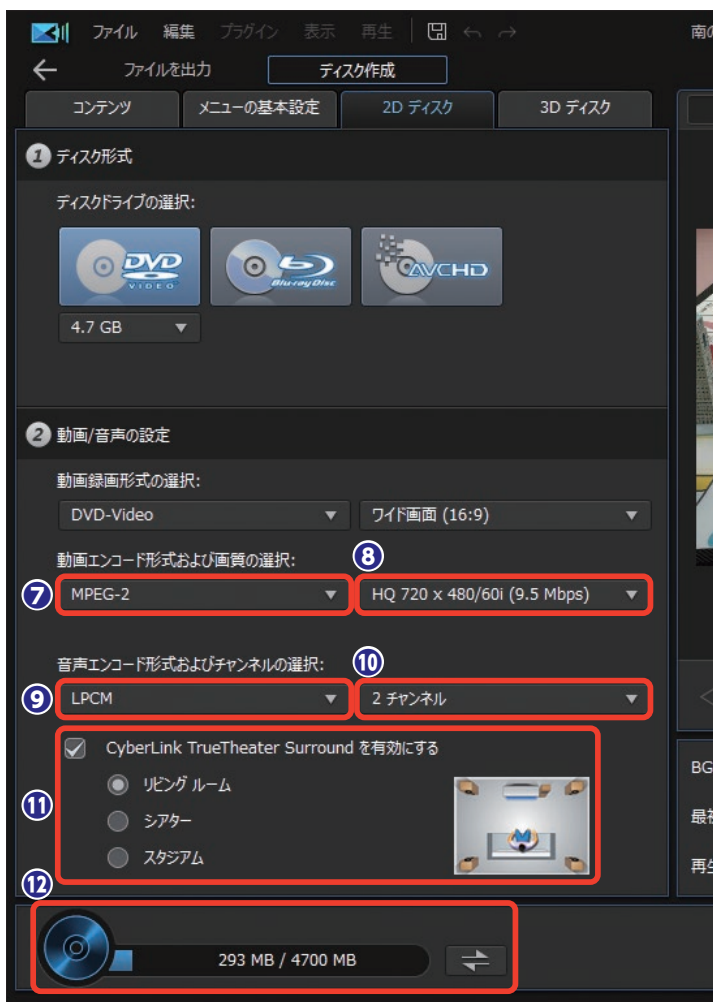
「画質」のメニューにある「スマートフィット」を選択すると、ディスク容量一杯まで使用するように自動的にビットレートを調整します。

⑨ 「音声エンコード形式」を設定します。

⑩ 出力チャンネルを設定します。

⑪ 「CyberLink TrueTheater Surroundを有効にする」にチェックを入れたら、「リビングルーム」と「シアター」のメニューが表示されます。ここにチェックを入れたら、BGMの聴こえ方の調整ができます。

⑫ 書き込むビデオの容量を確認します。



メモ

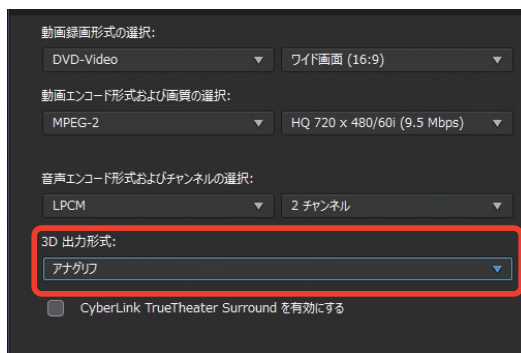
「3Dディスク」を選択した場合も、基本的な設定は「2Dディスク」の設定と同じですが、「3D出力形式」の設定項目が表示されます。

「3D出力形式」の [▼] をクリックして、表示されるメニューから3Dの出力形式を選択します。

【サイドバイサイドハーフ幅 (L/R)】 4 : 3またはHD以外のプロジェクトに適したサイドバイサイド3D形式です。

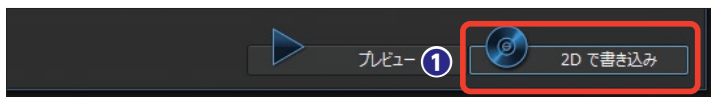
【サイドバイサイドフル幅 (L/R)】 HDのプロジェクトに適したサイドバイサイド3D形式です。

【アナグリフ】 赤と青のメガネで見る形式です。



最終出力の設定

① [2Dで書き込み] をクリックします。



② [最終出力] ウィンドウが表示されます。[ディスクボリュームラベル] に、ディスクのタイトルを入力します。



③ [ディスクへ書き込み] にチェックを入れて、作成するディスクの枚数を [コピー数] に入力します。

④ [ディスクイメージとして保存] にチェックを入れると、ディスクイメージファイルが同時に作成されます。あとから追加でディスクに書き込むときなどに便利です。

⑤ [フォルダーの作成] にチェックを入れると、ディスクに書き込むすべての素材がフォルダーにまとめられます。

⑥ [書き込み開始] をクリックします。

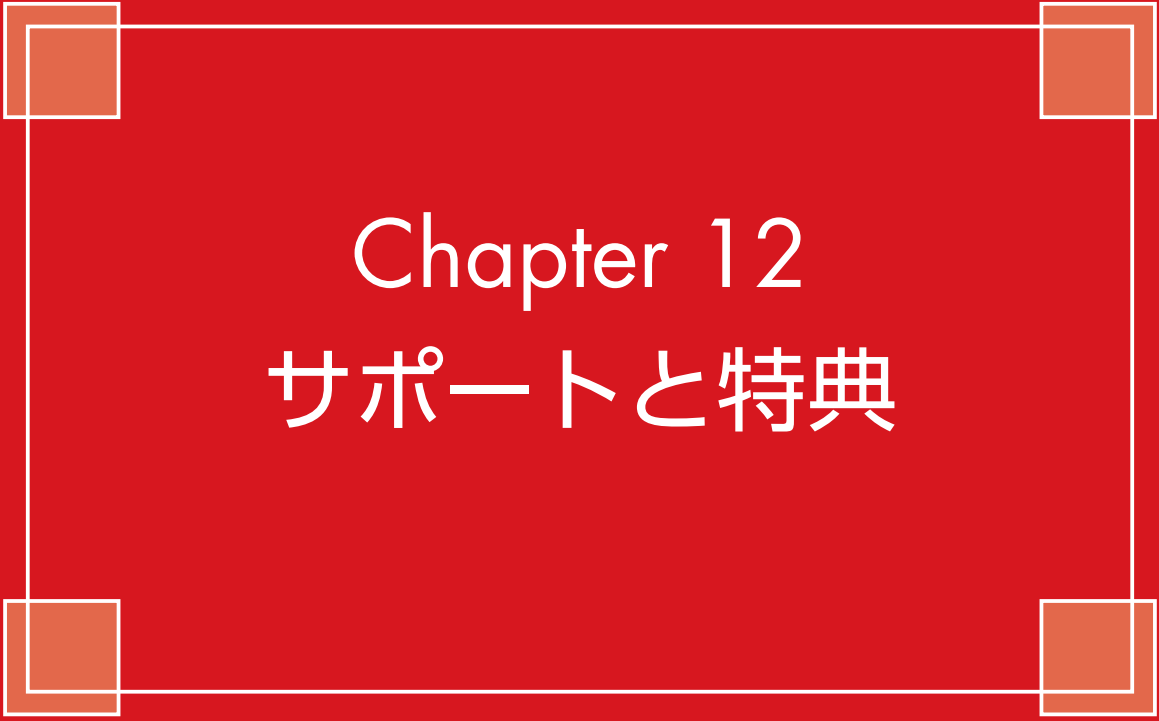
⑦ [書き込み] ウィンドウが表示され、ディスクへの書き込みが開始されます。



⑧ ディスクへ書き込む時間が長時間におよぶ場合もあります。[書き込み完了後、PCをシャットダウンする] にチェックを入れると、ディスクへの書き込みが終わると自動でパソコンが終了できます。

メモ

[書き込み完了後、PCをシャットダウンする] にチェックを入れた場合、書き込み終了時にパソコンがシャットダウンします。プロジェクトファイルは、保存したところまでを記録しています。PCをシャットダウンする場合は、[ディスク作成] 画面で [2Dで書き込み] ボタンをクリックする前に保存しておきましょう。



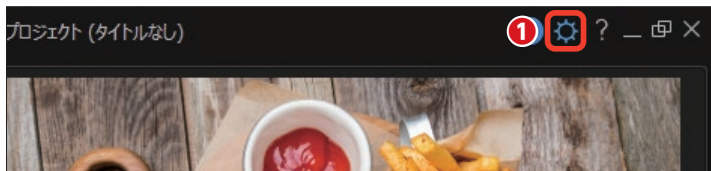
Chapter 12

サポートと特典

基本設定

PowerDirectorの設定をカスタマイズするには、[基本設定] ウィンドウの項目で行います。ビデオの取り込み方法や編集時の設定、表示方法などをユーザーがよく使う設定に変更しておく、ビデオの編集作業がよりスムーズに行えます。

- ① [基本設定] をクリックします。



[基本設定] ウィンドウが表示されます。

- ② 各ジャンルをクリックします。

- ③ 右側に詳細設定項目が表示されます。各項目を設定します。

- ④ 設定が終われば、[OK] をクリックします。



各項目の詳しい解説は、オンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプを表示するには、10ページをお読みください。

ショートカットキー

PowerDirectorでは、よく使う機能をショートカットキーに割り当てています。ショートカットキーを使うと、PowerDirectorの操作を手早く行うことができます。ショートカットキーを覚えてPowerDirectorを快適に操作してください。また、ショートカットキーの設定もできます。

ショートカットキーとは、マウスで [ファイル] メニューをクリックして、表示されるメニューから [保存] をクリックする操作を、キーボードの [Ctrl] キーを押しながら [S] キーを押す操作で実行することです。キーボードから片手で操作でき、マウスで操作するより素早く操作を行うことができ便利です。ショートカットの一覧は画面右上にある [?] (ヘルプ) アイコンをクリックして、表示されるメニューから [ホットキー一覧] をクリックします。

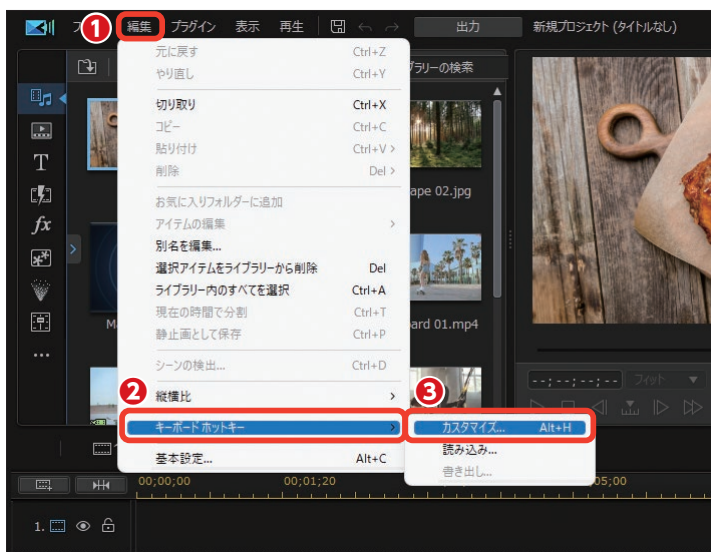
ショートカットキーのカスタマイズ

ショートカットキーは、カスタマイズできます。すでに割り当てられているショートカットキーをよく使う機能に変更したり、各機能にショートカットキーを割り当てたりできます。

① [編集] をクリックします。

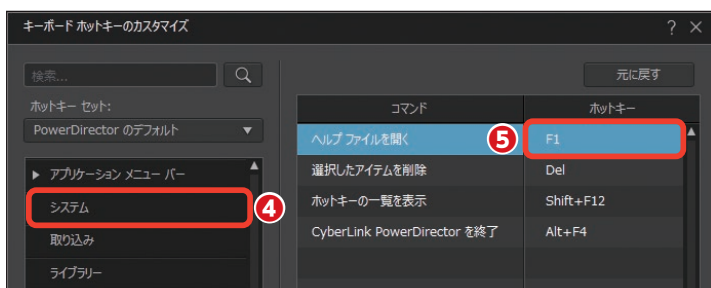
② [キーボードホットキー] をクリックします。

③ [カスタマイズ] をクリックします。



④ [キーボードホットキーのカスタマイズ] ウィンドウが表示されます。ホットキーのジャンルをクリックします。

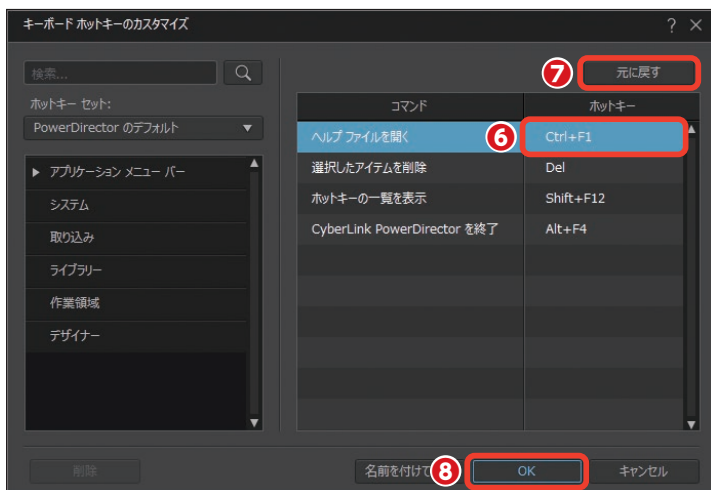
⑤ 各機能のホットキーをクリックします。



⑥ キーボードから変更したいキーを押すと、ホットキーが変更されます。

⑦ キーのカスタマイズを取り消すには、[元に戻す] をクリックします。

⑧ カスタマイズを適用するには、[OK] をクリックします。



12

サ
ポ
ー
ト
と
特
典

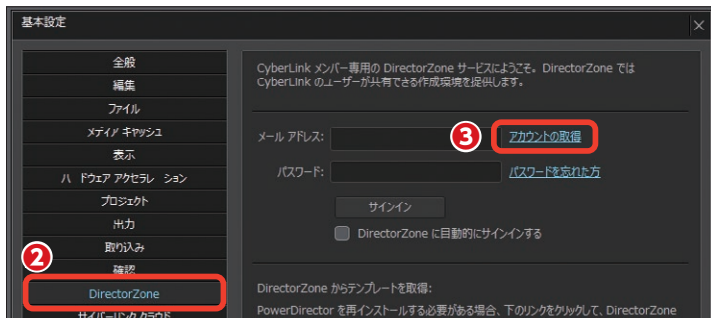
DirectorZone

DirectorZoneは、サイバーリンク製品を購入いただいたユーザーに各種サービスを行うWebサイトです。DirectorZoneに登録すると自動で製品登録が行われ、サポートを無料で受けられるようになったり、テンプレートを無料でダウンロードしたり、ユーザーフォーラムに参加できます。

① [基本設定] をクリックします。



② [基本設定] ウィンドウが表示されます。[DirectorZone] をクリックします。



③ [アカウントの取得] をクリックします。

④ Webブラウザが起動して、[DirectorZone] の [サインアップ] ページが表示されます。

⑤ メールアドレスを入力します。

⑥ DirectorZoneのユーザー交流などで表示される名前 (ニックネーム) を入力します。

⑦ パスワードを入力し、下の欄に同じパスワードをもう一度入力します。

⑧ [V] をクリックして生年月日 (右端に生年) を入力します。

⑨ [V] をクリックして [日本] を選択します。

⑩ 上の4桁のコードを入力します。

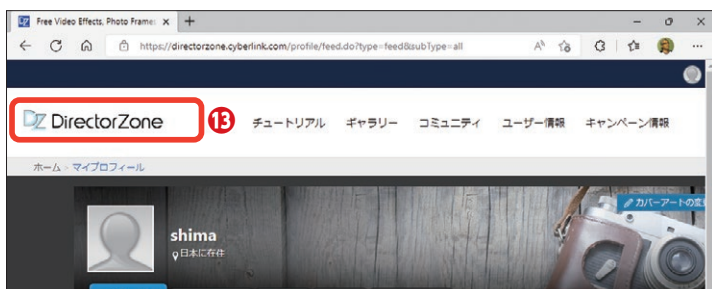
⑪ [サイバーリンクからの最新情報〜] にチェックを入れます。

⑫ [同意して送信] をクリックします。



※ [自分のプロフィールを編集] ページが表示されたら、[送信] をクリックします。

13 [DirectorZone] の [マイプロフィール] 画面が表示されます。[DirectorZone] のロゴをクリックするとトップページが表示されます。



サイバーリンククラウド

【サイバーリンククラウド】は、ユーザーがカスタマイズした基本設定や出力プロファイルをサイバーリンクが用意したWebにバックアップできます。パソコンを買い換えたり、他のパソコンでPowerDirectorを使用するときに復元すると、同じ環境でPowerDirectorを使用できます。

1 [基本設定] をクリックします。

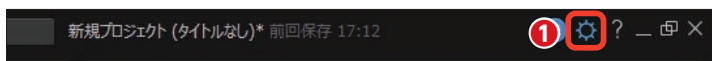
2 [基本設定] ウィンドウが表示されます。[サイバーリンククラウド] をクリックします。

3 バックアップをとる場合は、[サイバーリンククラウドにバックアップ] をクリックします。

メモ

サインインするダイアログボックスが表示された場合は、DirectorZoneで設定したメールアドレスとパスワードを入力して、[サインイン] をクリックします。

4 バックアップした設定を使用するには、[サイバーリンククラウドから復元] をクリックします。



12

サポートと特典

メモ

サイバーリンククラウドはご利用開始から1年間、無償で利用いただけます。1年目以降は有料での延長契約をご用意しています。詳しくは弊社Webを参照ください (365およびDirector Suite 365は契約期間中は無料です)。

https://jp.cyberlink.com/products/cyberlink-cloud/features_ja_JP.html



PowerDirectorと連携する製品版AudioDirectorは、ビデオやミュージッククリップの本格的なオーディオ編集を行えるほか、多彩なノイズ低減機能などを備えています。

AudioDirectorの起動とPowerDirectorへの戻り方

① PowerDirectorのタイムラインにビデオやミュージッククリップを配置して、クリップを選択します。

② [ツール] をクリックします。

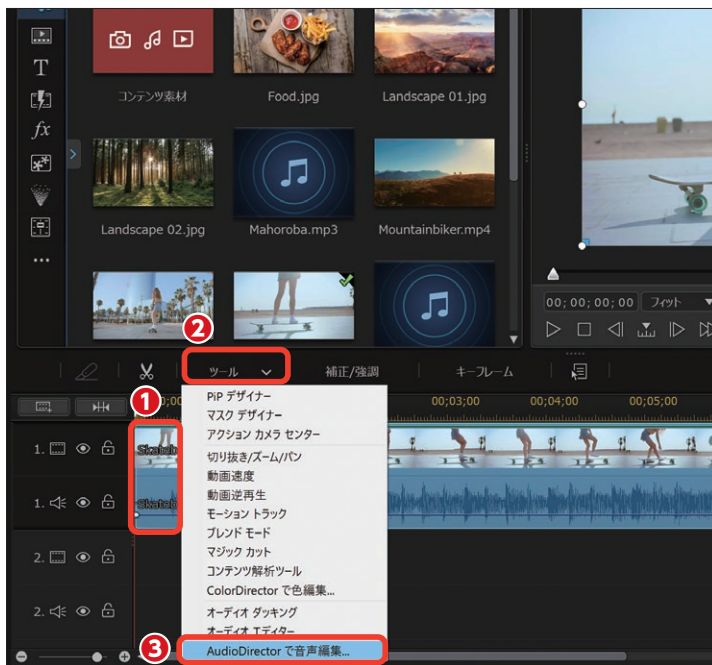
③ 表示されるメニューから [Audio Directorで音声編集] をクリックします。

注意

製品版のAudioDirectorをインストールしていない場合は、メニュー項目は表示されません。

メモ

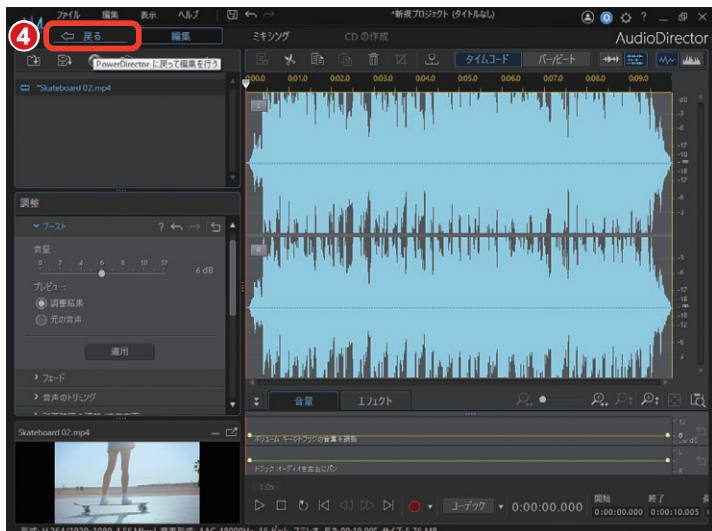
メニューにある [オーディオエディター] はPowerDirectorに標準で付属する音声編集ソフトです。AudioDirectorの機能の一部を持ち、音声の簡易編集が行えます。



④ [AudioDirector] が起動します。[AudioDirector] で音声を調整したりエフェクトを適用します。編集内容をPowerDirectorに反映させるには [戻る] をクリックします。

注意

AudioDirectorは、Director Suite 365およびUltimate Suite版にのみ付属します。なお、Ultimate Suite版には別途AudioDirectorのマニュアルが付属しますので、詳しい使い方はそちらをお読みください。



ColorDirectorは、本格的な色彩の補正作業などを行うアプリです。PowerDirectorと連携してシームレスに行えます。PowerDirectorでビデオクリップを選択し、ColorDirectorを起動して色彩の編集を行うと、PowerDirectorに配置してあるビデオクリップに反映されます。

ColorDirectorの起動とPowerDirectorへの戻り方

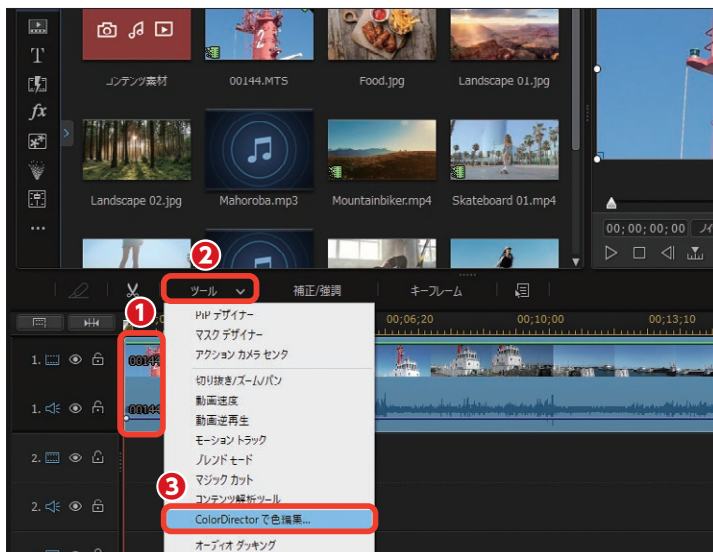
① タイムラインに配置したビデオクリップをColorDirectorで編集するには、ビデオクリップを選択します。

② [ツール] をクリックします。

③ 表示されるメニューから[Color Directorで色編集]をクリックします。

注意

製品版のColorDirectorをインストールしていない場合は、メニュー項目は表示されません。

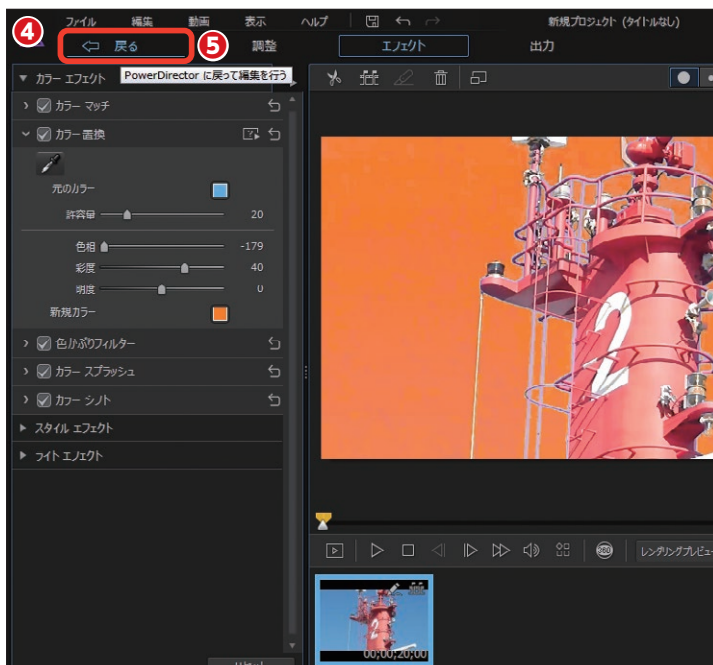


④ [ColorDirector] が起動して、選択したビデオクリップが読み込まれます。ColorDirectorで本格的な映像加工が行えます。

⑤ 編集した映像をPowerDirectorに反映させるには、[戻る] をクリックします。

注意

ColorDirectorは、Director Suite 365およびUltimate Suite版にのみ付属します。なお、Ultimate Suite版には別途ColorDirectorのマニュアルが付属しますので、詳しい使い方はそちらをお読みください。

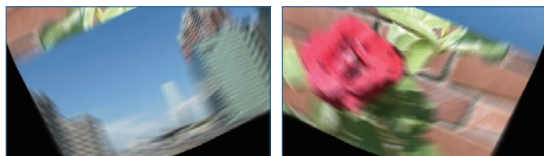


トランジション一覧

PowerDirectorにはトランジションが200種類以上用意されています。おもなトランジションの効果がわかるように一覧にしました。トランジションによっては、効果をかける位置やサイズ、強弱、色設定などが調整できます。いろいろな効果を試してみてください。

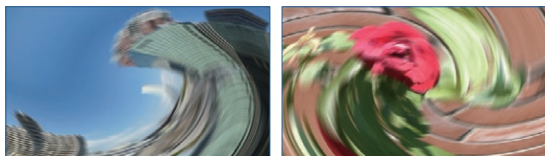
■スピン（上中央）

現在の映像と次の映像がぐるぐる回転して、次の映像に切り替わります。



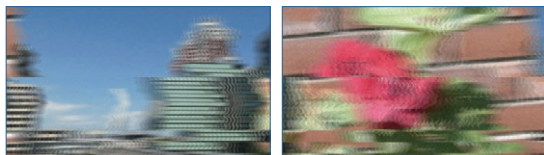
■渦

現在の映像が渦を巻いて次の映像に変わります。



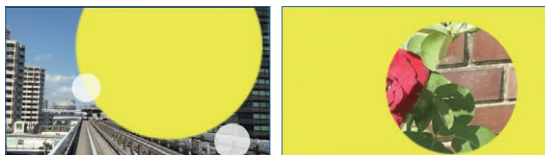
■ディスターバンス

映像が左右に乱れて、次の映像が表示されます。



■円（カラー）

円のイラストが徐々に映像を覆い尽くし、そこから次の映像が現れます。



■グランドオープニング

前の映像がドアが開くように左右に分かれて、次の映像が現れます。



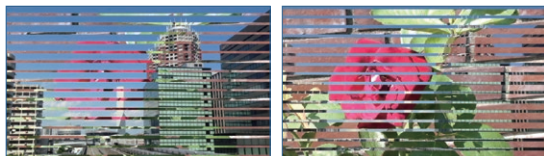
■グリッド

分割されたパネルが1枚ごとに次の映像に変わっていきます。



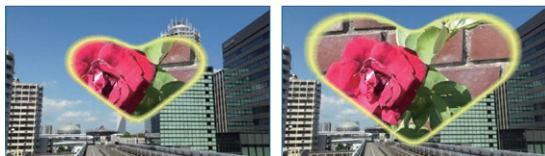
■シャッター

ブラインドが開くと次の映像が現れるようなイメージで切り替わります。



■スイートハート

次の映像がハート型に切り抜かれて表示されます。



■火炎

映像が燃えはじめ、そこから次の映像が現れます。



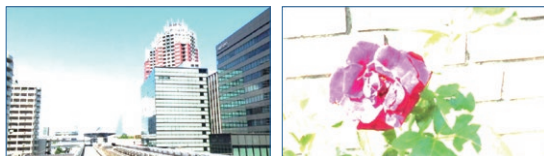
■X線

前の映像がX線撮影されたようにモノクロ反転映像になり、次の映像が現れます。



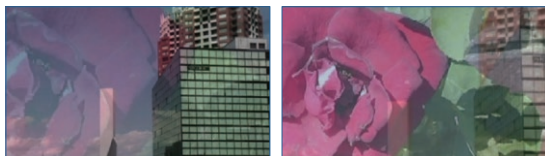
■輝き

映像がフラッシュして、そこから次の映像が表示されます。



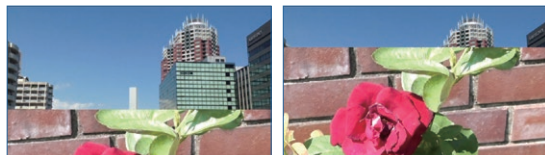
■交差

映像がズームアップしながら次の映像が徐々に現れ、ズームアウトします。



■スライド

紙芝居のように前の映像に次の映像がくさります。



■ソフトワイプ

次の映像がゆるやかにぼけて現れ、次第にはっきりと表示されます。



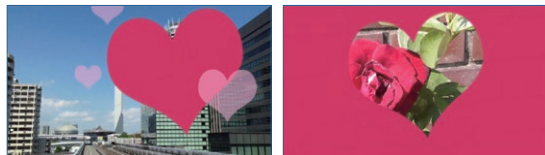
■ディゾルブ

次の映像が細かいドットで表示され、次第に画面すべてを覆います。



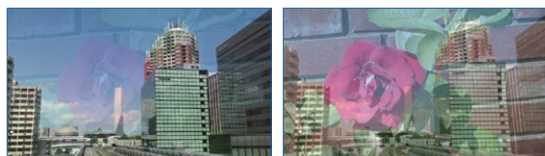
■ハート (カラー)

ハートが映像を覆い隠し、そこにハート型に切り抜かれた次の映像が現れます。



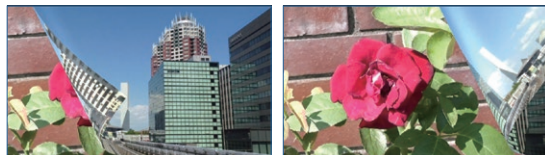
■フェード

次の映像が徐々に現れて画面が切り替わります。



■ページカール

書籍のページのように前の映像をめくると次の映像が表示されます。



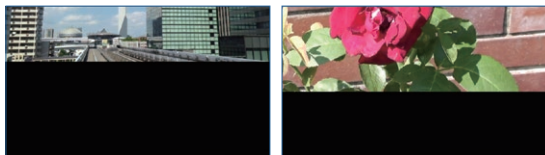
■ミラー

前の映像が映り込んだ水晶が次第に小さくなって次の映像が表示されます。



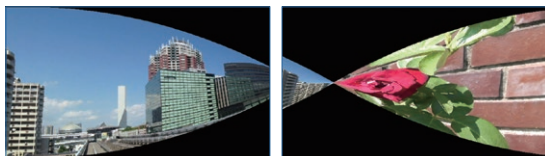
■スワップ

前の映像が上下どちらかに移動して、次の映像が現れます。



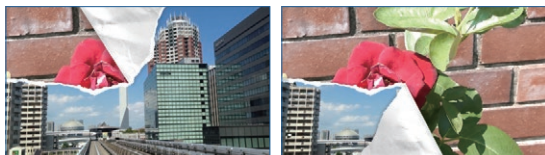
■ツイスト

映像がねじられるように変型し、次の映像が現れます。



■紙破り 01

紙に映されているような前の映像が破れ、次の映像が現れます。



■フィルムクリップ

映像が映画のフィルムのコマとなり、次のコマに次の映像が表示されます。



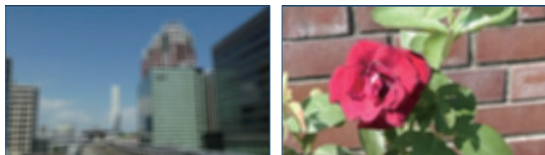
■フリップ

映像が画面奥に飛んで行き、回転して戻ってくると次の映像になります。



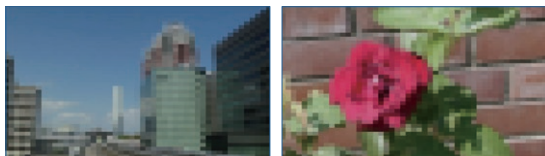
■ぼかし

前の映像がぼけてフェードアウトし、次のぼけた映像が徐々にクリアになります。



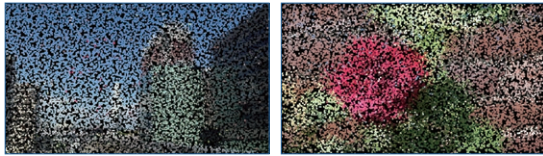
■モザイク

映像にモザイクがかかり、モザイクがクリアになると次の映像になります。



■吹雪

映像が小さな粒に分解され、その粒が再び次の映像として集まります。



■星

次の映像が星型に切り抜かれて表示されます。映像には境界線を付けられます。



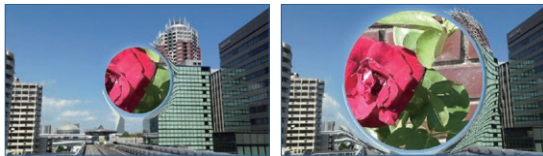
■台風

台風で映像のパネルが剥がされるように飛んで行き、次の映像が現れます。



■虫食い穴

映像が虫に食べられたように穴が空き、そこから次の映像が現れます。



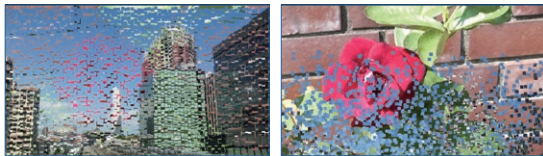
■飛行機

飛行機と船のアニメーションが表示され、それらの軌跡が次の映像になります。



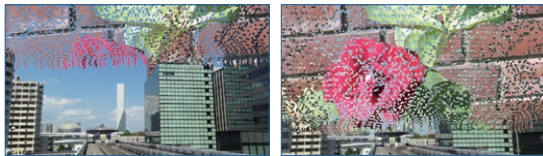
■崩壊

映像が粉々になって崩れ落ち、次の映像が現れます。



■粒子

次の映像が細かい粒子状で現れ、画面を埋めていきます。



■水滴

画面に水滴が付き、その水滴に次の映像が表示されます。



■円 (拡張) 2

次の映像が小さな円で表示され、その円が拡大して全画面表示になります。



■中央

画面中央から四方に映像を破るように次の映像が表示されます。



■波紋

映像に水滴が落ち、その波紋がゆれながら次の映像に切り替わります。



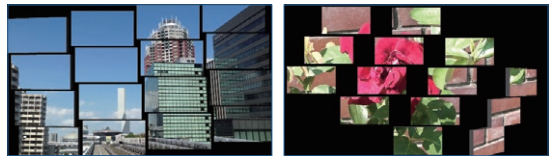
■風車

風車が回るようにして次の映像が表示されます。



■破片

映像がいくつもの破片に分かれ、それらが裏返しになり、次の映像になります。



■連鎖反応

映像がドミノ倒しのように崩れ、次の映像が組み合わせるように現れます。

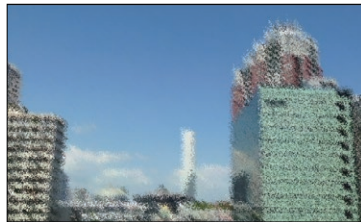


エフェクト一覧

PowerDirectorにはエフェクトが200種類以上用意されています。おもなエフェクトの効果がわかるように一覧にしました。エフェクトによっては、効果をかける位置やサイズ、強弱、色設定などが調整できます。いろいろな効果を試してみてください。

■ガラス

磨りガラス越しに見たざらざらした感じの映像です。



■GPU スター

星のような光の粒が迫ってくる効果加わります。



■GPU 花火

映像に打ち上げ花火の効果が追加されます。



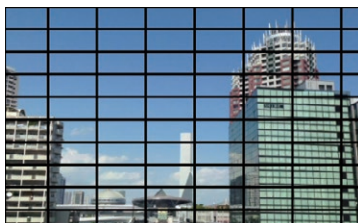
■しずく

映像にしずくが落ちて広がる効果加えられます。



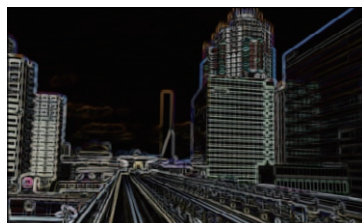
■グリッド

画面に格子を表示します。格子の数は調整できます。



■カラーエッジ

黒反転した映像に輪郭だけをカラー表示します。



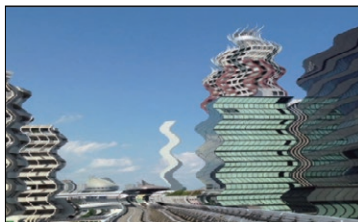
■TV ウォール

映像を分割表示します。表示数は調整できます。



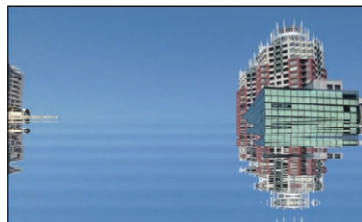
■ウェーブ

波打つようにゆれる映像になります。



■ウォーターリフレクション

映像の一部が水没して、そこに映像が映り込みます。



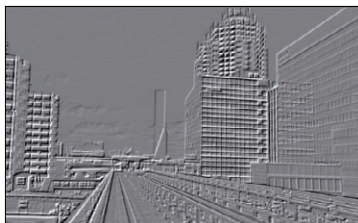
■オールドカメラ

トイカメラで撮影したように映像の周りがボケます。



■エンボス

エンボス加工したように映像に凹凸ができます。



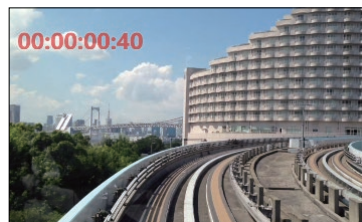
■カラークレヨン

布地に映像を映したような効果になります。



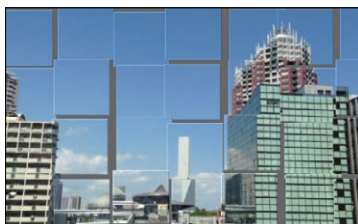
■タイムスタンプ

時間を表示します。かけっこの映像に最適です。



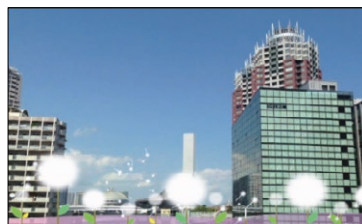
■タイル

映像がタイルに分かれて再生されます。



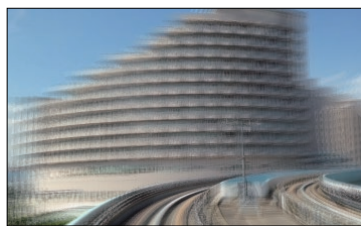
■たんぽぽ

画面下にたんぽぽが咲き乱れる映像になります。



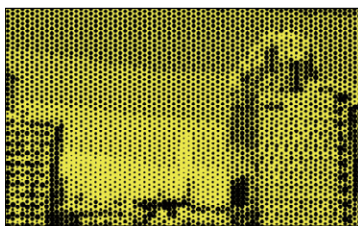
■ディレイ

映像の一部をずらして再生します。



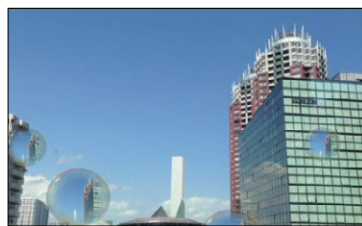
■ハーフトーン

ドット絵的な映像になります。カラー版もあります。



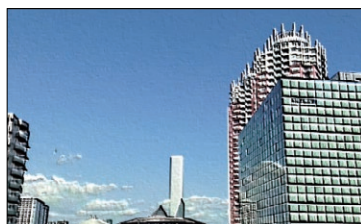
■バブル

映像が映り込んだシャボン玉が飛んでいる効果です。



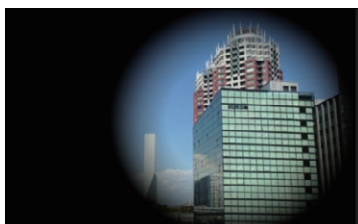
■パンプマップ

建物などを立体的に見せる効果が加わります。



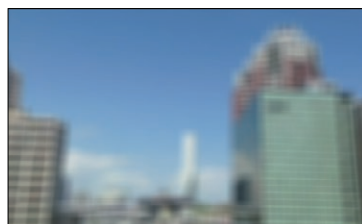
■ビネット (フォーカス)

望遠鏡で覗いたような映像の一部だけを見せます。



■ぼかし

映像にぼかしをかけます。



■ポップアート

映像がポップアート調にほどこされて再生されます。



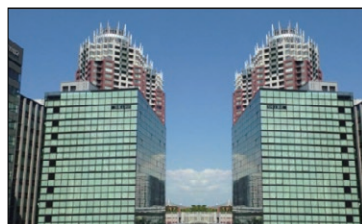
■マジックスター

星が王冠のようにキラキラと現れます。



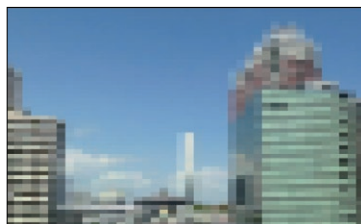
■ミラー

2分割された映像が鏡に映ったように表示されます。



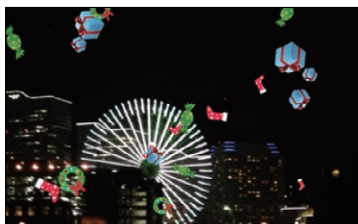
■モザイク

映像にモザイクをかけます。



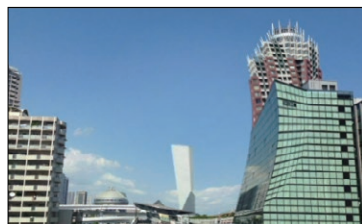
■リースと靴下

ブーツとリースが降ります。クリスマスの映像にぜひ。



■魚眼レンズ

魚眼レンズで撮影した勢団気の映像になります。



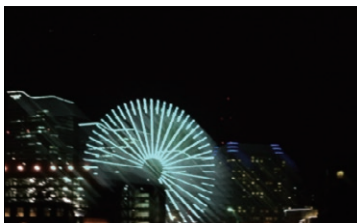
■白黒

映像をモノクロにします。「セピア」色もあります。



■月光

月明かりのようなやわらかい光が降り注ぎます。



■古い映画

キズの付いたフィルムを上映している効果です。



■中国風の絵 2

映像を水墨画風のイメージに変換します。



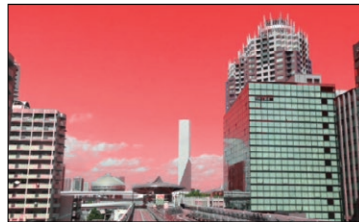
■色のフィルタ

指定した色（ここでは赤）だけ着色します。



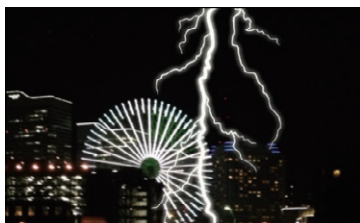
■色の置換

指定色を別の色（ここでは青を赤）に置き換えます。



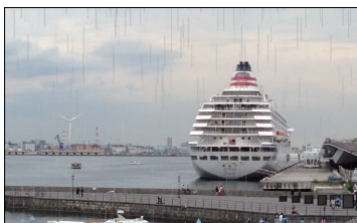
■稲妻

稲妻が光る効果を追加できます。



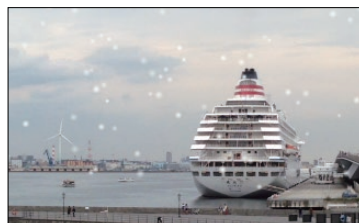
■雨

雨を降らせます。横殴りや土砂降りにしてみましょう。



■雪

雪を降らせます。風の吹き強さも調整できます。



■鉛筆スケッチ 2

鉛筆で描画したようなタッチの映像になります。



■横に伸ばす

映像の一部（ここでは足）を横に伸ばします。



■風

人物やものにラインが入り、疾走感を表現できます。



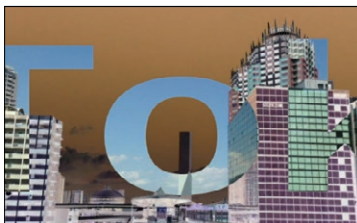
■拡大鏡

映像の一部分を虫眼鏡で見たように拡大表示します。



■文字（X線）

文字の部分だけクリアな映像が再生されます。



■万華鏡

万華鏡から映像を見ているような効果になります。



●PowerDirectorのWebサポートページ

<https://jp.cyberlink.com/support/>



●カスタマーサポートセンター

電話番号：0570-080-110

IP電話などのナビダイヤルにかけられない回線の場合：03-5205-7670

受付時間：10:00～13:00 14:00～17:00

※土・日・祝日、弊社休業日は除く

注意

本マニュアルはDirector Suite 365、PowerDirector 365、Ultimate Suite、Ultimate、Ultra、Standard共通となっています。そのため、お客様のご購入いただいたエディションによって、本マニュアルに記載の機能がサポートされていない場合があります。各エディションの機能の違いについては、10ページの「PowerDirectorのエディション」の項をご参照いただき、ご確認ください。

CyberLink PowerDirector 21 ユーザーガイド

2022年9月 初版第1刷

サイバーリンク株式会社

〒105-0012 東京都港区芝大門1-16-3 芝大門116ビル3F